

平成 26 年度

外郭団体の経営状況及び  
経営評価結果を説明する書類

京 都 市

この書類は、地方自治法第243条の3第2項により議会に経営状況を報告すべき法人（※）及びその他の本市外郭団体の経営状況並びに京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例により本市が実施した外郭団体の平成25年度決算に基づく平成26年度経営評価の結果を報告するものである。

掲載法人等は、次のとおりである。

1 掲載法人

本市外郭団体（本市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している法人（本市からの補助金、委託料その他の支出、人的援助の状況等本市と法人との関係から判断して、本市が主体的に指導等を行う必要がない法人及び本市が設立した地方独立行政法人を除く。））

2 掲載順

所管局別に、地方三公社、財団法人、株式会社、社会福祉法人の順に記載した。

3 作成期日

原則として、平成26年7月1日現在で作成した。

4 注意事項

金額の表示については、原則として、単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

（※）地方自治法第243条の3第2項により議会に経営状況を報告すべき法人一覧

法人形態	法人名（法人形態略）	
地方三公社	京都市土地開発公社	京都市住宅供給公社
財団法人	京都市環境保全活動推進協会 大学コンソーシアム京都 京都市ユースサービス協会 京都市立浴場運営財団 京都市森林文化協会 京都市障害者スポーツ協会 京都市景観・まちづくりセンター 京都市都市緑化協会 京都市生涯学習振興財団	京都市国際交流協会 京都市埋蔵文化財研究所 京都市男女共同参画推進協会 京都市音楽芸術文化振興財団 きょうと京北ふるさと公社 京都市健康づくり協会 京都市都市整備公社 京都市防災協会
株式会社	京都産業振興センター 京都地下鉄整備	京都御池地下街

（参照）

地方自治法（抄）

（予算の執行に関する長の調査権等）

第221条（前略）

3 前2項の規定は、普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるもの、普通地方公共団体が借入金の元金若しくは利子の支払を保証し、又は損失補償を行う等その者のために債務を負担している法人で政令で定めるもの及び普通地方公共団体が受益権を有する信託で政令で定めるものの受託者にこれを準用する。

（以下略）

(財政状況の公表等)

第243条の3 (前略)

- 2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。  
(以下略)

地方自治法施行令(抄)

(普通地方公共団体の長の調査等の対象となる法人等の範囲)

第152条 地方自治法第221条第3項に規定する普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものは、次に掲げる法人とする。

- (1) 当該普通地方公共団体が設立した地方住宅供給公社、地方道路公社、土地開発公社及び地方独立行政法人
  - (2) 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社
  - (3) 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上2分の1未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社のうち条例で定めるもの
- 2 当該普通地方公共団体及び1又は2以上の前項第2号に掲げる法人(この項の規定により同号に掲げる法人とみなされる法人を含む。)が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社は、同号に掲げる法人とみなす。
  - 3 当該普通地方公共団体及び1又は2以上の第1項第2号に掲げる法人(前項の規定により同号に掲げる法人とみなされる法人を含む。)が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上2分の1未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社は、第1項第3号に規定する一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社とみなす。

(以下略)

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

(以下略)

京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例(抄)

第4章 外郭団体経営評価

(評価)

第13条 市長は、毎年度、外郭団体の経営について、評価を実施する。

- 2 実施機関は、前項の評価の結果に基づき、外郭団体に対し、必要な指導及び助言を行うものとする。
- 3 外郭団体は、第1項の評価の実施に協力しなければならない。

4 外郭団体は、第1項の評価の結果並びに第2項の指導及び助言を踏まえ、当該評価を実施した年度の翌年度の当該外郭団体の経営に関する計画を作成しなければならない。  
(外郭団体経営評価専門員)

第14条 市長は、外郭団体経営評価について、専門的な知識経験に基づく助言を行わせるために外郭団体経営評価専門員（以下「専門員」という。）を置く。

2 専門員の定数は、5人以内とする。

3 専門員は、経営に関し優れた識見を有する者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

4 専門員の任期は、3年とする。ただし、補欠の専門員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 専門員は、再任されることができる。

#### 第5章 市会の関与及び市民の参画

(市会への報告)

第15条 実施機関は、行政評価等の結果を、市会に報告するものとする。

(以下略)

## 目 次

I	外郭団体の決算の概況等		
1	本市の外郭団体	.....	1
2	決算の概況	.....	2
II	各団体の決算状況等		
	各団体の決算状況等について	.....	7
(環境政策局)	公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会	.....	9
(行 財 政 局)	京都市土地開発公社	.....	17
(総合企画局)	公益財団法人 京都市国際交流協会	.....	23
	公益財団法人 大学コンソーシアム京都	.....	33
(文化市民局)	公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所	.....	45
	公益財団法人 京都市ユースサービス協会	.....	54
	公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会	.....	65
	一般財団法人 京都市立浴場運営財団	.....	74
	公益財団法人 京都市体育協会	.....	81
	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団	.....	89
	公益財団法人 京都市芸術文化協会	.....	100
(産業観光局)	公益財団法人 京都市森林文化協会	.....	110
	公益財団法人 きょうと京北ふるさと公社	.....	119
	公益財団法人 京都伝統産業交流センター	.....	129
	公益財団法人 京都高度技術研究所	.....	137
	株式会社 京都産業振興センター	.....	150
(保健福祉局)	公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会	.....	157
	公益財団法人 京都市健康づくり協会	.....	168
	社会福祉法人 京都社会福祉協会	.....	175
	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	.....	182
(都市計画局)	京都市住宅供給公社	.....	193
	公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター	.....	203
	京都御池地下街株式会社	.....	213
	京都醍醐センター株式会社	.....	219
(建 設 局)	一般財団法人 京都市都市整備公社	.....	225
	公益財団法人 京都市都市緑化協会	.....	240
	京都シティ開発株式会社	.....	253
(消 防 局)	一般財団法人 京都市防災協会	.....	261
(交 通 局)	京都地下鉄整備株式会社	.....	272
(上下水道局)	一般財団法人 京都市上下水道サービス協会	.....	278
(教育委員会)	公益財団法人 京都市生涯学習振興財団	.....	286

## I 外郭団体の決算の概況等

## 1 本市の外郭団体

### (1) 外郭団体の設立目的

外郭団体は、市政と連携しながら民間の人材、知識、資金等を活用することにより、市民のニーズに即した多様な公的サービスを提供することを目的に設立されたもので、市民サービスの向上や市政運営の効率化に貢献している。

### (2) 本市の外郭団体

本市が、出資金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している法人（※）31団体を外郭団体として位置付け、全市的な観点から主体的に指導等を行っている。

本市の外郭団体の特徴として、財団法人の割合が高く、株式会社の割合が低くなっている。

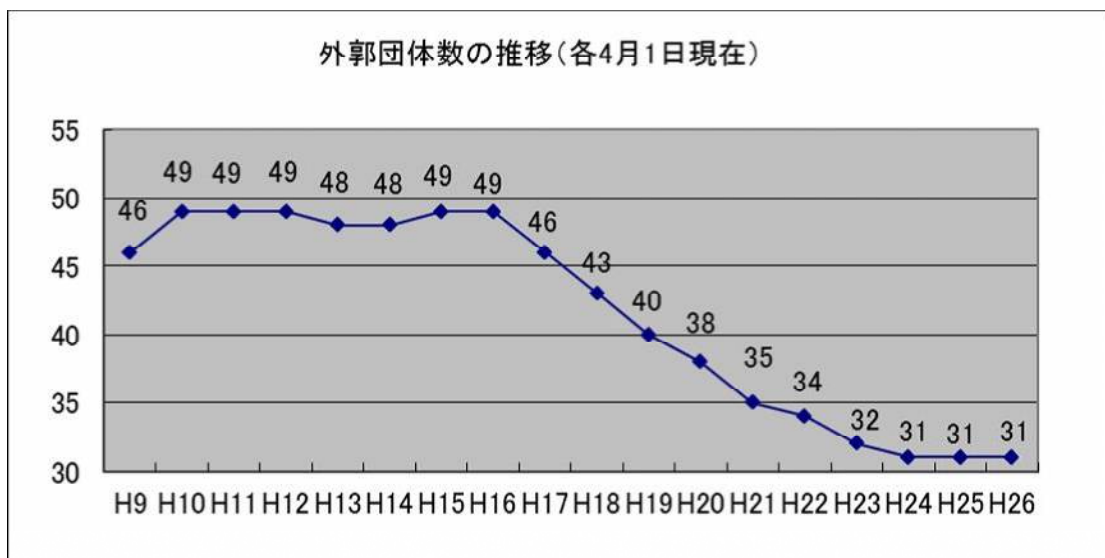
（※）本市からの補助金、委託料その他の支出、人的援助の状況等本市と法人との関係から判断して、本市が主体的に指導等を行う必要がない法人及び本市が設立した地方独立行政法人を除く。

#### 【法人形態別外郭団体数】

法人形態	団体数	全体に占める割合
地方三公社	2	6.5%
財団法人	22	71.0%
社会福祉法人	2	6.5%
株式会社	5	16.1%
合計	31	

### (3) 外郭団体数の推移

「京都市外郭団体改革計画」（平成16年7月）、「外郭団体のより抜本的な見直し方策」（平成18年2月）及び「京都未来まちづくりプラン」の「行財政改革・創造プラン」（平成21年2月）に基づき、外郭団体の統廃合等を推進した結果、団体数は31団体まで減少している。



## 2 決算の概況

### (1) 決算の概要

外郭団体数は、前年度と変わらず、31団体であった。

平成25年度決算において、単年度損益が黒字であった団体は20団体あり、前年度から3団体増加した。黒字団体のうち、前年度から黒字のまま推移した団体は11団体、赤字から黒字に転換した団体は9団体であった。単年度黒字団体の全団体に占める割合は、64.5%であり、前年度より9.7ポイント増加した。

一方、単年度損益が赤字であった団体は11団体あり、前年度から3団体減少した。赤字団体のうち、前年度から赤字のまま推移した団体は5団体、黒字から赤字に転換した団体は6団体であった。

また、累積欠損を有する団体は3団体で、前年度から2団体減少した。また、債務超過の団体は、前年度と変わらず0団体であった。

外郭団体全体の累積損益合計額は、22,502,374千円であり、前年度より1,150,362千円増加した。

#### 【外郭団体決算全般の状況】

区分	平成24年度(A)	平成25年度(B)	差引増減(B-A)
外 郭 団 体 数	31	31	増減なし
単年度黒字団体数	17	20	3
単年度赤字団体数	14	11	△3
累積欠損団体数	5	3	△2
うち債務超過団体数	0	0	増減なし
累積損益合計額(千円)	21,352,012	22,502,374	1,150,362

#### 【法人類型別 単年度損益の状況】

法人形態	平成24年度(A)		平成25年度(B)		差引増減(B-A)	
	黒字	赤字	黒字	赤字	黒字	赤字
地 方 公 社	1団体	1団体	0団体	2団体	△1団体	1団体
財 団 法 人 ・ 社 会 福 祉 法 人	14団体	10団体	16団体	8団体	2団体	△2団体
株 式 会 社	2団体	3団体	4団体	1団体	2団体	△2団体
合 計	17団体	14団体	20団体	11団体	3団体	△3団体

#### 【法人類型別 累積損益の状況】

法人形態	平成24年度(A)		平成25年度(B)		差引増減(B-A)	
	黒字	赤字	黒字	赤字	黒字	赤字
地 方 公 社	2団体	0団体	2団体	0団体	増減なし	増減なし
財 団 法 人 ・ 社 会 福 祉 法 人	22団体	2団体	23団体	1団体	1団体	△1団体
株 式 会 社	2団体	3団体	3団体	2団体	1団体	△1団体
合 計	26団体	5団体	28団体	3団体	2団体	△2団体



## (2) 団体別の決算状況

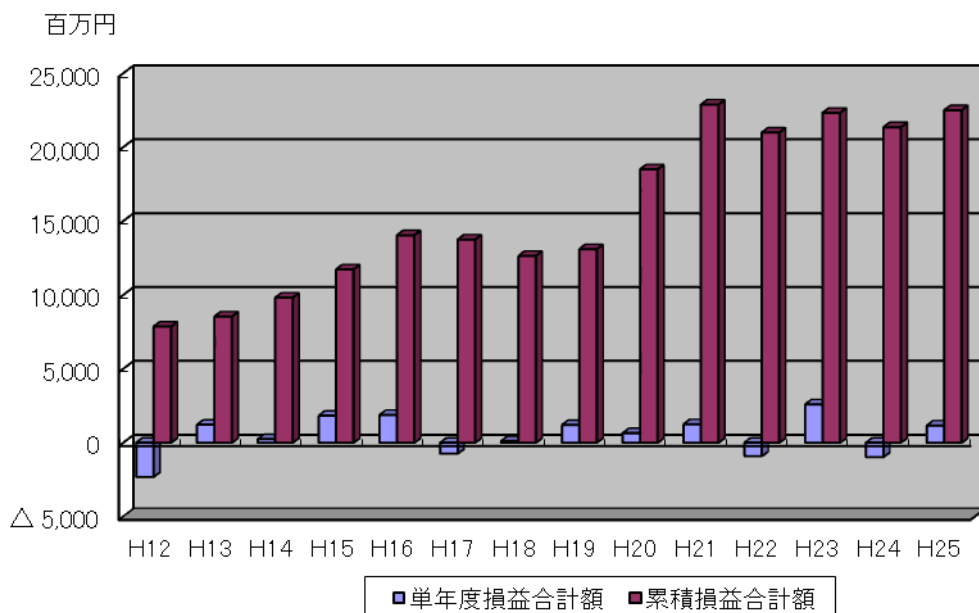
法人名	資本金又は基本財産 (千円)	出資率又は出えん率 (%)	単年度損益額(千円)		累積損益額(千円)	
			平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会	52,363	95.5	△ 3,867	5,179	56,426	61,605
京都市土地開発公社	20,000	100.0	116,659	△ 256,856	2,352,737	2,095,881
公益財団法人 京都市国際交流協会	100,000	100.0	460	18,632	151,600	170,232
公益財団法人 大学コンソーシアム京都	100,000	50.0	△ 32,553	985	265,249	266,235
公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所	932,366	100.0	△ 91,161	△ 39,773	△ 267,043	△ 306,816
公益財団法人 京都市ユースサービス協会	30,000	100.0	△ 8,039	14,896	21,338	36,234
公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会	50,000	100.0	15,012	△ 13,272	122,897	109,626
一般財団法人 京都市立浴場運営財団	50,000	100.0	2,268	△ 7,974	13,280	5,306
公益財団法人 京都市体育協会	115,000	26.1	29,440	△ 3,400	294,987	238,086
公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団	103,000	53.4	87,701	50,837	659,841	710,678
公益財団法人 京都市芸術文化協会	50,000	30.0	△ 3,338	10,010	45,096	55,106
公益財団法人 京都市森林文化協会	50,000	100.0	2,867	34,965	△ 9,988	24,977
公益財団法人 きょうと京北ふるさと公社	30,000	83.3	53,135	△ 6,630	123,094	116,464
公益財団法人 京都伝統産業交流センター	11,000	45.5	△ 1,147	△ 3,948	13,209	9,261
公益財団法人 京都高度技術研究所	300,000	33.3	426,361	1,878,594	502,655	2,381,249
株式会社 京都産業振興センター	90,000	60.0	23,965	21,460	309,666	331,127
公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会	25,000	100.0	10,480	1,578	204,216	205,794
公益財団法人 京都市健康づくり協会	50,000	100.0	2,304	2,458	37,570	40,028
社会福祉法人 京都社会福祉協会	1,000	100.0	△ 35,110	30,826	2,150,753	2,181,578
社会福祉法人 京都福祉サービス協会	50,000	100.0	281,056	299,196	8,967,538	9,266,734
京都市住宅供給公社	10,000	100.0	△ 538,922	△ 907,731	5,643,619	4,735,889
公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター	60,000	100.0	△ 5,514	9,284	129,164	138,448
京都御池地下街株式会社	3,495,000	58.4	△ 6,093	43,867	△ 1,076,727	△ 1,032,860
京都醍醐センター株式会社	3,400,000	29.4	△ 58,198	93,455	△ 2,349,379	△ 2,255,923
一般財団法人 京都市都市整備公社	11,000	100.0	△ 1,275,600	8,411	2,008,596	2,017,007
公益財団法人 京都市都市緑化協会	50,000	100.0	7,227	121	40,530	40,651
京都シティ開発株式会社	561,000	49.9	34,116	64,531	△ 4,468	59,607
一般財団法人 京都市防災協会	10,000	100.0	7,933	△ 76,807	79,668	42,861
京都地下鉄整備株式会社	40,000	55.0	△ 2,540	△ 8,296	189,403	181,107
一般財団法人 京都市上下水道サービス協会	16,000	25.0	△ 8,166	△ 100,704	609,639	508,934
公益財団法人 京都市生涯学習振興財団	80,000	100.0	1,771	422	66,846	67,268

(注) 単年度損益額及び累積損益額は、法人の種別に応じ、それぞれ次のとおり算出している。

法人の種別	単年度損益額	累積損益額
地方三公社	当期純利益	自己資本－資本金
財団法人	当期正味財産増減額	正味財産－基本金
株式会社	当期利益	自己資本－資本金
社会福祉法人	当年度純資産額－前年度純資産額	純資産－基本金

(3) 単年度損益合計額及び累積損益合計額の推移

「京都市版外郭団体経営評価システム」(8ページ参照)を導入した平成12年度と比較して、団体数は減少しているが、累積損益合計額は増加傾向にある。



(4) 本市からの財政支出等の状況

区分	平成24年度(A)	平成25年度(B)	差引増減(B-A)
本市からの委託料	13,459百万円	13,809百万円	350百万円
本市からの補助金	2,391百万円	2,480百万円	89百万円
本市からの貸付金	11,576百万円	11,811百万円	235百万円

(参考)平成25年度本市からの財政支出等及び人件費

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等					人件費						
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員(※1)		非常勤役員(※1)		職員		役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)
							有給 役員 数 (※2)	報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数	報酬総額 (千円) (B)	有給 職員 数 (※3)	給与・賞与 の合計額 (千円) (C)	
(公財)京都市環境保全活動推進協会(※5)	95.5%	32,910	381,432	233,094	1,084	0	1	7,400	0	0	88	240,201	247,601
京都市土地開発公社	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	1	600	1	747	1,347
(公財)京都市国際交流協会	100.0%	14,862	204,905	7,163	0	0	1	4,546	0	0	27	102,397	106,943
(公財)大学コンソーシアム京都	50.0%	0	182,000	10,154	0	0	1	3,336	0	0	19	73,861	77,197
(公財)京都市埋蔵文化財研究所	100.0%	0	369,775	344,595	32,535	650,000	0	0	8	245	41	241,922	242,167
(公財)京都市ユースサービス協会	100.0%	5,805	336,957	51,422	0	0	1	3,504	8	345	51	209,494	213,343
(公財)京都市男女共同参画推進協会	100.0%	0	183,680	3,680	0	0	2	4,688	11	513	28	87,054	92,255
(一財)京都市立浴場運営財団	100.0%	21,801	423,500	0	0	0	0	0	0	0	117	271,679	271,679
(公財)京都市体育協会	26.1%	13,234	172,921	25,570	0	0	1	6,770	0	0	26	99,929	106,699
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	53.4%	622,097	485,693	10,381	0	0	1	1,634	9	268	159	833,436	835,338
(公財)京都市芸術文化協会	30.0%	26,791	143,753	14,833	5,175	18,090	1	5,856	13	1,495	18	60,671	68,022
(公財)京都市森林文化協会	100.0%	34,453	67,372	62,647	16,641	0	0	0	12	2,193	13	40,616	42,809
(公財)きょうと京北ふるさと公社	83.3%	50,785	48,120	41,820	0	0	2	4,200	0	0	47	95,654	99,854
(公財)京都伝統産業交流センター	45.5%	0	73,400	73,400	10,165	0	1	4,596	14	97	12	28,392	33,085
(公財)京都高度技術研究所	33.3%	879,935	385,253	385,253	31,422	0	0	0	1	2,530	145	477,964	480,494
(株)京都産業振興センター	60.0%	0	51,431	51,431	0	0	1	6,480	0	0	37	114,509	120,989
(公財)京都市障害者スポーツ協会	100.0%	0	227,277	0	0	0	0	0	0	0	31	106,192	106,192
(公財)京都市健康づくり協会	100.0%	0	122,532	42,176	3,840	0	2	7,843	0	0	61	74,817	82,660
(福)京都社会福祉協会	100.0%	252,354	363,328	94,002	0	0	0	0	0	0	665	2,222,748	2,222,748
(福)京都福祉サービス協会	100.0%	38,297	334,979	170,446	0	0	1	4,132	6	680	3,092	5,933,121	5,937,933

団体名	出資率 (%)	本市からの財政支出等					人件費						
		補助金 (千円)	委託料 (千円)	うち競争性 のない 随意契約 (千円)	うち再委託 金額 (千円)	貸付金 (千円)	常勤役員(※1)		非常勤役員(※1)		職員		役員報酬及び 有給職員の 給与・賞与の 合計額 (A)+(B)+(C)
							有給 役員 数 (※2)	報酬総額 (千円) (A)	有給 役員 数	報酬総額 (千円) (B)	有給 職員 数 (※3)	給与・賞与の 合計額 (千円) (C)	
京都市住宅供給公社	100.0%	39,259	5,341,047	839,077	513,177	4,675,000	2	12,976	1	1,800	238	716,524	731,300
(公財)京都市景観・まちづくりセンター	100.0%	45,640	45,000	0	0	0	1	7,279	0	0	14	40,571	47,850
京都御池地下街(株)	58.4%	372,005	336,614	160,060	51,860	6,468,362	2	8,300	0	0	17	59,081	67,381
京都醍醐センター(株)	29.4%	0	118,535	19,424	10,864	0	2	9,698	1	360	12	44,004	54,062
(一財)京都市都市整備公社	100.0%	0	221,657	6,000	2,272	0	3	17,435	0	0	149	558,785	576,220
(公財)京都市都市緑化協会	100.0%	27,084	130,219	24,419	0	0	0	0	9	299	24	71,195	71,494
京都シティ開発(株)	49.9%	0	207,704	59,818	21,348	0	3	17,112	7	866	28	142,221	160,199
(一財)京都市防災協会	100.0%	0	145,379	8,658	1,340	0	1	7,060	0	0	14	39,636	46,696
京都地下鉄整備(株)	55.0%	0	270,108	270,108	0	0	1	6,000	3	480	48	153,090	159,570
(一財)京都市上下水道サービス協会	25.0%	0	971,526	643,914	58,123	0	2	11,031	2	60	114	552,991	564,082
(公財)京都市生涯学習振興財団	100.0%	2,886	1,463,212	1,463,212	0	0	0	0	15	258	222	799,715	799,973
合 計	-	2,480,198	13,809,309	5,116,757	759,846	11,811,452	33	161,876	121	13,089	5,558	14,493,217	14,668,182

(注) 平成26年3月31日現在

(※1) 役員に評議員は含まない。

(※2) 有給役員数については、役員と職員を兼務している場合、役員報酬として支払っている場合は役員に含め、職員給与として支払っている場合は職員に含めている。

(※3) 有給職員数は、正規職員、非正規職員及び本市派遣職員の合計である。

また、有給職員数は、平成26年3月31日時点の人数であり、平均額は年度途中の職員数の増減を反映したものではない。

(※4) 給与・賞与の合計額は、各団体が職員に支払った給与及び賞与の総額である。

(※5) 「(財)京都市環境事業協会」は、平成26年4月1日付で「(公財)京都市環境保全活動推進協会」に名称変更している。

## Ⅱ 各団体の決算状況等

## 各団体の決算状況等について

各団体の決算状況等については、次の内容を掲載している。

### 第1 法人の概要

代表者，所在地，電話番号，ホームページアドレス，設立年月日，基本財産（又は資本金），事業目的，業務内容，所管部局，役員名等，常勤職員数及び組織機構を掲載している。

### 第2 経営状況

#### 1 平成25年度決算

##### (1) 事業報告

平成25年度事業報告書を基に作成している。

##### (2) 財務諸表

平成25年度決算書を基に作成している。掲載している財務諸表については、次のとおりである。

法人形態	内容
土地開発公社	貸借対照表，損益計算書，キャッシュフロー計算書
住宅供給公社	貸借対照表，損益計算書，剰余金計算書，キャッシュフロー計算書
財団法人	貸借対照表，正味財産増減計算書
株式会社	貸借対照表，損益計算書，株主資本等変動計算書
社会福祉法人	資金収支計算書，事業活動収支計算書，貸借対照表

#### 2 平成26年度事業計画

##### (1) 事業計画の概要

平成26年度事業計画書を基に作成している。

##### (2) 予算

平成26年度予算書を基に作成している。

##### (参考1) 財務状況の推移

財務諸表上の主要な勘定科目の過去3年間の決算額及び今年度予算額（予算書上数値が把握できるものに限る。）を記載している。

##### (参考2) 京都市からの補助金等

京都市からの委託料，補助金，貸付金等の過去3年間の決算額及び今年度予算額（委託料を除く。）を記載している。

なお，指定管理業務において一部利用料金制（委託料と利用料金制の併用）を採用している場合は，その旨を表示している。

### 第3 経営評価結果

平成25年度決算，経営努力結果等に基づく経営評価結果（※）を掲載している。

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

所管局による経営評価結果を掲載している。

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

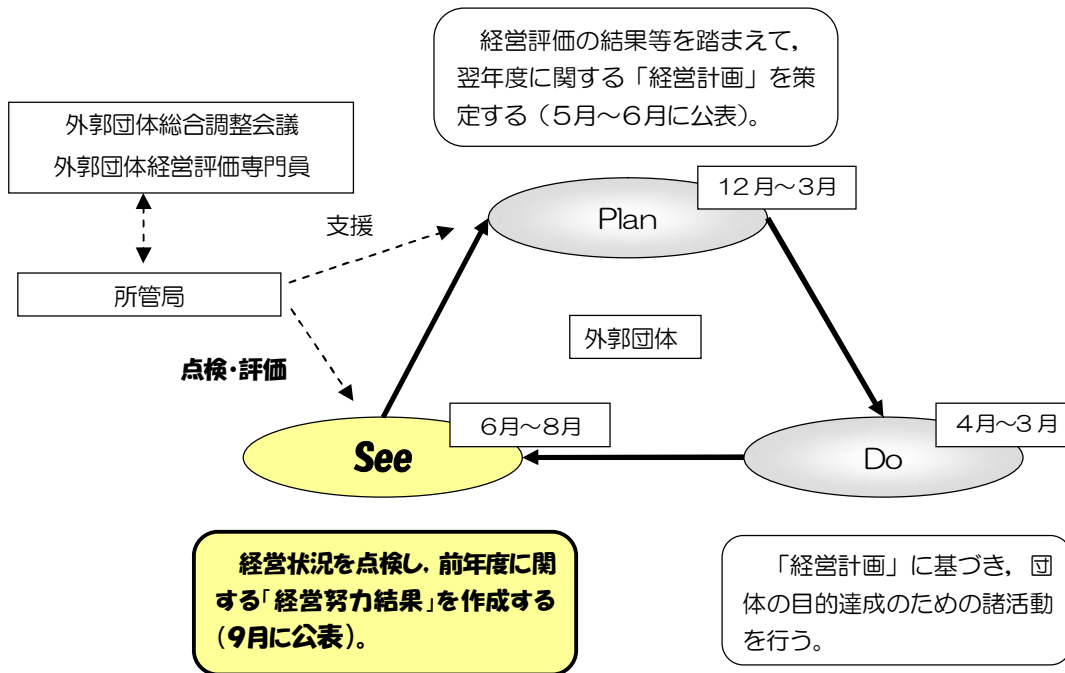
外郭団体総合調整会議による評価コメントを掲載している。

(※) 外郭団体経営評価について

1 京都市版外郭団体経営評価システムの概要

外郭団体の自主的な経営改善を促進することを目的として、外郭団体自らによる経営計画等の策定の支援や各団体の経営状況等の客観的な点検・評価の実施を行う。

【「京都市版外郭団体経営評価システム」の概念図】



2 評価者

各外郭団体の平成25年度決算及び各外郭団体が策定し、公表した平成25年度経営計画に対する経営努力結果（※1）を基に、外部の有識者である外郭団体経営評価専門員（※2）からの助言を得ながら、所管局及び本市外郭団体総合調整会議（※3）において評価している。

3 評価結果の活用

外郭団体は、評価結果を踏まえ、平成27年度経営計画を策定する。また、本市は、全外郭団体の経営計画を取りまとめ、平成27年5月に公表する予定である。

(※1) 経営努力結果は、「外郭団体の指導調整」のホームページに掲載している。

アドレス：<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-22-0-0-0-0-0-0-0.html>

(※2) 外郭団体経営評価専門員

京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例第14条に基づき、外郭団体経営評価について、専門的な知識経験に基づく助言を行わせるため、市長が委嘱した経営に関し優れた識見を有する者

- ・ 真山達志（同志社大学副学長・政策学部教授）
- ・ 横井 康（公認会計士）

(※3) 外郭団体総合調整会議

行財政局及び総合企画局の局長等で構成し、外郭団体の経営評価結果、経営計画等について審議し、必要な指導調整等を行う会議

環境政策局



# 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 高月紘

### 2 所在地

京都市伏見区深草池ノ内町13番地

### 3 電話番号

075-641-0911

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyako-eco.jp/>（京都市環境保全活動センター）

### 5 設立年月日

平成13年2月14日

### 6 基本財産

52,363千円（うち本市出えん額50,000千円，出えん率95.5%）

### 7 事業目的

持続可能な社会，すなわち低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため，市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め，広く環境保全活動を推進することにより，環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 環境意識の普及，啓発に関する事業
- (2) 環境情報の発信事業
- (3) 環境保全に関する調査，研究に関する事業
- (4) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (5) 環境保全のための市民，事業者等との連携，支援に関する事業
- (6) 環境意識の向上のための国際的な連携，支援に関する事業
- (7) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (8) その他，この法人の公益目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

環境政策局地球温暖化対策室（TEL075-222-4555）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

高月紘

#### (2) 専務理事

新喜富雄

#### (3) 理事

杵本育生，田浦健朗，橋本直子，花田真理子，久山喜久雄，水山光春，  
宮崎秀夫（環境政策局地球温暖化対策室担当部長）

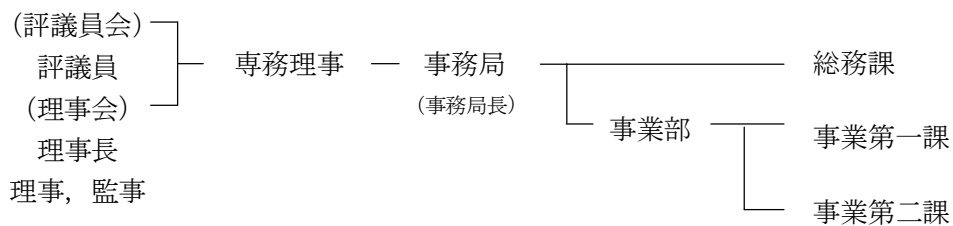
#### (4) 監事

野村克章，三宅英知（環境政策局環境企画部長）

### 11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員1人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 環境意識の普及・啓発及び環境活動の実践に関する事業  
世界一美しいまち・京都推進に関する事業
  - (ア) 街頭ごみ容器内のごみ回収作業
  - (イ) 市民・事業者による美化活動の支援
  - (ウ) 公衆便所の清掃, 維持管理作業
- イ 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務
  - (ア) いろいろな主体が学び, 育つステージの提供
  - (イ) いろいろな主体による環境保全活動への支援と連携
  - (ウ) 持続可能な地域社会への提案, 情報発信と交流
- ウ 受託事業
  - (ア) エコ学区「学習会等支援事業」
  - (イ) 暮らしの匠事業
  - (ウ) JICA 国別研修「中国・環境教育」
  - (エ) 電気自動車の普及・啓発のための充電設備管理業務
- エ 自主事業
  - 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引
I. 資産の部				
1. 流動資産	[156,002]	[104,730]	[55,334]	[4,063]
現金預金	133,838	93,360	40,478	
未収金	22,087	11,367	14,782	4,063
前払金	76	2	74	
2. 固定資産	[53,825]	[52,425]	[1,401]	
(基本財産)	(52,363)	(52,363)	( 0)	
投資有価証券	50,000	50,000	0	
定期預金	2,359	2,359	0	
普通預金	4	4	0	
(その他固定資産)	(1,462)	(61)	(1,401)	
什器備品	12,164	788	11,376	
減価償却累計額	△ 10,724	△ 749	△ 9,975	
投資有価証券	22	22	0	
資産合計	209,827	157,155	56,735	4,063
II. 負債の部				
1. 流動負債	[95,859]	[71,938]	[27,983]	[4,063]
未払金	95,235	71,331	27,966	4,063
預り金	623	607	16	
負債合計	95,859	71,938	27,983	4,063
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	[52,363]	[52,363]	[0]	
寄付金	52,363	52,363	0	
(うち基本財産への充当額)	(52,363)	(52,363)	( 0)	
2. 一般正味財産	[61,605]	[32,853]	[28,752]	
正味財産合計	113,969	85,216	28,752	
負債及び正味財産合計	209,827	157,155	56,735	4,063

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	内部取引
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	44	44	0	
② 事業収益	383,752	214,238	169,514	
③ 受取補助金	39,741	37,644	2,097	
④ 雑収益	89	0	89	
経常収益計	423,626	251,926	171,700	
(2) 経常費用				
① 事業費	373,581	202,329	171,253	
② 管理費	44,824	44,824	0	
経常費用計	418,405	247,152	171,253	
当期経常増減額	5,221	4,773	448	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	42	42	0	
当期経常外増減額	△ 42	△ 42	0	
当期一般正味財産増減額	5,179	4,731	448	
一般正味財産期首残高	56,426	28,122	28,305	
一般正味財産期末残高	61,605	32,853	28,752	
II. 指定正味財産増減の部				
① 基本財産償還損益	△ 4	△ 4	0	
② 基本財産運用益	25	25	0	
③ 一般正味財産への振替額	△ 21	△ 21	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	52,363	52,363	0	
指定正味財産期末残高	52,363	52,363	0	
III. 正味財産期末残高	113,969	85,216	28,752	

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

ア いろいろな主体が学び、育つステージの提供（人づくり、場づくり、仕組みづくり）

(ア) 館内・館外の環境学習プログラムの開発・実践

- a 環境学習プログラムの開発及び実践
- b 環境副読本の作製及び配付
- c 展示の企画，開発，保守，改善

(イ) 環境ボランティアの育成・支援

- a ボランティアの育成及び支援（新規養成講座）
- b ボランティアの育成及び支援（ステップアップ研修）

(ウ) 大人から子どもまで環境人づくり

- a 環境教育リーダースタートアップ講座
- b 自然エネルギー普及・啓発プログラム
- c 事業者向け環境出前講座セミナー
- d 教育関連連携事業「京都発 エコデザイン学」
- e 京都教育大学・総合演習「環境教育の実践」
- f エコセンクラブ
- g 大学生インターンシップ
- h かえっこバザール
- i 森林・山村多面的機能発揮対策

イ いろいろな主体による環境保全活動への支援

(ア) 地域コミュニティにおける環境保全活動支援・連携

- a 地域支援事業
- b エコ学区事業
- c 「くらしの匠」事業

(イ) NPOをはじめとする環境保全活動団体への支援・連携  
環境保全活動助成

(ウ) 事業者，教育機関による環境保全活動への支援・連携

ウ 持続可能な地域社会への提案・連携

(ア) 情報発信・広報対策

- a 広報紙，機関紙の発行
- b ホームページの運用
- c 外部出展
- d 京都・環境教育ミーティング
- e 中国環境教育拠点づくりプロジェクト支援事業への支援
- f 電気自動車の普及，啓発のための充電設備の管理業務

(イ) イベントの企画と実施

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	50	0	0	50
② 事業収益	173,938	137,885	5,044	31,009
③ 受取補助金等	660	500	0	160
④ 雑収益	50	25	0	25
経常収益計	174,698	138,410	5,044	31,244
(2) 経常費用				
① 事業費	146,405	142,309	4,096	0
② 管理費	33,883	0	0	33,883
経常費用計	180,288	142,309	4,096	33,883
当期経常増減額	△ 5,590	△ 3,899	948	△ 2,639
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,590	△ 3,899	948	△ 2,639
一般正味財産期首残高	50,832			
一般正味財産期末残高	45,242			
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0			
指定正味財産期首残高	52,363			
指定正味財産期末残高	52,363			
III. 正味財産期末残高	97,605			

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	816,904	753,685	423,626	174,698
	当期経常増減額	4,344	△3,768	5,221	△5,590
	当期正味財産増減額	4,344	△3,867	5,179	△5,590
貸借対照表	総資産	285,594	256,570	209,827	
	総負債	172,937	147,781	95,859	
	正味財産	112,656	108,790	113,969	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市環境保全活動センター (指定管理)	157,372	148,338	148,338	152,577
	「世界一美しいまち・京都」推進事業	331,995	328,073	214,238	
	クリーンセンター管理業務	129,324	75,181		
	北部資源リサイクルセンター資源ごみ選別処理業務	146,076	148,586		
	低炭素のモデル地区「エコ学区」事業に係る「くらしの匠」事業	2,400	2,400		
	エコ学区事業に係る「くらしの匠」事業			3,643	
	エコ学区事業に係る学習会等支援事業			15,113	
	電気自動車用充電設備管理業務	100	100	100	
補助金	運営補助	40,939	41,114	32,910	

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>主たる業務が京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）の指定管理業務となったことから、委託事業の縮小により収益額は減少したものの、費用の減少額が上回ったことにより正味財産増減額は黒字に転換している。また、資金繰りについても、短期、長期ともに十分な支払能力を有しており、財務面で問題はない。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>公益財団法人への移行に伴い、主たる業務が京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）の指定管理業務となった。当業務については、これまでも特別会計として実施してきており、事業運営面の問題はない。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>経費削減などにより財務面は改善されているが、引き続き、安定的かつ効率的な運営に努めてほしい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>団体の事業内容が変化しているが、引き続き、安定的かつ効率的に事業を展開してほしい。</li></ul>



行 財 政 局

# 京都市土地開発公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 後藤友宏

### 2 所在地

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 京都市役所内

### 3 電話番号

075-222-3870

### 4 ホームページアドレス

<http://www2.odn.ne.jp/kyoto-tkk/>

### 5 設立年月日

昭和 48 年 2 月 5 日

### 6 資本金

20,000 千円（うち本市出えん額 20,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

公共用地，公用地等の取得，管理，処分等を行うことにより，地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

(1) 公共用地，公用地等の取得，管理，処分等

(2) 国等の委託に基づき，土地の取得のあっせん，調査，測量等

※ 平成 25 年度以降，公社による公共用地の先行取得は行わず，京都市及び京都市以外の者への保有地の売却を進めることになった。

### 9 所管部局

行財政局財政部財産活用促進課（TEL075-222-3281）

### 10 役員名等

(1) 理事長

後藤友宏（行財政局財政担当局長）

(2) 副理事長

西村潔（行財政局財政部財産活用担当部長）

(3) 専務理事

田中俊成（行財政局財政部財産活用促進課財産管理・土地開発公社担当課長）

(4) 理事

西村隆（公営企業管理者交通局長），水田雅博（公営企業管理者上下水道局長），

岡田憲和（総合企画局長），黒田芳秀（都市計画局長），藤原正行（建設局長），

生田義久（教育長）

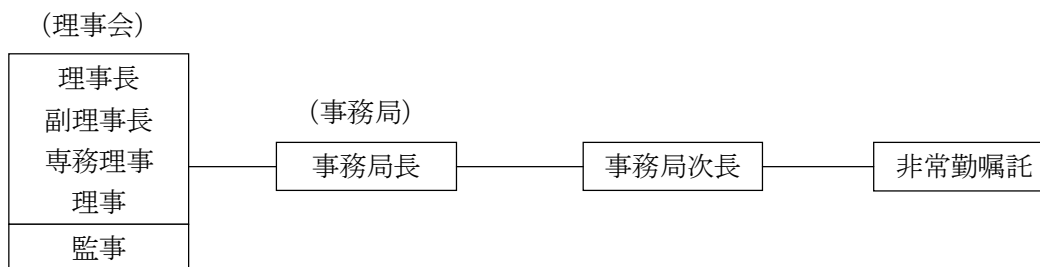
(5) 監事

近藤一郎

### 11 常勤職員数

0 人（うち本市派遣職員 0 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

ア 土地の取得

新規取得なし

イ 土地の売却

道路用地など合計 3,022 m<sup>2</sup>を京都市等に売却した。

ウ 附帯等事業

保有地をその利用目的に供するまでの有効活用として、駐車場施設などに有償貸付けを行うほか、公共事業推進のための使用などについては無償で貸付けを行った。

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[18,644,921]	流動負債	[2,058,397]
現金及び預金	1,875,158	未払金	2,142
未収収益	1,182	短期借入金	2,000,000
公有用地	16,267,957	未払費用	22,255
特定土地	494,000	その他の流動負債	34,000
前払費用	6,624		
固定資産	[529,357]	固定負債	[15,000,000]
(有形固定資産)	(8,720)	公社債	13,000,000
建物又はその附属設備	27,472	長期借入金	2,000,000
減価償却累計額	△ 26,040	負債合計	17,058,397
構築物	24,421	資本の部	
減価償却累計額	△ 17,179	資本金	[20,000]
工具、器具及び備品	918	基本財産	20,000
減価償却累計額	△ 872	準備金	[2,095,881]
(無形固定資産)	(383)	前期繰越準備金	2,352,737
電話加入権	100	当期純損失	△ 256,856
その他の無形固定資産	283		
(投資その他の資産)	(520,254)	資本合計	2,115,881
長期定期預金	500,000		
長期前払費用	20,254	負債及び資本合計	19,174,278
資産合計	19,174,278		

損 益 計 算 書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		金 額	
1	事業収益		
(1)	公有地取得事業収益	1,820,656	
(2)	附帯等事業収益	40,089	1,860,745
2	事業原価		
(1)	公有地取得事業原価	1,156,242	
(2)	附帯等事業原価	8,773	1,165,015
	事業総利益		695,730
3	販売費及び一般管理費		8,321
	事業利益		687,408
4	事業外収益		
(1)	受取利息	751	
(2)	雑収益	3,591	4,343
5	事業外費用		
(1)	支払利息	70	70
	経常利益		691,681
6	特別損失		
(1)	土地評価損	946,740	
(2)	固定資産除却損	1,603	
(3)	固定資産売却損	192	
(4)	前期損益修正損	1	948,536
	当期純損失		△ 256,856

キャッシュフロー計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度
I 事業活動によるキャッシュフロー	
1 公有地取得事業収入	2,127,728
2 その他事業収入	78,122
3 公有地取得事業支出	△ 142,851
4 その他事業支出	△ 18,550
5 人件費支出	△ 27,950
6 その他の業務支出	△ 5,888
小計	2,010,611
7 利息の受取額	751
8 利息の支払額	△ 70
事業活動によるキャッシュフロー	2,011,292
II 投資活動によるキャッシュフロー	
1 定期預金の預入れによる支出	0
2 定期預金の引出しによる収入	1,161,000
3 有形固定資産の取得による支出	0
投資活動によるキャッシュフロー	1,161,000
III 財務活動によるキャッシュフロー	
1 短期借入れによる収入	9,700,000
2 短期借入金の返済による支出	△ 24,700,000
3 長期借入れによる収入	13,000,000
4 長期借入金の返済による支出	0
財務活動によるキャッシュフロー	△ 2,000,000
IV 現金及び現金同等物増加額	1,172,292
V 現金及び現金同等物期首残高	193,866
VI 現金及び現金同等物期末残高	1,366,158

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 土地の取得

新規取得は行わない。

イ 土地の売却

道路用地など合計 5,352 m<sup>2</sup>を京都市等に売却する。

ウ 附帯等事業

保有地をその利用目的に供するまでの有効活用として、駐車場施設などに有償貸付けを行うほか、公共事業推進のための使用などについては無償で貸付けを行う。

## (2) 予算

## 収 支 計 画

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業収益	[1,541,000]	事業原価	[1,507,000]
公有地取得事業収益	1,511,000	公有地取得事業原価	1,498,000
附帯等事業収益	30,000	附帯等事業原価	9,000
		販売費及び一般管理費	[7,000]
		人件費	2,000
		経費	5,000
事業外収益	[1,000]	事業外費用	[1,000]
受取利息	1,000	支払利息	1,000
		予備費	[10,000]
資本的収入	[500,000]	資本的支出	[2,142,000]
借入金	500,000	公有地取得事業費	141,000
		借入金償還金	2,000,000
		固定資産取得費	1,000
		予備費	[10,000]
収入合計	2,042,000	支出合計	3,677,000

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	事業収益	10,711,935	13,630,385	1,860,745	1,541,000
	経常利益	103,402	116,659	691,681	17,000
	当期純利益	103,402	116,659	△256,856	17,000
	減価償却前利益	106,307	119,105	△255,070	
貸借対照表	総資産	34,059,057	21,413,986	19,174,278	
	総負債	31,802,979	19,041,249	17,058,397	
	うち本市の債務保証 契約に係る債務残高	31,750,000	19,000,000	17,000,000	
	純資産	2,256,078	2,372,737	2,115,881	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
その他	地方職員共済組合負担金	495	475		

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度においても保有地の解消を着実に実施し、経常利益は黒字となったが、同年度末に一部土地の時価評価換えによる特別損失を計上したことから、赤字決算となった。</li><li>保有地解消による借入金の減少及び公社債を中心とした資金調達により、金利負担を大幅に圧縮した。</li><li>公社経営において本市の財政負担が生じないよう、公社の管理経費を大幅に削減した。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度末の保有地の期末残高は、ピーク時の平成 8 年度末に比べ、保有面積は約 76%、保有額は約 87%減少している。</li><li>公社による先行取得は行わないこととしており、引き続き、本市及び本市以外の者への保有地の売却を進める。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>土地の時価評価による特別損失のため、最終利益は赤字となっているが、経費削減により経常利益は大きく増加している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>保有地解消に向けて、計画的に保有地の売却を進めることが必要である。</li></ul>

# 総合企画局



# 公益財団法人京都市国際交流協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 千玄室

### 2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

### 3 電話番号

075-752-3010

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kcif.or.jp/>

### 5 設立年月日

平成元年1月18日

### 6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

千玄室

#### (2) 専務理事

山内清

#### (3) 理事

有田典代，小川伸彦，陳萍，高木壽一，高田光治，高溝良輔（総合企画局国際化推進室長），  
仲尾宏，浜田麻里

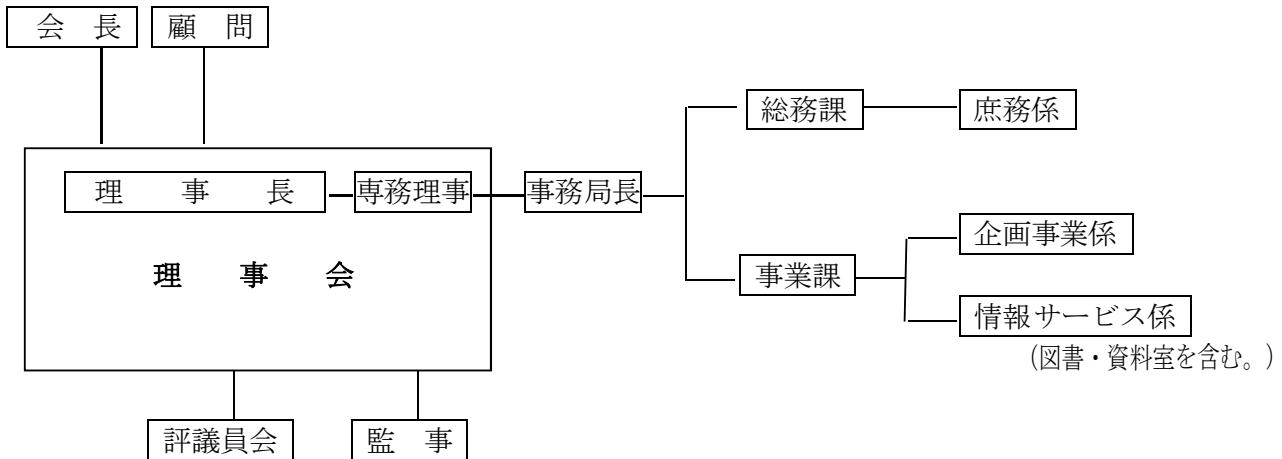
#### (4) 監事

辻智之（総合企画局総合政策室長），藤井龍美

### 11 常勤職員数

18人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 25 年度決算

(1) 事業報告

ア 市民への情報提供, 相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 東日本大震災被災者支援事業
- (ウ) 日本における海外メディアの現状
- (エ) 企業等コラボ事業
- (オ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 助成金事業
- (イ) ボランティア活動育成事業
- (ウ) 担い手育成事業
  - a 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
  - b インターン受入事業
  - c 社会見学受入事業
  - d 「体験しよう！ボランティア活動で出会う京都～1 day volunteer in Kyoto」(外国籍市民向けボランティア体験事業)
  - e 日本語教室開講に対する支援

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
  - a ロングステイセミナー「フィリピン・セブ島の語学留学とロングステイ」
  - b フォーラム「チョゴリときもの」ー京都「在日」のひとびとー  
(特別永住者としてのコリアンの歴史や現状に対する理解を深めるとともに, 日本の真の国際化, 豊かな共生社会の推進を考える連続フォーラム)
  - c アジアの風文庫 No. 28 (連続フォーラム「チョゴリときもの」の内容を小冊子に取りまとめ, 在日コリアンの歴史や現状への理解を促進)
  - (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
    - a kokoka オープンデイ 2013～10 回目の大感謝祭！～(京都市国際交流会館の存在

- を知っていただくことを目的に開催する国際交流イベント)
- b 子どものための国際理解教育協働促進事業
  - c 世界の絵本展
  - d KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
  - e やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
  - f 館長のサロン～フランス語入門
  - g 館長のイングリッシュサロン
  - h ほっこり BOOK カフェ（多文化共生社会の基本概念を広めるために、外国籍市民と日本人がお互いの意見を交換することで、多様なものの見方や考え方を知る事業）
  - i 京都市国際文化市民交流促進サポート事業（京都市内の団体からの依頼に応じて、研修やイベントなどの各種催しに、外国にルーツを持つ方々を講師として派遣する事業）
  - j Malam Indonesia インドネシアのタベ 2013（日本社会にインドネシアの文化を紹介する国際交流事業）
  - k LOOK ASIA -京都アジア塾-（アジアへの見聞を広める文化理解講座）
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
- a 医療通訳派遣事業
  - b コリアンサロン「めあり」（朝鮮半島の歴史、文化の紹介や在日韓国・朝鮮人に対する理解を目指し、韓国民団京都府本部、朝鮮総聯京都府本部、当協会の3団体が共同で実施する文化事業）
  - c 外国人のための住宅支援事業
  - d 健康フィエスタ Health Fiesta（外国籍市民を対象とする健康増進及び普及啓発事業）
  - e 外国籍市民コミュニケーション支援事業（行政通訳・相談事業、行政通訳相談員実務研修、京都市新生児訪問等通訳者派遣）
  - f 災害時における外国人支援（「地震・緊急時行動マニュアル」の発行、「京都市総合防災訓練」への参加、防災訓練、多言語便利情報（外国籍市民向けメールマガジン）の運営）
  - g 京都地域外国人コミュニティ基礎調査
  - h 錦林東山学区区民体育祭への参加
  - i グローバル婚活 koko コン
- オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業
- (ア) 京都地域留学生交流推進協議会への参画
  - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
  - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
  - (エ) 留学生のための就職支援事業
  - (オ) 留学生優待プログラム
  - (カ) 外国人歓迎会
- カ 広報・出版事業
- (ア) 広報・出版関係（年報『Annual Report』の発行）
  - (イ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
- ク 京都市国際交流会館の運営
- (ア) 貸施設関係
  - (イ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
  - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
  - (エ) 岡崎魅力づくり推進協議会への参画
  - (オ) 「春！kokoka おもてなし広場」の実施（日本庭園を無料で開放するとともに、夜間は建物のライトアップ等を実施）
  - (カ) 節電推進企画「cool kokoka」の実施

ケ 理事会等の開催

(2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	515	773	△ 258
預金	33,535	25,998	7,537
未収金	4,245	0	4,245
流動資産合計	[38,295]	[26,771]	[11,524]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	97,855	100,000	△ 2,145
普通預金	2,145	0	2,145
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	( 0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	73,041	67,360	5,681
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(173,041)	(167,360)	(5,681)
(その他固定資産)			
定期預金	2,098	2,098	0
投資有価証券	29,980	30,000	△ 20
什器備品	894	1,366	△ 472
絵画等	9,700	9,700	0
保証金	600	600	0
その他固定資産合計	(43,272)	(43,764)	(△ 492)
固定資産合計	[316,313]	[311,124]	[5,189]
資産合計	354,608	337,895	16,714
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,008	3,571	△ 1,563
預り金	898	1,822	△ 924
前受金	0	503	△ 503
流動負債合計	[2,907]	[5,897]	[△ 2,990]
2. 固定負債			
退職給付引当金	81,470	80,398	1,072
固定負債合計	[81,470]	[80,398]	[1,072]
負債合計	84,377	86,295	△ 1,918
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出損金	100,000	100,000	0
寄付金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[70,232]	[51,600]	[18,632]
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(△ 8,429)	(△ 13,037)	(4,608)
正味財産合計	[270,232]	[251,600]	[18,632]
負債及び正味財産合計	354,608	337,895	16,714

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	18,550	4,235	14,316
②特定資産運用益	3,558	4,037	△ 479
③事業収益	251,890	247,332	4,558
④受取補助金等	19,062	16,157	2,905
⑤受取寄附金	1,250	1,033	217
⑥雑収益	287	165	122
⑦委託料収益	7,300	4,900	2,400
経常収益計	301,898	277,859	24,039
(2) 経常費用			
①事業費	274,455	264,110	10,345
②管理費	8,812	13,289	△ 4,478
経常費用計	283,266	277,399	5,867
評価損益等調整前当期経常増減額	18,632	460	18,172
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	18,632	460	18,172
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	18,632	460	18,172
一般正味財産期首残高	51,600	51,140	460
一般正味財産期末残高	70,232	51,600	18,632
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	270,232	251,600	18,632

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業概要

#### ア 開館 25 周年記念

- (ア) 多文化共生シンポジウム
- (イ) 20 歳の誓い・10 年プラン中間見直し報告書作成
- (ウ) 京都市の国際化についての意識アンケート実施
- (エ) 商標登録

#### イ 市民への情報提供, 相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

#### ウ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク
- (イ) 共催事業・後援事業
- (ウ) 企業等コラボ事業
- (エ) 東日本大震災被災者支援事業

#### エ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 助成金事業
- (イ) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (ウ) ボランティア活動育成事業
- (エ) インターン受入事業
- (オ) 社会見学受入事業
- (カ) ボランティアによる日本語教室開講に対する支援

#### オ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等  
フォーラム「チョゴリときもの」
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
  - a 国際交流会館オープンデイ
  - b 国際理解プログラム「PICNIK」
  - c 国際理解教材の貸出
  - d 京都市国際文化市民交流促進サポート事業
  - e 世界の絵本展
  - f KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
  - g やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
  - a 医療通訳派遣事業
  - b コリアンサロン「めあり」
  - c 外国人のための住宅支援事業
  - d 災害時における外国籍市民支援（地震・緊急時行動マニュアルの発行, 避難所訓練の実施, 多言語便利情報の運営, 「京都市総合防災訓練」への参加）
  - e 多文化コミュニティ協働事業
  - f グローバル婚活 koko コン
  - g 区民体育祭への参加

#### カ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業

- (ア) 京都地域留学生交流推進協議会への参画
- (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
- (ウ) 留学生就職支援事業

- (エ) 外国人歓迎会
- (オ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
- (カ) 留学生優待プログラム
- キ 広報, 出版, 広告事業
  - (ア) 広報, 出版関係
  - (イ) 広告関係
- ク サポーター事業
  - kokoka サポートクラブ (国際交流協会のサポート制度)
- ケ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
- コ 京都市国際交流会館の運営
  - (ア) 施設管理及び貸出施設の運営
  - (イ) 京都市国際交流会館の前庭の活用
  - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
  - (エ) 岡崎魅力づくり推進協議会への参画

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,000	2,000	0
② 特定資産運用益	3,700	3,000	700
③ 事業収益	256,305	251,490	4,815
④ 受取補助金等	26,340	22,919	3,421
⑤ 受取寄附金	1,866	1,700	166
⑥ 委託料収益	5,116	6,300	△ 1,184
⑦ 雑収益	202	202	0
経常収益計	295,529	287,611	7,918
(2) 経常費用			
① 事業費	298,275	292,379	5,896
② 管理費	9,951	7,012	2,939
経常費用計	308,226	299,391	8,835
当期経常増減額	△ 12,697	△ 11,780	△ 917
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般財産増減額	△ 12,697	△ 11,780	△ 917
一般正味財産期首残高	72,413	58,489	13,924
一般正味財産期末残高	59,716	46,709	13,007
II 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産金末残高	200,000	200,000	0
III 正味財産期末残高	259,716	246,709	13,007



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	271,667	277,859	301,898	295,529
	当期経常増減額	△5,665	460	18,632	△12,697
	当期正味財産増減額	△10,261	460	18,632	△12,697
貸借対照表	総資産	336,779	337,895	354,608	
	総負債	85,638	86,295	84,377	
	正味財産	251,140	251,600	270,232	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理)	197,742 (※)	197,742 (※)	197,742 (※)	203,392 (※)
	行政通訳・相談事業	2,400	2,400	2,400	
	平和祈念事業	500	500	500	
	留学生優待プログラム	1,600	1,600	2,000	
	国際文化市民交流促進サポート 事業	400	400	400	
	乳幼児健診等への通訳派遣	345	595	863	
	ボランティアの魅力を知るセミナー	500			
	日本語教室開講に対する支援事業	345			
	国際交流ボランティア促進		1,000	1,000	
補助金	リユース食器利用促進助成金		100	100	100
	京都市外国人留学生国民健康保 険料補助事業	7,422	10,622	14,762	16,000
その他	医療通訳派遣事業	3,868	3,985	4,200	4,200

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は、基本財産運用益や利用料金収入の増加により、当期正味財産増減額は約 1,800 万円の黒字となり、平成 24 年度に続き黒字を確保した。</li><li>収入面においては、依然として市からの委託料及び補助金の総収入に占める割合が大きいことから、自主財源の確保や公益財団法人の強みを生かし、受取寄付金の拡大に引き続き努めていく必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>来館者数は減少しているものの、外国人のためのカウンセリングデイや行政通訳相談事業といった外国籍市民等に寄り添った生活支援事業は、利用件数が増加している。約 25 年にわたり京都市の国際化をけん引してきた実績やノウハウを活用し、引き続き、外国籍市民等に寄り添ったサービスを提供してほしい。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>自主財源の確保に積極的に取り組むなど、引き続き、安定的な経営に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>来館者数が減少しており、事業の必要性や費用対効果等による見直しを定期的に行うことが必要である。</li></ul>

# 公益財団法人大学コンソーシアム京都

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 赤松徹眞

### 2 所在地

京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町 939 番地

### 3 電話番号

075-353-9100

### 4 ホームページアドレス

<http://www.consortium.or.jp/>

### 5 設立年月日

平成10年3月19日

### 6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 50,000千円，出えん率 50.0%）

### 7 事業目的

京都地域を中心に、大学間連携と相互協力を図り、加盟する大学・短期大学の教育・学術研究水準の向上を目指すとともに、学生の成長を促進するための学生支援、大学の国際化を推進するための国際連携・国際交流等の充実に努める。併せて、地域社会、行政及び産業界との連携を促進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした高等教育の発展と国際社会をリードする人材の育成を目指す。そのために、多様な連携に基づく教育、学生支援、研修、調査・研究、情報収集、情報発信、交流促進等を行い、日本の高等教育の発展に寄与することを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 単位互換、インターンシップ等の教育に関する企画調整事業
- (2) 学生に対する支援事業及び奨学金事業
- (3) 教職員に対する研修交流事業
- (4) 国際連携、国際交流事業
- (5) 大学と高等学校等との連携による企画調整事業
- (6) 大学と地域社会、行政及び産業界との連携による調査研究事業
- (7) 大学と地域社会、行政及び産業界との情報発信交流事業
- (8) 大学と地域社会、行政及び産業界との連携等による生涯学習事業
- (9) 全国各組織との連携による企画調整事業
- (10) その他目的を達成するために必要な事業

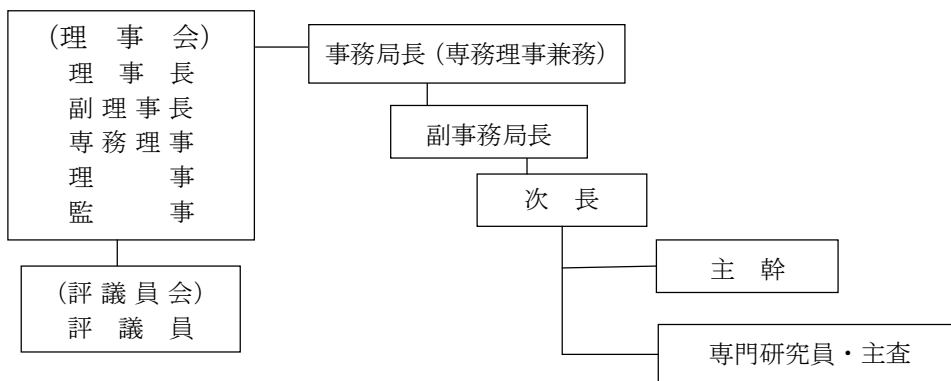
### 9 所管部局

総合企画局総合政策室（TEL075-222-3103）

### 10 役員名等

- (1) 理事長  
赤松徹眞
- (2) 副理事長  
村田晃嗣，藤岡一郎
- (3) 専務理事  
徳永寿老
- (4) 理事  
川口清史，山極伸之，安本義正，加賀裕郎，古山正雄，岡田憲和（総合企画局長）
- (5) 監事  
小澤昇士，足立好弘

- 11 常勤職員数  
38人（うち本市派遣職員2人）
- 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 教育事業

##### (ア) 単位互換事業

- a 包括協定大学数 50 大学
- b 提供科目 540 科目  
(eラーニング科目 17 科目, プラザ科目 83 科目, オンキャンパス科目 440 科目)
- c 履修者数 4,952 人

##### (イ) 生涯学習事業 (京カレッジ)

- a 科目提供大学数 36 大学 1 機関
- b 提供科目数 469 科目
- c 出願者 延べ 1,327 人

##### (ウ) インターンシップ事業

- a ビジネス・パブリックコース  
(受入登録団体 194 団体, 出願者数 580 人, 受講者数 411 人)
- b プロGRESSコース (受入登録団体 7 団体, 出願者数 47 人, 受講者数 45 人)

##### (エ) その他

ノートテイカー養成講座 (5 月, 延べ 26 人)

##### イ 高大連携事業

##### (ア) 京都高大連携研究協議会の運営

- a 「第11回高大連携教育フォーラム」実施 (第1部 180 人, 第2部 104 人)
- b 実践研究共同教育プログラム (4 高校にて実施)
- c キャリア教育企画 (Kyoto カタリ場を 10 高校で実施, Kyoto ワークショップ倶楽部 2 企画を実施)

##### (イ) 京都の大学「学び」フォーラム 2013

参加者数: 滋賀会場 677 人, 京都会場 2,671 人

##### (ウ) 共同広報事業 (注) 括弧内はブース対応者

- a 京都ワンキャンパス集客数  
東京会場 5,591 (58) 人, 名古屋会場 2,618 (84) 人, 大阪会場 2,861 (67) 人
- b 京都の大学情報コーナー集客数  
石川会場 905 (35) 人, 新潟会場 2,345 (66) 人, 静岡会場 3,129 (112) 人,  
岡山会場 1,260 (26) 人, 大分会場 940 (46) 人, 高知会場 502 (18) 人,  
大阪会場 3,738 (44) 人, 広島会場 1,806 (65) 人, 香川会場 385 (23) 人,

福岡会場 1,742 (84) 人

ウ 高等教育研究推進事業

(ア) 高等教育研究事業

a FD (ファカルティ・ディベロップメント) フォーラム事業

(a) 第19回FDフォーラム(2月22~23日, テーマ:「社会を生き抜く力を育てるには」  
於: 龍谷大学 参加者数 832人)

(b) FD執行部塾(6月29日, 参加者数 42人)

(c) 京都FDer塾(小規模2回, 大規模1回 のべ参加者数 104人)

(d) 新任教員FD合同研修

b SD (スタッフ・ディベロップメント) 事業

(a) 大学職員共同研修プログラム(参加者数 169人)

(b) 第11回SDフォーラム(10月20日, テーマ:「実践知を活かす」参加者数 139人)

(c) SDワークショップ(計4回 参加者数 のべ51人)

(イ) 留学生支援・国際交流事業

a 短期留学プログラム開発

(a) ボストン・サマーセッション1人, 国際文化学部企画短期留学 17人

(b) 大学職員英語スキルアップ研修(計4回 参加者数 のべ222人)

(c) IELTS 試験対策講座(Beginner, Advanced)

31名参加

(ウ) 都市政策推進事業等

a 都市政策研究推進事業

(a) 若手研究者への研究助成(応募3件, 採択2件)

(b) 京都から発信する政策研究交流大会(参加者 362名)

b 学まちコラボ事業

京都市との協働により, 大学と地域が連携する取組に助成金を交付  
(応募33件, 採択17件)

(エ) シンクタンク事業

大学の若手研究者と京都市の担当部署が協力し合って調査・研究(4件)を実施するとともに, 調査・研究成果の報告会(参加者71名)及び交流会(参加者39名)を実施した。

エ 学生交流事業

(ア) 第11回京都学生祭典

(10月13日, 事前企画等年間を通した来場者数の合計 179,366人)

(イ) 第16回京都国際学生映画祭

(11月23日~11月29日, 応募作品数357本(うち, 国内212作品・海外145作品),  
来場者数647人)

(ウ) 京都学生芸術普及活動 こども向けワークショップ

(12月14日・15日, 来場者数205人)

オ 総務・広報事業

(ア) 施設管理運営

a 京都市大学のまち交流センターの指定管理

b 京都市大学のまち交流センター6階「大学院等共同サテライト拠点」の管理運営

(イ) 広報事業

a 財団資料の作成

b ホームページによる情報発信

c 定期刊行物の発信

会報の発刊(年1回)

- (ウ) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営
  - a 第10回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営  
於：同志社大学（平成25年9月14日，15日）  
テーマ：「大学に求められる役割と大学間連携における未来」（参加者数467人）
  - b 協議会運営委員会の運営（3回），幹事会（2回），総会（1回）
  - c 協議会の組織管理と経理処理
  - d 第11回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの準備，企画実行委員会（4回）
- (エ) 勤労学生援助会事務局運営
  - a 理事会（3回），総会，選考委員会
  - b 表彰・奨学金贈呈式（11大学・短大11名を表彰）
- (オ) 京都地域留学生住宅保証・支援事業
  - a 京都地域留学生住宅保証機構委員会，運営委員会  
（委員会構成数：21大学，利用人数：3大学5名）
  - b 京都地域留学生住宅支援機構委員会（利用人数：9大学344名）
- (カ) 調査企画事業
  - a 大学政策委員会（5回），幹事会（9回）
  - b 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議  
推進会議（3回），計画策定専門部会（3回），学生の活動支援専門部会（3回）
- (キ) 公益財団法人組織運営
  - a 理事会（5回），評議員会（2回）開催
  - b 加盟大学，短期大学の学生数172,061人（平成25年5月1日現在）
  - c 財団訪問件数11件
  - d 財団後援・共催件数66件

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	123,485	109,080	14,405
未収金	5,123	13,395	△ 8,272
棚卸資産	4,766	4,871	△ 105
立替金	2,043	1,425	618
前払費用	421	105	316
仮払金	19	0	19
流動資産合計	[135,857]	[128,877]	[6,980]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産普通預金	405	405	0
基本財産投資有価証券	99,969	99,922	47
基本財産合計	(100,374)	(100,327)	(47)
(特定資産)			
財団拡充普通預金	11,593	9,889	1,705
教育設備・機器等整備普通預金	2,179	22,163	△ 19,984
財団拡充投資有価証券	65,000	64,998	1
教育設備・機器等整備有価証券	35,000	34,999	1
特定資産合計	(113,771)	(132,049)	(△ 18,278)
(その他固定資産)			
構築物	1,666	2,119	△ 454
設備造作	1,669	1,707	△ 38
什器備品	12,319	17,640	△ 5,321
無形固定資産	8,147	10,768	△ 2,622
投資有価証券	29,995	29,992	3
その他固定資産合計	(53,795)	(62,226)	(△ 8,431)
固定資産合計	[267,940]	[294,602]	[△ 26,662]
<b>資産合計</b>	<b>403,797</b>	<b>423,479</b>	<b>△ 19,682</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
リース債務	4,972	7,493	△ 2,521
未払金	25,158	44,081	△ 18,923
前受金	7	0	7
社会保険料預り金	583	1,385	△ 802
源泉所得税預り金	274	258	15
仮受金	1,422	507	915
流動負債合計	[32,416]	[53,725]	[△ 21,309]
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,146	4,504	642
固定負債合計	[5,146]	[4,504]	[642]
<b>負債合計</b>	<b>37,562</b>	<b>58,229</b>	<b>△ 20,667</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[100,374]	[100,327]	[47]
(うち基本財産への充当額)	(100,374)	(100,327)	(47)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[265,861]	[264,923]	[938]
(うち特定資産への充当額)	(113,771)	(132,049)	(△ 18,278)
<b>正味財産合計</b>	<b>[366,235]</b>	<b>[365,249]</b>	<b>[985]</b>
<b>負債及び正味財産の合計</b>	<b>403,797</b>	<b>423,479</b>	<b>△ 19,682</b>

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1,165	1,165	0
②特定資産運用益	832	832	0
③その他資産運用益	165	165	0
④受取入会金	50	300	△ 250
⑤受取会費	164,339	163,274	1,065
⑥事業収益	58,134	69,274	△ 11,140
⑦指定管理者事業収益	171,846	153,927	17,919
⑧受取補助金等	1,387	1,200	187
⑨受取運営分担金	4,987	500	4,487
⑩雑収益	369	375	△ 6
経常収益計	403,274	391,012	12,262
(2) 経常費用			
①事業費	373,723	389,152	△ 15,429
②管理費	28,601	33,831	△ 5,230
経常費用計	402,324	422,983	△ 20,659
当期経常増減額	950	△ 31,971	32,921
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損	11	629	△ 617
経常外費用計	11	629	△ 617
当期経常外増減額	△ 11	△ 629	617
当期一般正味財産増減額	938	△ 32,600	33,538
一般正味財産期首残高	264,923	297,523	△ 32,600
一般正味財産期末残高	265,861	264,923	938
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	47	47	
指定正味財産期首残高	100,327	100,280	47
指定正味財産期末残高	100,374	100,327	47
III. 正味財産期末残高	366,235	365,249	985



## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 教育・施設管理事業

- (ア) 単位互換事業については、単位互換科目の特色化を目指し、新たな PBL 科目やコーディネーター科目の再編を検討する。そのほか、PBL 科目の教育効果の検証や単位互換の特色化の効果的な広報についても進め方を検討する。
- (イ) 生涯学習事業については、①提供科目の整理、②他機関の生涯学習事業との連携による広報体制の確立を検討する。また、生涯学習講座として新たな層の獲得に向けて、ライフステージに応じた取組を検討する。
- (ウ) 施設管理運営  
京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）の指定管理者として、利用者にとってよりよい環境の創出と、本館の目的に沿った利用者の増加を目指す。

#### イ 高大連携・インターンシップ事業

- (ア) 「実践研究共同教育プログラム」については、高校・大学双方のニーズを踏まえながら、高大連携のプログラム全般に関して今後の在り方を検討する。「高大連携教育フォーラム」についても、高校・大学それぞれのニーズを十分に反映させた上で、テーマ設定や企画内容を充実させる。
- (イ) 「京都の大学『学び』フォーラム」については、共同入試広報企画ではなく高校生を対象にした「キャリア教育企画」としての趣旨を明確にし、高校生と大学生の交流企画の充実など新たな展開を検討する。「キャリア教育企画」については、既存の取組に加え、京都府北部地域の高校生のキャリア意識醸成を目的とする企画の更なる充実を図る。
- (ウ) インターンシップ事業は、長期的展望を見通して、受入先、コーディネーターや学生などの数・量的な面だけでなく、事前事後学習内容も含めたプログラム全体の質的充実や見直し・改善を進める。

#### ウ 教育開発事業

- (ア) 「FD 事業」は、加盟大学を中心とした相互交流や情報共有によるシナジー効果を重視した事業を推進する。FD フォーラム事業、FD 研修企画事業の協力・連携を進め、それぞれの事業で培ってきた経験、ノウハウを互いの事業に生かすことを意識する。  
FD フォーラム事業は、加盟校を中心に FD 活動の普及と推進を目的とした国内有数の大規模イベントとして、平成 26 年度は同志社大学今出川校地で開催する。  
研修事業では、学長など大学執行部向け、新任教員向け、それ以外、というように対象者を階層別に分けた研修を行っている。今の研修の形が最も効果的なのか、研修プログラムの体系について再考することも検討する。  
FD 研究事業では、高等教育に関する研究・調査機能を意識しつつ、現行の FD 事業の効果やその他の事業ニーズの掘起こしを目指す。
- (イ) 「SD 事業」は、FD 同様、高等教育の質保証の観点から重要な課題であり、大学職員共同研修、SD ワークショップ、SD フォーラムを実施する。スケールメリットを生かして、スキルアップ、知識の習得はもちろん人的交流も積極的に図っていく。加盟大学から再開の要望が寄せられている「大学アドミニストレータ研修」について、平成 27 年度からのリニューアル実施を目指して、開発に取り組む。
- (ウ) 「国際連携事業」は、以下の取組を行う。
  - a 学生派遣プログラムの開発及び実施  
既存の協定関係を活かして短期派遣プログラム（ボストン・メルボルン）を実施する。
  - b IELTS 講座及び試験の実施  
交換留学等の語学要件を満たす語学力養成のため、IELTS 講座及び試験を実施する。Beginner, Advanced の 2 クラス編成で講座を実施し、試験はキャンパスプラザ京都を会場として実施する。

- c 短期留学生受入れプログラムの開発  
平成 27 年度より 2 週間程度の英語による短期留学生受入れプログラムを開始すべく、京都市と協働してそのカリキュラム等の開発にあたる。
- d 職員対象海外研修プログラム開発及び実施  
国外の協定機関等からの Shadowing Program は、要望があれば調整に入る。
- e 大学職員対象英語研修プログラム開発及び実施  
大学のグローバル化に対応するため、教職員向けの英語研修を実施する。平成 26 年度は、従来の職員向けプログラムに加え、英語により授業運営を行う教員向けの研修も新たな実施する。会場はキャンパスプラザ京都とし、より多くの教職員が参加できるようにする。
- f 京都地域留学生住宅保証事業・支援事業  
京都地域における留学生受入支援のため、住宅支援事業を実施する。保証制度については、制度解消に向けて手続きを進める。

#### エ 学生交流事業

- (ア) 京都学生祭典については、大学の枠を越えた京都の学生の力を集約し、行政・経済界・大学界・地域社会と連携を図った上で「学生のまち・京都」を社会へ発信し、それに伴う京都全体への波及効果を創出することで京都中の活性化に繋げ、新しい魅力をこのまちに映し出すことを目指している。
- (イ) 京都国際学生映画祭については、上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出すことを通して、学生が成長する機会を創出し続け、人生を変える程の気付きを与えるものである。
- (ウ) 京都学生芸術作品展については、加盟大学の展覧会の情報を網羅した共同広報を行う。さらに、市民向け展覧会ツアーやワークショップなどのイベントを開催することにより、芸術・文化に対する興味・関心を深め、慣れ親しんでいただくことを上位目標としたい。また、京都をアーティストにとって活動しやすい場所とし、最終的に「アーティストを育む土壌」とすることを目指す。活動に参画する学生にとっても、様々な分野の学生が大学間の枠を超え、組織的なプロジェクト運営、管理、広報及びイベント運営に関する能力を身に付けられる「実践的な学びの場」とする。

#### オ 調査・広報事業

- (ア) 調査企画事業  
財団計画（第 4 ステージプラン）及び京都市計画（大学のまち京都・学生のまち京都推進計画）に基づき、京都市と連携し、事業推進を行う。
- (イ) 広報事業  
海外の大学やコンソーシアム組織との連携を図り、国内外へも「大学のまち京都」、「学生のまち京都」の魅力を積極的に発信する。
- (ウ) 都市政策推進事業については、京都から発信する政策研究交流大会を、より多彩な学部による学生の活性化と交流機会の拡大を目指し実施する。  
研究助成事業については、平成 26 年度よりシンクタンク事業の自由課題（若手優先枠）に移管して実施する。また、学まちコラボ事業については、より多くの団体が応募し活動できるよう、申請条件の緩和など、申請数の増加を目指し実施する。
- (エ) シンクタンク事業は、引き続き当財団が持つ大学や研究者との豊かなネットワークを活用し、調査・研究の市政策への反映や研究者のネットワーク形成の拡大を目指して取り組む。

#### カ 総務事業

- (ア) 全国大学コンソーシアム協議会事務局運営  
第 11 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催・運営（於：いわて県民情報交流センター（アイーナ）、平成 26 年 9 月 13～14 日、テーマ「大学間連携と地域活性

化への取り組み」)

(イ) 勤労学生援助会事務局運営

15 大学・短大 15 名を表彰予定

(ウ) 公益財団法人組織運営

積極的な外部資金獲得のため、関係省庁や関係団体への情報収集を継続して行う。賛助会員についても、新規会員獲得に向けて継続的に取組を行う。

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1,165	1,165	0
②特定資産運用益	416	832	△ 416
③その他資産運用益	165	165	0
④受取入会金	50	50	0
⑤受取会費	163,901	164,339	△ 438
⑥事業収益	39,375	60,638	△ 21,263
⑦指定管理者事業収益	176,756	171,846	4,910
⑧受取補助金等	1,200	1,387	△ 187
⑨受取運営分担金	10,100	5,000	5,100
⑩雑収益	366	368	△ 3
経常収益計	393,493	405,790	△ 12,297
(2) 経常費用			
①事業費	373,566	401,161	△ 27,595
②管理費	29,651	30,235	△ 584
経常費用計	403,217	431,396	△ 28,179
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,724	△ 25,606	15,882
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,724	△ 25,606	15,882
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,724	△ 25,606	15,882
一般正味財産期首残高	239,317	264,923	△ 25,606
一般正味財産期末残高	229,593	239,317	△ 9,724
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	47	47	0
指定正味財産期首残高	100,374	100,327	47
指定正味財産期末残高	100,421	100,374	47
III. 正味財産期末残高	330,014	339,691	△ 9,676

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	396,237	391,012	403,274	393,493
	当期経常増減額	△1,454	△31,971	950	△9,724
	当期正味財産増減額	△1,543	△32,553	985	△9,676
貸借対照表	総資産	455,326	423,479	403,797	
	総負債	57,524	58,229	37,562	
	正味財産	397,802	365,249	366,235	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	大学のまち交流センター管理及び事業 (指定管理)	171,846	171,846	171,846	176,756
	大学地域連携モデル創造支援事業委託	3,000	2,897	5,954	
	自治体職員研修委託事業	314	388		
	大学のまち京都次期推進計画策定			4,200	
その他	年会費	500	500	500	500
	未来の京都創造研究事業	10,610	15,104	14,454	16,000
	海外留学派遣プログラム開発支援事業			4,487	4,100
	短期留学受入プログラム開発業務				2,200
	大学地域連携創造・支援事業				5,500
	大学のまち京都・学生のまち京都推進会議	500	500	500	500

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 24 年度の当期正味財産増減額が約 3,000 万円の赤字となっていたが、平成 25 年度は黒字に転じている。事業の選択と集中，業務の効率化による経費節減など，損益の改善に向けた取組の成果が認められる。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>「単位互換事業」や「インターンシップ事業」などのパイロット的事业等に取り組み，着実に優れた成果を挙げており，本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進にも大きく寄与している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は，経費削減などにより，当期正味財産増減額が黒字に転じた。事業の選択と集中による効率的な事業運営に努めるとともに，損益のバランスに配慮した団体運営を行ってほしい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き，先進的な事業への積極的な取組が望まれる。</li></ul>

文化市民局

# 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 井上満郎

### 2 所在地

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

### 3 電話番号

075-415-0521

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

### 5 設立年月日

昭和 51 年 10 月 26 日

### 6 基本財産

932,366 千円（うち本市出えん額 932,366 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市内の埋蔵文化財の調査，研究，保護を行うとともに，その調査成果を広く市民等に公開し，また，市民等が活用できるようにすることにより，学術・文化の振興や地域社会の健全な発展等に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査，研究及び保護に関する事業
- (2) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の普及啓発に関する事業
- (3) 京都市考古資料館及び埋蔵文化財に関わる施設の管理運営
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（TEL075-366-1498）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

井上満郎

#### (2) 専務理事

柴崎孝之（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

五十川伸矢，大西祐資，神山俊昭，鋤柄俊夫，伊達仁美，玉置泰紀，西山良平，前川叔子

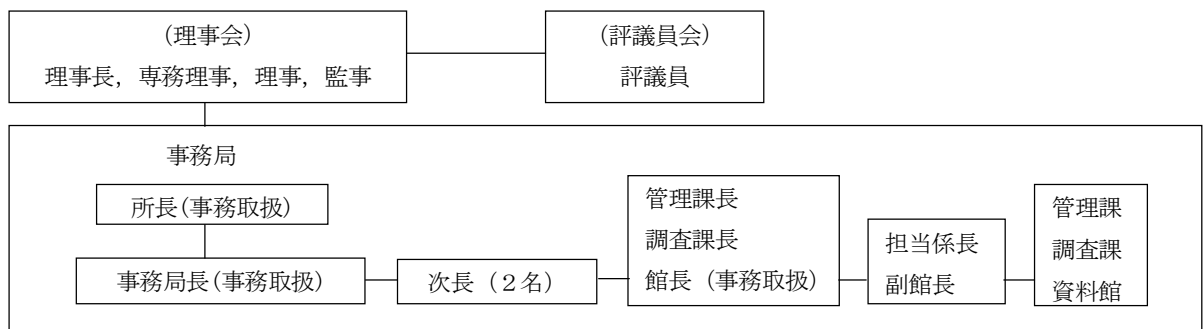
#### (4) 監事

北村信幸（文化市民局文化芸術都市推進室文化財担当部長），廣瀬伸彦

### 11 常勤職員数

34 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構





## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 平成25年度理事会及び評議員会の開催
- イ 発掘調査、立会調査及び測量・保存処理・写真撮影等の実施
- ウ 京都市受託事業
  - (ア) 出土遺物の保管管理及び出土遺物の整理事業
  - (イ) 埋蔵文化財出土遺物指定準備事業
  - (ウ) 埋蔵文化財普及啓発事業
  - (エ) 考古遺産を活用した京都の魅力発信事業等
  - (オ) 京都市考古資料館指定管理の受託
- エ 埋蔵文化財調査報告書等出版物の刊行
- オ 講演会・遺跡めぐり・イベントの開催
  - (ア) シンポジウム「発掘！伏見人形ー地下に眠る伝統工芸ー」
  - (イ) 「祈り」トーク&コンサート（オカリナ・ギター）
  - (ウ) 千両ヶ辻文化祭講演と展示「上京遺跡」
  - (エ) イベント「平安の都 古代の祭祀～堀川に願いを込めて～」
  - (オ) 文化財講演会「平安貴族の暮らしと文字」
  - (カ) 史跡ウォーク「紫野一帯」
  - (キ) トーク&ライブ（オカリナ・ギター）
  - (ク) 史跡ウォーク「御所西一帯」
- カ 現地説明会・現地公開の開催
- キ 現地見学会の開催
- ク 「リーフレット京都」(No.291～No.302)の発行
- ケ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会への参加
- コ その他研究会等への派遣
- サ 講師等の派遣
- シ 出前授業等
- ス インターネットホームページによる情報発信・開示
- セ 平成25年度京都市考古資料館事業
  - (ア) 特別展示の実施
    - a 「伏見人形」（平成25年2月9日～平成25年6月30日）
    - b 「平安貴族の住まいと暮らし」（平成25年7月20日～平成25年12月1日）
    - c 「京都の戦国時代ー応仁の乱から本能寺の変までー」（平成26年2月15日～平成26年6月22日）
  - (イ) 高等学校との合同企画展の実施「高校生が歩いて学んだ山科」（平成25年12月21日～平成26年1月26日）
  - (ウ) 速報展の実施
    - a 「上京遺跡（上京区役所）の発掘調査」（平成25年9月14日～平成25年9月29日）
  - (エ) スポット展示
    - a 「遺物はささやく」（計51回）
  - (オ) 企画陳列の実施
    - a 「長岡京東南境界祭祀遺跡出土 墨書人面土器」（平成25年2月27日～平成25年6月27日）
    - b 「土器に書かれた『いろは歌』」（平成25年6月29日～平成25年8月1日）
    - c 「新島八重と同志社女子塾ーデイヴィス邸出土品ー」（平成25年8月3日～平成25年9月14日）

- d 「古代の祭祀遺物」(平成 25 年 10 月 5 日～平成 25 年 11 月 7 日)
- e 「京都最古の弥生土器」(平成 25 年 11 月 9 日～平成 26 年 2 月 16 日)
- (カ) 外部施設での考古資料展示
  - a 京都市役所正面玄関 1～2 階踊り場
  - b 鳥羽事務所での考古資料展示 (平成 25 年 5 月 3 日～平成 25 年 5 月 6 日)
  - c 京都市動物園東エントランス展示室での考古資料展示 (平成 25 年 7 月 6 日～)
  - d 第十一回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」での考古資料展示 (平成 25 年 9 月 23 日)
  - e 「発掘調査成果写真展 2013」での考古資料展示 (平成 26 年 3 月 21 日～平成 26 年 5 月 6 日)
- (キ) 小・中学生夏期教室の開催
- (ク) 文化財講座の開催
- (ケ) 情報コーナーにおける普及啓発
 

1 階情報コーナーにおいて、展示案内チラシやポスターを配布・掲示し、パソコンによる情報展示では、クイズなどのプログラムを実施した。また、DVD やビデオによる展示資料、遺跡などの紹介を行った。
- (コ) 考古資料の貸出
- (サ) 博物館学芸員課程実習生の受入れ
- (シ) 平成 25 年度京都市立中・総合養護学校「生き方探究・チャレンジ体験」の受入れ
- (ス) 教育機関の学外授業等の受入れ
- (セ) 関係機関等の受入れ
- (ソ) 博物館団体等連携事業
 

第 12 回国際博物館の日、京都文化祭典'13、関西考古学の日スタンプラリー等の事業に参加した。
- (タ) 他の関係機関との連携事業その他関係機関への協力等
- (チ) ボランティア研修

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産	[469, 144]		
現金預金	252, 178		
未収金	216, 966		
2. 固定資産	[1, 071, 862]		
(基本財産)	(932, 366)		
土地	922, 366		
基本財産引当預金	10, 000		
(特定資産)	(110, 000)		
退職給付引当預金	110, 000		
(その他固定資産)	(29, 496)		
建物	33, 914		
建物附属設備	3, 965		
構築物	552		
什器備品	44, 373		
減価償却累計額	△ 53, 661		
電話加入権	354		
資産合計	1, 541, 006		
II. 負債の部			
1. 流動負債	[184, 181]		
未払金	173, 675		
預り金	1, 116		
仮受金	6, 122		
未払消費税等	3, 268		
2. 固定負債	[731, 275]		
長期借入金	650, 000		
退職給付引当金	81, 275		
負債合計	915, 455		
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	[932, 366]		
(うち基本財産への充当額)	(932, 366)		
2. 一般正味財産	[△ 306, 816]		
正味財産合計	625, 550		
負債及び正味財産合計	1, 541, 006		

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	埋蔵文化財	考古資料館		
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	4	0	0	4
② 特定資産運用益	85	0	0	85
③ 事業収益	642,837	23,981	33,461	700,279
④ 雑収益	1,063	281	120	1,465
経常収益計	643,989	24,262	33,581	701,833
(2) 経常費用				
① 事業費	577,565	24,262	0	601,828
② 管理費	25,447	0	29,331	54,778
経常費用計	603,012	24,262	29,331	656,606
当期経常増減額	40,977	0	4,250	45,227
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 退職給付費用（過年度）	80,750	0	4,250	85,000
経常外費用計	80,750	0	4,250	85,000
当期経常外増減額	△ 80,750	0	△ 4,250	△ 85,000
当期一般正味財産増減額	△ 39,773	0	0	△ 39,773
一般正味財産期首残高	△ 267,043	0	0	△ 267,043
一般正味財産期末残高	△ 306,816	0	0	△ 306,816
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	0	0	932,366
指定正味財産期末残高	932,366	0	0	932,366
III. 正味財産期末残高	625,550	0	0	625,550

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査の計画及び施行
- (イ) 史跡名勝の復原整備に伴う調査、研究
- (ウ) 出土遺構、出土遺物等の調査、研究、整備及び保存
- (エ) 文献資料図書の実態調査及び研究

イ 埋蔵文化財に関する出版物の刊行及び配布

- (ア) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行及び配布
- (イ) 埋蔵文化財に関する研究報告書の作成及び配布

ウ 埋蔵文化財に関する技術の研究及び技術者の養成

- (ア) 埋蔵文化財の調査技術及び出土品の保存技術に関する研究
- (イ) 発掘調査技術者の養成
- (ウ) 編集技術の研究、修得

エ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- (ア) 発掘調査現地説明会，見学会の開催
- (イ) 啓発冊子等の刊行，配布
- (ウ) 写真展の開催
- (エ) 京都市立小学校総合学習や地域活動への協力（出前授業）
- (オ) インターネット等による情報発信
- (カ) 埋蔵文化財に関する各種講演会等への講師派遣協力

オ 埋蔵文化財に関する関係機関との連携強化

- (ア) 関係行政機関，研究機関との連携強化
- (イ) 開発行為者との連絡調整

カ 埋蔵文化財出土遺物の保管，管理及び整理（京都市からの受託）

- (ア) 出土遺物の保管，管理業務
- (イ) 出土遺物の整理業務
- (ウ) 埋蔵文化財出土遺物文化財指定準備業務
- (エ) 収蔵・展示業務

キ 調査作業業務受託事業

- (ア) 埋蔵文化財発掘調査等の支援（職員その他団体への出向）
- (イ) 発掘調査以外（保存処理，写真撮影，測量等）の受託事業の拡充

ケ 普及啓発事業

- (ア) 講演会の開催（11月）
- (イ) 「史跡ウォーク」2回予定
- (ウ) 「関西考古学の日」への参加（9～11月）

コ 財務状況のインターネットによる開示

定款，事業実績概要，予算決算，事業計画，役員名簿など

サ 京都市考古資料館の管理運営事業（指定管理者）

- (ア) 考古資料の展示及び特別展等の開催
  - a 常設展示
  - b 特別展示「京都の戦国時代ー応仁の乱から本能寺の変までー」
  - c 特別展示「桃山の茶陶（仮）」
  - d 特別展示「京都市考古資料館と本野精吾（仮）」
  - e 合同企画展（京都市内の大学等に公募）
  - f スポット展示（京都新聞連載記事「遺物はささやく」との連携）
  - g 企画陳列「和食文化（仮）」（縄文時代から江戸時代まで5回程度）
- (イ) 考古資料に関する普及啓発事業の実施
  - a 小・中学生夏期教室の開催
  - b 京都市考古資料館文化財講座の開催
  - c 考古資料の貸出し
  - d 博物館学芸員実習の受入れ
  - e 京都市立中学生「生き方探究・チャレンジ体験」事業の受入れ
  - f 修学旅行生「発掘体験」事業
  - g 教育機関の学外授業等の受入れ
  - h 生涯学習グループ等の見学受入れ，解説
  - i 考古資料館展示解説ボランティアの育成
- (ウ) 考古資料に関する関係機関との連携強化

加盟している京都市博物館施設連絡協議会などへ引き続き参加し，博物館運営の情報収集に努めるほか，京都市教育委員会の学校教育や生涯学習などの関係機関と連携，協力していく。

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	埋蔵文化財	考古資料館		
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	4	0	0	4
② 特定資産運用益	100	0	0	100
③ 事業収益	442,608	22,231	61,314	526,153
④ 受取寄附金	300	0	0	300
⑤ 雑収益	2,550	501	0	3,051
経常収益計	445,562	22,732	61,314	529,608
(2) 経常費用				
① 事業費	453,220	22,732	0	475,952
② 管理費	0	0	52,810	52,810
経常費用計	453,220	22,732	52,810	528,762
当期経常増減額	△ 7,658	0	8,504	846
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0
① 退職給付費用（過年度）	76,500	0	8,500	85,000
経常外費用計	76,500	0	8,500	85,000
当期経常外増減額	△ 76,500	0	△ 8,500	△ 85,000
当期一般正味財産増減額	△ 84,158	0	4	△ 84,154
一般正味財産期首残高	△ 349,419	0	0	△ 349,419
一般正味財産期末残高	△ 433,577	0	4	△ 433,573
II. 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	0	0	932,366
指定正味財産期末残高	932,366	0	0	932,366
III. 正味財産期末残高	498,789	0	4	498,793

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	964,023	702,240	701,833	529,608
	当期経常増減額	△14,103	△48,154	45,227	846
	当期正味財産増減額	961,233	△91,161	△39,773	△84,154
貸借対照表	総資産	1,449,223	1,443,335	1,541,006	
	総負債	692,738	778,012	915,455	
	正味財産	756,485	665,323	625,550	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市考古資料館管理運営委託 (指定管理)	25,180	25,180	25,180	25,899
	埋蔵文化財の調査委託	246,612	214,552	189,310	
	出土遺物文化財指定準備	30,000	30,000	30,000	
	遺物保管委託	69,485	69,485	69,485	
	出土遺物整理	20,000	20,000	20,000	
	京都市内埋蔵文化財考古資料の電子化作業	95,000			
	考古遺産を活用した京都の魅力発信事業	40,000	52,980	34,500	
	埋蔵文化財普及啓発委託	500	1,300	1,300	
貸付金	つなぎ資金のための短期貸付金				50,000
	長期貸付金 (累計残高)	400,000	525,000	650,000	775,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当初計画を上回る発掘調査事業収入により、現金収支では黒字となったが、過去の退職給付費用の計上などにより、当期正味財産増減額は2期連続の赤字となった。</li><li>・ 発掘調査事業の構造上、実費弁償が原則であり、人件費の削減が収入の減少につながるため、大幅な収入の増加を見込むことは難しいが、引き続き、経営の更なる安定化に取り組んでもらいたい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本市において、発掘調査を行うためには、地域の歴史や各時代の土層、遺物に関する専門的な知識と経験に基づく高水準の調査技術が必要である。</li><li>・ 当財団は、設立以来、それらを蓄積、維持し、公共事業をはじめとする本市におけるほとんどの発掘調査を受託し、適切に実施している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当期正味財産増減額が前年度に続き赤字であり、累積欠損も拡大している。発掘事業収入の確保に最大限努力するとともに、徹底した経費削減を進めていくことが望まれる。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 組織・人員体制については、財務状況や将来の経営見通しを十分に踏まえたものであることが求められる。</li></ul>



# 公益財団法人 京都市ユースサービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 安保千秋

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市中京青少年活動センター内

### 3 電話番号

075-213-3681

### 4 ホームページアドレス

<http://www.ys-kyoto.org/>

### 5 設立年月日

昭和 63 年 3 月 29 日

### 6 基本財産

30,000 千円（うち本市出えん額 30,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

青少年が市民社会の担い手として成長するため，京都市及び関係機関・団体等と協調し，自主的な活動の機会提供と，課題を乗り越えるための必要な支援を行うとともに，市民の文化・福祉・体育活動の振興を図ること。

### 8 業務内容

- (1) 青少年活動に資する施設の運営を通して行う青少年育成に関する事業，ならびに市民の文化・福祉・体育活動の振興に資する事業
- (2) 青少年グループ・団体の交流や情報交換，支援，情報提供にかかわる事業
- (3) 就労や自立支援にかかわる事業
- (4) 青少年に関する調査・研究
- (5) 青少年に関する施策のうちで法人の目的にかなう事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部勤労福祉青少年課（Tel075-222-3089）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

安保千秋

#### (2) 専務理事

和田寛治

#### (3) 常務理事

小嶋薫，水野篤夫

#### (4) 理事

牛田順子，斎藤真緒，松村幸裕子，岡本俊則

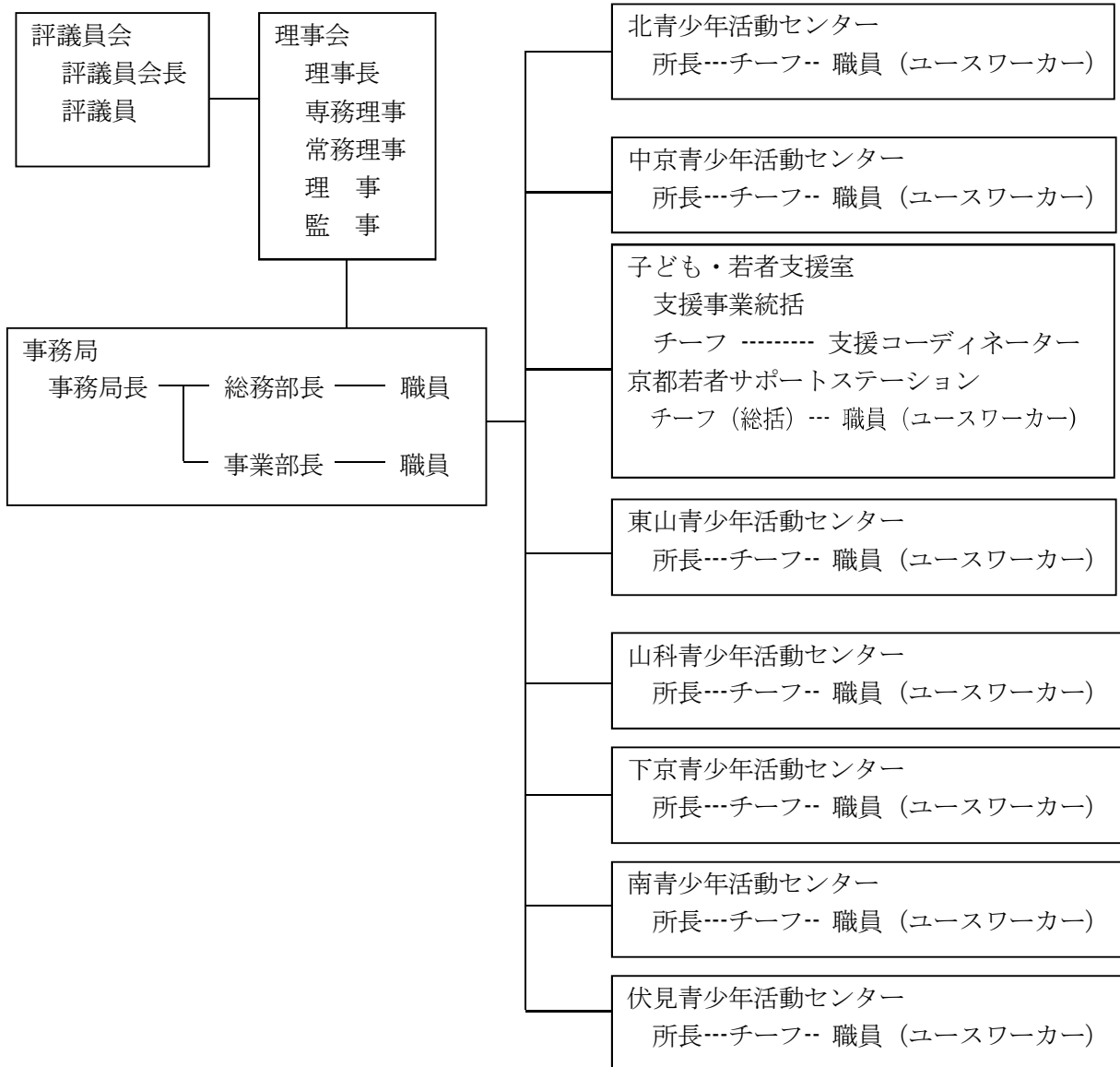
#### (5) 監事

赤澤清孝，磯田利佳子，川南恵，宮田英喜（文化市民局共同参画社会推進部長）

### 11 常勤職員数

42 人（うち本市派遣職員 0 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 25 年度決算

(1) 事業報告

ア 自主事業

(ア) 情報発信事業

「青少年が地域活動に参加していくための機会づくり」を目的として下記の取組を実施した。

- a 主に 10 代を対象に社会参加の情報を提供する「ボランティアニュース」の発行
- b 高校生がメディアを使って意見を表明する機会を提供するフリーペーパー「the keys！」の発行
- c 青少年団体、青少年の支援に関わる団体との交流・情報交換会の開催
- d 青少年活動センター登録グループの情報発信

(イ) 市民参加促進事業

青少年が「市民社会」の主体となるよう、地域参加、市政やまちづくり、青少年活動センター運営への参画を進める取組を実施した。

- a 市政参加・まちづくりのための取組として、青少年が考えた市政プランをロビーに掲示
  - b 社会課題について主体的に取り組むグループ支援として2団体を支援
  - c 高校生のまちづくり活動体験「ユース ACT プログラム」実行委員会への参画
- (ウ) 青少年関係団体のネットワーク形成事業  
 青少年グループ、育成団体、NPO 事業への共催及び後援を行うとともに、関係行政機関及び関係団体への事業に協力した。また、広報誌「ユースサービス」を発行（年3回）し、関係者及び関係団体への情報提供を行った。
- (エ) 調査・研究・研修事業  
 立命館大学大学院での「ユースワーカー養成コース」を同大学院と共同で運営するとともに、学部での養成講座の実施や資格制度についての研究を行った。そのほか、同志社大学、佛教大学及び法政大学などを中心とした子ども・若者支援施策等の調査・研究に協力、参画した。
- イ 青少年活動センター事業
- (ア) 青少年活動センターの管理運営  
 市内7箇所の青少年活動センターにおいて、「ユースサービス」（青少年の自己成長の支援）の理念に基づき、青少年団体や青少年グループの自主的な活動を支援し、促進するとともに、それぞれが青少年個人の活動参画や課題を乗り越えるための支援を行う、青少年のための拠点施設として機能するよう運営した。
- (イ) 青少年活動リーダーの養成事業  
 若者を支援する専門スタッフである「ユースワーカー養成プログラム」や、各青少年活動センターにおいて、ボランティアの養成や研修を実施した。
- (ウ) 青少年の交流促進事業  
 ボランティアスタッフが運営する「ライブキッズ」を実施し、青少年及び青少年グループの交流を促進する事業を行った。また、青少年の支援や活動に関わる人たちと共に、「若者がいま・未来を語る」をテーマに、シンポジウムを開催した。
- (エ) 青少年の社会参加を促進する事業など各センターの特性を生かした事業  
 市内7箇所の青少年活動センターが、それぞれの特性を生かした個性的な事業を展開しており、環境教育事業や国際理解や異文化理解のための事業、青少年のスポーツ活動を支援する事業、演劇やダンスなど創造活動への参加を促す事業、地域（まちづくり）に関わる事業などに取り組んだ。
- (オ) 子ども・若者総合相談窓口の運営等  
 社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者やその家族の相談に応じ、適切な支援機関の紹介や情報提供、助言などを行う「子ども・若者総合相談窓口」の運営に取り組んだ。
- ウ 京都若者サポートステーションの運営  
 一定期間無業の状態にある若者の職業的自立支援を目的に、キャリアコンサルタント及び臨床心理士による専門相談、職業体験等を行う「職業ふれあい事業」やセミナーなどを実施した。  
 また、学校と連携した早期支援として、市立高校へキャリアコンサルタント等を派遣する「学校連携推進事業」に取り組んだ。
- エ 地域若者サポーター活用事業  
 平成20年度から平成23年度までに養成した「地域若者サポーター（個人サポーター）」が5つのブロックに分かれ、各地域で活動するとともに、青少年活動センターと協働で居場所事業や異世代交流事業に取り組んだ。
- オ 子ども・若者指定支援機関業務等  
 社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者の社会参加や社会的自立に向けて、効果的かつ円滑な支援を実施するために設置された「京都市子ども・若者支援地域協議会」による支援の主導的役割を担っており、配置している支援コーディネーターが関係機関等との架

け橋となり、総合的・継続的な支援を実施した。

また、子ども・若者指定支援機関と NPO 等が一体となった支援を展開することにより、子ども・若者の社会参加及び社会的自立を促進することなどを目的とする「NPO 等民間団体の子ども・若者支援促進事業」を実施し、子ども・若者の社会的自立に資する事業を実施する 9 団体に助成を行った。

さらに、新たな取組として、ひきこもり経験者等とともに、ひきこもり状態にある方やその家族を支援する「ピアサポーター養成・派遣事業」を NPO と協働で実施した。

そのほか、青少年育成団体や NPO 等が実施する青少年を支援する取組のうち、「京都市ユースアクションプラン」の主旨に合致するものについて、京都市ユースアクションプラン認証事業の活用を行った。

#### カ 中学 3 年生学習支援事業

生活保護世帯の中学生に対する学習支援の取組として、平成 22 年度から京都市（保健福祉局）の委託を受け、BBS 京都地区会等と連携し、平成 25 年度には市内 5 箇所青少年活動センターをはじめ、市内 3 箇所の地域で学習会を実施した。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	51,313	46,828	4,485
未収金	7,244	630	6,614
前払金	58	111	△ 54
預託金	10	10	0
流動資産合計	[58,624]	[47,579]	[11,045]
2. 固定資産			
(基本財産)			
有価証券	29,992	29,992	0
基本財産預金	8	8	0
基本財産合計	(30,000)	(30,000)	(0)
(特定資産)			
退職給与引当資産	23,579	24,312	△ 733
減価償却引当資産	3,139	2,042	1,096
特定積立資産	3,570	3,570	0
特定資産合計	(30,288)	(29,925)	(363)
(その他固定資産)			
車両運搬具	656	984	△ 328
什器備品	1,745	1,592	153
ソフトウェア	3,404	4,085	△ 681
電話加入権	75	75	0
その他固定資産合計	(5,881)	(6,737)	(△ 856)
固定資産合計	[66,168]	[66,662]	[△ 493]
資産合計	124,793	114,241	10,552
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,517	20,845	△ 328
前受金	24	275	△ 251
預り金	1,476	3,267	△ 1,791
賞与引当金	12,964	14,204	△ 1,241
流動負債合計	[34,981]	[38,591]	[△ 3,610]
2. 固定負債			
退職給与引当金	23,579	24,312	△ 733
固定負債合計	[23,579]	[24,312]	[△ 733]
負債合計	58,559	62,903	△ 4,344
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[30,000]	[30,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(30,000)	(30,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[36,234]	[21,338]	[14,896]
(うち特定財産への充当額)	(6,709)	(5,613)	(1,096)
正味財産合計	[66,234]	[51,338]	[14,896]
負債及び正味財産合計	124,793	114,241	10,552

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120	120	0
② 特定資産運用益	5	0	5
③ 事業収益	8,841	8,172	670
④ 受取補助金	6,420	11,350	△ 4,930
⑤ 受託料	369,785	351,688	18,097
⑥ 受取寄付金	614	298	317
⑦ 雑収益	1,772	4,374	△ 2,603
経常収益計	387,557	376,001	11,556
(2) 経常費用			
① 事業費	367,229	382,594	△ 15,364
② 管理費	5,728	6,854	△ 1,127
経常費用計	372,957	389,448	△ 16,491
当期経常増減額	14,601	△ 13,447	28,047
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給与引当金取崩益	601	5,407	△ 4,806
経常外収益計	601	5,407	△ 4,806
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	306	0	306
経常外費用計	306	0	306
当期経常外増減額	295	5,407	△ 5,112
当期一般正味財産増減額	14,896	△ 8,039	22,935
一般正味財産期首残高	21,338	29,377	△ 8,039
一般正味財産期末残高	36,234	21,338	14,896
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0
III. 正味財産期末残高	66,234	51,338	14,896

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 自主事業

##### (ア) 情報発信事業

情報発信事業（旧リーダーバンク事業）は、青少年が地域活動に参加していくための機会づくりを目的として実施する。

- a 主に 10 代を対象に社会参加の情報を提供する「ボランティアニュース」の発行
- b 高校生がメディアを使って意見を表明する機会を提供する「the keys!」の発行
- c 青少年団体、青少年の支援に関わる団体との交流・情報交換会の開催
- d 青少年活動センター登録グループの情報発信

##### (イ) 市民参加促進事業

青少年が「市民社会」の主体となる“市民”としての経験・学習の機会の提供を目指すとともに、地域参加、市政やまちづくり、青少年活動センターの運営への参画を進める。

##### (ウ) 青少年支援関係団体のネットワーク形成事業

青少年グループ・育成団体・NPO 事業への共催・後援や、広報誌「ユースサービス」の発行等を行う。

##### (エ) 調査・研究・研修事業

立命館大学大学院での「ユースワーカー養成コース」を同大学院と共同で運営するとともに、学部での養成講座の実施や資格制度について研究を行う。また、ユースワークや子ども・若者総合支援への取組について、大学等との研究に協力・参画するとともに、協会職員の研修を進める。

#### イ 青少年活動センター事業

##### (ア) 青少年活動センターの管理運営

市内 7 箇所の青少年活動センターにおいて、「ユースサービス」（青少年の自己成長の支援）の理念に基づき、青少年団体や青少年グループの自主的な活動を支援し、促進するとともに、各青少年活動センターが青少年個人の活動参画や課題を乗り越えるための支援を行う、青少年のための拠点施設として機能するよう引き続き運営する。また、「京都若者サポートステーション」及び「子ども・若者総合支援事業」と連携を図り、青少年活動センターでも課題を抱える青少年の支援を強めるとともに、京都府による立ち直り支援チームと連携した非行少年等の立ち直り支援の取組に協力する。

##### (イ) 青少年活動リーダーの養成事業

「ユースワーカー養成・資格認定事業」によるユースワーカーの養成など、地域社会で活躍できる人材養成を行うほか、各青少年活動センターでボランティアリーダーを募集し、育成する。

##### (ウ) 青少年の交流促進事業

「ユースシンポジウム」等を、各青少年活動センターの持っている人的資源などを生かし実施する。

##### (エ) 各青少年活動センターの特性を生かした事業

- a 環境学習、異文化理解のための取組などを通して、地域の課題に青少年が関わるための事業を実施する。
- b 青少年の「居場所づくり」を支える事業を全センターで実施する。
- c ボランティア活動等の青少年の自発的な活動を支援する事業を継続して取り組む。

##### (オ) 子ども・若者総合相談窓口の運営

子ども・若者相談員を配置し、社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者やその家族の相談に応じ、適切な支援機関の紹介や情報提供、助言などを行う「子ども・若者総合相談窓口」を運営する。また、「ひきこもり地域支援センター」の窓口としても運営を行う。

#### ウ 京都若者サポートステーションの運営

一定期間無業の状態にある若者の職業的自立支援を目的に、相談事業（出前相談会を含む。）を実施するとともに、就活基礎力・実践力のアップを行うほか、7 箇所青少年活動センターと連携した職業体験等を行う「職業ふれあい事業」等を実施する。

また、卒業生及び中退者の支援を行う「学校連携推進事業」も引き続き行っていく。

#### エ 地域若者サポーター活用事業

「地域若者サポーター」（個人サポーター）を地域ブロックごとに分け、青少年活動センターなどの事業へ誘導するとともに、サポーターを活用した若者の居場所事業等を実施するほか、「伴走型就労支援」の京都モデルを試行する。

#### オ 子ども・若者指定支援機関業務等の推進

社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者の社会参加や社会的自立に向けた支援の主導的役割を担うとともに、配置している支援コーディネーターが関係機関等との架け橋となり、総合的かつ継続的な支援を実施していく。

また、NPO 法人等と連携した「子ども・若者支援促進事業」に取り組むとともに、ひきこもり経験者などと共にひきこもり状態にある方やその家族を支援する「ピアサポーター養成・派遣事業」をNPO 法人と協働で取り組む。

平成 26 年度は、ひきこもり・就労支援など多彩な支援機関情報についての冊子を作成し、市民・関係者に配布する。

青少年育成団体等が実施する青少年の社会参加や社会的自立を支援する事業（京都市ユースアクションプラン認証事業）を効果的に情報提供するため、これらの事業を掲載したリーフレットの発行と、青少年の自立を支援することにつながる取組として、「ユースアクションプラン事業認証」及び「ロゴマーク」の活用を行う。

#### カ 中学 3 年生学習支援事業の受託

様々な団体と協力しながら、生活保護世帯の高校進学を希望する中学生を対象に、学習支援のための勉強会を実施する。平成 26 年度は、新たに左京エリアでも実施する。



## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	100	100	0
② 事業収益	6,630	8,697	△ 2,067
③ 受取補助金	2,950	7,586	△ 4,636
④ 受託料	371,225	371,125	100
⑤ 受取寄付金	620	500	120
⑥ 雑収益	1,549	1,786	△ 237
経常収益計	383,074	389,794	△ 6,720
(2) 経常費用			
① 事業費	378,527	383,199	△ 4,672
② 管理費	5,227	7,009	△ 1,782
経常費用計	383,754	390,208	△ 6,454
当期経常増減額	△ 680	△ 414	△ 266
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給与引当金取崩益	680	414	266
経常外収益計	680	414	266
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	680	414	266
当期一般財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	36,234	21,338	14,896
一般正味財産期末残高	36,234	21,338	14,896
II. 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0
指定正味財産金末残高	30,000	30,000	0
III. 正味財産期末残高	66,234	51,338	14,896

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	373,950	376,001	387,557	383,074
	当期経常増減額	△10,139	△13,447	14,601	△680
	当期正味財産増減額	△10,398	△8,039	14,896	0
貸借対照表	総資産	134,917	114,241	124,793	
	総負債	75,539	62,903	58,559	
	正味財産	59,377	51,338	66,234	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	青少年活動センター管理運営等 (指定管理)	285,535	285,535	285,535	293,694
	若者サポートステーション事業	7,700	6,260	6,260	
	サポーター養成等事業		1,300	1,300	
	子ども・若者総合支援業務	36,262	38,262	39,762	
	中3学習支援事業	993	1,600	4,100	
補助金	情報発信事業 (リーダーバンク事業) 等	13,696	11,246	5,800	1,740
	リユース食器利用促進助成			5	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収益の85%以上が本市からの委託料であり、市への依存体質は改善されていない。</li> <li>平成25年度は黒字転換が達成できたが、年度途中の欠員不補充等の緊急対応によるものであり、依然として赤字体質は変わらない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の青少年行政を担う団体として、若者の健全育成や自立に困難を有する若者の支援を目的に事業を企画実施しているが、参加者の少ない事業も散見される状況であり、より一層の費用対効果を踏まえた事業運営が望まれる。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 平成 25 年度は、当期正味財産増減額が黒字となったが、依然として厳しい財務状況が続いている。引き続き、徹底した経費削減に努める必要がある。
事業面	・ 施設ごとの稼働率にばらつきがある。施設の状況を確認し、事業の費用対効果等を踏まえた見直しが必要である。

# 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 斧出節子

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

### 3 電話番号

075-212-7490

### 4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/>(京都市男女共同参画センター)

### 5 設立年月日

平成5年5月24日

### 6 基本財産

50,000千円(うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が発揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前条の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (TEL075-222-3091)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

斧出節子

#### (2) 副理事長

中川慶子

#### (3) 専務理事

水口重忠

#### (4) 常務理事

津田美智子

#### (5) 理事

川村雅己, 佐野恭子, 清水智子, 田口美紀,

寺井一郎 (文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課長), 横山晶子, 安田三江子

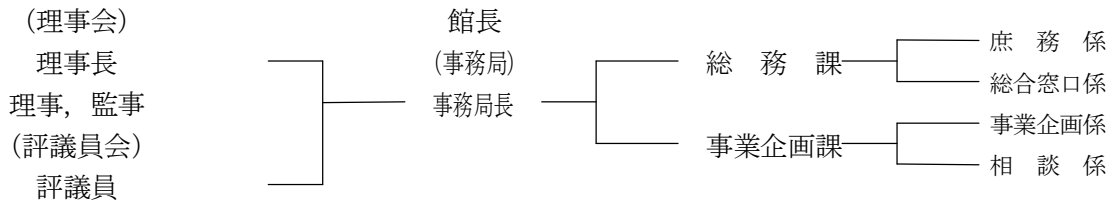
#### (6) 監事

平野之夫, 宮田英喜 (文化市民局共同参画社会推進部長), 村上博保

### 11 常勤職員数

14人(うち本市派遣職員0人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 図書事業

ブックフェア開催、ブックリスト発行、お話を聞く会

(ウ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook等）

b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 調査研究

a デートDV意識調査、育児休業パワーアッププログラム調査

b 既存の行政資料の収集・分析

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

a 働く男性のためのワーク・ライフ・バランス講座

b 女子学生就職前講座

c 働き女子のWork\*Love Balance カフェ

d わたしの防災ノート作り

e ワーク・ライフ・バランス講演会

f 父と子どもの食事づくりワークショップ

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

a みんなで考える男女共同参画

b 新島八重に学ぶ男女共同参画大学

c 親子で楽しむコンサート

d 母と娘の理科教室

e 教職員対象DV予防講座

f 男女共同参画社会は男性を救うのか

(ウ) 教養・健康増進事業

a 運動実技講座

b うた講座

c その他教養講座

(エ) 保育事業

a 事業参加者の保育

b 施設利用者の保育

c 親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

a 一般相談

- b 専門相談
- (イ) 相談事業
  - a DV 被害当事者のための自立支援事業
  - b グループ相談会
- (ウ) 関係機関連携
- (エ) 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
  - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
    - a ウィングス・フォーラム
    - b シニア映画祭
    - c センター利用者や地域との協働事業
    - d ピンクリボン活動啓発事業
  - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
    - a DV 被害者支援講座
    - b インストラクター及びサポーター活用事業
    - c DV 被害当事者のための居場所づくり事業
    - d WEN-DO 護身術講習
    - e パープルリボンの取組 ほか
  - (ウ) 人材・団体育成事業
    - a 市民活動サポート事業
    - b 共催・後援事業
    - c 講座受講生のグループ育成
  - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	94,585	98,353	△ 3,768
未収入金	448	363	84
仮払金	751	739	11
小口現金	50	50	0
前払金	349	347	1
流動資産合計	[96,182]	[99,853]	[△ 3,671]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
京都市公募公債	10,000	10,000	0
第93回利付国債	10,000	10,000	0
大阪府公募公債	10,000	10,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	( 0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	55,788	53,756	2,032
備品更新準備資金	3,604	6,199	△ 2,595
施設改良準備資金	3,066	5,000	△ 1,934
図書情報室活性化資金	2,593	8,000	△ 5,408
省エネルギー化資金	1,365	5,400	△ 4,035
施設改良資金	2,417	3,000	△ 583
20周年記念事業準備資金	7,000	7,000	0
人材育成事業準備資金	3,000	0	3,000
特定資産合計	(78,832)	(88,355)	(△ 9,523)
(その他固定資産)			
建物附属設備	3,557	0	3,557
什器備品	5,753	7,040	△ 1,288
ソフトウェア	8,211	6,225	1,986
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(19,116)	(14,861)	(4,255)
固定資産合計	[147,948]	[153,216]	[△ 5,268]
<b>資産合計</b>	<b>244,130</b>	<b>253,068</b>	<b>△ 8,939</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	15,387	19,140	△ 3,753
預り金	808	1,091	△ 283
前受金	6,404	6,346	58
賞与引当金	6,117	0	6,117
流動負債合計	[28,716]	[26,577]	[2,139]
2. 固定負債			
退職給付引当金	55,788	53,594	2,194
固定負債合計	[55,788]	[53,594]	[2,194]
<b>負債合計</b>	<b>84,504</b>	<b>80,171</b>	<b>4,333</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[54,801]	[7,208]	[47,593]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	( 0)	(50,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[104,824]	[165,690]	[△ 60,865]
(うち基本財産への充当額)	( 0)	(50,000)	(△ 50,000)
(うち特定資産への充当額)	(78,832)	(88,355)	(△ 9,523)
<b>正味財産合計</b>	<b>[159,626]</b>	<b>[172,897]</b>	<b>[△ 13,272]</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>244,130</b>	<b>253,068</b>	<b>△ 8,939</b>

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	298	314	△ 15
② 受託料等収入	186,087	191,839	△ 5,753
③ 自主事業収入	28,189	29,102	△ 913
④ 助成金収入	860	480	380
⑤ 雑収入	2,130	2,780	△ 649
経常収益計	217,565	224,515	△ 6,950
(2) 経常費用			
① 事業費	223,453	206,584	16,869
② 管理費	4,971	0	4,971
経常費用計	228,424	206,584	21,840
当期経常増減額	△ 10,859	17,931	△ 28,790
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除去額	6	21	△ 15
経常外費用計	6	21	△ 15
当期経常外増減額	△ 6	△ 21	15
指定正味財産への振替額	△ 50,000	0	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	△ 60,865	17,911	△ 78,776
一般正味財産期首残高	165,690	147,779	17,911
一般正味財産期末残高	104,824	165,690	△ 60,865
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	△ 2,407	△ 2,898	491
② 一般正味財産からの振替額	50,000	0	50,000
当期指定正味財産増減額	47,593	△ 2,898	50,491
指定正味財産期首残高	7,208	10,106	△ 2,898
指定正味財産期末残高	54,801	7,208	47,593
III. 正味財産期末残高	159,626	172,897	△ 13,272

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 図書事業

a ブックフェア開催、ブックリスト発行

b お話しをきく おはよう会、朗読を聞く会

(ウ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook等）

b 啓発誌・講座案内の発行



イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 調査研究

- a デートDV 調査報告，育児休業パワーアッププログラム調査
- b 既存の行政資料の収集・分析
- c 男性の働き方調査研究事業

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報，啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

- a 男性にとっての男女共同参画
- b 女子学生対象就職前講座
- c 働く女性対象講座
- d 理系女子応援講座
- e ワーク・ライフ・バランス講演会
- f 働く女性のネットワーク構築

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

- a みんなで考える男女共同参画講座
- b 女性の視点で見る防災
- c 親子で楽しむコンサート
- d ミニシネマ&トーク
- e DV 予防講座
- f 女性の活躍推進シンポジウム

(ウ) 教養・健康増進事業

- a 運動実技講座
- b うた講座
- c その他教養講座

(エ) 保育事業

- a 事業参加者の保育
- b 施設利用者の保育
- c 親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

- a 一般相談
- b 専門相談

(イ) 相談事業

- a DV 被害当事者のための自立支援講座
- b グループ相談会
- c 大学相談室派遣事業

(ウ) 関係機関連携

(エ) 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付

オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進

(ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業

- a ウィングス・フォーラム
- b 映像フェスティバル
- c センター利用者や地域との協働事業
- d 人権・男女共同参画研修
- e ピンクリボン活動啓発事業

(イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業

- a DV・性暴力被害者支援講座

- b インストラクター活用事業
- c DV 被害当事者のための居場所づくり事業
- d WEN-DO 護身術講習会
- e パープルリボンの取組
- (ウ) 人材・団体育成事業
  - a 市民活動サポート事業
  - b 共催・後援事業
  - c 講座受講生のグループ育成
- (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理, 組織・人事管理, 財務運営

(2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	250	250	0
② 受託料等収入	193,032	184,000	9,032
③ 自主事業収入	29,000	30,000	△ 1,000
④ 助成金収入	0	260	△ 260
⑤ 雑収入	1,500	1,500	0
経常収益計	223,782	216,010	7,772
(2) 経常費用			
① 事業費	232,357	220,467	11,890
② 管理費	5,734	0	5,734
経常費用計	238,091	220,467	17,624
当期経常増減額	△ 14,309	△ 4,457	△ 9,852
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,309	△ 4,457	△ 9,852
一般正味財産期首残高	120,810	125,267	△ 4,457
一般正味財産期末残高	106,501	120,810	△ 14,309
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 2,898	0	△ 2,898
指定正味財産期首残高	4,310	0	4,310
指定正味財産期末残高	1,412	0	1,412
III. 正味財産期末残高	107,913	120,810	△ 12,897

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	213,778	224,515	217,565	223,782
	当期経常増減額	11,423	17,931	△10,859	△14,309
	当期正味財産増減額	21,477	15,012	△13,272	△17,207
貸借対照表	総資産	236,978	253,068	244,130	
	総負債	79,093	80,171	84,504	
	正味財産	157,885	172,897	159,626	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	男女共同参画センターの 管理運営 (指定管理)	180,000	180,000	180,000	185,170
	DV 被害者支援インストラ クター養成事業	2,000	2,525		
	男性のためのDV電話相談 及び教職員のためのDV予 防講座事業			1,000	
	「新島八重に学ぶ男女共 同参画大学」運営業務			1,000	
	DV 被害者支援インストラ クター及びサポーター活 用事業			1,680	
補助金	事業補助 (図書資料の収 集・提供)	6,536	6,416		

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度決算及び26年度予算では大幅な赤字を計上しており、今後、自主事業収入の確保や助成金の獲得などがより一層必要となってくる。</li> <li>支出面では人件費の抑制が緊急課題である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度も前年度に引き続き、年間入館者数が50万人を突破するなど、年間入館者数、月平均日数使用率ともに高い水準を維持しており、安定した運営が実現できている。</li> <li>一方で、事業の実施方法の比重を市民参加型のワークショップにシフトしていることなどから、自主事業及び受託事業の受講者数が減少傾向にある。</li> <li>事業の専門性を追求することと、幅広く市民に受講していただける講座を実施することの両立が今後の課題である。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 人件費の増加等により，平成 25 年度の当期正味財産増減額が赤字に転じたことから，徹底した経費削減の取組が求められる。
事業面	・ 時代の変化や市民のニーズに合わせた事業を実施し，安定した団体運営を目指す必要がある。

# 一般財団法人京都市立浴場運営財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 北川龍彦

### 2 所在地

京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町 519 番地

### 3 電話番号

075-802-3591

### 4 ホームページアドレス

[http://www.geocities.jp/kyoto\\_city\\_yokujou/index.html](http://www.geocities.jp/kyoto_city_yokujou/index.html)

### 5 設立年月日

平成10年2月2日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

旧同和地区に設置された京都市立浴場等の公共施設（以下「地域社会施設」という。）の管理運営及び活用のための調査，研究等を行うことにより，旧同和地区及び周辺地域住民の福祉の向上並びに地域交流の推進を図り，もって同和問題をはじめとする人権問題の解決に資すること。

### 8 業務内容

- (1) 京都市立浴場の管理運営
- (2) 地域社会施設の管理運営及び活用に関する調査，研究
- (3) 旧同和地区及び周辺地域住民の福祉の向上並びに地域交流の推進
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局市民生活部人権文化推進課（TEL075-366-0322）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

北川龍彦

#### (2) 理事長代行

後藤重義

#### (3) 副理事長

中川慶子

#### (4) 理事

山下治雄，佐伯久子，山田義春，小笹芳巳，山田学，森崎勝，平竹耕三（文化市民局長），吉川昌弘（文化市民局市民生活部長）

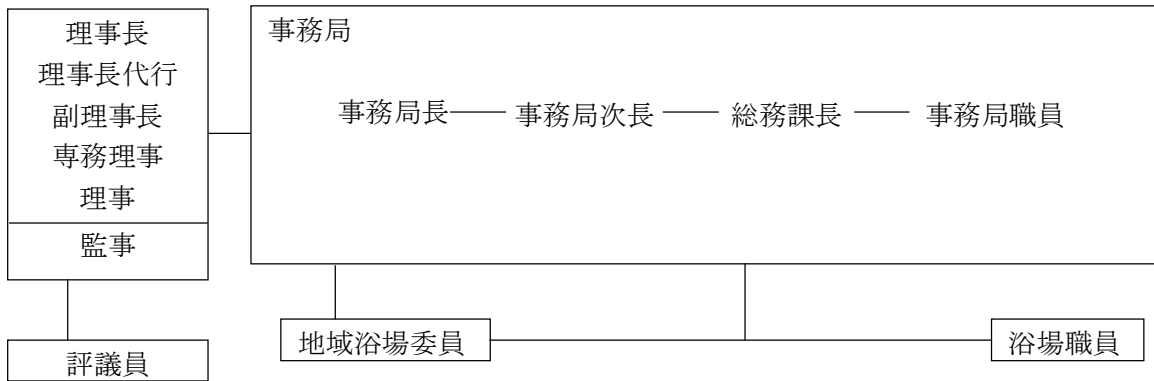
#### (5) 監事

近藤一郎

### 11 常勤職員数

76 人（うち本市派遣職員 2 人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

平成 25 年度においては、京都市内 13 箇所に設置されている京都市立浴場の指定管理者として、公の施設である同浴場の管理を代行した。

また、平成 25 年度は、第 2 期目の指定管理期間（平成 23 年度～26 年度）の 3 年目に当たり、各浴場の営業を滞りなく実施するとともに、一般職員の定年退職に伴う嘱託化や職員定数の削減などにより経費削減に努めた。

なお、民間浴場との料金格差の解消を図るため、平成 26 年 2 月 1 日から大人料金を民間浴場と同一料金（410 円）に改定し、新たに中人料金（100 円）を設定するとともに、大人の割引回数券（10 枚綴、券面額 4,100 円を 3,900 円で販売）を発行した。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	受託事業特別会計	福利厚生事業特別会計
I. 資産の部				
1. 流動資産	[48,505]	[1,830]	[38,003]	[8,671]
現金預金	48,463	1,789	38,003	8,671
未収金	41	41	0	0
2. 固定資産	[81,608]	[68,921]	[11,923]	[764]
(基本財産)	(50,000)	(50,000)	(0)	(0)
定期預金	50,000	50,000	0	0
(特定資産)	(30,541)	(18,618)	(11,923)	(0)
退職給付引当資産	30,541	18,618	11,923	0
(その他固定資産)	(1,067)	(303)	(0)	(764)
構築物	373	0	373	0
車両運搬具	798	798	0	0
什器備品	292	292	0	0
減価償却累計額	△ 1,277	△ 904	△ 373	0
電話加入権	117	117	0	0
貸付金	764	0	0	764
資産合計	130,113	70,751	49,926	9,435
II. 負債の部				
1. 流動負債	[25,879]	[82]	[25,796]	[0]
未払金	25,726	76	25,649	0
預り金	153	6	147	0
2. 固定負債	[48,928]	[10,538]	[38,390]	[0]
退職給付引当金	48,928	10,538	38,390	0
負債合計	74,807	10,620	64,186	0
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	[50,000]	[50,000]	[0]	[0]
地方公共団体補助金	50,000	50,000	0	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	[5,306]	[10,131]	[△ 14,260]	[9,435]
(うち特定資産への充当額)	(△ 18,600)	(8,080)	(△ 26,680)	(0)
正味財産合計	55,306	60,131	△ 14,260	9,435
負債及び正味財産合計	130,113	70,751	49,926	9,435

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	受託事業特別会計	福利厚生事業特別会計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	42	42	0	0
② 事業収益	122,733	0	122,733	0
③ 受取補助金等	445,301	21,801	423,500	0
④ 福利事業収益	1,822	0	0	1,822
⑤ 貸付事業収益	13	0	0	13
⑥ 雑収益	151	4	147	0
経常収益計	570,062	21,847	546,380	1,835
(2) 経常費用				
① 事業費	554,272	0	554,272	0
② 福利厚生事業費	1,820	0	0	1,820
③ 貸付事業費	9	0	0	9
④ 管理費	21,934	21,934	0	0
経常費用計	578,036	21,934	554,272	1,829
当期経常増減額	△ 7,974	△ 88	△ 7,892	6
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,974	△ 88	△ 7,892	6
一般正味財産期首残高	13,280	10,218	△ 6,368	9,430
一般正味財産期末残高	5,306	10,131	△ 14,260	9,435
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0	0
III. 正味財産期末残高	55,306	60,131	△ 14,260	9,435

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

当財団は、平成18年度から指定管理者として公の施設である京都市内13箇所に設置されている京都市立浴場の管理を代行している。

平成26年度においては、現指定管理期間の最終年度に当たり、京都市との緊密な連携協力の下、市立浴場の管理運営業務を行うとともに、浴場主任を中心とした浴場職員、地域浴場委員及び財団事務局の相互連携を図り、サービスの向上や入浴者の一層の確保に努める。

さらに、住民交流の観点から、周辺地域住民も視野に入れた利用者の憩いの場、地域福祉の一翼を担う施設として運営するため、福祉支援事業の継続、福祉風呂の管理運営、高齢者介護情報等の提供、安否確認サービスの実施、障害者の就労支援の場の提供等による、地域福祉の



向上に向けたサービスの充実に向けた取組を行う。

また、平成 25 年度第 5 回理事会・評議員会における審議の結果、指定管理期間が終了する平成 27 年 3 月 31 日をもって解散することとなったため、解散に向けた処理を迅速かつ円滑に進めるとともに、次の指定管理者に対し、業務の確実な引継ぎに努める。

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	受託事業 特別会計	福利厚生事業 特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
①基本財産運用収入	100	100	0	0	0
②事業収入	112,320	0	105,000	7,320	0
③補助金等収入	454,371	21,801	432,570	0	0
④雑収入	109	9	100	0	0
事業活動収入計	566,900	21,910	537,670	7,320	0
①事業費支出	543,890	0	536,570	7,320	0
②管理費支出	20,910	20,910	0	0	0
事業活動支出計	564,800	20,910	536,570	7,320	0
事業活動収支差額	2,100	1,000	1,100	0	0
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0	0	0
2 投資活動支出					
①特定資産取得支出	100	0	100	0	0
投資活動支出計	100	0	100	0	0
投資活動収支差額	△100	0	△100	0	0
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	2,000	1,000	1,000	0	0
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
収支計算書	収入合計	662,006	587,435	598,732	566,900
	支出合計	650,099	559,807	576,106	566,900
	次期繰越収支差額	11,907	27,629	22,626	0
正味財産増減計算書	経常収益	633,458	574,300	570,062	
	当期経常増減額	△36,064	2,268	△7,974	
	当期正味財産増減額	△36,064	2,268	△7,974	
貸借対照表	総資産	178,656	127,674	130,113	
	総負債	117,644	64,394	74,807	
	正味財産	61,012	63,280	55,306	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	市立浴場管理運営委託 (指定管理)	430,000 (※)	426,000 (※)	423,500 (※)	432,570 (※)
補助金	運営補助	22,633	20,281	21,801	21,801

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴者数が減少しているものの、料金改定により平成24年度並みの入浴料収入を確保することができた。また、光熱水費が値上がりするなど厳しい経営環境の中であったが、コスト意識を持った効率的な施設運営を行い、経費の圧縮に努めた。</li> <li>平成20年度の「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」からの報告及び指定管理者の指定の際に市会から出された警告を踏まえ、引き続き、一般職員の嘱託化推進による人件費の削減に取り組む必要がある。</li> <li>今後とも更なる効率的な施設運営を徹底する必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立浴場福祉支援事業(70歳以上の高齢者のうち生活保護受給者と心身障害者(児)を対象に絞り、申請により入浴券を月3枚配布)の実施、従業員を対象としたケアサポート研修を行い、高齢者や障害のある利用者へのサポート体制を強化したこと、さらに安定的経営のための取組である入浴券(10枚綴り)の販売が順調なことから、入浴者へのサービス面での充実が図られている。</li> <li>平成20年度の「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」からの報告及び指定管理者の指定の際に市会から出された警告を踏まえ、地域福祉の向上に寄与する取組について積極的に実施するとともに、利用者サービスの更なる向上に努める必要がある。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 団体の解散に向けて，引き続き，徹底した経費削減に取り組むなど，効率的な施設運営に努める必要がある。
事業面	・ 引き続き，事業目的に合致した取組を継続する必要がある。

# 公益財団法人京都市体育協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

会長 内田昌一

### 2 所在地

京都市右京区西京極新明町1番地

### 3 電話番号

075-315-4561

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-sports.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和59年6月21日

### 6 基本財産

115,000千円（うち本市出えん額 30,000千円，出えん率 26.1%）

### 7 事業目的

多様化した市民のスポーツ活動に対する欲求にこたえ，市民スポーツの普及・振興に関する事業を積極的に推進し，もって市民の健全な心身の発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 競技力向上のための各種事業の実施や指導者の育成
- (2) 生涯スポーツの普及・振興に関する事業
- (3) スポーツ振興を目的とした団体等に対する支援及び協働
- (4) スポーツに関する情報の提供及び調査研究
- (5) 地域におけるスポーツ活動の振興及び協働
- (6) トップスポーツを身近に接する機会の提供
- (7) スポーツ活動拠点の運営
- (8) 有料駐車場，自動販売機，物品販売や貸与等による収益事業
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局市民スポーツ振興室（TEL075-366-0168）

### 10 役員名等

#### (1) 会長

内田昌一

#### (2) 副会長

藤野英雄，田中田鶴子，今枝徳蔵，田中セツ子

#### (3) 専務理事

草川健治

#### (4) 理事

嶋田正義，檀野晴一，水田雅博，前川勝六，長谷川好子，岡寛，松井道宣，松永敬子

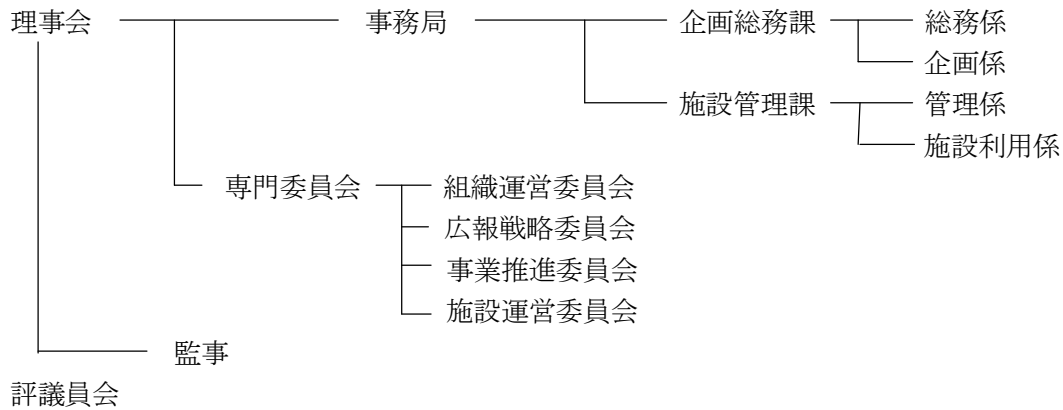
#### (5) 監事

安村史朗，内藤誠

### 11 常勤職員数

36人（うち本市派遣職員1人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア スポーツ振興事業

##### (イ) 競技力の向上事業

- a 競技力向上事業
- b 指導者養成事業
- c 第11回京都市民総合体育大会
- d 京都府民総合体育大会
  - (a) オープニングフェスティバル
  - (b) 競技スポーツ部門
  - (c) 交流スポーツ部門
- e 都市間交流スポーツ大会

##### (ロ) 生涯スポーツの普及・振興及び支援事業

- a スポーツ普及事業
  - (a) 京都ツデーウオーク
  - (b) スポーツ写真コンクール
  - (c) スポーツの普及・啓発活動
- b スポーツ活動支援事業
  - (a) スポーツ団体運営支援事業
  - (b) ビッグゲーム等支援事業
  - (c) 後援や共催などの名義使用等
- c 第26回全国健康福祉祭こうち大会
  - (a) スポーツ交流大会
  - (b) ふれあいスポーツ交流大会

##### (ハ) スポーツ情報提供及び調査研究事業

- a スポーツ情報提供事業
  - (a) スポーツ情報誌「ダッシュ！」の発行
  - (b) facebook の開設
  - (c) メールマガジンの発信

##### イ スポーツ活動拠点の運営事業

##### (イ) 地域のスポーツ活動振興事業

- a スポーツ教室
- b みんなのスポーツフェスタ
- c スポーツチャレンジデー

- d プロを含むトップレベルのスポーツとの取組
- e 地域との連携協働事業
  - (a) 西京極さくら祭り
  - (b) 五山送り火鑑賞会
  - (c) お正月施設開放事業
- (イ) スポーツ施設の運営事業
  - a 施設の貸与
    - (a) 貸与施設の管理運営
    - (b) 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムの運営
  - b スポーツ施設の改修等事業
- ウ 収益事業
  - (ア) スポーツ施設収益事業
    - a 共同事業体が主催するスポーツ教室
    - b スポーツツアー
    - c 自動販売機設置事業
    - d 有料駐車場運営事業
    - e 物品の販売及び貸与事業
    - f 広告事業（わかさスタジアム京都，陸上競技場兼球技場）
- エ その他事業
  - (ア) スポーツ表彰事業
  - (イ) 環境への取組
    - a KES（環境マネジメントシステム）ステップ1の推進
    - b ペットボトルキャップ，紙パック，乾電池等のリサイクル活動やテニスボールのリユース活動
    - c エコステーションや落ち葉の堆肥作りなどの地球温暖化対策
    - d ソーラーシステムによる放送設備のラジオ体操広場への設置
    - e 京都市が行う次世代自動車の充電設備などへの積極的な協力
    - f 地域周辺清掃活動
    - g 節電対策によるCO2削減
  - (ウ) 職員の資質向上への取組
  - (エ) 各種会議等の実施

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産	[157,457]	[191,451]	[△ 33,994]
現金預金	118,935	147,784	△ 28,850
未収金	37,501	42,646	△ 5,145
前払金	992	1,021	△ 29
立替金	30	0	30
2. 固定資産	[317,337]	[265,358]	[51,979]
(基本財産)	(115,000)	(61,500)	(53,500)
投資有価証券	31,500	31,500	0
定期預金	83,500	30,000	53,500
(特定資産)	(197,026)	(197,226)	(△ 201)
退職給付引当資産	34,016	34,216	△ 201
施設整備引当資産	163,010	163,010	0
(その他固定資産)	(5,311)	(6,632)	(△ 1,320)
建物	4,127	2,737	1,390
建物減価償却累計額	△ 2,153	△ 1,625	△ 528
車両運搬具	9,771	9,771	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 8,322	△ 7,332	△ 990
什器備品	30,579	31,485	△ 906
什器備品減価償却累計額	△ 28,722	△ 28,670	△ 52
リース資産	2,939	5,954	△ 3,015
リース資産減価償却累計額	△ 2,939	△ 5,719	2,780
リサイクル預託金	31	31	0
資産合計	474,794	456,809	17,985
II. 負債の部			
1. 流動負債	[87,692]	[66,107]	[21,586]
未払金	81,403	57,256	24,146
未払消費税	222	1,635	△ 1,412
リース債務	0	247	△ 247
前受金	4,736	4,605	132
預り金	1,326	2,359	△ 1,033
仮受金	5	6	0
2. 固定負債	[34,016]	[34,216]	[△ 201]
退職給付引当金	34,016	34,216	△ 201
負債合計	121,708	100,323	21,385
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	[31,500]	[31,500]	[0]
出捐金	30,000	30,000	0
寄付金	1,500	1,500	0
(うち基本財産への充当額)	(31,500)	(31,500)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	[321,586]	[324,987]	[△ 3,400]
(うち基本財産への充当額)	(83,500)	(30,000)	(53,500)
(うち特定資産への充当額)	(163,010)	(163,010)	(0)
正味財産合計	353,086	356,487	△ 3,400
負債及び正味財産合計	474,794	456,809	17,985

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	243	177	66
②特定資産運用益	335	405	△70
③受取入会金	20	0	20
④受取会費	1,170	1,140	30
⑤事業収益	424,950	480,427	△55,477
⑥施設改修等負担金交付金収益	0	45,604	△45,604
⑦受取補助金等	16,999	34,222	△17,223
⑧雑収益	6,134	10,081	△3,947
経常収益計	449,852	572,056	△122,204
(2) 経常費用			
①事業費	437,120	404,935	32,185
②管理費	16,132	85,582	△69,450
③施設整備費	0	45,604	△45,604
④引当金繰入額	0	6,494	△6,494
経常費用計	453,252	542,616	△89,364
当期経常増減額	△3,400	29,440	△32,840
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,400	29,440	△32,840
一般正味財産期首残高	324,987	295,547	29,440
一般正味財産期末残高	321,586	324,987	△3,401
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	31,500	31,500	0
指定正味財産期末残高	31,500	31,500	0
III. 正味財産期末残高	353,086	356,487	△3,401

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア スポーツの振興事業

(イ) 競技力の向上事業

a 競技力向上事業

(a) 競技団体実施事業への助成

(b) ジュニア育成事業

b 指導者養成事業

(a) 講座の実施

(b) 競技団体実施事業への助成

c 京都市民総合体育大会開催事業

d 京都府民総合体育大会派遣事業



- e 都市間交流スポーツ大会交流事業
- (イ) 生涯スポーツの普及・振興及び支援事業
  - a スポーツ普及事業
  - b スポーツ活動支援事業
  - c 全国健康福祉祭選手選考事業
- (ウ) スポーツ情報提供及び調査研究事業
  - a スポーツ情報提供事業
  - b 調査研究事業
- イ スポーツ活動拠点の運営事業
  - (ア) 地域のスポーツ活動振興事業
    - a エンジョイスports事業
    - b みんなのスポーツフェスタ
    - c スポーツチャレンジデー
    - d プロを含むトップレベルのスポーツとの取組
    - e 地域との連携協働事業
  - (イ) スポーツ施設の運営事業
    - a 施設の貸与
      - (a) 貸与施設の管理運営
      - (b) 第3期指定管理への応募
      - (c) 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムの運営
    - b スポーツ施設の改修等事業
- ウ 収益事業
  - (ア) スポーツ施設収益事業
    - a 共同事業体が主催するスポーツ教室
    - b スポーツツアー
    - c 自動販売機設置事業
    - d 有料駐車場運営事業
    - e 物品の販売及び貸与事業
    - f 広告事業（わかさスタジアム京都，陸上競技場兼球技場など）
    - g 環境への取組（京都市が公募する「太陽光発電屋根貸し制度」への応募）
- エ その他の事業
  - (ア) 中期経営計画の策定
  - (イ) スポーツ表彰事業
  - (ウ) 環境への取組
  - (エ) 職員の資質向上への取組
  - (オ) 各種会議等の実施

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	360	350	10
② 特定資産運用益	590	405	185
③ 受取会費	1,170	1,140	30
④ 事業収益	483,363	438,660	44,703
⑤ 受取補助金等	12,802	25,704	△ 12,902
⑥ 受取負担金	100	100	0
⑦ 雑収益	12,130	9,860	2,270
経常収益計	510,515	476,219	34,296
(2) 経常費用			
① 事業費	488,773	448,727	40,046
② 管理費	21,742	27,492	△ 5,750
経常費用計	510,515	476,219	34,296
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	324,987	295,547	29,440
一般正味財産期末残高	324,987	295,547	29,440
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	31,500	31,500	0
指定正味財産期末残高	31,500	31,500	0
III. 正味財産期末残高	356,487	327,047	29,440

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	619,397	572,056	449,852	510,515
	当期経常増減額	35,386	29,440	△3,400	0
	当期正味財産増減額	210,007	29,440	△3,400	0
貸借対照表	総資産	497,032	456,809	474,794	
	総負債	169,985	100,323	121,708	
	正味財産	327,047	356,487	353,086	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	施設管理 (指定管理)	293,753 (※)	191,768 (※)	147,351 (※)	183,907 (※)
	競技スポーツ強化振興事業	6,200	5,830	4,500	
	京都府・市町村共同公共施設案内予約システム運用業務	21,235	21,235	19,235	
	全国健康福祉祭参加者派遣等事業	993	817	935	
	電気自動車用充電設備管理業務	750	900	900	
補助金	運営補助	26,474	24,824	12,752	
	府民総体選手派遣	482	482	482	482
その他	施設改修等負担金交付金	29,245	45,604		

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、平成24年度に未執行であった施設等の修繕を繰り延べて実施したことにより、当期正味財産増減額は赤字となったが、引き続き良好な財務状況を維持している。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に引き続き、ウォーキング講座やランニング講座を開講するなど、市民が気軽にスポーツを学び、参加できる場の提供等を積極的に展開している。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額は赤字に転じたが、引き続き良好な財務状況を維持している。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な事業展開により、引き続き、市民がスポーツに触れる機会の創出に努めてほしい。</li> </ul>

# 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 長尾真

### 2 所在地

京都市左京区下鴨半木町1番地の26

### 3 電話番号

075-711-2244

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-ongeibun.jp/>

### 5 設立年月日

平成5年3月31日

### 6 基本財産

103,000千円（うち本市出せん額 55,000千円，出せん率 53.4%）

### 7 事業目的

京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能を振興し、国内外へ発信することにより、京都が優れた文化を創造し世界文化交流の中心であり続けることに寄与するとともに、市民が生きがいのある文化的な生活を送ることができる社会づくりに貢献すること。

### 8 業務内容

- (1) 芸術及び芸能の振興並びに伝統芸能の継承及び発展に資する事業
- (2) 京都の文化芸術の国内外への発信と交流の促進に資する事業
- (3) 京都市交響楽団による芸術の振興及び発信に資する事業
- (4) 文化芸術を通して地域社会の活性化や健全な発展に寄与する事業
- (5) 文化芸術の振興拠点として、創造的な活動が不断に行われるための施設の管理運営
- (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-366-0033)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

長尾真

#### (2) 専務理事

藤井宏一郎

#### (3) 理事

青山恒，尾池和夫，大嶋義実，鴛渕紹子，榊田隆之，田隅靖子，谷口享，鍋谷剛，森川佳昭（文化市民局文化芸術都市推進室長）

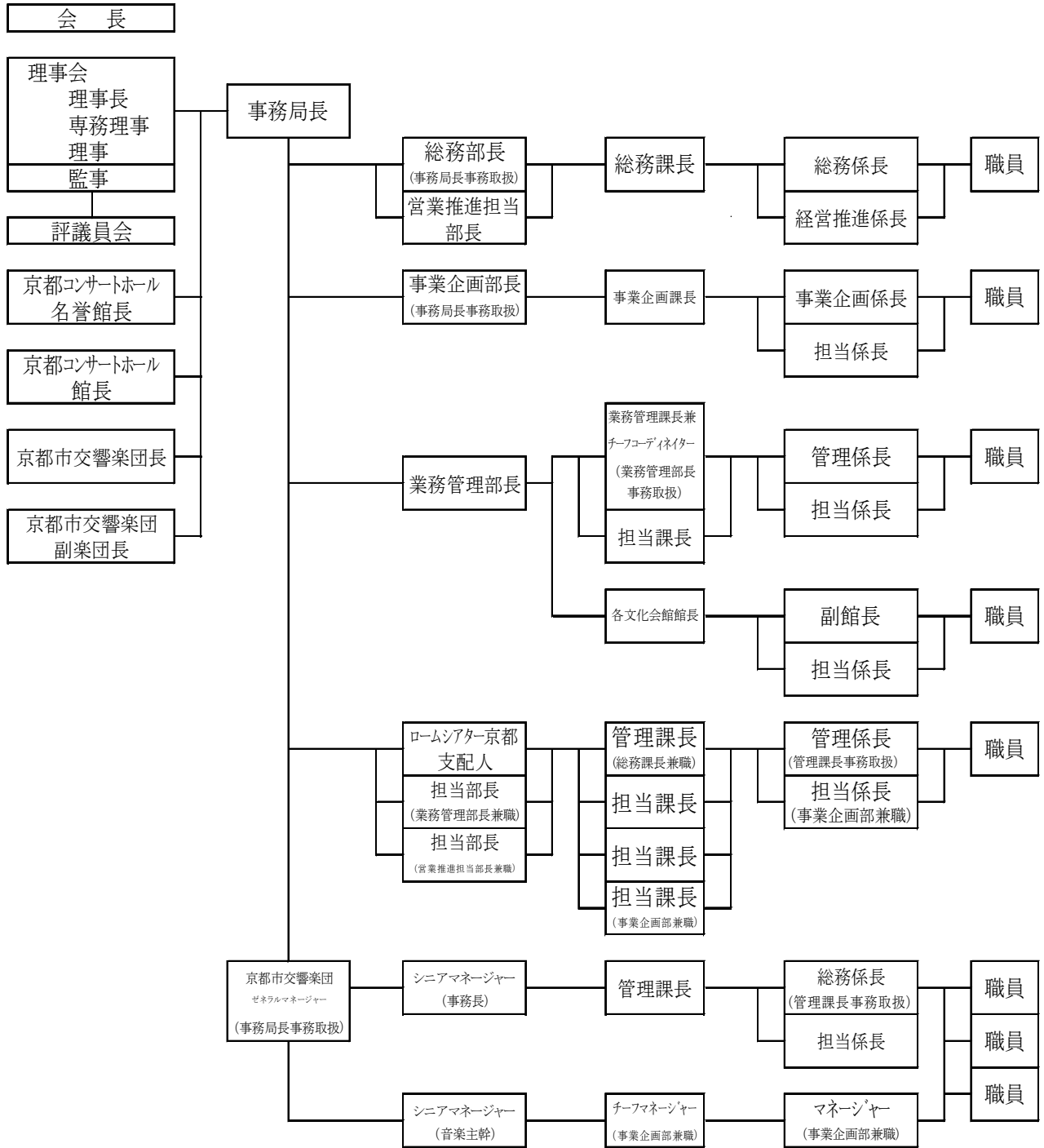
#### (4) 監事

中路健一，宮田英喜（文化市民局共同参画社会推進部長）

### 11 職員数

167人（うち本市派遣職員 95人）

12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 公益目的事業

##### ア 京都コンサートホール

##### (ア) 自主・共催事業 (37事業 53公演 4講座)

##### a 「京都の秋 音楽祭」の開催

- (a) 多くの市民を招待
- (b) 芸術水準の高い演奏会を中心とする鑑賞型事業
- (c) 「音楽の檜舞台」京都コンサートホール」を発信する教育事業

##### b 質の高い演奏会の開催

- (a) 財団ならではの企画力による名曲シリーズ
- (b) ピアノ・リサイタルの充実

##### c 財団のコーディネート力を活かして幅広い音楽ジャンルを提供

- (a) クラシック音楽ファンのすそ野の拡大
- (b) 北山地域活性化事業と連携した「京都ミュージック・プロムナード」(東日本大震災支援チャリティーコンサート)
- (c) 市民参加による音楽文化の振興

##### d 幅広いニーズに応える公演の開催

- (a) 姉妹都市や芸術都市からの音楽使節
- (b) 多彩な舞台芸術の紹介
- (c) 日本有数のパイプオルガンを活用した事業

##### e 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

- (a) 未来の音楽家の育成事業
- (b) 新しい鑑賞者の育成事業
- (c) 音楽芸術の人材育成のための支援制度

##### f フランチャイズ・オーケストラの京都市交響楽団を活用した事業

##### (イ) 受託事業

##### a 指定管理者業務

- (a) 施設(貸館)の利用実績(利用率目標達成度, 入場者数, 利用料金収入)の向上
- (b) 施設・設備の維持管理

##### イ 地域文化会館(東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京ふれあい文化会館)

##### (ア) 自主事業 (59事業 141公演 5講座)

##### a 地域の文化芸術活動活性化への取組

- (a) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催と協議会提案事業
- (b) アウトリーチ活動の本格的な実施
- (c) 文化会館コーディネーターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業の実施
- (d) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施

##### b 教育機関との連携及び教育活動への支援

##### c 地域の芸術・芸能の振興

##### d 市民参加をプロデュース

##### e 世界の民族音楽に触れる機会を提供

##### f 質の高い映画文化の振興

##### g 親子で参加できるコンサート

##### h 市民が京都市交響楽団とふれあう機会を提供

##### (イ) 受託事業

##### a 指定管理者業務

- (a) 施設（貸館）の利用実績（利用率目標達成度，入場者数，利用料金収入）
  - (b) 舞台運営に関する企画等
  - (c) 施設・設備の維持管理
- ウ ロームシアター京都
- (ア) 平成 25 年度における準備業務
    - a 制作に関する業務
    - b 施設設備及び運営に関する業務
    - c 管理に関する業務
    - d 広報・営業に関する業務
- エ 京都市交響楽団
- (ア) 自主事業（24 事業 28 公演）
    - a 定期演奏会
    - b 特別演奏会（スプリングコンサート，第九，ニューイヤーコンサート）
    - c 市外公演（大阪・名古屋・東京）
    - d オーケストラ・ディスカバリー ―こどものためのオーケストラ入門―
    - e みんなのコンサート
    - f その他（楽器講習会，訪問演奏等，京都市交響楽団練習風景公開事業，京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携）
  - (イ) 共催事業
  - (ウ) 受託事業
- オ 施設の管理運営のための取組
- (ア) 広報・営業活動
    - a 広報活動
      - (a) 広報・広告媒体の活用（市関連広報媒体，交通媒体，地域情報誌等地元媒体，新聞，音楽専門誌）
      - (b) 自主媒体による広報（会報誌「コンサートガイド」の発行（コンサートホール），メルマガによる公演情報の発信，ホームページの活用）
  - (イ) 集客のための取組
    - a 京都コンサートホール
      - (a) 会員制度（「京都コンサートホール Club」会員制度の企画・運営，「スペシャルメンバーズ」制度の企画・運営）
      - (b) 割引制度（「シニア制度」の運営，「スチューデント制度」の運営，「障がいのある方割引制度」の運営）
      - (c) ウィークデーパッケージプランの運用
    - b 京都市交響楽団
      - (a) 会員制度
      - (b) 割引制度
    - c インターネットによる京都コンサートホール・京都市交響楽団自主事業チケット販売
    - d 地域文化会館
      - (a) 地域文化会館割引制度（平日直前利用割引制度，平日連続区分利用割引制度）
  - (ウ) 各種助成制度の活用及び企業協賛
  - (エ) サービス向上の取組
    - a お客様満足度向上委員会（CS 委員会）の推進
    - b アンケート調査の実施及びお客様御意見箱の設置
    - c ホームページの充実
  - (オ) 環境改善活動の取組
  - (カ) 危機管理・安全対策の取組

- (キ) 情報の収集
  - a 公立文化施設協議会
  - b 企画運営委員会（全8回）
  - c コンサートホール企画連絡会議等への参加
  - d 舞台芸術専門委員会
- カ 組織運営のための取組
  - (ア) 人材育成・職員研修
  - (イ) 新人事給与制度の運用開始
  - (ウ) 中期経営計画における重点課題の推進
  - (エ) 組織・職員
    - a 組織改正
    - b 組織運営
    - c 人事異動
  - (オ) 庶務報告
    - a 役員会の開催
    - b 役員の異動
    - c 登記事項
- (2) 収益事業
  - ア 公益目的外の施設提供事業
    - (ア) 駐車場経営
    - (イ) 京都コンサートホールグッズ販売等
    - (ウ) プレイガイドの運営
    - (エ) 自動販売機の管理運営



## (3) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	249,496	191,318	58,178
未収金	65,861	90,403	△ 24,542
貯蔵品	6,010	5,340	670
立替金	0	1,474	△ 1,474
仮払金	0	214	△ 214
前払金	102	0	102
流動資産合計	[321,470]	[288,750]	[32,721]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	83,000	83,000	0
定期預金	20,000	20,000	0
基本財産合計	(103,000)	(103,000)	(0)
(特定資産)			
記念事業引当資産	158,186	158,186	0
管理運営引当資産	369,306	369,306	0
退職給付引当資産	197,311	204,637	△ 7,326
特定費用準備資金	117,247	76,588	40,659
特定資産取得・改良資金	10,000	8,000	2,000
特定資産合計	(852,049)	(816,716)	(35,333)
(その他固定資産)			
什器備品	9,689	10,791	△ 1,102
電話加入権	314	314	0
その他固定資産合計	(10,003)	(11,105)	(△ 1,102)
固定資産合計	[965,052]	[930,822]	[34,231]
資産合計	1,286,523	1,219,572	66,951
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	114,928	105,414	9,514
未払法人税等	320	320	0
前受金	124,049	105,479	18,570
預り金	36,238	40,881	△ 4,643
流動負債合計	[275,534]	[252,094]	[23,440]
2. 固定負債			
退職給付引当金	197,311	204,637	△ 7,326
固定負債合計	[197,311]	[204,637]	[△ 7,326]
負債合計	472,845	456,731	16,114
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[55,000]	[55,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(55,000)	(55,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[758,678]	[707,841]	[50,837]
(うち基本財産への充当額)	(48,000)	(48,000)	[0]
(うち特定資産への充当額)	(654,739)	(612,080)	(42,659)
正味財産合計	[813,678]	[762,841]	[50,837]
負債及び正味財産合計	1,286,523	1,219,572	66,951

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,242	1,242	0
② 特定資産運用益	1,289	2,341	△ 1,052
③ 事業収益	1,268,812	1,278,081	△ 9,269
④ 受取補助金等	622,097	644,407	△ 22,311
⑤ 受取寄付金	10,000	0	10,000
⑥ 雑収益	2,567	5,541	△ 2,974
経常収益計	1,906,006	1,931,613	△ 25,606
(2) 経常費用			
① 事業費	1,835,304	1,817,790	17,515
② 管理費	19,545	25,802	△ 6,257
経常費用計	1,854,849	1,843,591	11,258
当期経常増減額	51,157	88,021	△ 36,864
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	51,157	88,021	△ 36,864
法人税, 住民税, 及び事業税	320	320	0
当期一般正味財産増減額	50,837	87,701	△ 36,864
一般正味財産期首残高	707,841	620,140	87,701
一般正味財産期末残高	758,678	707,841	50,837
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III. 正味財産期末残高	813,678	762,841	50,837

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 公益目的事業

#### ア 京都コンサートホール

##### (ア) 自主・共催事業 (31 事業 40 公演 1 講座)

- a 京都市交響楽団のフランチャイズホールとしての取組
- b 芸術水準の高い演奏会を中心とする鑑賞型事業
- c 多彩な実演芸術の紹介
- d 日本有数のパイプオルガンの活用
- e 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援
- f 未来の聴衆のために
- g 地域の活性化と音楽の普及啓発に資する事業
- h 音楽芸術の人材育成のための支援制度

##### (イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b 施設管理の目標 (利用料金収入額, 入場者数, 日数使用率) の達成
- c お客様のサービス向上に向けた取組
  - (a) チケット票券管理システムの導入
  - (b) ホームページの充実
  - (c) デジタルサイネージ (電子掲示板) の導入に向けた検討
  - (d) お客様満足度向上委員会 (CS 委員会) の推進
  - (e) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様御意見箱の設置
  - (f) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨
- d 集客のための取組
  - (a) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組
  - (b) スペシャルメンバーズ制度の運営
  - (c) 学生, 高齢者, 障がい者等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備
  - (d) ウィークデーパッケージプランの活用

#### イ 地域文化会館 (東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京ふれあい文化会館)

##### (ア) 自主事業 (47 事業 54 公演 4 講座)

- a 地域文化会館の重点的な取組
  - (a) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催
  - (b) コーディネーター制度
  - (c) 文化芸術活動パワーアップ支援事業
  - (d) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施
  - (e) 文化会館での地域の情報発信拠点としての取組
- b 市民の文化芸術活動への参加の促進
- c 教育機関との連携及び教育活動への支援
- d 伝えたい地域の芸能
- e 青少年の文化創造をサポート
- f 地域社会との交流事業の充実
- g 親子で楽しむコンサート
- h クラシック音楽がある豊かな生活

##### (イ) 受託事業

- a 指定管理者業務
- b 施設管理の目標 (利用料金収入額, 日数使用率)
- c お客様のサービス向上に向けた取組

- d 集客のための取組
- ウ 京都市交響楽団
  - (ア) 自主・共催事業 (28 事業 41 公演)
    - a 定期演奏会
    - b 特別演奏会
    - c オーケストラ・ディスカバリー ～VIVA! オーケストラ～
    - d みんなのコンサート
    - e 市外公演
    - f 京響プレミアム
    - g 京都発見! クラシック
    - h 共催事業
    - i その他演奏会等
      - (a) 楽器講習会, 訪問演奏等
      - (b) 練習風景公開
      - (c) 京響コーラス
      - (d) 京都市ジュニアオーケストラ, 若手音楽家との連携
- エ ロームシアター京都
  - (ア) オープニング及びオープニング・プレ事業関連
  - (イ) 貸館・施設管理関連
  - (ウ) 広報・宣伝・営業関連
  - (エ) 設計・工事関連
- オ その他
  - (ア) 事業運営の透明化, 適正化の推進
  - (イ) 新人事給与制度の更なる強化
  - (ウ) 人材育成・職員研修
  - (エ) 環境への配慮
- (2) 収益事業
  - ア 公益目的外の施設提供事業
    - (ア) 駐車場経営
    - (イ) オリジナルグッズ等販売
    - (ウ) プレイガイドの運営
    - (エ) 自動販売機の管理運営

## (3) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1,300	1,300	0
②特定資産運用益	1,050	1,560	△ 510
③事業収益	1,380,857	1,309,326	71,531
④受取補助金等	654,049	625,031	29,018
⑤受取寄付金	1,520	10,021	△ 8,501
⑥雑収益	2,527	3,419	△ 892
経常収益計	2,041,303	1,950,657	90,646
(2) 経常費用			
①事業費	2,065,641	1,921,098	144,543
②管理費	21,842	23,858	△ 2,016
経常費用計	2,087,483	1,944,956	142,527
当期経常増減額	△ 46,180	5,701	△ 51,881
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 46,180	5,701	△ 51,881
一般正味財産期首残高	713,542	707,841	5,701
一般正味財産期末残高	667,362	713,542	△ 46,180
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III. 正味財産期末残高	722,362	768,542	△ 46,180

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	2,225,709	1,931,613	1,906,006	2,041,303
	当期経常増減額	△1,239	88,021	51,157	△46,180
	当期正味財産増減額	92,907	87,701	50,837	△46,180
貸借対照表	総資産	1,242,610	1,219,572	1,286,523	
	総負債	567,470	456,731	472,845	
	正味財産	675,140	762,841	813,678	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都コンサートホール管理運営 (指定管理)	187,600 (※)	185,435 (※)	185,435 (※)	190,733 (※)
	京都会館管理運営 (指定管理)	236,800		30,000	58,286
	文化会館管理運営 (指定管理)	272,927 (※)	272,927 (※)	259,877 (※)	264,619 (※)
	自主, 共催事業	6,479	6,479	6,479	
	事業委託	21,355	36,299	3,902	
補助金	事業補助	623,662	644,407	622,097	654,049

(※) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 管理経費の削減に努め、今期も黒字を保っている。
事業面	・ 文化会館においては、地域の特性を生かした多彩な事業を展開している。 ・ 施設の入場者数については、文化会館では目標値を達成し、京都コンサートホールでは、目標値は達成できなかったものの、近年の中では高い水準を保つなど利用促進に努めている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 当期正味財産増減額は黒字を維持しており、安定的な財務状況を維持している。
事業面	・ 目標値を達成できなかったものについては、要因を分析し、今後の事業運営に活用することが望まれる。

# 公益財団法人京都市芸術文化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 建島哲

### 2 所在地

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 京都芸術センター内

### 3 電話番号

075-213-1003

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kac.or.jp/> (京都芸術センター)

### 5 設立年月日

昭和56年9月30日

### 6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 15,000千円, 出えん率 30.0%)

### 7 事業目的

芸術文化に関する調査研究を行い、芸術文化の分野における創造的活動を助成し、市民文化の普及・向上を図るための各種文化事業を実施し、もって京都市における芸術文化の発展に寄与することを目的とし、併せて国際文化交流の促進に努めるものとする。

### 8 業務内容

- (1) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
- (2) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
- (3) 芸術文化に関する教育及び普及
- (4) 芸術家の育成及び顕彰
- (5) 芸術文化活動拠点の運営
- (6) 芸術文化に関する国内外との交流
- (7) その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL 075-366-0033)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

建島哲

#### (2) 副理事長

大津光章

#### (3) 専務理事

吉田真稚恵

#### (4) 業務執行理事

富永茂樹

#### (5) 理事

大藪清雅, 茂山あきら, 世古口瑳喜, 廣青隴, 深井游山, 藤井宏一郎, 松尾恵, 村居正之, 森川佳昭 (文化市民局文化芸術都市推進室長), 湯浅圭一

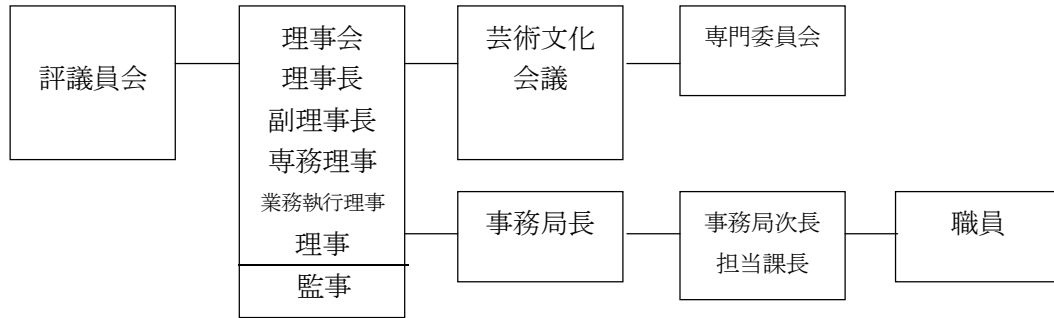
#### (6) 監事

中路健一, 吉岡久美子 (文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課計画推進担当課長)

### 11 常勤職員数

17人 (うち本市派遣職員2人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 自主事業

(ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

機関誌「藝文京」(1,100部×年4回)及び催物案内(5,000部×年4回)の発行

(イ) 各種芸術文化事業の実施

市民邦楽会, 秋の合同バレエ祭, 京都ビッグ・バンド・フェスティバル, 京都民謡まつりの開催

(ウ) 各種芸術文化事業の奨励(共催, 後援, 助成)

会員が実施する事業を対象に, 65事業に対して後援・共催等の支援を実施

(エ) 芸術文化に関する教育及び普及

夏休み文芸体験教室, 夏休み邦楽体験教室, 夏休み能楽体験教室, 冬休み子ども邦舞体験教室の開催

(オ) 芸術家等の育成及び顕彰

a 京都いけばなプレゼンテーション

b 美術・工芸作品展「CRIA展」の開催

c 京都市芸術文化協会賞・新人賞

##### イ 受託事業

(ア) 市民狂言会

(イ) ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業

保育所, 幼稚園, 小学校, 中学校等を対象に芸術文化の体験授業等を実施

(ウ) 助成関係事業

a 助成金等内定者資金融資制度

b 芸術文化特別奨励制度

c 文化芸術顕彰制度(文化功労者, 芸術新人賞, 芸術振興賞)

(エ) 文化芸術情報発信強化事業(Kyoto Art Box)

(オ) 文化芸術コア・ネットワークの運営

(カ) 京都市新規採用職員研修

(キ) その他受託事業

a 能楽「謡う宝生、舞う金剛」公演

##### ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業(京都芸術センター管理運営事業)

(ア) 伝統的芸術の継承・創造事業

a 明倫茶会

b 五感で感じる和の文化事業(伝統芸能みくらべ公演, 伝統芸能ことはじめほか)

(イ) 芸術家・芸術関係者育成事業

a わざゼミ(美術作家等を対象とした伝統工芸の知識や手法を習得するためのセミナーの



- 開催ほか)
  - b トラディショナル・シアター・トレーニング（主に外国人を対象とした伝統芸能のワークショップ）
  - c KAC Performing Arts Program2013（コンテンポラリーダンス、音楽公演等）
  - d 京都国際舞台芸術祭 2013（KYOTO EXPERIMENT 2013）
  - e 展覧会作家ドラフト 2014
  - f 展覧会「インキュベーション」
- (ウ) 先駆的・実験的事業
  - a ニュイ・ブランシュ 2013（展覧会開催及び延長開廊、ワークショップ集中開催等）
  - b フェルトシュテルケ・インターナショナル（ドイツ・フランス・日本の学生の交流プロジェクト）
- (エ) 制作・発表支援事業
  - a 制作支援事業（制作室使用者募集）
  - b 発表支援事業（共催事業募集）
- (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
  - a 図書室の運営（図書等：約 5,400 冊，ビデオ等：約 400 本）
  - b 情報コーナーの運営（イベント情報等のポスター，チラシ等を年間約 700 種掲出）
  - c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行（毎月 8,000 部）
  - d 京都芸術センターホームページ
- (カ) 教育普及事業
- (キ) 国際交流事業
  - アーティスト・イン・レジデンス
- (ク) 市民及び芸術家相互の交流事業
  - a 京都芸術センター春まつり
  - b 盆踊り
  - c 展覧会「夏休み企画」
  - d 明倫レコード倶楽部（SPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会）
  - e 京都市交響楽団アンサンブルコンサート
  - f 素謡の会「ようこそ、観阿弥さん」
  - g 市民寄席
  - h 明倫ワークショップ（制作室使用者が市民を対象に開催するワークショップ）
- (ケ) 地域・学術・産業との連携事業
  - a 祇園祭・鋳職人の技展
  - b その他地元関連事業（コンサートほか）
  - c ダンス事業「Dance 4 All」
  - d ボランティア・スタッフ
  - e 学術との連携

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	39,515	27,360	12,155
未収会費	120	115	5
未収金	19,655	19,217	438
前払金	750	962	△ 212
貸付金	18,090	18,030	60
流動資産合計	[78,130]	[65,684]	[12,447]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	29,282	20,382	8,900
公社債	20,718	29,618	△ 8,900
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
管理運営費積立資産	27,000	27,000	0
情報発信強化事業費積立資産	3,300	3,300	0
芸術文化特別事業積立資産	9,000	0	9,000
退職給付引当資産	15,990	14,157	1,833
特定資産合計	(55,290)	(44,457)	(10,833)
(その他固定資産)			
什器備品	82	163	△ 82
その他固定資産合計	(82)	(163)	(△ 82)
固定資産合計	[105,372]	[94,620]	[10,751]
<b>資産合計</b>	<b>183,502</b>	<b>160,304</b>	<b>23,198</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
短期借入金	18,090	18,030	60
未払金	40,943	29,246	11,697
前受金	760	714	46
前受会費	25	50	△ 25
預り金	2,589	3,011	△ 423
流動負債合計	[62,406]	[51,051]	[11,355]
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,990	14,157	1,833
固定負債合計	[15,990]	[14,157]	[1,833]
<b>負債合計</b>	<b>78,396</b>	<b>65,208</b>	<b>13,188</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
京都市出資金	15,000	15,000	0
寄付金	33,803	33,803	0
指定正味財産合計	[48,803]	[48,803]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(48,803)	(48,803)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[56,303]	[46,293]	[10,010]
(うち基本財産への充当額)	(1,197)	(1,197)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(39,300)	(30,300)	(9,000)
<b>正味財産合計</b>	<b>[105,106]</b>	<b>[95,096]</b>	<b>[10,010]</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>183,502</b>	<b>160,304</b>	<b>23,198</b>

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	231	430	△ 198
②特定資産運用益	69	40	28
③受取入会金収益	60	100	△ 40
④受取会費収益	2,710	3,315	△ 605
⑤事業収益	190,988	182,577	8,411
⑥受取補助金等	21,675	21,675	0
⑦受取負担金等	10,000	17,000	△ 7,000
⑧受取寄付金	360	0	360
⑨雑収益	701	409	292
経常収益計	226,795	225,546	1,249
(2) 経常費用			
①事業費	200,604	212,049	△ 11,445
②管理費	16,180	16,835	△ 655
経常費用計	216,784	228,884	△ 12,099
当期経常増減額	10,010	△3,338	13,348
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,010	△3,338	13,348
一般正味財産期首残高	46,293	49,631	△ 3,338
一般正味財産期末残高	56,303	46,293	10,010
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III. 正味財産期末残高	105,106	95,096	10,010

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 自主事業

(ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

a 機関誌「藝文京」(1,000部×年2回)

b 協会ホームページのリニューアル

(イ) 各種芸術文化事業の実施

市民邦楽会、京都ビッグ・バンド・フェスティバル

(※市民邦舞会については、平成26年度まで休止)

(ウ) 各種芸術文化事業の奨励(共催、後援、助成)

会員が実施する事業を対象に後援、共催等の支援を実施

- (エ) 芸術文化に関する教育及び普及  
夏休み邦楽体験教室，夏休み能楽体験教室，夏休み邦舞体験教室，冬休み文芸体験教室の開催
- (オ) 芸術家等の育成及び顕彰
  - a 華道展「京都いけばなプレゼンテーション」
  - b 美術・工芸作品公募展（名称未定）の開催
  - c 京都市芸術文化協会賞・新人賞
- イ 受託事業
  - (ア) 市民狂言会
  - (イ) ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業  
保育所，幼稚園，小学校，中学校等を対象に芸術文化の体験授業等を実施
  - (ウ) 助成関係事業
    - a 助成金等内定者資金融資制度
    - b 芸術文化特別奨励制度
    - c 文化芸術顕彰制度（文化功労者，芸術新人賞，芸術振興賞）
  - (エ) 文化芸術オフィシャルサイト Kyoto Art Box
  - (オ) 文化芸術コア・ネットワークの運営
  - (カ) 琳派 400 年記念祭関連企画展
  - (キ) 文化芸術プログラム 2020（仮称）関連事業
  - (ク) 京都市新規採用職員研修
  - (ケ) その他受託事業
    - a 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」公演
    - b PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭運営関連業務
- ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センター管理運営事業）
  - (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
    - a 明倫茶会
    - b 五感で感じる和の文化事業
  - (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
    - a わざゼミ（展覧会，染織講座などの開催）
    - b トラディショナル・シアター・トレーニング（主に外国人を対象とした伝統芸能のワークショップ）
    - c KAC パフォーマンス・アーツ・プログラム（ダンス・音楽・伝統芸能の公演等）
    - d 京都国際舞台芸術祭 2014（KYOTO EXPERIMENT 2014）
    - e 展覧会作家ドラフト 2015
    - f 展覧会「インキュベーション」
  - (ウ) 先駆的・実験的事業
    - a ニュイ・ブランシュ 2014（白夜祭）
    - b フェルトシュケルテ・インターナショナル（ドイツ・フランス・日本の学生の交流プロジェクト）
  - (エ) 制作・発表支援事業
    - a 制作支援事業（制作室使用者募集）
    - b 発表支援事業（共催事業募集）
  - (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
    - a 図書室の運営
    - b 情報コーナーの運営
    - c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行（毎月 8,000 部）
    - d 京都芸術センターホームページ

- (カ) 教育普及事業
- (キ) 国際交流事業
  - a アーティスト・イン・レジデンス
  - b Kyoto AIR Alliance Festival2014 (海外のアーティストによる滞在制作を伴う公演や展覧会を紹介するフェスティバル)
  - c AIR・アーカイブ・リサーチ・ラボ (仮称)
- (ク) 市民及び芸術家相互の交流事業
  - a 展覧会「夏休み企画」
  - b てんとうむしプロジェクト05
  - c 明倫レコード倶楽部 (SPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会)
  - d 京都市交響楽団アンサンブルコンサート
  - e 素謡の会「世謡の春」
  - f 市民寄席
  - g 明倫ワークショップ (制作室使用者が市民を対象に開催するワークショップ)
- (ケ) 地域・学術・産業との連携事業
  - a 祇園祭・鋳職人の技展
  - b その他地元関連事業 (コンサートほか)
  - c ダンス事業 (Dance 4 All)
  - d ボランティア・スタッフ
  - e 学術との連携
  - f 展覧会 (その他)

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	250	510	△ 260
② 特定資産運用益	70	50	20
③ 受取入会金	250	250	0
④ 受取会費	2,785	3,425	△ 640
⑤ 事業収益	218,193	190,179	28,014
⑥ 受取補助金等	21,675	21,675	0
⑦ 受取負担金	13,000	10,000	3,000
⑧ 受取寄付金	550	100	450
⑨ 雑収益	700	100	600
経常収益計	257,473	226,289	31,184
(2) 経常費用			
① 事業費	238,083	210,310	27,773
② 管理費	16,374	16,522	△ 148
経常費用計	254,457	226,833	27,624
当期経常増減額	3,016	△ 544	3,560
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,016	△ 544	3,560
一般正味財産期首残高	45,750	46,293	△ 544
一般正味財産期末残高	48,766	45,750	3,016
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III. 正味財産期末残高	97,569	94,553	3,016

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	279,968	225,546	226,795	257,473
	当期経常増減額	3,797	△3,338	10,010	3,016
	当期正味財産増減額	3,797	△3,338	10,010	3,016
貸借対照表	総資産	172,123	160,304	183,502	
	総負債	73,689	65,208	78,396	
	正味財産	98,434	95,096	105,106	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都芸術センター運営 (指定管理)	128,920	128,920	128,920	132,603
	市民狂言会	3,586	3,586	3,586	
	京都市芸術文化特別奨励制度	1,043	1,043	1,043	
	文化芸術顕彰制度	1,137	1,137	1,137	
	助成金等内定者資金融資制度	379	379	379	
	ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業	4,238	4,238	4,238	
	情報発信強化事業		2,000	2,000	
	文化芸術コアネットワーク			2,100	
	京都市新規採用職員研修			350	
	五感で感じる和の文化事業	20,000			
補助金	文化事業補助	3,170	3,434	3,432	3,467
	運営補助	22,175	21,359	21,359	21,357
	地域創造助成金	357	1,471	2,000	3,000
貸付金	助成金等内定者融資制度に係る 貸付金 (累計残高) ※ ( ) 内は当該年度の貸付額	20,950 (30,000)	18,030 (30,000)	18,090 (40,000)	(40,000)
その他	五感で感じる和の文化事業に係る負担金		17,000	10,000	13,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度は、当期正味財産増減額において赤字を計上していたが、平成25年度は、管理経費の抑制等により経常費用の削減を図り、黒字に転換することができた。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>自主事業入場者数は目標値、平成24年度実績ともに上回り、芸術センター利用者数についても、目標値には達しなかったものの、平成24年度実績を上回っており、企画における工夫等によるものと考えられる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>黒字転換した点は評価できる。引き続き、収益増及び費用削減に努めてほしい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>市民との連携も含め、新たな企画を行うことにより、文化芸術によるまちづくりの推進に努めてほしい。</li></ul>



産業観光局

## 公益財団法人京都市森林文化協会

### 第1 法人の概要

#### 1 代表者

理事長 中野三郎

#### 2 所在地

京都市左京区花脊八桝町 250 番地

#### 3 電話番号

075-746-0439

#### 4 ホームページアドレス

<http://dobanzy.com>

#### 5 設立年月日

平成4年11月4日

#### 6 基本財産

50,000千円（うち本市出えん額 50,000千円，出えん率 100.0%）

#### 7 事業目的

京都市の森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、森林の保全及び整備を行うとともに、自然と調和した森林文化の継承及び発展を図り、農林業を生かした地域の振興に寄与すること

#### 8 業務内容

- (1) 地球温暖化防止や景観形成等、公益的機能の発揮を目的とした森林の保全及び整備に関する事業
- (2) 森林文化及び山村文化の継承及び発展に関する事業
- (3) 地域と都市住民との交流の促進に関する事業
- (4) 森林文化の研究に関する事業
- (5) 地域製品の生産、流通、広報等地域の振興に関する事業
- (6) 「山村都市交流の森」等、京都市の施設の管理運営の委託事業
- (7) 森林の保全及び整備の担い手育成に関する事業
- (8) その他前項の目的を達成するために必要な事業

#### 9 所管部局

産業観光局農林振興室林業振興課（TEL075-222-3346）

#### 10 役員名等

##### (1) 理事長

中野三郎

##### (2) 副理事長

田中誠

##### (3) 専務理事

下畑寛蔵

##### (4) 理事

白谷肇，古原久弥，菊池初江，駒池重尚，藤井克己，松田直子，松谷茂，米田正次  
吉田英治，納谷義和（産業観光局農林振興室森林資源・鳥獣対策担当部長）

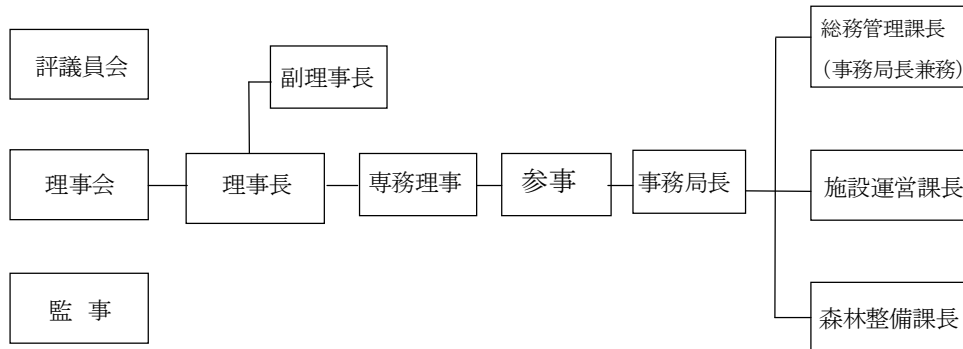
##### (5) 監事

中村政温，坂本文洋（産業観光局農林振興室林業振興課長）

#### 11 常勤職員数

6人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 公益事業

##### (ア) 森づくり事業

- a 公有林等におけるナラ枯れ対策の実施
- b 「京の苗木」生産協議会の運営
- c 京都伝統文化の森推進協議会事務局の運営
- d 森の工房「もくじゅ」の運営
- e 木工教室の開催（年間 18 回）
- f 森づくりの担い手育成講座の開催（年間 17 回）

##### (イ) 交流の森等管理事業

- a 森林区域・センターエリア及び林道・散策道の維持管理
- b 久多市有林の巡視及び八丁湿原の保護・保全
- c 京都市森林文化交流センター（森愛館）の管理運営（京都市指定管理者）
- d トレッキング等の独自イベント開催（年間 23 回）
- e ふるさと森都市フェスティバルへの参加

##### (ウ) 森林体験支援事業

- a 保育園、幼稚園及び小学校の団体への森林体験活動のサポート
- b 節電対策事業の実施

##### (エ) 交流の森利用拡大に向けての情報発信、広報活動

- a 「山村都市交流の森」ホームページの更新及びパンフレットの刷新
- b 「交流の森友の会」の運営
- c 沿線道路に案内板を設置

##### イ 収益事業

##### (ア) 宿泊休養施設「翠峰荘」経営の運営

- a 季節に応じた宿泊プランの提供、季節イベントの開催
- b 野外（バーベキュー）施設の運営
- c 冬季（12月～3月）の営業形態を予約制にすることによるコスト削減

##### (イ) 誘客対策

- a 各種団体が行う合宿、研修会、イベント等の誘致
- b 市内各所・イベント等でチラシを配布

##### ウ 協会運営

##### (ア) 公益財団法人認定基準に対応した財務や業務体制の整備

- (イ) 公益財団法人への移行登記
- (ウ) 「監査に関する規定」を策定
- (エ) 「コンプライアンス推進方針」及び「情報セキュリティポリシー」を策定

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,889	1,702	27,186
売掛金	77	0	77
棚卸資産	141	141	0
未収金	7,829	5,842	1,987
未収消費税等	0	4,071	△ 4,071
前払金	206	0	206
立替金	8	0	8
流動資産合計	[37,151]	[11,756]	[25,394]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	50,000	50,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	( 0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	11,672	9,869	1,803
特定資産合計	(11,672)	(9,869)	(1,803)
(その他固定資産)			
建物	3,386	0	3,386
構築物	1,353	1,353	0
建物附属設備	27,557	3,338	24,219
車両運搬具	0	0	0
什器備品	321	321	0
水道施設利用権	616	616	0
減価償却累計額	△ 1,829	△ 1,313	△ 516
電話加入権	349	349	0
その他固定資産合計	(31,753)	(4,664)	(27,090)
固定資産合計	[93,425]	[64,533]	[28,892]
資産合計	130,576	76,289	54,286
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	24,795	17,766	7,029
預り金	443	853	△ 409
短期借入金	16,496	5,000	11,496
賞与引当金	600	605	△ 5
未払法人税等	70	70	0
流動負債合計	[42,404]	[24,294]	[18,110]
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,194	11,983	1,211
固定負債合計	[13,194]	[11,983]	[1,211]
負債合計	55,598	36,277	19,321
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出損金	50,000	50,000	0
国庫補助金	11,496	0	11,496
地方公共団体補助金	14,795	0	14,795
指定正味財産合計	[76,291]	[50,000]	[26,291]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[△ 1,313]	[△ 9,988]	[8,675]
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	[74,977]	[40,012]	[34,965]
負債及び正味財産合計	130,576	76,289	54,286

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	36	40	△ 5
② 受取会費	3	18	△15
③ 事業収益	123,853	111,610	12,243
④ 受取補助金等	20,571	19,658	913
⑤ 寄付金収入	0	910	△910
⑤ 雑収入	66	590	△524
経常収益計	144,529	132,827	11,702
(2) 経常費用			
① 事業費	132,308	125,569	6,740
② 管理費	3,476	5,246	△1,770
経常費用計	135,784	130,815	4,969
当期経常増減額	8,745	2,011	6,733
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給付引当金戻入益	0	926	△926
経常外収益計	0	926	△926
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	926	△926
税引前当期一般正味財産増減額	8,745	2,937	5,807
法人税等	70	70	0
当期一般正味財産増減額	8,675	2,867	5,807
一般正味財産期首残高	△9,988	△12,855	2,867
一般正味財産期末残高	△1,313	△9,988	8,675
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	26,291	0	26,291
当期指定正味財産増減額	26,291	0	26,291
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	76,291	50,000	26,291
III. 正味財産期末残高	74,977	40,012	34,965

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 公益事業

##### (ア) 森づくり事業

- a 公有林等におけるナラ枯れ被害対策や森林整備の受託
- b 「京の苗木」生産協議会の運営
- c 京都伝統文化の森推進協議会 事務局の運営
- d 森の工房「もくじゅ」の運営
- e 木工教室の開催（年間 22 回）
- f 森づくりの担い手育成講座の開催

##### (イ) 交流の森等管理事業

- a 森林区域・センターエリア及び林道・散策道の維持管理
- b 久多市有林の巡視及び八丁湿原の保護・保全
- c 京都市森林文化交流センター（森愛館）の管理運営（京都市指定管理者）
- d トレッキング等の独自イベント開催（年間 20 回）
- e ふるさと森都市フェスティバルへの参加

##### (ウ) 森林体験支援事業

保育園、幼稚園及び小学校の団体への森林体験活動のサポート

##### (エ) 交流の森利用拡大に向けての情報発信、広報活動

- a 「山村都市交流の森」ホームページの運営
- b 「交流の森友の会」の運営

#### イ 収益事業

##### (ア) 宿泊休養施設「翠峰荘」運営

- a ツリークライミングやトレッキングなど、自然体験型宿泊プラン開発
- b イベント参加者の宿泊利用促進
- c 花背山の家と連携した、市内小学校の長期宿泊の受入れ
- d 冬季（12 月～3 月）の営業形態を予約制にすることによるコスト削減
- e 日帰り利用者の拡大（日帰り入浴等）

##### (イ) 地域特産品の製造販売

##### (ウ) 屋外施設（屋外バーベキュー場）利用者へのサービス向上

#### ウ 協会運営

##### (ア) 公益財団法人認定基準に対応した法人運営

##### (イ) 職員給与・手当見直しによる財務状況の改善

##### (ウ) コンプライアンスの徹底

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	30	50	△20
② 受取会費	15	30	△15
③ 事業収益	79,437	69,100	10,337
④ 受取補助金等	3,000	19,600	△16,600
⑤ 雑収益	40	100	△60
経常収益合計	82,522	88,880	△6,358
(2) 経常費用			
① 事業費	78,002	83,070	△5,068
② 管理費	2,960	5,520	△2,560
経常費用計	80,962	88,590	△7,628
評価損益等調整前当期経常増減額	1,560	290	1,270
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,560	290	1,270
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,560	290	1,270
一般正味財産期首残高	△6,973	△9,000	2,027
一般正味財産期末残高	△5,413	△8,710	3,297
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	△1,650	0	△1,650
当期指定正味財産増減額	△1,650	0	△1,650
指定正味財産期首残高	77,000	50,000	27,000
指定正味財産期末残高	75,350	50,000	25,350
III. 正味財産期末残高	69,937	41,290	28,647



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	279,669	132,827	144,529	82,522
	当期経常増減額	△9,846	2,011	8,745	1,560
	当期正味財産増減額	△15,021	2,867	34,965	△90
貸借対照表	総資産	85,594	76,289	130,576	
	総負債	48,449	36,277	55,598	
	正味財産	37,145	40,012	74,977	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	森林文化交流センター運営管理 (指定管理)	4,851	4,788	4,725	4,707
	森林区域維持管理等	10,301	9,524	16,532	
	市有林管理	3,284	3,283	3,150	
	木材需要促進啓発業務	435	435	392	
	「京の苗木」生産供給体制事業に係る種子採取業務	1,324			
	四季の森施業等業務		19,320	19,032	
	節電対策業務		4,249	4,249	
	公有林環境整備対策業務	91,400			
	森林環境等整備対策業務		24,761	18,000	
	散策道の整備業務	20,000			
	総合獣害対策モデル事業チマキザサ保全対策業務	20,000			
	京都市三山における森林所有者調査	32,000			
	森林病虫害放置木処理対策業務	15,000			
	京の森づくり担い手育成業務			1,292	
補助金	運営補助	19,658	19,658	19,658	
	木質ペレットボイラー導入補助			14,795	

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>変形労働時間制の導入等による効率的な運営や、夏の節電対策事業の実施等により、平成25年度の一般正味財産増減額は、平成24年度に比べ黒字幅を拡大した。</li><li>ペレットボイラーの導入に当たり補助金を受け入れたことにより、指定正味財産が約2,600万円増加し、累積損失を解消した。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>バーベキュー施設の増設、沿線道路への案内看板の設置やホームページ・パンフレットの刷新、夏の節電対策事業の実施及び誘致活動等の営業努力が収益施設の利用者数増につながった。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>外部資金の獲得や経費削減等の取組により、当期正味財産増減額が大幅に増加し、累積損失を解消したことは評価できる。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>利用者のニーズを把握し、引き続き、利用者数の増加に努めてほしい。</li></ul>

# 公益財団法人きょうと京北ふるさと公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 石浦道男

### 2 所在地

京都市右京区京北上弓削町段上ノ下2番地の1

### 3 電話番号

075-854-8488

### 4 ホームページアドレス

<http://fuw.jp/>

### 5 設立年月日

平成13年12月25日

### 6 基本財産

30,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 83.3%）

### 7 事業目的

優良農地の保全及び農林業従事者の高齢化等に対応した作業受託等ふるさとの農林業の維持振興や担い手の確保育成を図るとともに、森林資源や清流など地域の優れた自然環境や特性を活かしながら、都市住民との積極的な交流活動等の推進を図ることにより、美しい農山村景観の保持や人と自然が輝く活力ある農山村社会の形成に資すること。

### 8 業務内容

- (1) 農地の面的集積・流動化の促進に関する事業
- (2) 農作業等の受委託に関する事業
- (3) 都市農山村交流，農林業等ふるさと産業振興施設等の管理運営に関する事業
- (4) 都市住民との農山村の交流や定住促進に関する事業
- (5) 担い手農家等の確保育成に関する事業
- (6) ふるさと振興等の調査研究に関する事業
- (7) 地域特産物の開発研究や販売促進に関する事業
- (8) 地域交通に関する事業

### 9 所管部局

産業観光局農林振興室農政企画課（TEL075-222-3351）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

石浦道男

#### (2) 副理事長

海老瀬篤司

#### (3) 常務理事

古家實義

#### (4) 理事

仲間幸夫，志賀昌宏，三嶋陽治（産業観光局京北農林業振興センター所長），  
片山博昭（右京区役所京北出張所所長），河合正樹，植田康嗣

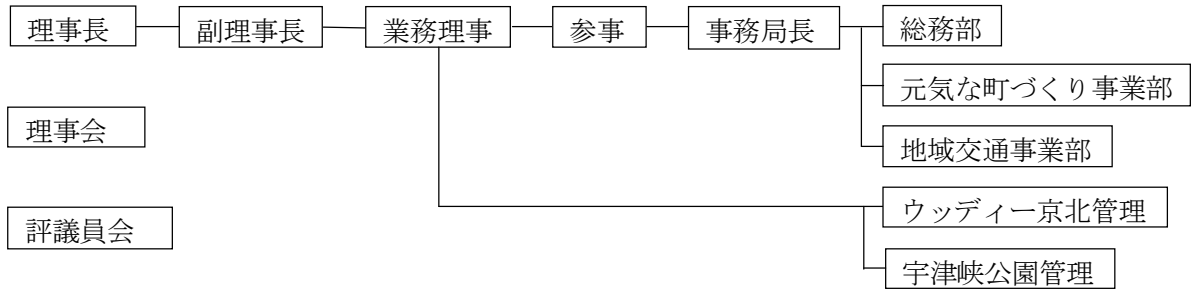
#### (5) 監事

久保和平，西田悟

### 11 常勤職員数

22人（うち本市派遣職員0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

ア 公益事業

- (ア) 農地利用集積円滑化事業（平成22年11月に農地保有合理化事業から移行）  
農地の借受け及び貸付け、担い手農家の規模拡大及び新規就農者の支援活動に取り組んだ。  
その結果、農地の売渡し（5件、13筆）が成立し、担い手農家に農地を集積した。
- (イ) 農作業受託事業  
農業者の高齢化に対応するため、農作業受託部会による耕起、代かき、田植え、稲刈り、  
除草の作業受託と転作田の管理受託に取り組んだ。
  - a 春作業  
耕起作業29件、代かき作業31件、田植え作業37件、畦付け作業13件、その他54件
  - b 秋作業  
隅刈り作業12件、刈取り作業31件、刎運搬作業18件、耕起作業14件、肥料散布等1件
- (ウ) 都市と農山村交流事業  
都市住民との交流による地域活性化を図るため、市民農園や「道の駅ウッディー京北」等  
におけるイベントを開催し、都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベント  
に積極的に参加して、京北地域のPR活動を行った。
  - a 主催イベント  
市民農園1回、「道の駅ウッディー京北」5回、宇津峡公園1回
  - b 参加イベント  
京北地域内4回、京北地域外6回
- (エ) 公共施設管理事業
  - a 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」管理事業
    - (a) 入館者数  
387,816人（平成24年度：386,164人）
    - (b) 売上高  
138,032,012円（平成24年度：130,143,092円）
  - b 宇津峡公園管理事業
    - (a) 入園者数  
13,619人（平成24年度：11,927人）
    - (b) 利用料金  
21,946,145円（平成24年度：19,883,241円）
- (オ) ふるさと振興等調査研究事業
  - a 空家情報の収集及び斡旋の取組  
空家登録件数14件、定住実績5件
  - b 市民農園「京北ふるさと農園さんりょう」の利用拡大と運営

都市住民と地域住民との交流を深めることにより、京北地域への定住や地域の活性化をより進めるため、休日の来園促進に取り組んだ。

- (a) 野菜農園利用実績
  - ・ 区画数及び利用者数 35 区画, 19 人
  - ・ 利用料 1 区画(約 40 m<sup>2</sup>)当たり年間 15,000 円

- (b) イベント等の取組
  - 収穫祭 (11 月 23 日)

(カ) 地域特産物開発研究事業

地域特産物開発に力を注いでいる各グループの加工食品を、「道の駅ウッディー京北」や各イベントで積極的に販売した。地産地消や食育の取組の一環として、地元産の野菜や味噌を京北地域の小学校給食へ納入した。

また、生産者や加工食品販売者に対する呼びかけを行い、「道の駅ウッディー京北」での販売力強化に取り組んだ。

- a 登録生産者数  
171 人
- b 「道の駅ウッディー京北」野菜販売高  
24,748 千円 (平成 24 年度 : 25,705 千円)
- c 学校給食地元産品販売高  
5,430 千円 (平成 24 年度 : 6,041 千円)

(キ) 地域担い手確保事業

地域住民の幅広い要望に応える田舎の便利屋事業として、多種多様な作業を積極的に受託した。行政機関や地域の法人からの作業依頼にも積極的に対応した。

- a 登録者数  
97 人 (60 歳以上 : 86 人, 60 歳未満 : 9 人, 会社等 : 2 団体)
- b 受託件数  
459 件 (平成 24 年度 : 433 件)
- c 作業延べ人数  
2,727 人 (平成 24 年度 : 2,600 人)
- d 受託金額  
30,080 千円 (平成 24 年度 : 25,275 千円)

(ク) 地域交通事業

a 京北ふるさとバス運営事業

道路運送法に基づく過疎地有償運送事業として、京都市との連携の下、京北地域の生活交通確保のため取り組んだ。また、平成 22 年 4 月の「道の駅ウッディー京北」の開設に伴い、「京北合同庁舎前」バス停の設置や、京北地域の交通や観光の案内を行うとともに、定期券や共通回数券の販売を開始し、多くの方々に利用された。

b スクールバス運行受託事業

京北地域の児童生徒の通学のため、教育委員会からの受託事業として取り組んだ。

(ケ) 緊急雇用対策事業

じっくり楽しむ京北推進事業及び総合獣害対策モデル事業により、京北を訪れる多くの方へ京北地域の魅力や情報の発信等に取り組んだ。

イ 収益事業

公益法人として事業活動に一定の制約がある中、公益事業を補完し、当社の安定経営に向けた財務基盤を確立するため、収益事業に取り組んだ。

(ア) 葬祭関連事業

会場利用件数 47 件 (平成 24 年度 : 34 件)

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,658		
未収金	10,456		
たな卸資産	1,276		
貯蔵品	23		
前払金	65		
前払費用	26		
仮払金	199		
流動資産合計	[52,704]		
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	30,000		
基本財産合計	(30,000)		
(特定資産)			
建物	27,558		
車両運搬具(特)	715		
工具器具備品(特)	5,301		
建物附属設備(特)	8,685		
機械装置(特)	4,657		
退職給付引当資産	1,910		
加工場建設積立資産	10,000		
農地取得基金積立資産	0		
減価償却引当資産	20,300		
特定資産合計	(79,126)		
(その他固定資産)			
建物	10,034		
車両運搬具	139		
工具器具備品	847		
構築物	3,905		
建物附属設備	263		
機械装置	310		
リサイクル預託金	65		
リース資産	0		
その他固定資産合計	(15,564)		
固定資産合計	[124,690]		
資産合計	177,394		

(単位：千円)

Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,803		
未払法人税等	1,505		
前受金	8,197		
預り金	1,953		
仮受金	654		
賞与引当金	2,907		
リース債務	0		
流動負債合計	[29,020]		
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,910		
固定負債合計	[1,910]		
負債合計	30,930		
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	42,903		
寄付金	34,013		
指定正味財産合計	[76,916]		
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[69,548]		
正味財産合計	[146,464]		
負債及び正味財産合計	177,394		

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	11	12	△ 1
② 事業収益	253,790	206,168	47,622
③ 受取補助金等	5,603	52,504	△ 46,901
④ 受取寄付金	2,435	5,802	△ 3,367
経常収益計	261,839	264,486	△ 2,647
(2) 経常費用			
① 事業費	237,060	230,572	6,488
② 管理費	21,236	33,543	△ 12,307
経常費用計	258,296	264,115	△ 5,819
当期経常増減額	3,543	372	3,171
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	0	18	△ 18
経常外費用計	0	18	△ 18
当期経常外増減額	0	△ 18	18
法人税、住民税及び事業税	2,135	2,174	△ 39
当期一般正味財産増減額	1,408	△ 1,820	3,228
一般正味財産期首残高	68,139	69,959	△ 1,820
一般正味財産期末残高	69,548	68,139	1,408
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取地方公共団体補助	0	49,000	△ 49,000
② 受取寄付金	0	6,676	△ 6,676
一般正味財産への振替額	△ 8,038	△ 721	△ 7,317
当期指定正味財産増減額	△ 8,038	54,955	△ 62,993
指定正味財産期首残高	84,955	30,000	54,955
指定正味財産期末残高	76,916	84,955	△ 8,039
III. 正味財産期末残高	146,464	153,094	△ 6,630

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 公益事業

(ア) 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化団体として、引き続き農地の「中間保有・再配分機能」を生かし、農地の借受け、貸付け、売買等に関わる担い手農家の経営規模拡大や、新規就農者の支援活動に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。



- (イ) 農作業受託事業
 

農業者の高齢化に対応するため、耕起、代かき、田植え、稲刈り、除草等の作業を農作業部会を中心に取り組む。また、農作業受託や転作田の管理受託により、優良農地の確保に努める。
- (ウ) 都市と農山村交流事業
  - a 各種イベントの開催により都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベント等に参加し、京北地域のPR活動を積極的に行う。
  - b 交流事業を積極的に進めることにより、都市住民の京北地域への定住を促進する。
- (エ) 公共施設管理事業
  - a 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」
  - b 宇津峡公園
- (オ) ふるさと振興等調査研究事業
  - a 市民農園「ふるさと農園さんりょう」でのイベント等により、地域活性化に取り組む。
  - b 定住促進事業に引き続き取り組むとともに、「公益財団法人きょうと京北ふるさと公社空家情報提供マニュアル」に基づき、空家情報の収集、提供と合わせて農地情報を活用することにより、都市住民の定住化の促進及び地域の活性化を推進する。
- (カ) 地域特産物開発研究事業
  - a 地域特産物開発に力を注いでいる各グループと連携し、新しい地域特産物開発試作に取り組み、一つでも多くの京北産の商品を「道の駅ウッディー京北」で積極的に取り扱う。
  - b 京北産農産物を小学校給食等の食材として納入するなど、「食育」と「地産地消」の取組を進める。
- (キ) 地域担い手確保事業
  - a 田舎の便利屋（人材登録者）による多種多様な作業を受託することにより、地域の要望にこたえ、中高齢者の雇用拡大に寄与する。
  - b 行政機関及び地域組織からの作業受託にも積極的に対応し、事業の一層の推進を図る。
- (ク) 地域交通事業
  - a 京北ふるさとバス運営事業
 

道路運送法に基づく過疎地有償運送事業として京都市との連携の下、安全運行を基本に京北地域の生活交通の確保に取り組む。
  - b スクールバス運行受託事業
 

京都市教育委員会からの委託により、京北地域児童生徒の通学及び教育活動の足として運行する。
- (ケ) 緊急雇用対策事業
  - a 総合獣害対策モデル事業
 

野生動物による農作物や森林、住民生活への被害防止に取り組む。
  - b 「じっくり楽しむ京北」推進事業
 

京北の魅力を知っていただくための情報発信に取り組む。
- イ 収益事業
  - (ア) 葬祭関連事業
 

高齢化が進行する地域住民のため、葬儀の場を提供するとともに、設備等の改善を図る。

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	9		
② 事業収益	176,424		
③ 受取補助金等	43,158		
④ 受取寄付金	1,205		
経常収益計	220,796		
(2) 経常費用			
① 事業費	203,176		
② 管理費	17,620		
経常費用計	220,796		
当期経常増減額	0		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	0		
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	0		
一般正味財産期首残高	69,548		
一般正味財産期末残高	69,548		
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	△ 4,693		
当期指定正味財産増減額	△ 4,693		
指定正味財産期首残高	76,916		
指定正味財産期末残高	72,223		
III. 正味財産期末残高	141,771		

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	260,129	264,486	261,839	220,796
	当期経常増減額	6,629	372	3,543	0
	当期正味財産増減額	6,629	53,135	△6,630	△4,693
貸借対照表	総資産	140,114	236,079	177,394	
	総負債	40,155	82,985	30,930	
	正味財産	99,959	153,094	146,464	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	公共施設管理事業 (指定管理)	6,500 (※)	6,400 (※)	6,300 (※)	6,200 (※)
	スクールバス運行受託事業	18,600	18,500	18,392	
	じっくり楽しむ京北推進事業		6,000	8,000	
	総合獣害対策モデル事業		12,000	6,800	
	農業サポート人材対策事業	10,080			
	農山村「第6次産業化」促進事業	4,500			
	京の旬野菜「時待ち食」キャンペーン事業	8,000	2,600		
	京北地域担い手支援対策事業	9,900	10,202	5,780	
	京北地域住環境整備事業		8,000		
	合併記念の森維持管理事業		2,300	2,848	
	獣害対策モデル事業 (繰越分)		200		
	「合併記念の森」森づくりはじめの一步の集い運営業務	338			
補助金	運営補助金	16,135	16,046	13,640	12,087
	京北ふるさとバス運営事業補助金	33,972	33,967	37,145	34,000
	右京区環境パートナーシップ事業補助金	190			
	大豆の里京北「第6次産業」化拠点施設整備事業		49,000		

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は、公益事業に係る損益がほぼ収支相償となった一方で、収益事業が法人管理会計の赤字をカバーできず、当期正味財産増減額は 600 万円を超える赤字となった。</li><li>健全な運営を継続するため、更なる経費削減に取り組む必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」の入館者数及び売上高は、台風 18 号の影響を受け一時低調だったが、平成 24 年度実績を上回り好調に推移している。</li><li>本市の緊急雇用対策事業受託に取り組み、雇用創出と京北地域の魅力や情報の発信に取り組んだ。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は、当期正味財産増減額が赤字となったが、当期経常増減額は黒字を維持している。引き続き、収益事業と公益事業のバランスに配慮し、効率的な事業執行に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>入館者数や売上高が堅調に推移しており、この状況を続けていくことが望まれる。</li></ul>

# 公益財団法人京都伝統産業交流センター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 渡邊隆夫

### 2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勧業館内

### 3 電話番号

075-762-2670

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/fureaika/> (京都伝統産業ふれあい館)

### 5 設立年月日

昭和52年3月29日

### 6 基本財産

11,000千円 (うち本市出えん額 5,000千円, 出えん率 45.5%)

### 7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 京都市勧業館常設展示場の展示事業
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業
- (3) 伝統産業製品の提供事業

### 9 所管部局

産業観光局商工部伝統産業課 (TEL075-222-3337)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

渡邊隆夫

#### (2) 副理事長

池田佳隆

#### (3) 専務理事

八田誠治

#### (4) 理事

田中雅一, 小峠行宏, 佐藤敬二, 田上智一, 田中昭行, 波部美利, 林史己, 野中智史,  
安河内博 (産業観光局商工部長), 北村大輔

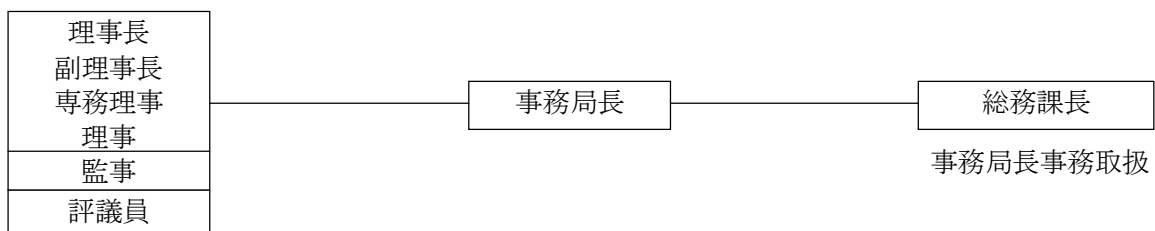
#### (5) 監事

荒堀秀樹, 藤井正昭

### 11 常勤職員数

8人 (うち本市派遣職員0人)

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 常設展示事業

常設展示場において、展示の魅力向上及び入館者へのサービス向上のため、以下の取組を実施した。

- (ア) 常設展示場内で団体の見学者に対し、京都の伝統産業の歴史と概要、日常生活と伝統工芸品の紹介を131回(4,241人)行った。
- (イ) 業界団体の協力を得て、四季折々の魅力ある展示替えを61回(366点)実施した。
- (ウ) 京都検定合格者で組織するNPO法人「京都観光文化を考える会 都草」(延べ人数約103人)の協力を得て、伝統産業の背景となる京都の文化や歴史について、来館者に対し解説を行った。

##### イ 企画事業

###### (ア) ギャラリー

- a 「西陣金襴の美を訪ねて」や「京漆芸美展」など、業界団体の協力による企画展示を10回実施した。企画展ごとに展示チラシを作成し、広報・宣伝活動を強化した。

〈参考〉ギャラリー取材件数

年度	テレビ	新聞	ラジオ	その他
平成25年度	4件	22件	1件	3件
平成24年度	7件	16件	2件	7件

- b 京都市博物館ボランティア制度(延べ人数180人)を活用し、ギャラリー展示品の紹介や来館者とのコミュニケーションに努めた。

###### (イ) イベントルーム

当財団主催の企画や関連業界団体との共催事業、常設展示との相乗効果が期待できる展示会、体験教室等を29事業、延べ138日実施した。

##### ウ 普及啓発事業

###### (ア) 摺型友禅染体験教室

平日は予約制により修学旅行生を中心に受け入れ、土・日・祝日は家族連れや少人数グループを随時受け入れた。また、平成25年度は、京都マンガアニメフェア(「京まふ」)と連携し、アニメの型を使った摺方友禅の体験も実施した。

(年度別参加人数内訳)

	参加者数	前年度比
平成25年度	4,497人	+29%
平成24年度	3,481人	-12%

- (イ) 旅行エージェント260箇所に対し、京都伝統産業ふれあい館のパンフレットを送付し、団体客の送客依頼を行った。
- (ウ) イベントルームを活用して京繻体験教室参加者の作品を展示し、優秀作品に表彰状を贈呈した(作品展示会開催2回、出展作品70点)。

##### エ 講演会事業

伝統産業・伝統文化への理解を深めてもらうことを目的に、全2回のセミナーを開催した。

- (ア) 第1回「京のお菓子とお正月」(12月7日)  
講師：山口 富蔵氏(亀家末富)、参加者82人
- (イ) 第2回「京の清酒へのいざない」(3月8日)  
講師：藤本 修志氏(齋藤酒造)、参加者71人
- (ウ) 第4回「ふれあい館ミニセミナー」(3月22~23日)  
講師：柴田道夫氏(京漆器)、涌田親氏(京仏壇、京仏具)、参加者85人

## オ 広報広聴事業

### (ア) 広報宣伝活動

京都伝統産業ふれあい館を周知し、より多くの方に来館していただけるよう、以下の取組を実施した。

#### a 「匠と舞」事業（後述）の広報PR

京都市観光協会、市内の主要ホテル、JR東海京都観光コーナー（東京、品川、新横浜、静岡、浜松）にてチラシを配布した。

#### b 修学旅行・市内小学校からの誘客の取組

(a) 京都市観光協会に対し、修学旅行相談所での教師向けの周知を依頼した。

(b) 京都修学旅行生ナビへの掲載のほか、修学旅行パスポート事業へ参画した。

(c) 市内の全小学校に京都伝統産業ふれあい館のチラシを配布し、課外学習での利用を依頼した。また、「わたしたちの伝統産業」（小学校4年生社会科副読本）を市立小学校へ送付する際にも、京都伝統産業ふれあい館のパンフレット及び匠と舞のチラシを同封した。

#### c 外国人観光客集客の取組

(a) 市内主要ホテルを定期的に訪問し、英語版チラシの配布と送客の依頼を行った。

#### (b) 英語版京都フリーウォークサイト

京都フリーウォークサイトにて、携帯型音楽プレーヤーに伝統産業5業種（西陣織、京友禅、京仏壇・京仏具、京漆器、京焼・清水焼）を英語で紹介し、携帯型音楽プレーヤーにダウンロードできる音声ガイドシステムを構築した（ダウンロード実績:34,889件）。

(c) 英語版ホームページの掲載内容を充実するとともに、職人実演の動画を挿入し視覚的に訴えるなど、外国人に向けた情報を広く発信した。

#### d その他の取組

(a) 名刺大の京都伝統産業ふれあい館のカード、チラシ及びポスターの広報媒体をホテル、旅館、旅行会社等に配布した。

(b) テレビ、新聞等マスコミへ掲載依頼及び取材協力依頼を行った。

(c) 京都市勧業館はもとより、岡崎周辺の文化施設等での大規模催事の際に、チラシの配布等を行い、京都伝統産業ふれあい館へ誘導した。

(d) 「伝統産業の日2014」のガイドブックに京都伝統産業ふれあい館の広告を掲載した。

(e) 京都市勧業館内において、来場者が多い土、日、祝日には案内スタッフを設置するとともに、チラシ配布を行った。

(f) 京都市観光協会と協力して市内体験施設を紹介する「京都観光マップ」を作成し、ホテル・旅館・エージェンツ等に配布した。

### (イ) 広聴活動

常設展示場及びギャラリーに「ご意見承り箱」を設置し、来館者のアンケート調査を実施した。

## カ ～光る技、伝統が舞う～ 「匠と舞」事業

常設展示場において職人による伝統工芸品の制作実演を行うとともに、歩く伝統産業とも言える舞妓による舞台を披露し、京都伝統産業ふれあい館への集客や伝統産業の積極的なPRを図った。

### (ア) 匠による制作実演

月曜日（祝日は実施）を除く毎日、伝統工芸品の制作実演を行い、来館者に制作工程に触れ、職人との会話を楽しんでいただいた。当事業を開始してからは、伝統工芸品を時間をかけて見学される方やリピーターが増え、展示品の見方が変わったと好評である。

### (イ) 舞妓の舞台

毎週日曜日に、花街の舞妓による舞台を行い、舞妓の衣装や装飾品に使われる各種の伝統

工芸品（西陣織，京友禅，花かんざしなど）の解説などを通して，京都の花街や文化を支えてきた伝統産業をPRした。地方からの団体や外国人などの来館者が大幅に増加した。

また，舞台をきっかけに，京都伝統産業ふれあい館や京都の伝統産業を知られた方も多く，舞台の後，館内を見学したり，職人実演ブースに立ち寄られる事が多くなった。

#### キ 伝統産業製品の提供事業

京都の伝統産業関連団体等と連携し，インターネット上において京都の伝統産業製品を販売する場を提供した。インターネット上での販売を通じて消費者のニーズを収集し，生産者にフィードバックすることにより，現代の消費者にマッチした製品づくりを促し，京都の伝統産業の活性化を図るため，平成24年3月に，インターネットの楽天市場に「京もの専門店『みやび』」をオープンした。

主な購買層は，年齢別では30～40歳代が全体の6割強であり，性別では女性が半分以上を占め，地域別では関東40%，近畿30%，東海10%であった。

#### ク 「伝統産業の日」事業

「伝統産業の日2014」関連事業として，3月21～23日の3日間，「光る技・伝統が舞う～匠と舞～」(職人実演，舞妓舞台)，伝統工芸ミニセミナーを開催するとともに，京都市勧業館みやこめっせ内の「京ものフェスティバル2014」にて「Kyoto life Style Shop' miyabi'」と題して伝統工芸品の販売を行った(22日，23日のみ)。

(ア) 京もの専門店「みやび」特別ショップ 売上合計 8,986,051円

(イ) 光る技・伝統が舞う～匠と舞～ 参加者4,702人

(ウ) 伝統工芸ミニセミナー 参加者85人

#### ケ 図書室利用状況

(利用状況)

年度	入室者(一日平均)	前年度比	貸出し冊数(一日平均)	前年度比
平成25年度	11,526人(33人)	-8%	581冊(1.6冊)	-7%
平成24年度	13,015人(37人)	+10%	766冊(2.2冊)	+1%



## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,418	10,780	△ 3,362
未収金	1,192	556	636
流動資産合計	8,610	11,336	△ 2,726
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	11,000	11,000	0
(特定資産)			
退職給付引当資産	720	359	361
特定資産合計	720	359	361
(その他固定資産)			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	148	293	△ 145
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	143	270	△ 127
図書	8	8	0
その他固定資産合計	5,378	5,650	△ 272
固定資産合計	17,098	17,009	89
資産合計	25,707	28,345	△ 2,638
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,241	2,906	1,335
預り金	416	802	△ 386
未払法人税等	70	70	0
流動負債合計	4,727	3,778	949
2. 固定負債			
退職給付引当金	720	359	361
固定負債合計	720	359	361
負債合計	5,447	4,137	1,310
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	5,000	5,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	15,261	19,209	△ 3,948
(うち特定資産への充当額)	(6,000)	(6,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(720)	(359)	(361)
正味財産合計	20,261	24,209	△ 3,948
負債及び正味財産合計	25,707	28,345	△ 2,638

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3	4	△ 1
② 事業収益	4,863	3,291	1,573
③ 受取補助金等	73,400	74,850	△ 1,450
④ 雑収益	52	65	△ 14
経常収益計	78,319	78,210	108
(2) 経常費用			
① 事業費	70,635	68,774	1,861
② 管理費	11,632	10,584	1,048
経常費用計	82,267	79,357	2,909
当期経常増減額	△ 3,948	△ 1,147	△ 2,801
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,948	△ 1,147	△ 2,801
一般正味財産期首残高	19,209	20,356	△ 1,147
一般正味財産期末残高	15,261	19,209	△ 3,948
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	20,261	24,209	△ 3,948

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 「匠と舞」事業の開催

京都伝統産業ふれあい館で伝統産業の職人を雇用し、製作実演や体験教室等を実施するとともに、舞妓による伝統産業のPRを実施する。また、平成26年度は、実演職人による各業種の成り立ちや展示品について解説を行うなど、内容の充実を図っていく。

イ 京ものショッピングサイトの運営

京都の伝統産業製品の販売促進と新たな需要開拓を目指した取組を推進していく。

また、職員がマーケティングや広報宣伝に関する研修等に積極的に参加し、販路拡大に向けたノウハウやスキルを獲得して、新たな顧客獲得と売上増を目指す。

さらに、オンラインショップだけでなく、百貨店の催事等にも参画することで、事業PR及び売上増につなげる。

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	5	5	0
② 事業収益	6,400	4,500	1,900
③ 受取補助金等	50,000	72,000	△ 22,000
④ 雑収益	61	61	0
経常収益計	56,466	76,566	△ 20,100
(2) 経常費用			
① 事業費	39,318	58,766	△ 19,448
② 管理費	17,148	17,800	△ 652
経常費用計	56,466	76,566	△ 20,100
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	19,208	19,208	0
一般正味財産期末残高	19,208	19,208	0
II. 指定正味財産増減の部	24,208	24,208	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	90,522	78,210	78,319	56,466
	当期経常増減額	△332	△1,147	△3,948	0
	当期正味財産増減額	△363	△1,147	△3,948	0
貸借対照表	総資産	29,928	28,345	25,707	/
	総負債	4,581	4,137	5,447	
	正味財産	25,348	24,209	20,261	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京の「匠」ふれあい事業	10,000	5,500	11,000	
	京都伝統産業ふれあい館運営	30,000	30,000	30,000	
	隗より始めるプロジェクト			1,900	
	伝統産業ふれあい館における製作実演・体験教室事業	40,000	39,000	30,500	
	日本復興キャンペーン From Kyoto～観光庁・京都市緊急共同プロジェクト～	1,500			
	京ものショッピングサイト管理運営業務	5,000			
	京ものギフトカタログ作成業務		350		

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット上で運営している「京もの専門店『みやび』」について、収益に比べ多額の事業費を要している点が課題である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度における京都伝統産業ふれあい館の来場者数が20万人を割りこんでいるため、抜本的な改革が必要である。</li> <li>平成21年度から実施している職人実演や舞妓舞台が、京都伝統産業ふれあい館の目玉事業となり好評を得ているが、委託料の減額もあり、常設展示の魅せ方の工夫等が必要になってくる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、広告宣伝費等の費用が増加し、当期正味財産増減額の赤字幅が拡大した。徹底した経費削減や事業の見直しが必要である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、京都伝統産業ふれあい館の来場者増に取り組むとともに、事業の内容や必要性を精査する必要がある。</li> </ul>

# 公益財団法人京都高度技術研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 西本清一

### 2 所在地

京都市下京区中堂寺南町 134 番地

### 3 電話番号

075-315-3625

### 4 ホームページアドレス

<http://www.astem.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 63 年 8 月 9 日

### 6 基本財産

300,000 千円（うち本市出えん額 100,000 千円，出えん率 33.3%）

### 7 事業目的

科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 科学技術の諸分野に関する研究，開発及び調査並びに研究者の養成及び技術者の研修
- (2) 科学技術諸分野に関する研究開発型企業に対する支援及び情報の提供
- (3) 科学技術の諸分野に関する研究者及び技術者の交流
- (4) 産学公連携による新事業の創出と研究開発の推進
- (5) 科学技術の進歩発展や産業の発展に寄与する人材の育成
- (6) 中小企業者を対象とする振興施策の調査研究及び実施
- (7) 中小企業者等を対象とする，金融，経営，法務，技術等に関する相談，助言及び人材育成その他の支援並びに情報の提供
- (8) 中小企業の経営者及び従業員を対象とする異業種交流の促進並びにその成果の普及
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

産業観光局新産業振興室（TEL075-222-3324）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

西本清一

#### (2) 副理事長

阿草清滋，白須正（産業戦略監），牧野圭祐

#### (3) 専務理事

山下省三（産業観光局理事）

#### (4) 理事

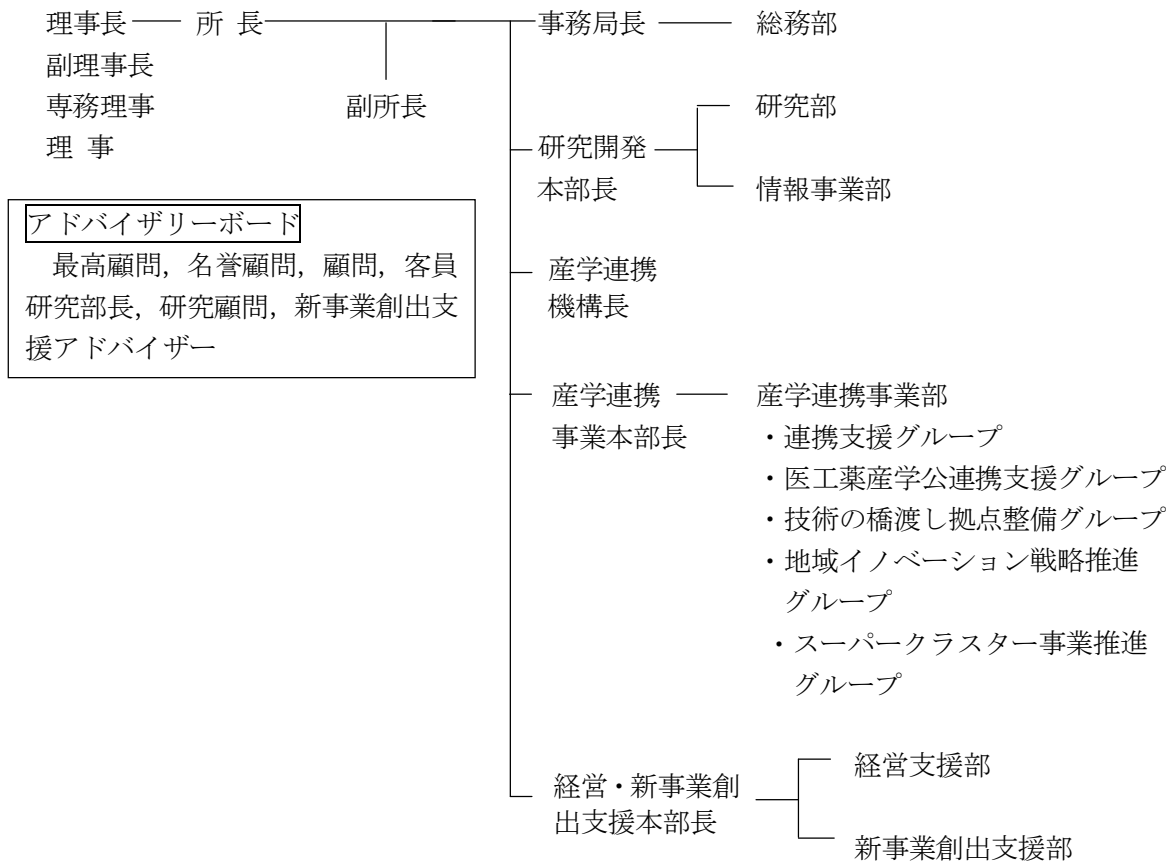
市川仁三，岩崎隆二，大東利幸，小寺秀俊，小林大二，高須秀視，立石義雄，辻理，仲尾功一，服部重彦，堀場厚，三田康明，森内敏晴，森肇，山下直毅

#### (5) 監事

近藤一郎，佐近大祐，藤井龍美

- 11 常勤職員数  
91人（うち本市派遣職員8人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

ア 公益事業①

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

(ア) 先端的研究開発事業

- a LSI（集積回路）の高度化に関する研究開発事業
- b コンピューターシステムの高度化に関する研究開発事業
- c エネルギー管理システムに関する研究開発事業

(イ) 研究成果の応用・普及事業

- a 観光産業への応用研究事業
- b スマートシティ京都の推進支援事業
- c 情報社会論連携ユニット事業

(ウ) 環境分野における研究開発事業

- a 環境省地球温暖化対策技術開発・実証事業  
車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業
- b スーパークラスタープログラム事業

イ 公益事業②

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

(ア) 新事業の創出を目指した支援事業

- a 京都市地域プラットフォーム事業

- b 未来創造型企業支援プロジェクト事業
- c 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業
- d インキュベーション支援事業
- e ソーシャルビジネス支援事業
- f 大学発技術シーズ活用支援事業
- g 京都大学イノベーションプラザを拠点とした新産業創出支援事業
- h 戦略産業雇用創造プロジェクト事業
- (イ) ライフサイエンス分野における産学公連携事業
  - a 産学公ネットワーク形成事業
  - b 京都バイオ計測センター運営事業
  - c 医工薬産学公連携支援事業
- (ウ) 環境分野における産学公連携事業
  - a 環境省地球温暖化対策技術開発・実証事業  
車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業
  - b 地域イノベーション戦略推進事業
  - c スーパークラスタープログラム事業
- (エ) 産学公連携による共同研究拠点運営事業
  - a 技術の橋渡し拠点整備・運営事業
- (オ) 経営支援事業
  - a 中小企業パワーアッププロジェクト事業
  - b 地域中小企業外国出願支援事業
  - c 京都・島本・高槻地域グリーン・ライフ成長産業振興・発展対策活動事業
  - d 「クラウド」を活用した地域産業の振興事業
- (カ) 金融支援事業
  - a 直接貸付にかかる債権回収事業
- ウ その他事業
  - (ア) 地域・自治体への ICT（情報通信技術）の展開
    - a 自治体の IT ガバナンス推進事業
    - b 京都市の情報通信システム運用事業
    - c アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業
    - d 大学，学会等への活動支援事業
    - e 地域情報基盤の運営事業
    - f 保護者負担経費のクラウド事業
    - g 地域ヘルスケア分野への展開事業
    - h スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業
    - i コンテンツビジネスの展開事業
    - j ICT 活用支援員事業
  - (イ) 研究成果の応用・普及事業
    - a コンピューターシステム教育用教材の普及事業
    - b 産業用ネットワークの国際標準規格（Ether CAT）の認証事業
  - (ウ) バイオマス利用促進事業
  - (エ) Team ASTEM 事業
  - (オ) 賃貸事業
- エ 財団運営
  - (ア) 広報活動

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	484,069		
未収金	1,990,954		
貸付金	50,018		
貸倒引当金	△ 61,735		
前払金	1,138		
仮払金	34		
供託金	539		
流動資産合計	[2,465,017]		
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産引当定期預金	270,000		
基本財産引当有価証券	30,000		
基本財産合計	(300,000)		
(特定資産)			
退職給付引当資産	48,209		
受入保証金引当資産	6,463		
建物	1,158,811		
建物附属設備	849,859		
構築物	49,339		
水道施設利用権	367		
什器備品	255,917		
特定資産合計	(2,368,965)		
(その他固定資産)			
建物附属設備	9,811		
什器備品	64,084		
ソフトウェア著作権	876		
電話加入権	5,612		
出資金	120		
リース資産	12,929		
その他固定資産合計	(93,431)		
固定資産合計	[2,762,396]		
資産合計	5,227,414		



(単位：千円)

II. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	1,875,480		
未払金	486,246		
前受金	93,724		
預り金	5,439		
仮受金	87		
賞与引当金	13,145		
リース負債	3,659		
流動負債合計	[2,477,779]		
2. 固定負債			
未払金	52,653		
受入保証金	6,463		
長期リース負債	9,270		
固定負債合計	[68,386]		
負債合計	2,546,165		
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	1,363,695		
地方公共団体補助金	907,153		
寄付金	268,986		
事業収益	34,460		
指定正味財産合計	[2,574,294]		
(うち基本財産への充当額)	(260,000)		
(うち特定資産への充当額)	(2,314,294)		
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[106,956]		
(うち基本財産への充当額)	(40,000)		
(うち特定資産への充当額)	(0)		
正味財産合計	[2,681,249]		
負債及び正味財産合計	5,227,414		

正味財産増減計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,579		
② 特定資産運用益	33		
③ 受取会費	6,480		
④ 事業収益	1,169,941		
⑤ 受取補助金等	497,555		
⑥ 受取負担金	16,729		
⑦ 受取寄付金	214		
⑧ 雑収益	1,647		
経常収益計	1,694,177		
(2) 経常費用			
① 事業費	1,661,947		
② 管理費	20,137		
経常費用計	1,682,084		
当期経常増減額	12,093		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 貸倒引当金戻入額	2,282		
② 前期損益修正益	1		
経常外収益計	2,283		
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	1,403		
② 前期損益修正損	77		
経常外費用計	1,479		
当期経常外増減額	804		
当期一般正味財産増減額	12,897		
一般正味財産期首残高	94,059		
一般正味財産期末残高	106,956		
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	1,973,757		
② 受取寄付金	9,200		
③ 事業収益	8,516		
④ 一般正味財産への振替額	△ 125,776		
当期指定正味財産増減額	1,865,697		
指定正味財産期首残高	708,597		
指定正味財産期末残高	2,574,294		
III. 正味財産期末残高	2,681,249		

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 公益事業①

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

(ア) 先端的研究開発事業

a LSI（集積回路）の高度化に関する研究開発事業

b コンピューターシステムの高度化に関する研究開発事業

- c エネルギー管理システムに関する研究開発事業
- (イ) 研究成果の応用・普及事業
  - a 観光産業への応用研究事業
  - b スマートシティ京都の推進支援事業
- (ウ) 環境分野における研究開発事業
  - a 車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業
  - b スーパークラスタープログラム事業
- イ 公益事業②
 

中小企業の新事業創出，経営革新等の支援事業を通じて，京都地域の産業振興を目的とする事業

  - (ア) 新事業の創出を目指した支援事業
    - a 京都市地域プラットフォーム事業
    - b 未来創造型企業支援プロジェクト事業
    - c 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業
    - d インキュベーション支援事業
    - e 起業家・専門家人材育成事業
    - f ソーシャルビジネス支援事業
    - g 大学発技術シーズ活用支援事業
    - h 京都大学イノベーションプラザを拠点とした新産業創出支援事業
    - i 戦略産業雇用創造プロジェクト事業
    - j オープンイノベーション事業
    - k 地域観光情報共同研究事業
  - (イ) ライフサイエンス分野における産学公連携事業
    - a 産学公ネットワーク形成事業
    - b 京都バイオ計測センター運営事業
    - c 医工薬産学公連携支援事業
  - (ウ) 環境・エネルギー分野における産学公連携事業
    - a 車両適合性のある第二世代バイオディーゼル燃料利活用に向けた技術開発実証研究事業にかかるとなる研究成果普及事業
    - b 地域イノベーション戦略推進事業
    - c スーパークラスタープログラム事業
  - (エ) 産学公連携による共同研究拠点運営事業
    - a 技術の橋渡し拠点運営事業
  - (オ) 経営支援事業
    - a 中小企業パワーアッププロジェクト事業
    - b 地域中小企業外国出願支援事業
    - c 「クラウド」を活用した地域産業の振興事業
    - d 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業
  - (カ) 金融支援事業
    - a 直接貸付にかかるとなる債権回収事業
- ウ その他事業 情報関連等事業
  - (ア) 地域・自治体への ICT（情報通信技術）の展開事業
    - a 自治体の ICT 利活用の効率化推進事業
    - b 京都市，外郭団体の情報通信システム運用事業
    - c アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業
    - d 大学，学会等への活動支援事業
    - e 地域情報基盤の運営事業

- f 保護者負担経費のクラウド事業
- g システム制御技術活用による環境, 介護, 福祉, 健康分野への展開事業
- h スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業
- (イ) 研究成果の応用・普及事業
  - a コンピューターシステム教育用教材の普及事業
  - b コンピューターネットワークの国際標準規格 (Ether CAT) の認証事業
  - c 情報社会論連携ユニット事業
- (ウ) バイオマス利用促進事業
- (エ) Team ASTEM 事業
- (オ) 賃貸事業

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,573	1,580	△ 7
② 特定資産運用益	4	4	0
③ 受取会費	6,840	7,200	△ 360
④ 事業収益	1,486,548	778,423	708,125
⑤ 受取補助金等	598,851	412,113	186,738
⑥ 受取負担金	12,305	9,000	3,305
⑦ 雑収益	959	779	180
経常収益計	2,107,080	1,209,099	897,981
(2) 経常費用			
① 事業費	2,103,256	1,199,538	903,718
② 管理費	21,366	19,133	2,233
経常費用計	2,124,622	1,218,671	905,951
当期経常増減額	△ 17,542	△ 9,572	△ 7,970
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 貸倒引当金戻入額	2,030	2,938	△ 908
経常外収益計	2,030	2,938	△ 908
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,030	2,938	△ 908
当期一般正味財産増減額	△ 15,512	△ 6,634	△ 8,878
一般正味財産期首残高	96,517	103,151	△ 6,634
一般正味財産期末残高	81,005	96,517	△ 15,512
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	0	1,944,173	△ 1,944,173
② 事業収益	7,000	17,000	△ 10,000
③ 一般正味財産への振替額	△ 183,123	△ 64,091	△ 119,032
当期指定正味財産増減額	△ 176,123	1,897,082	△ 2,073,205
指定正味財産期首残高	2,568,933	671,851	1,897,082
指定正味財産期末残高	2,392,810	2,568,933	△ 176,123
III. 正味財産期末残高	2,473,815	2,665,450	△ 191,635

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	2,082,638	1,910,706	1,694,177	2,107,080
	当期経常増減額	29,021	25,401	12,093	△17,542
	当期正味財産増減額	42,462	426,361	1,878,594	△191,635
貸借対照表	総資産	1,213,114	2,167,459	5,227,414	
	総負債	836,819	1,364,804	2,546,165	
	正味財産	376,294	802,655	2,681,249	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都高度技術研究所建物維持管理	57,747			
	IT ガバナンスの強化に係る調査・分析・提案業務	19,845	18,620	8,400	
	観光文化情報システムの運用開発	15,000	15,210	15,378	
	京都市広報課情報発信	3,489			
	京都市役所 LAN 運用管理	63,317	65,790	61,675	
	京都市産業技術研究所業務システム構築	35,984	11,132	25,475	
	京都市立大学芸術大学ネットワーク運用管理	10,816			
	学校預り金システムの開発	2,100	3,095	2,394	
	京都市動物園情報通信システム運用	500	500	500	
	京都市動物園における飼育管理システム園内ネットワークの接続業務委託			473	
	京都デザイン活用促進事業	20,000			
	歩くまち・京都 バス・鉄道乗換情報発信事業		95,542	15,224	
	その他開発等事業 (区役所 HP 管理等)	7,020	17,339	11,589	
	京都バイオシティ構想の推進	14,749	13,275	10,250	
	地域産学官共同研究拠点事業	30,110	60,258	58,963	
医工薬産学公連携支援事業	22,225	23,128	24,404		

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京大への特区コーディネータ配置事業			32,346	
	高度先端医療技術（ナノメディシン）研究開発支援事業	17,720	5,583	3,044	
	京都発革新的医療技術研究開発助成事業	3,500	3,500	3,000	
	京都発実用化開発支援事業	6,750	3,000		
	京都市創業支援工場運営支援	378			
	京大桂ベンチャープラザ及びクリエイション・コア京都御車インキュベート支援	27,380	25,020	26,270	
	京都大学イノベーションプラザを拠点とした地域科学技術振興事業			20,768	
	京都市ベンチャー企業目利き委員会運営業務	9,320	8,838	8,838	
	ICT 活用支援員事業（ICT アシスタント派遣事業）	60,000	60,000	37,012	
	中京区まちづくり次世代推進者教育支援	900			
	大学発技術シーズの活用支援事業	3,000	3,000	3,000	
	ソーシャルビジネス支援事業	6,000	4,400	8,000	
	京都市人材育成型ソーシャルビジネス等育成事業における企業等の発掘等に関する運用業務			1,750	
	「京の環境みらい創生事業」事務局運営業務	6,500			
	スマートシティ京都研究会事務局運営委託			6,500	
	バイオディーゼル燃料化に関する調査・研究業務	9,400			
	京都市中小企業融資制度相談業務等委託	604			
	きものKYOTOアンテナショップ運営業務	100,000	85,000		

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
補助金	運営補助	139,573	142,543	134,720	134,194
	ベンチャービジネス育成助成事業	189			
	ベンチャー・中小企業ネットワーク支援事業(地域プラットフォーム事業)	47,253	53,317	34,000	31,800
	未来創造型企業支援プロジェクト	22,840	27,783	19,360	25,567
	京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業フォローアップ事業		1,300		
	被災企業サポーター事業	3,559			
	知的クラスター事業補助金(第Ⅱ期)	41,500	41,500		
	地域イノベーション戦略推進事業			29,000	27,500
	産業支援機関の強化(市内中小企業のIT化)	3,036			
	産業支援機関の強化(市内IT企業の振興)	9,484			
	産業支援機関の強化(産業力の融合推進委員会の運営)	4,520			
	技術の橋渡し拠点整備事業	11,856	403,000	575,329	
	技術の橋渡し拠点運営事業			37,000	58,000
	中小企業創業・経営支援事業補助金	12,349	600		
	中小企業パワーアッププロジェクト補助	44,480	30,545	45,526	43,526
	東日本大震災緊急融資制度創設に伴う相談体制強化事業	1,978			
	緊急震災対策フルサポート事業	6,112			
	クラウド・ビジネス創出事業		5,000	5,000	4,000
	京都高度技術研究所開所25周年記念事業				2,000



### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は、当期経常増減額の黒字額は減少したものの、平成 24 年度のように当期経常外増減額で多額の赤字を計上することもなく、当期正味財産増減額では黒字を確保できた。</li><li>「京都市成長産業創造センター（技術の橋渡し拠点）」に係る補助金受入れにより、当期指定正味財産増減額が約 19 億円の黒字となった結果、正味財産が大幅に増加している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>産学公連携による研究開発プロジェクトの推進や、中核的支援機関として、市内中小・ベンチャー企業への各種支援策を実施し、本市の産業振興施策の推進に大きく貢献している。</li><li>平成 25 年度は、スーパークラスターや、地域イノベーション戦略推進事業など、国の大型産学公連携プロジェクトを受託し、らくなん進都には新たな産業創出拠点である「京都市成長産業創造センター」を開所するなど、大きな成果があった。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>補助金等により「京都市成長産業創造センター」を整備し、正味財産は大幅に増加した。将来的な施設修繕にも対処できるよう、計画的な対応が必要である。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>他団体との連携を更に進めるとともに、引き続き、財務面及び組織面における自律した経営の確立に取り組む必要がある。</li></ul>

# 株式会社京都産業振興センター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 波部美利

### 2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

### 3 電話番号

075-762-2633

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/> (京都市勧業館)

<http://www.kyotokan.jp/> (京都館)

### 5 設立年月日

平成5年4月27日

### 6 資本金

90,000千円 (うち本市出資額 54,000千円, 出資率 60.0%)

### 7 事業目的

京都市勧業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営, 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致ほか

### 8 業務内容

- (1) 京都市勧業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営
- (2) 京都伝統産業ふれあい館の管理 (公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携による。)
- (3) 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致
- (4) 京都館の管理運営

### 9 所管部局

産業観光局産業戦略部産業総務課 (TEL075-222-3333)

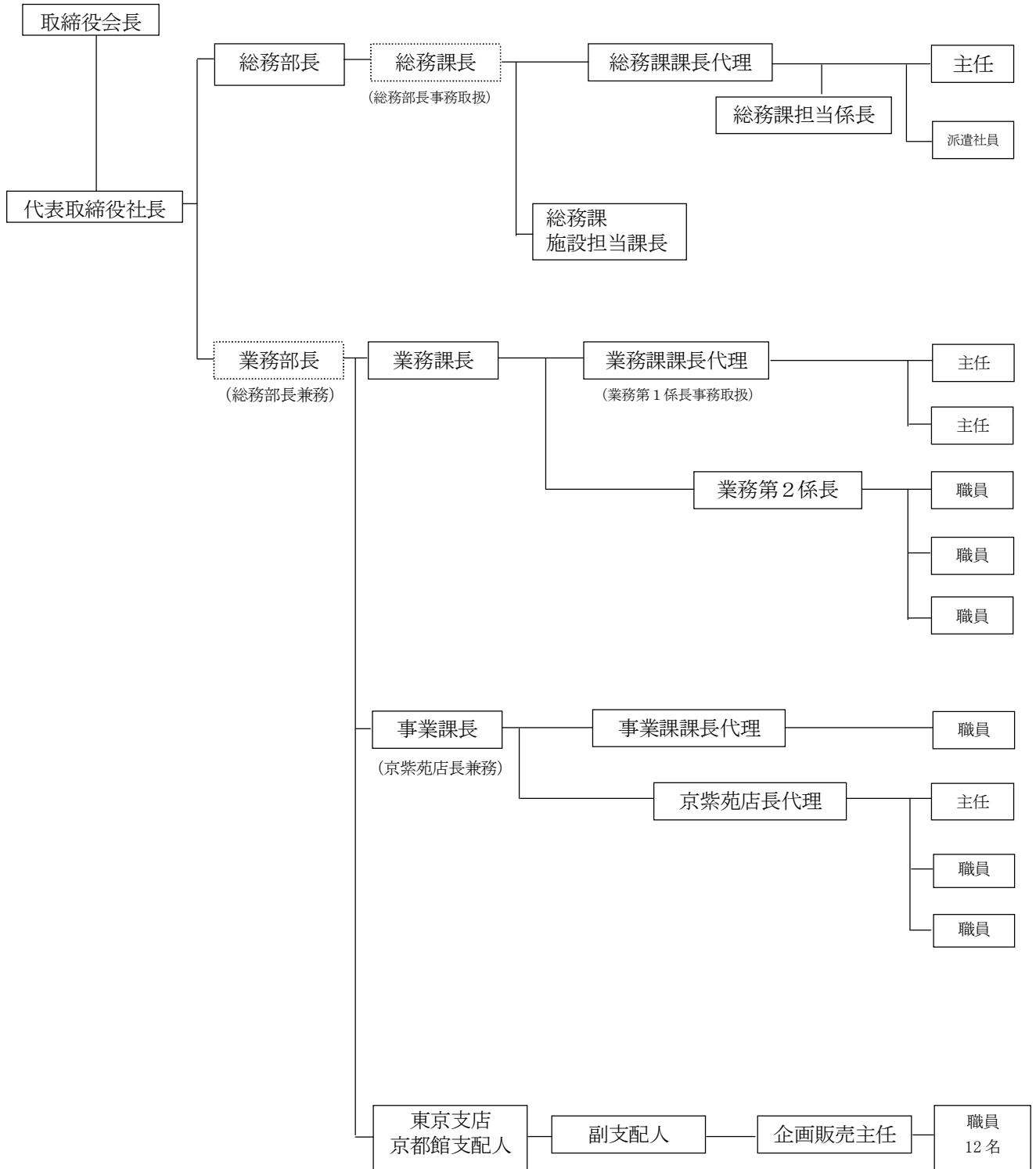
### 10 役員名等

- (1) 取締役会長  
村上圭子 (産業観光局長)
- (2) 代表取締役社長  
波部美利
- (3) 取締役  
古川博規, 奥原恒興, 渡邊隆夫, 林史己, 大同一生, 坂本 勝,  
山本達夫 (産業観光局産業戦略部長)
- (4) 監査役  
外村弘樹, 川越とし子

### 11 常勤職員数

36人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 京都市勸業館の指定管理

###### (ア) 展示場の利用状況

面積稼働率 49.13%, 利用件数 488 件

###### (イ) 会議室の利用状況

稼働率 40.60%

##### イ 京都市伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」の運営

ミュージアムショップ「京紫苑」商品売上 48,839 千円 (消費税等含む。)

(参考) 京都市伝統産業ふれあい館の入館者数 181,426 人

##### ウ 美術工芸ギャラリー (勸業館内) の運営

稼働延べ日数 434 日, 稼働率 60.61%

##### エ 京都館の管理運営 (受託事業)

(ア) 来館者数 244,371 人

(イ) 情報コーナー利用者数 93,547 人

(ウ) 物販売上 149,533 千円 (消費税等含む。)

#### (2) 財務諸表

#### 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[573,627]	流動負債	[152,627]
現金預金	546,103	買掛金	15,890
売掛金	3,882	未払金	71,558
商品	5,317	未払消費税等	4,565
未収入金	17,519	未払法人税等	2,749
未収還付法人税等	1	前受金	56,578
前払金	10	預り金	1,287
前払費用	326		
仮払金	562	固定負債	[16,602]
貸倒引当金	△ 93	退職給付引当金	13,602
固定資産	[16,729]	預り保証金	3,000
(有形固定資産)	(15,839)	負債合計	169,229
建物	9,357		
器具備品	6,082	純資産の部	
その他の有形固定資産	400	株主資本	[421,127]
(無形固定資産)	(886)	資本金	(90,000)
電話加入権	381	利益剰余金	(331,127)
ソフトウェア	506	付帯設備改善積立金	40,000
(投資その他の資産)	(4)	別途積立金	220,000
出資金	4	繰越利益剰余金	71,127
資産合計	590,356	純資産合計	421,127
		負債及び純資産合計	590,356

損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		金 額	
売上高			818,986
売上原価			319,061
	売上総利益		499,925
販売費及び一般管理費			473,196
	営業利益		26,730
営業外収益			
受取利息		1,060	
雑収入		4,869	5,929
営業外費用			0
	経常利益		32,659
特別利益			0
特別損失			0
	税引前当期純利益		32,659
	法人税, 住民税及び事業税		11,199
	当期純利益		21,460

株主資本等変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本 合計	
			付帯設備 改善積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
前期末残高	90,000	-	40,000	200,000	69,666	399,666	399,666
当期変動額							
剰余金の配当							
積立金の取崩					△ 20,000	△ 20,000	△ 20,000
積立金の積立				20,000		20,000	20,000
当期純利益					21,460	21,460	21,460
当期変動額合計	-	-	-	20,000	1,460	21,460	21,460
当期末残高	90,000	-	40,000	220,000	71,127	421,127	421,127

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 勸業館事業

- (ア) 利用率向上のため、様々な手段を利用して宣伝・広告を行う。
  - a 広告の活用
  - b ホームページの充実
  - c キャッチフレーズの作成と活用
  - d イベントガイドの作成と活用
  - e 「京都館」情報コーナーの活用
- (イ) 継続利用・新規、地元・その他（首都圏・大阪圏）の種別に沿った戦略を取り、きめ細やかで、かつ、積極的・創造的な営業活動を実施する。
  - a 地元（京都）へのアプローチ
  - b 首都圏・大阪圏等へのアプローチ
  - c 閑散期対策
- (ウ) 積極的・計画的な修繕・改良を行うとともに、利用者のニーズに応じた備品・設備を整え、利用率の向上を図る。
  - a 施設・設備の整備
  - b IT 環境の整備と IT 機器の貸出し
  - c 付属設備（自動販売機、コピー、FAX、プリンター、コインロッカー、車いす等）の充実
  - d 貸出し備品（いす・長机、大型スクリーン、プロジェクター、音響・映像機器等）の充実

#### イ 美術工芸ギャラリー事業

- (ア) 連続 5 日間以上利用する場合、前後各 1 日を無料提供する「ワンウィークサービス」制度を実施し、その利用者を更に拡大する。
- (イ) 無料貸出し備品の充実や主催者への平面駐車場（荷捌場）の無料提供を実施するとともに、ポスターやパンフレット、ポストカード等の印刷発注の代行等、利用者のニーズに対応する。

#### ウ レストラン事業

- (ア) 売上の確保に向けた取組
- (イ) 運営サービスの向上
- (ウ) 魅力的なメニューの提供

#### エ 京都伝統産業ふれあい館内ミュージアムショップ「京紫苑」事業

- (ア) 特別販売の実施
- (イ) カタログ販売の実施
- (ウ) ダイレクトメールの活用

#### オ 自主企画事業

- (ア) みやこめっせウェルカムプラン（京都伝統産業おもしろ体験講座）事業
- (イ) 京ものフェスティバル
- (ウ) 岡崎魅力づくり推進協議会連携事業
- (エ) 二条通にぎわい創出事業
- (オ) 桜まつり
- (カ) みやこめっせ防災フェア
- (キ) みやこめっせサマーフェスタ など

#### カ 京都館事業

平成 26 年度も、京都市から京都館事業を受託し、京都市との連携の下、首都圏での京都情報の発信及び京都館の認知度の向上に積極的に取り組む。

併せて物販事業を行い、伝統工芸品を中心とした京都産品の普及啓発に努める。

- (ア) 主な受託事業
  - a 情報発信事業 情報コーナーの充実
  - b 京都館ニュース 毎月発行 発行部数 10,000 部

- c 京都館ホームページによる情報発信の強化
- d イベント、セミナーの実施
- e 観光キャンペーンの実施

(イ) 物販事業

平成26年度は14,300万円を目標に物販、各種参加料、広告収入の増加に取り組む。  
そのため、自主企画によるフェアや、京都館みやこ会の会員拡大、法人特注などに積極的に取り組む。

キ 社員研修

社員の意欲、能力の向上を目指して社員研修を計画的に進める。

- (ア) 全体研修
- (イ) 管理監督者研修
- (ウ) 業務研修
- (エ) 自己研修
- (オ) 業績評価シートによる評価制度の導入

ク 第三者機関による経営評価の実施

外部の第三者専門家の意見を経営に反映するため経営評価委員会を設置しており、平成26年度も4月と12月の2回開催する予定である。

(2) 予算

収 支 計 画

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
施設利用料収入	498,400	施設負担金・賃借料	185,800
駐車場利用料収入	66,000	ウェルカムプラン事業費	2,600
美工ギャラリー使用料収入	4,500	商品仕入高	137,400
商品売上	188,700	人件費	155,600
業務受託収入	49,000	賃借料	6,100
テナント管理収入	16,000	広告宣伝費	26,800
ウェルカムプラン事業収入	4,000	事業費	25,000
事業収入	13,000	事務運営費	36,100
協賛広告収入	7,000	水道光熱費	115,800
その他収入	600	修繕費	33,100
営業外収益	6,800	警備委託費	24,800
		清掃委託費	17,500
		管理委託費	51,200
		減価償却費	6,290
		租税公課	12,210
収入合計	854,000	支出合計	836,300

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	売上高	821,692	800,542	818,986	847,200
	経常利益	34,276	42,319	32,659	17,700
	当期利益	18,820	23,965	21,460	
	減価償却前利益	27,615	30,017	28,230	
貸借対照表	総資産	564,487	614,109	590,356	
	総負債	188,785	214,442	169,229	
	純資産	375,702	399,666	421,127	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	「京都館」管理運営	50,689	50,681	51,431	
	首都圏観光シティセールスの「首都圏における定期情報発信業務」	308	308		

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上面では、展示場稼働率の増加等により、平成24年度実績を上回った。利益面では、電気料金の値上げにより、水道光熱費が増加したことなどから、平成24年度を下回ったものの、単年度黒字を維持しており、財務状況は良好である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市勧業館（みやこめっせ）指定管理業務の根幹である展示場の稼働率については、新規利用が好調であったことなどから、平成24年度実績を上回っており、評価できる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期利益において、安定して黒字を計上しており、財務的に問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示場稼働率が上昇していることは評価できる。引き続き、顧客の獲得に向けた取組を継続してほしい。</li> </ul>



保健福祉局

# 公益財団法人京都市障害者スポーツ協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 芝田徳造

### 2 所在地

京都市左京区高野玉岡町5番地

### 3 電話番号

075-702-3370

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-syospo.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和63年4月1日

### 6 基本財産

25,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市における障害のある人のスポーツの振興と健康の増進を図り，社会参加を促すとともに，障害のない人との共生社会の実現に努め，もって福祉の向上に寄与することを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 障害のある人のスポーツの振興事業
- (2) 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (3) 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (4) 障害のある人への理解を進めるための事業
- (5) 障害者スポーツ施設等の運営事業
- (6) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

保健福祉局障害保健福祉推進室（TEL075-222-4161）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

芝田徳造

#### (2) 常務理事

北山俊二

#### (3) 理事

内田寛治，水谷裕，福林文孝（文化市民局スポーツ担当局長），近藤幸一，野地芳雄，安部康則（保健福祉局障害保健福祉推進室長），日野勝，直野信之，松井輝夫

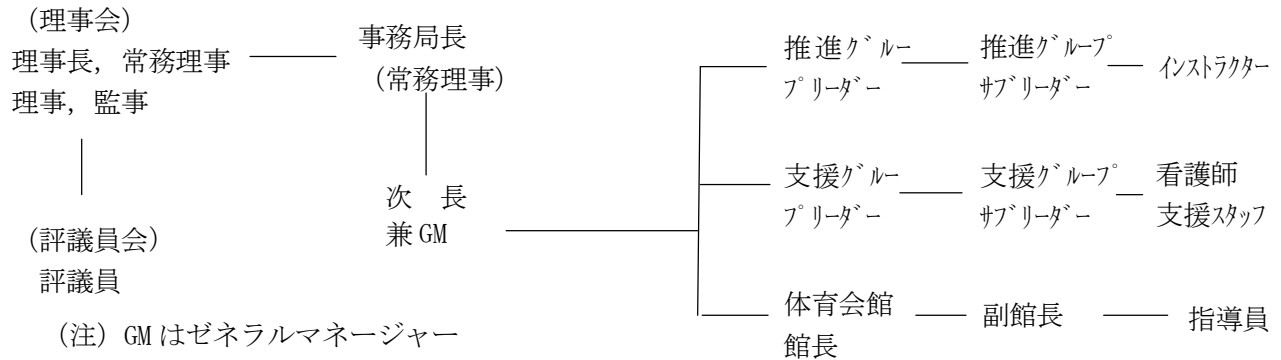
#### (4) 監事

堀村不器雄，壁純一郎，井尻圭一（保健福祉局障害保健福祉推進室社会参加推進課長）

### 11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 障害のある人のスポーツの振興事業

- (ア) 教室等開催事業（センター）（全 33 事業， 316 回， 延べ 3,345 人参加）
- (イ) スポーツ大会等開催事業（センター）（全 11 事業， 延べ 2,471 人参加）
- (ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等の開催事業（センター）（全 3 事業， 29 回， 延べ 669 人参加）
- (エ) 講習会等開催事業
  - a 講習会
    - (a) センター（全 7 事業， 延べ 253 人参加）
    - (b) 体育会館（全 1 事業， 延べ 10 人参加）
  - b 登録ボランティアのための研修会（センター）（全 11 回， 延べ 131 人参加）
- (オ) 地域でのスポーツ振興事業（センター）
  - a 施設へのスポーツ指導のための職員派遣（全 5 施設， 96 回）
  - b 新しい障害者スポーツの開発
- (カ) 大会等への派遣事業（センター・体育会館）
  - a 資格取得のための派遣
    - 日本赤十字社救急法救急員（1 人）日本障害者スポーツ協会公認障害者初級スポーツ指導員（1 人）， NSCA-CPT（2 人）， 幼児体育指導者 2 級（2 人）， G ボールインストラクター講習会（1 人）
  - b 健康運動指導士登録講習会への派遣（4 人）
  - c 春期静岡水泳記録会への役員派遣（1 人）
  - d スポーツテピングセミナーへの派遣（1 人）
  - e 障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会への派遣（2 人）
  - f 第 13 回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京 2013）開会式への派遣（1 人）
  - g 第 13 回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京 2013）への役員派遣（3 人）
  - h スポーツ祭東京 2013 オープン競技「障害者シンクロナイズドスイミング・ソロ競技大会」への役員派遣（1 人）
  - i 第 33 回全京都障害者総合スポーツ大会開会式・閉会式への派遣（1 人）
  - j 第 13 回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会精神障害者バレーボール競技京都市代表チームへの監督としての派遣（1 人）
  - k 2013 ジャパンパラ水泳競技大会への役員派遣（1 人）
  - l 第 30 回日本身体障がい者水泳選手権大会への役員派遣（1 人）
  - m 全国車いす駅伝競走大会への役員派遣（2 人）
  - n 第 42 回京都市聴覚言語障害者スポーツ大会への派遣（1 人）

- o 第11回京都障害者チャンピオン卓球大会への派遣（1人）
  - p 京都市立総合支援学校スポーツ交歓会への派遣（1人）
- イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業
- (ア) 健康のための運動指導事業
    - a センター（全22事業、293回、延べ8,532人参加）
    - b 体育会館（全7事業、45回、延べ528人参加）
  - (イ) 相談事業
    - a 医師によるスポーツ医事相談（センター）（24件）
    - b 理学療法士によるスポーツ医事相談
      - (a) センター（41件）
      - (b) 体育会館（17件）
    - c 職員による新規面談及び新規指導
      - (a) センター（個人面談487人、新規指導3人）
      - (b) 体育会館（個人面談63人）
    - d 運動プログラムの作成、指導（センター開催）（39件）
- ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業
- (ア) 文化教室等開催事業
    - a センター（全9事業、93回、延べ1,433人参加）
    - b 体育会館（全1事業、6回、延べ6人参加）
  - (イ) レクリエーション教室等開催事業
    - a センター（全9事業、106回、延べ3,415人参加）
    - b 体育会館（全3事業、105回、延べ2,422人参加）
- エ 障害のある人への理解を進めるための事業
- (ア) イベント等開催事業
    - a センター（全5事業、延べ6,725人参加）
    - b 体育会館（全1事業、延べ70人参加）
  - (イ) 交流事業
    - a センター（全13事業、133回、延べ2,845人参加）
    - b 体育会館（全2事業、5回、延べ166人参加）
  - (ウ) 啓発事業（センター）
    - a 実習、職場体験学習等の受け入れ（延べ7人）
    - b 見学等の受け入れ（全14件、延べ313人）
    - c 他団体からの依頼による館内での指導（全8団体、延べ9件）
- オ 障害者スポーツ施設等の運営事業
- (ア) 施設管理事業
    - a センター
      - 日本赤十字救急法救急員講習会派遣（1人）、スポーツ教室等の指導マニュアルの策定、スポーツセンター利用にかかる業務、手話研修（24回）、点字研修（17回）、総合消防訓練（2回）、心肺蘇生法個人練習（36回）、救急法等安全管理のための研修（48回）、京都府視覚障害者協会定時総会への派遣（1人）、安全運転管理者講習派遣（2人）、京都労働健康管理会への派遣（1人）、第30回障害者スポーツセンター協議会派遣（2人）、公益法人協会の実施する研修会への派遣（1人）、新任運用担当者向け債権基礎研修への派遣（1人）、外郭団体実務講習会への派遣（2人）、図書室の運営（延べ2,888人利用）、疾病への対応（病気によるもの31件、怪我によるもの53件）
    - b 体育会館
      - 体育会館利用に係る業務、総合消防訓練（2回）、心肺蘇生法個人練習（36回）、CPR講習会（1回）、疾病への対応（怪我によるもの8件）

- (イ) 施設整備事業
  - a センター
    - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修 (1 件) ※1 件 50 万円以上のもの
    - (b) 必要な備品の調達 (2 件) ※1 件 20 万円以上のもの
    - (c) 環境マネジメントシステム (KES) の継続改善実施
  - b 体育会館
    - (a) 必要な施設・設備・備品等の改修 (2 件) ※1 件 50 万円以上のもの
    - (b) 必要な備品の調達 (2 件) ※1 件 20 万円以上のもの
- (ウ) 便宜供与事業
  - a センター
    - (a) 定期送迎バスの運行 (総運行日数 280 日/年間, 延べ 5,417 人利用)
    - (b) 申請による送迎バスの運行 (全 7 団体, 延べ 96 人利用)
    - (c) 点字プリンターの供用 (延べ 9 人利用)
  - b 体育会館
    - (a) 定期送迎バスの運行 (総運行日数 155 日/7 ヶ月, 延べ 255 人利用)
- (エ) 宣伝事業
  - a センター機関紙発行 (全 4 回, 各 2,000 部)
  - b 体育会館機関紙発行 (全 4 回, 各 1,500 部)
  - c 平成 24 年度事業概要 (年報) の発行 (1 回, 500 部)
  - d 25 周年記念誌等の発行 (「記念誌 500 部」, 「記念誌概要版 2,000 部」, 「25 年の歩み DVD 100 枚」)
  - e ホームページによる情報発信
    - (a) センター (アクセス数 180,936 件/年間)
    - (b) 体育会館 (アクセス数 4,043 件/年間)
  - f センター利用カレンダーの配布
  - g センター近隣の清掃・美化活動 (220 日実施)
- カ そのほか, この法人の目的を達成するために必要な事業
  - (ア) 京都市障害者スポーツセンターにおける物品販売事業 (水着, 水泳帽等)
  - (イ) 京都市障害者教養文化・体育会館における施設貸与事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	73,644	79,231	△ 5,586
未収金	572	445	128
前払金	217	82	135
仮払金	31	24	7
繰越商品	139	225	△ 85
流動資産合計	[74,604]	[80,006]	[△ 5,402]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	25,000	25,000	0
基本財産合計	(25,000)	(25,000)	( 0)
(特定資産)			
減価償却引当資産	24,224	30,840	△ 6,616
特別修繕引当資産	60,493	57,493	3,000
修繕引当資産	0	3,000	△ 3,000
事業平準化積立資産	34,000	34,000	0
体育会館運営引当資産	5,000	2,300	2,700
体育会館整備引当資産	10,000	10,000	0
共済会退職給与預け金	21,891	22,707	△ 817
特定資産合計	(155,607)	(160,340)	(△ 4,733)
(その他固定資産)			
構築物	194	253	△ 58
車両運搬具	7,754	1,466	6,288
什器備品	5,974	8,984	△ 3,010
ソフトウェア	1,759	491	1,268
電話加入権	75	75	0
その他固定資産合計	(15,756)	(11,269)	(4,488)
固定資産合計	[196,363]	[196,608]	[△ 245]
資産合計	270,968	276,615	△ 5,647
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,206	13,061	△ 6,856
預り金	741	1,663	△ 922
賞与引当金	7,415	6,071	1,344
流動負債合計	[14,362]	[20,795]	[△ 6,433]
2. 固定負債			
共済会退職給付引当金	25,811	26,603	△ 792
固定負債合計	[25,811]	[26,603]	[△ 792]
負債合計	40,173	47,399	△ 7,225
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	25,000	25,000	0
受贈什器備品	226	738	△ 513
指定正味財産合計	[25,226]	[25,738]	[△ 513]
(うち基本財産への充当額)	(25,000)	(25,000)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[205,569]	[203,478]	[2,091]
(うち特定資産への充当額)	(155,607)	(160,340)	(4,733)
正味財産合計	230,794	229,216	1,578
負債及び正味財産合計	270,968	276,615	△ 5,647

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	262	262	0
② 特定資産運用益	49	178	△ 129
③ 事業収益	235,635	235,450	186
④ 受取助成金	1,071	794	277
⑤ 雑収益	1,244	1,173	72
経常収益計	238,262	237,857	405
(2) 経常費用			
① 事業費	231,738	222,126	9,612
② 管理費	4,556	4,855	△ 299
経常費用計	236,294	226,981	9,313
当期経常増減額	1,968	10,876	△ 8,907
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 什器備品受入額	123	0	123
経常外収益計	123	0	123
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	0	3	△ 3
経常外費用計	0	3	△ 3
当期経常外増減額	123	△ 3	126
当期一般正味財産増減額	2,091	10,873	△ 8,781
一般正味財産期首残高	203,478	192,605	10,873
一般正味財産期末残高	205,569	203,478	2,091
II. 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	262	262	0
② 一般正味財産への振替額	△ 775	△ 655	△ 120
当期指定正味財産増減額	△ 513	△ 393	△ 120
指定正味財産期首残高	25,738	26,131	△ 393
指定正味財産期末残高	25,226	25,738	△ 513
III. 正味財産期末残高	230,794	229,216	1,578

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 障害のある人のスポーツの振興事業

##### (ア) 教室等開催事業

- a センター (全 38 事業, 318 回)
- b 体育会館 (全 3 事業, 18 回)

##### (イ) スポーツ大会等開催事業

- a センター (全 11 事業)
- b 体育会館 (全 2 事業)

##### (ウ) 各種スポーツ体験会・つどい等開催事業

- a センター (全 3 事業, 18 回)
- b 体育会館 (全 3 事業, 10 回)

##### (エ) 講習会等開催事業

- a センター (全 4 事業, 15 回)
- b 体育会館 (全 1 事業)

##### (オ) 地域でのスポーツ振興事業 (センター)

- a 施設へのスポーツ指導のための職員派遣 (全 4 施設)
- b 新しい障害者スポーツの普及・開発

##### (カ) 大会等への派遣事業

#### イ 障害のある人の健康の維持・増進に関する事業

##### (ア) 健康のための運動指導事業

- a センター (全 19 事業, 189 回)
- b 体育会館 (全 9 事業, 60 回)

##### (イ) 相談事業

- a センター
  - (a) 医師, 理学療法士によるスポーツ医事相談 (全 48 回)
- b 体育会館
  - (a) 理学療法士によるスポーツ医事相談 (全 24 回)

#### ウ 障害のある人の文化・レクリエーションの振興事業

##### (ア) 文化教室等開催事業

- a センター (全 9 事業, 85 回)
- b 体育会館 (全 2 事業, 18 回)

##### (イ) レクリエーション教室等開催事業

- a センター (全 16 事業, 126 回)
- b 体育会館 (全 5 事業, 107 回)

#### エ 障害のある人への理解を進めるための事業

##### (ア) イベント等開催事業

- a センター (全 4 事業)
- b 体育会館 (全 2 事業)

##### (イ) 交流事業

- a センター (全 5 事業, 23 回)
- b 体育会館 (全 1 事業)

##### (ウ) 啓発事業 (実習及び見学等の受入れ)

#### オ 障害者スポーツ施設の運営事業

##### (ア) 施設管理事業

- a センター
  - (a) スポーツセンター利用にかかる業務



- (b) 安全管理マニュアルの策定
- (c) 救急法, 手話, 点字, 総合消防訓練, その他外部への講習会や研修会への派遣
- (d) 図書室の運営
- (e) コンプライアンスの推進
- b 体育会館
  - (a) 体育会館利用にかかる業務
  - (b) 安全管理マニュアルの策定
  - (c) 救急法, 手話, 点字, 総合消防訓練, その他外部への講習会や研修会への派遣
  - (d) コンプライアンスの推進
- (イ) 施設整備事業
  - a センター
    - (a) 必要な施設の改修
    - (b) 必要な備品の調達
    - (c) 環境マネジメントシステム (KES) の継続改善実施
  - b 体育会館
    - (a) 必要な施設の改修
    - (b) 必要な備品の調達
- (ウ) 便宜供与事業
  - a センター
    - (a) 送迎バスの運行
    - (b) 点字プリンターの提供
  - b 体育会館
    - 送迎バスの運行
- (エ) 宣伝事業 (センター・体育会館)
  - a 機関紙の発行
  - b 事業概要の発行
  - c ホームページの運営
  - d 利用カレンダーの作成
- カ そのほか, この法人の目的を達成するために必要な事業
  - (ア) 京都市障害者スポーツセンターにおける物品販売事業
  - (イ) 京都市障害者教養文化・体育会館における施設貸与事業

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	263	263	0
② 特定資産運用益	50	219	△ 169
③ 事業収益	238,447	234,688	3,759
④ 受取助成金	928	707	221
⑤ 雑収益	680	680	0
経常収益計	240,368	236,557	3,811
(2) 経常費用			
① 事業費	238,575	232,087	6,488
② 管理費	4,871	4,917	△ 46
経常費用計	243,446	237,004	6,442
当期経常増減額	△ 3,078	△ 447	△ 2,631
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,078	△ 447	△ 2,631
一般正味財産期首残高	203,478	192,605	10,873
一般正味財産期末残高	200,400	192,158	8,242
II. 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	263	263	0
② 一般正味財産への振替額	△ 436	△ 625	189
当期指定正味財産増減額	△ 173	△ 362	189
指定正味財産期首残高	25,738	26,131	△ 393
指定正味財産期末残高	25,565	25,769	△ 204
III. 正味財産期末残高	225,965	217,927	8,038

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	236,759	237,857	238,262	240,368
	当期経常増減額	16,905	10,876	1,968	△3,078
	当期正味財産増減額	16,489	10,480	1,578	△3,251
貸借対照表	総資産	258,821	276,615	270,968	/
	総負債	40,085	47,399	40,173	
	正味財産	218,736	229,216	230,794	

## (参考2) 京都市からの補助金等

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市障害者スポーツセンター管理運営委託(指定管理)	206,000 (※)	206,275 (※)	206,200 (※)	208,540 (※)
	京都市障害者教養文化・体育会館管理運営委託(指定管理)	20,995	21,121	21,077	21,677

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当期正味財産増減額は黒字を維持しており、健全な財務状況にある。</li> <li>・ 光熱水費等の支出増加が見込まれることから、今後も気を緩めることなく支出の削減に努める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者スポーツセンターでは、平成25年度の一年間を通して「センター開設25周年記念事業」を数多く実施した。アンケート等を積極的に活用し、人気の高い教室・講座等の回数を増加させるなど、利用者のニーズを反映した事業展開や、積極的な周知活動により、施設利用者の増加に努めている。また、障害者スポーツの振興事業に加えて、文化・レクリエーション事業についても幅広い事業を開催している。これらの取組の結果、平成25年度の障害者スポーツセンターの施設総利用者数は年間17万人弱となり、わずかではあるが平成24年度から増加している。</li> <li>・ 障害者教養文化・体育会館では、平成25年度にトレーニング室の設置や送迎バスの運行を開始し、個人利用者の増加に向けて取り組んでいるほか、障害者スポーツセンターと連携して各種事業を開催するなど、積極的な取組が評価できる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員に対して、手話検定や障害者スポーツ指導員等の資格取得を積極的に勧奨しており、障害のある方が利用しやすい施設運営に努めている。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光熱水費等の費用増により、当期正味財産増減額の黒字幅が減少しているが、財務面で特に問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用の拡大を図ってほしい。</li> </ul>

# 公益財団法人京都市健康づくり協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 田中叡峰

### 2 所在地

京都市南区西九条南田町 1-2

### 3 電話番号

075-662-1300

### 4 ホームページアドレス

<http://healthpia21.net/> (京都市健康増進センター)

### 5 設立年月日

平成5年1月8日

### 6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

市民が安全で効果的な健康づくりを行えるように、健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い、市民の健康と福祉の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 健康づくりを図るための実践活動の推進
- (2) 健康づくりに関する調査, 研究及び情報の提供
- (3) 健康づくり関連団体等との連携及び協力並びに当該団体等の活動の振興
- (4) 健康づくり指導者の養成及び研修
- (5) 京都市健康増進センターの管理運営
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 (TEL075-222-3411)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

田中叡峰

#### (2) 常務理事

吉田英昭

#### (3) 理事

森洋一, 平塚靖規, 今西美津恵, 宇野進, 轟英彦, 岸部公子, 仁田一明, 板垣泰子, 西田哲郎 (保健福祉局保健医療・介護担当局長), 里村由紀子 (南区役所副区長)

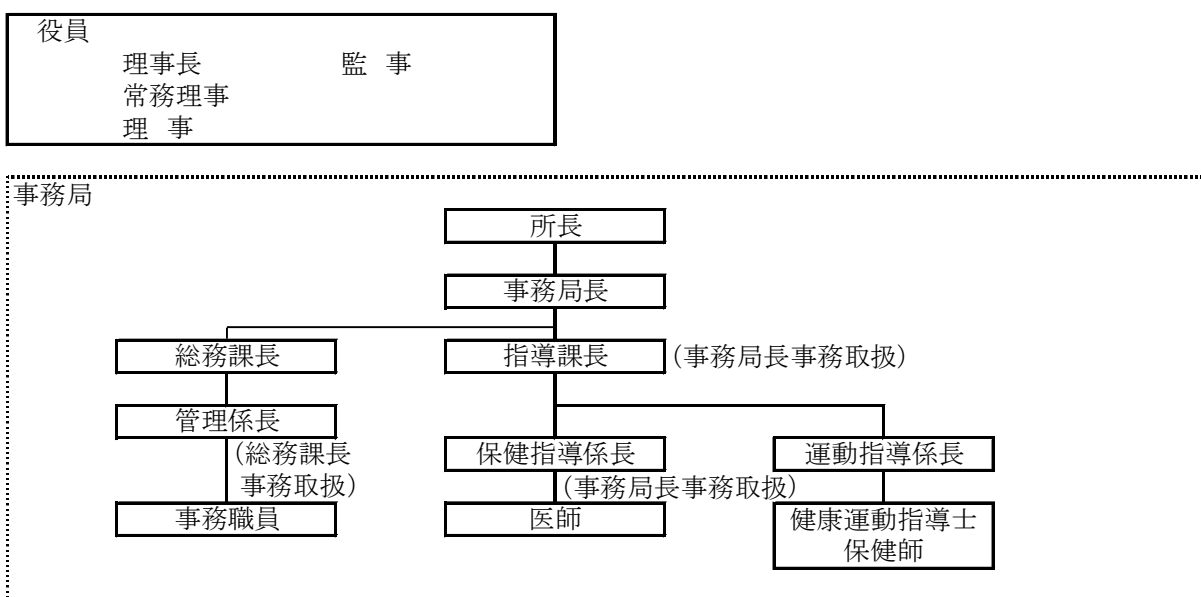
#### (4) 監事

大川雅司, 杉浦晋也 (保健福祉局保健衛生推進室保健医療課長)

### 11 常勤職員数

11人 (うち本市派遣職員 0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、医師、保健師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフと医療設備及びプール、トレーニングルーム等の運動設備など、健康増進センターの機能を最大限に活用し、個々の利用者のニーズに合った施設利用を追求し、安全で効果的な各種の健康づくり事業に取り組んだ。

平成25年度は、経費の縮減等に努めることにより、当期正味財産増減額は約250万円の黒字となり、正味財産額は約9,003万円となった。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

市民の健康増進、発病予防、生活機能低下の早期発見・早期対応に向け、平成15年度に作成された運動プログラムの「京から始めるいきいき筋力トレーニング」（京都市オリジナル）や、平成17年度に他都市に先駆けて導入した「油圧式筋力トレーニングマシン」、運動指導、栄養指導に係る専門スタッフを活用し、次の介護予防事業を実施した。

- a シニア体力向上教室（平成25年9月で終了）
- b ウエイトアップ&食事バランス教室（高齢者低栄養相談）
- c かむかむ教室
- d ダイエット&食事バランス教室
- e シニア体力向上教室（自主事業として、平成25年10月から実施）
- f 転倒予防教室

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進

a 特定健康診査、特定保健指導の実施

これまでの市民の健康の保持・増進に取り組んできた成果を生かして、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防に重点を置いた特定健康診査及び特定保健指導を実施した。

(ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進

- a 生活プログラムの作成、指導及び運動実践による健康づくり指導

生活状況調査, 医学的検査, 運動機能検査及び診察を通して健康状態の総合判定を行い, その結果から個々の利用者に適した生活プログラム(食生活やトレーニングメニュー)を作成し, その生活プログラムに基づいて医師, 管理栄養士及び健康運動指導士による生活・保健指導を実施した。

- b 「いきいき筋トレルーム」での中・高齢者筋トレ事業の実施
  - ヘルスピア 21 及び上京区の元春日小学校に平成 19 年 2 月に京都市が開所した中・高齢者筋力トレーニング施設「いきいき筋トレルーム」において, 京都市から受託した中・高齢者向けの筋トレ教室事業を実施した。
- c いきいき長寿パス等の活用
- d 生活機能低下防止対策
- e 健康づくり講座
- f 脳健康チェック
- (エ) 健康度測定室の運営事業
  - 健康度測定とそれに基づいた運動指導や栄養指導だけでなく, 医療専門職や機器を活用して, 健康増進の指導等に取り組んだ。
- (オ) 健康づくり関連団体等との連携協力, 活動支援事業並びに調査研究及び普及啓発事業
  - a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び研修生の受入れ等
    - (a) 出張指導事業
    - (b) 体力測定出張事業の受託
  - b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座の開催実施等
    - 高齢者の転倒予防及び運動習慣に関する知識と「京から始めるいきいき筋力トレーニング」を習得し, 地域で普及啓発するボランティアを養成する事業を, 京都市から受託し, 実施した。
  - c 下京区歩歩塾の運営受託
  - d 健康づくりに関する調査, 研究及び提供
- (カ) 青少年等の健全な身体増進事業
  - 日常生活において「運動・栄養・休養」のバランスを取ることの重要性を市民の方々に普及啓発し, その実践の場としてプール, トレーニングルーム等の利用を促進した。  
また, 「トランポリンセラピス」, 「太極拳」, 「ヨーガ」, 「健康カラオケ」, 「楽しい水中たいそう」など, 毎月 67~70 教室を開講した。
- (キ) 診療所における一般外来診療(保険診療等)の実施(平成 25 年 6 月末で終了)
- (ク) 京都市健康増進センターの管理運営
  - 平成 23 年度から平成 27 年度までの間, 京都市から同センターの指定管理者として指定を受け, 市民の健康づくりに供している。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	66,642	71,518	△ 4,876
未収金	5,904	13,888	△ 7,984
前払金	368	243	125
棚卸資産	372	510	△ 138
有価証券	50	50	0
流動資産合計	[73,336]	[86,209]	[△ 12,873]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	50,000	50,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	( 0)
(特定資産)			
退職給与引当預金	13,689	11,189	2,500
特定資産合計	(13,689)	(11,189)	(2,500)
(その他固定資産)			
什器備品	23,054	23,054	0
減価償却累計額	△ 22,540	△ 21,656	△ 884
電話加入権	148	148	0
その他固定資産合計	(662)	(1,546)	(△ 884)
固定資産合計	[64,351]	[62,735]	[1,616]
資産合計	137,687	148,944	△ 11,257
II. 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	50	55	△ 5
未払金	15,297	28,632	△ 13,335
預り金	508	876	△ 368
受入保証金	41	48	△ 7
流動負債合計	[15,895]	[29,610]	[△ 13,715]
2. 固定負債			
退職手当引当金	31,763	31,763	0
固定負債合計	[31,763]	[31,763]	[0]
負債合計	47,658	61,373	△ 13,715
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[0]	[50,000]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	( 0)	(50,000)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[40,028]	[87,570]	[△ 47,542]
(うち基本財産への充当額)	( 0)	(50,000)	(△ 50,000)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	[90,028]	[87,570]	[2,458]
負債及び正味財産合計	137,687	148,944	△ 11,257



正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	791	355	436
② 事業収入	230,039	264,487	△ 34,448
③ 雑収益	3,868	404	3,464
経常収益計	234,698	265,245	△ 30,547
(2) 経常費用			
① 事業費	228,719	259,323	△ 30,605
② 管理費	3,521	3,618	△ 97
経常費用計	232,240	262,942	△ 30,702
当期経常増減額	2,458	2,304	154
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産への振替額	△ 50,000	0	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	△ 47,542	2,304	△ 49,846
一般正味財産期首残高	87,570	85,266	2,304
一般正味財産期末残高	40,028	87,570	△ 47,542
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産からの振替額	50,000	0	50,000
当期指定正味財産増減額	50,000	0	50,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	50,000	0	50,000
III. 正味財産期末残高	90,028	87,570	2,458

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

平成25年度に引き続き、市民の総合的な健康づくりと健康の保持増進を図るため、京都市健康増進センター（ヘルスピア21）を拠点として、次の事業に取り組む。

ア 中高年齢者に対する健康保持増進事業

(ア) 介護予防事業の推進

- a いきいき筋力トレーニング教室（施設通所型，出張型）
- b ウェイトアップ&食事バランス教室（高齢者低栄養相談）
- c ダイエット&食事バランス教室
- d おいしくかむかむ教室
- e シニア体力向上教室
- f 転倒予防教室

(イ) 中高年齢者の保健指導事業等の推進

- (ウ) 中高年齢者の健康増進事業の推進
  - a 健康度把握の推進と運動実践による健康づくり
  - b いきいき長寿パス等の活用
  - c ヘルスピア 21 筋トレ教室等各種教室等の開催
  - d 生活機能低下防止対策コース等の開設
- (エ) 健康度測定等に係る推進体制の強化
- (オ) 健康づくり関連団体等との連携協力，活動支援並びに調査研究及び普及啓発事業
  - a 健康づくり関連団体への講師の派遣及び健康づくりの調査研究等
  - b 高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティアの養成等
  - c 下京区歩歩塾の運営受託
- イ 青少年等の健全な身体の増進事業
- ウ 京都市健康増進センターの管理運営

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収入	790	670	120
②事業収入	237,644	274,620	△ 36,976
③雑収益	479	470	9
経常収益計	238,913	275,760	△ 36,847
(2) 経常費用			
①事業費	232,680	270,546	△ 37,866
②管理費	3,660	4,109	△ 449
経常費用計	236,340	274,655	△ 38,315
当期経常増減額	2,573	1,105	1,468
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産への振替	0	△ 50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	2,573	△ 48,895	51,468
一般正味財産期首残高	37,602	86,497	△ 48,895
一般正味財産期末残高	40,175	37,602	2,573
II. 指定正味財産増減の部			
①一般正味財産からの振替額	0	50,000	△ 50,000
当期指定正味財産増減額	0	50,000	△ 50,000
指定正味財産期首残高	50,000	0	50,000
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	90,175	87,602	2,573

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	260,118	265,245	234,698	238,913
	当期経常増減額	6,263	2,304	2,458	2,573
	当期正味財産増減額	6,235	2,304	2,458	2,573
貸借対照表	総資産	134,944	148,944	137,687	
	総負債	49,678	61,373	47,658	
	正味財産	85,266	87,570	90,028	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市健康増進センター管理 運営業務の受託 (指定管理)	89,269 (※)	89,019 (※)	80,356 (※)	79,607 (※)
	通所型介護予防事業	20,790	21,588	18,465	
	中・高齢者筋肉トレーニング 教室	12,326	12,326	11,847	
	高齢者筋力トレーニング普及 推進ボランティア養成講座	9,002	9,002	9,002	
	特定保健指導等	6,989	7,667	2,862	

(※) 一部利用料金制

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 平成25年度は、受託事業の減少や診療所の廃止により経常収益が減少したが、当期正味財産増減額は平成24年度並みの黒字を確保し、良好な財務体質の維持している。ただし、本市からの受託事業の比率の高さが引き続き課題である。
事業面	・ 公益財団法人の認定を受けたことから、高齢者の介護予防事業等の内容を充実させていく必要がある。

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 当期正味財産増減額は黒字を維持しており、財務面で問題はない。
事業面	・ 民間と競合する事業については、独自性を発揮できる事業内容を検討するとともに、事業自体の必要性についても検討が必要である。

# 社会福祉法人京都社会福祉協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 今井豊嗣

### 2 所在地

京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町 519 番地

### 3 電話番号

075-802-0190

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-fukukyo.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 55 年 8 月 13 日

### 6 基本財産

1,000 千円（うち本市出せん額 1,000 千円，出せん率 100.0%）

### 7 事業目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより，利用者が個人の尊厳を保持しつつ，心身ともに健やかに育成されるよう支援すること。

### 8 業務内容

第二種社会福祉事業

(1) 保育園の設置経営

(2) 児童厚生施設の設置経営・指定管理

(3) 児童厚生施設における放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施

### 9 所管部局

保健福祉局子育て支援部保育課（TEL075-251-2390）

### 10 役員名等

(1) 理事長

今井豊嗣

(2) 理事

加藤善朗，楠薫，佐倉正光，谷内博史，御厨裕雅，山本智也，吉田清信

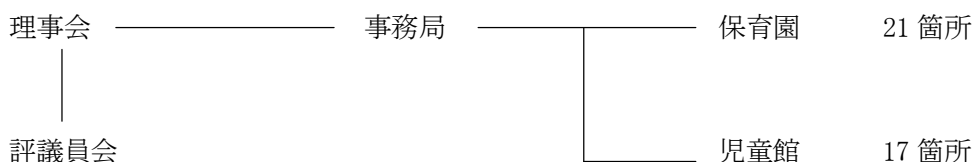
(3) 監事

田中和雅，保手浜悟

### 11 常勤職員数

390 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 法人の設置した次の施設の経営

福西保育園，竹の里保育園，城南保育園，吉田山保育園，聖護院保育園，祥豊保育園，城南第二保育園，紫野保育園，村山保育園，新林保育園，高野保育園，山科保育園，勸修保育園，大宮保育園，山階保育園，御室保育園，石田保育園，墨染保育園，城之内保育園，桂坂保育園，松ノ木保育園，福西児童館，城南児童館，新林児童館，桂坂児童館

##### イ 京都市の設置した次の施設の指定管理

京都市久世児童館，京都市室町児童館，京都市円町児童館，京都市羽束師児童館，京都市神川児童館，京都市嵐山東児童館，京都市嵯峨広沢児童館，京都市大宮西野山児童館，京都市上高野児童館，京都市久我の杜児童館，京都市修学院第二児童館，京都市西野児童館，京都市納所城之内児童館

## (2) 財務諸表

## 資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		合計	本部	保育所	児童館
経常活動による収支	収入				
	寄付金収入	1,480	0	1,480	0
	経常経費補助金収入	437,900	0	437,900	0
	委託料収入	365,855	0	2,250	363,605
	利用料収入	120,394	0	55,769	64,625
	運営費収入	2,170,471	0	2,170,471	0
	雑収入	5,811	50	4,033	1,727
	借入金利息補助金収入	55	0	55	0
	受取利息配当金収入	983	147	832	4
	経理区分間繰入金収入	34,484	30,448	0	4,036
	経常収入計(1)	3,137,434	30,645	2,672,791	433,998
	支出				
	人件費支出	2,496,018	22,795	2,119,632	353,591
	事務費支出	257,815	6,500	209,093	42,222
事業費支出	279,326	0	258,264	21,062	
借入金利息支出	55	0	55	0	
経理区分間繰入金支出	34,484	4,036	19,532	10,916	
経常支出計(2)	3,067,699	33,331	2,606,577	427,791	
経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	69,735	△ 2,686	66,215	6,207	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	31,406	0	31,406	0
	施設整備等収入計(4)	31,406	0	31,406	0
	支出				
	その他の固定資産取得支出	20,466	0	14,410	6,056
施設整備等支出計(5)	20,466	0	14,410	6,056	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	10,940	0	16,996	△ 6,056	
財務活動による収支	収入				
	借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	32,598	0	19,601	12,997
	その他の収入	25,374	0	22,437	2,938
	財務収入計(7)	57,972	0	42,038	15,935
	支出				
	借入金元金償還金支出	1,080	0	1,080	0
	積立預金積立支出	76,256	350	66,500	9,406
その他の支出	36,696	0	30,298	6,398	
財務支出計(8)	114,032	350	97,878	15,804	
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 56,060	△ 350	△ 55,841	130	
予備費(10)	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	24,615	△ 3,036	27,370	281	
前期末支払資金残高(12)	421,490	23,357	398,850	△ 717	
当期末支払資金残高(11) + (12)	446,106	20,321	426,220	△ 435	

事業活動収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

目		合計	本部	保育所	児童館	
事業活動収支の部	収入	寄付金収入	1,480	0	1,480	0
		経常経費補助金収入	437,900	0	437,900	0
		委託料収入	365,855	0	2,250	363,605
		利用料収入	120,394	0	55,769	64,625
		運営費収入	2,170,471	0	2,170,471	0
		雑収入	5,811	50	4,033	1,727
		国庫補助金等特別積立金取崩額	39,258	0	37,435	1,823
	事業活動収入計(1)	3,141,170	50	2,709,339	431,781	
	支出	人件費支出	2,471,237	22,795	2,097,735	350,707
		事務費支出	257,815	6,500	209,093	42,222
事業費支出		279,326	0	258,264	21,062	
減価償却費		73,567	97	68,474	4,995	
引当金繰入		34,982	0	29,476	5,507	
事業活動支出計(2)	3,116,928	29,392	2,663,043	424,492		
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)	24,242	△ 29,342	46,296	7,289		
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	55	0	55	0
		受取利息配当金収入	983	147	832	4
		経理区分間繰入金収入	34,484	30,448	0	4,036
		雑収入	12,127	0	11,695	432
	事業活動外収入計(4)	47,649	30,595	12,583	4,472	
	支出	借入金利息支出	55	0	55	0
		経理区分間繰入金支出	34,484	4,036	19,532	10,916
雑損失		1,802	0	1,205	597	
事業活動外支出計(5)	36,342	4,036	20,792	11,513		
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)	11,308	26,559	△ 8,209	△ 7,042		
経常収支差額(7) = (3) + (6)	35,550	△ 2,783	38,086	247		
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	31,406	0	31,406	0
		その他の特別収入	44,280	0	41,819	2,460
		特別収入計(8)	75,686	0	73,226	2,460
	支出	基本金組入額	0	0	0	0
		その他の固定資産売却損・処分損	23	0	23	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	0
その他の特別損失	41,130	0	38,574	2,556		
特別支出計(9)	41,152	0	38,596	2,556		
特別収支差額(10) = (8) - (9)	34,534	0	34,630	△ 96		
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)	70,084	△ 2,783	72,716	151		
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	161,022	21,673	146,181	△ 6,832	
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	231,105	18,890	218,897	△ 6,681	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	
	基本金組入額(15)	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(16)	32,598	0	19,601	12,997	
	その他の積立金積立額(17)	76,256	350	66,500	9,406	
	次期繰越活動収支差額(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)	187,447	18,540	171,998	△ 3,090	

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	[580, 142]	流動負債	[134, 036]
現金預金	444, 310	短期運営資金借入金	8, 000
未収金	125, 269	未払金	78, 457
立替金	1, 851	預り金	38, 161
前払金	574	その他の流動負債	9, 418
短期貸付金	8, 000	固定負債	[558, 754]
仮払金	137	設備資金借入金	1, 080
固定資産	[2, 295, 227]	長期未払金	930
(基本財産)	(769, 451)	退職給与引当金	556, 744
建物	733, 451	負債合計	692, 790
土地	35, 000	純資産の部	
基本財産特定預金	1, 000	基本金	[521, 753]
(その他の固定資産)	(1, 525, 775)	国庫補助金等特別積立金	[542, 471]
建物	72, 629	その他の積立金	[930, 907]
構築物	13, 366	人件費積立金	186, 210
車輛運搬具	7	修繕積立金	628, 720
器具及び備品	124, 280	備品等購入積立金	48, 395
投資有価証券	200	保育所施設・設備整備積立金	51, 000
退職共済預け金	366, 932	特別事業積立金	5, 631
保育所繰越積立預金	852, 259	退職給与積立金	10, 950
保育所施設・設備整備積立金	35, 000	次期繰越活動収支差額	[187, 447]
運用財産	13, 500	(うち当期活動収支差額)	(70, 084)
繰越積立預金	43, 648	純資産合計	2, 182, 578
他の固定資産	3, 955	負債及び純資産合計	2, 875, 368
資産合計	2, 875, 368		

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

協会の安定・健全経営を目指しつつ、各施設の自主運営も尊重し、京都の子育て、保育において一定の役割を果たしてきた協会にふさわしい将来像を描き、平成26年度の具体的な事業計画を実施し、児童福祉に関わる環境の変化に対応できる自立した組織づくりと、利用者のニーズに合ったサービスの提供を目指す。

ア 健全な保育園経営を目指すための労働条件の見直し

イ 児童館指定管理者の更新

ウ 「認定こども園」移行の検討

エ 園舎耐震診断及び耐震化工事

オ 人材育成、組織活性化等のための人事交流（保育園職員の定期異動の導入の検討）

カ 役員、評議員の改選



## (2) 予算

## 資金収支予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

目		合計	本部	保育所	児童館
經常活動による収支	収入				
	利用料収入	119,424	0	55,112	64,312
	運営費収入	2,160,767	0	2,160,767	0
	委託料収入	385,417	0	2,250	383,167
	經常経費補助金収入	416,092	0	416,092	0
	寄付金収入	1,174	0	1,174	0
	雑収入	6,050	10	4,513	1,527
	借入金利息補助金収入	82	0	82	0
	受取利息配当金収入	949	120	823	6
	経理区分間繰入金収入	36,792	27,792	0	9,000
	經常収入計(1)	3,126,747	27,922	2,640,813	458,012
支出					
人件費支出	2,518,761	21,926	2,114,866	381,969	
事務費支出	335,861	5,998	292,026	37,837	
事業費支出	304,725	0	283,174	21,551	
借入金利息支出	160	0	160	0	
経理区分間繰入金支出	37,960	288	20,672	17,000	
經常支出計(2)	3,197,467	28,212	2,710,898	458,357	
經常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	△ 70,720	△ 290	△ 70,085	△ 345	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	44,155	0	44,155	0
	施設整備等寄付金収入	0	0	0	0
	固定資産売却益(売却収入)	0	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	44,155	0	44,155	0
支出					
固定資産取得支出	18,343	0	17,680	663	
施設整備等支出計(5)	18,343	0	17,680	663	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	25,812	0	26,475	△ 663	
財務活動による収支	収入				
	借入金元金償還補助金収入	30	0	30	0
	積立預金取崩収入	15,700	0	12,000	3,700
	その他の収入	23,579	0	19,371	4,208
	財務収入計(7)	39,309	0	31,401	7,908
	支出				
	借入金元金償還金支出	1,138	0	1,138	0
	積立預金積立支出	3,410	410	3,000	0
その他の支出	33,746	0	26,846	6,900	
財務支出計(8)	38,294	410	30,984	6,900	
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	1,015	△ 410	417	1,008	
予備費(10)	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 43,893	△ 700	△ 43,193	0	
前期末支払資金残高(12)	398,973	19,617	364,766	14,590	
当期末支払資金残高(11) + (12)	355,080	18,917	321,573	14,590	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
事業活動収支計算書	事業活動収入合計	3,149,240	3,097,339	3,141,170	
	経常収支差額	81,943	△13,843	35,550	
	当期活動収支差額	87,715	3,546	70,084	
貸借対照表	総資産	3,000,635	2,889,463	2,875,368	
	総負債	813,772	737,711	692,790	
	純資産	2,186,863	2,151,753	2,182,578	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	児童館管理・運営 (指定管理)	263,772 (※)	271,212 (※)	269,326 (※)	245,226 (※)
	児童館管理・運営	86,834	91,022	91,752	
	保育園管理・運営	2,250	2,250	2,250	
補助金	運営補助	6,071	3,041		
	施設会計	588,068	193,729	252,354	198,944
その他	保育園管理・運営に係る扶助費		181,779	185,546	217,148

(※) 一部利用料金制

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該団体は、すべて本市の委託料及び補助金等の基準で事業を実施しなければならず、経営努力の余地は少ないが、健全な財務内容が確保されていると考える。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する地域の子育てニーズに対応して、延長保育や一時保育などの柔軟な保育サービスの提供や日常保育における子育て支援や相談も行い、児童の健全育成のための環境整備に積極的に取り組んでいる。</li> <li>職員の質の向上を図るため、施設長や中堅、新任等の各段階に応じた職員研修や、保育士、調理師等の各職種に応じた職員研修など、法人独自の研修の充実に向けて取り組んでいる。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、当期活動収支差額において黒字を確保しており、純資産も増加していることから、財務面で特に問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高いサービスを提供するため、職員研修等を更に充実させることが必要である。</li> </ul>

# 社会福祉法人京都福祉サービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 田邊真人

### 2 所在地

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

### 3 電話番号

075-354-8745

### 4 ホームページアドレス

<http://kyoto-fukushi.org>

### 5 設立年月日

平成 5 年 7 月 30 日

### 6 基本財産

50,000 千円（うち本市出えん額 50,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより，利用者が，個人の尊厳を保持しつつ，心身ともに健やかに育成され，又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援すること。

### 8 業務内容

#### (1) 第1種社会福祉事業

ア 軽費老人ホームの設置経営

イ 特別養護老人ホームの設置経営及び指定管理

#### (2) 第2種社会福祉事業

ア 老人居宅介護等事業

イ 障害福祉サービス事業

ウ 老人デイサービスセンターの設置経営及び指定管理

エ 老人デイサービス事業

オ 老人短期入所事業

カ 小規模多機能型居宅介護事業

キ 老人介護支援センターの設置経営及び指定管理

ク 児童厚生施設 児童館の設置経営及び指定管理

ケ 放課後児童健全育成事業

コ 地域子育て支援拠点事業

サ 養育支援訪問事業

#### (3) 公益事業

ア 居宅介護支援事業

イ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業（地域包括支援センター，地域介護予防推進センター）

ウ 介護保険適用外老人居宅介護等事業

エ 介護職員養成研修等事業

オ 要介護認定・要支援認定調査事業

カ 訪問看護事業

### 9 所管部局

保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（TEL075-251-1106）

10 役員名等

(1) 理事長

田邊真人

(2) 理事

北川靖, 木村茂和, 羽賀進, 安岡良介, 山田尋志, 高橋健一 (保健福祉局長寿社会部担当部長)

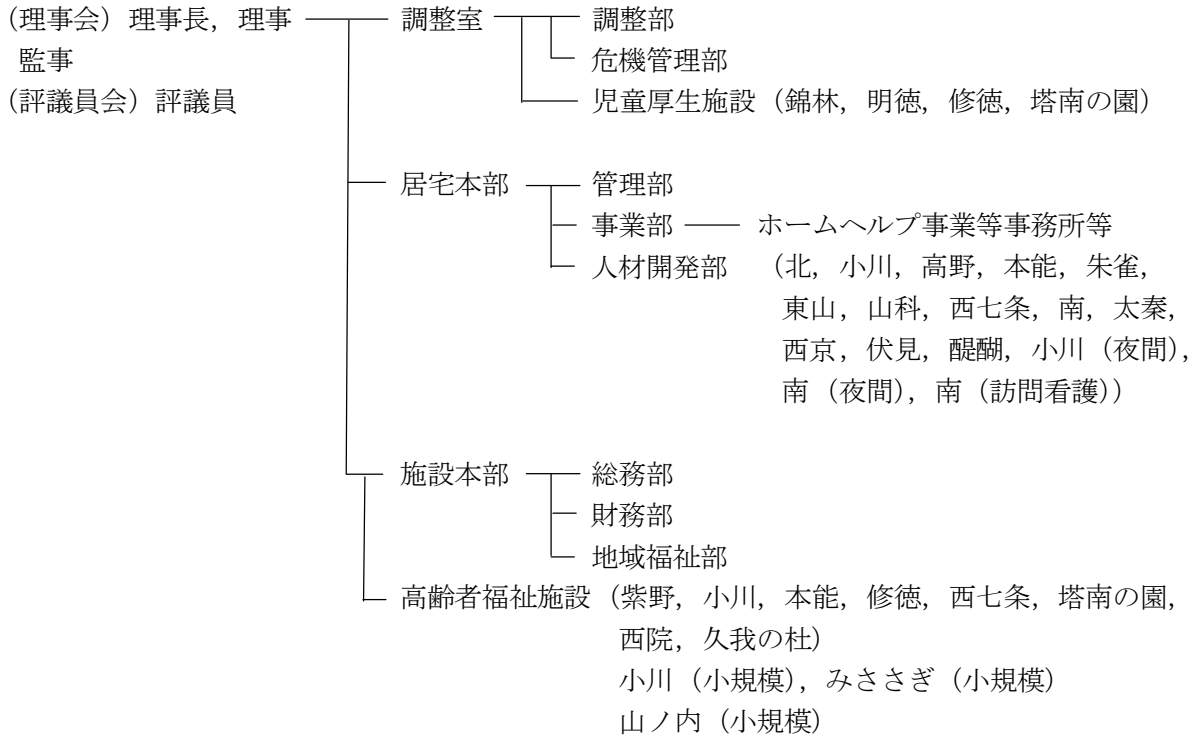
(3) 監事

石原豊, 壁純一郎

11 常勤職員数

999人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

ア 事業運営状況

平成25年度は、法人設立20年の節目の年を迎え、記念事業を実施するとともに、今後、ますます進展する少子高齢化を見据え、中期的な視点に立った経営計画を策定した。

平成25年度は、将来の介護ニーズと次期介護保険制度改正の動向を見据え、公益性の高い社会福祉法人として協会に求められる役割を的確に果たすため、24時間365日・介護と看護の一体的なサービス提供体制の確立に向け、夜間や早朝の介護ニーズに安定的に対応していけるよう、夜間帯のヘルパーの確保や夜間対応型訪問介護事業所の拡大に向けて取り組むとともに、地域における介護職員が喀痰吸引等の医療的ケアに対応できるよう、「介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修(第三号研修)」を進めた。また、8つの高齢者福祉施設と4つの児童館を拠点に、各事業の安定した運営と質の高いサービスの提供に努めるとともに、地域住民との連携、交流を図り、地域福祉の推進に取り組んだ。

さらに、法人運営について再点検・分析し、不祥事防止と法人運営の再生策として「信頼回復と法人再生のために」を策定し、適確な事業運営と満足度の高いサービスの提供に職員一丸となって取り組んでいる。

(ア) 居宅部門

平成 25 年度事業計画及び居宅部門経営ビジョン「チェンジ 24 計画」に基づき、地域包括ケアの推進、事業エリア制の構築及びサービスの質の向上に取り組むとともに、不祥事の再発防止に向けた取組について検討した。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（夜間帯のヘルパーの確保、夜間対応型訪問介護事業所増設に向けた取組）
- ・ 事業エリア制の構築に向けた取組
- ・ サービスの質の向上（喀痰吸引等研修の実施、利用者へのより適切なサービス提供のための連携強化）
- ・ 不祥事の再発防止に係る取組

- a 訪問介護（13 箇所）
- b 夜間対応型訪問介護（2 箇所）
- c 居宅介護支援（13 箇所）
- d 訪問看護（1 箇所）

(イ) 施設部門

平成 25 年度事業計画に基づき、京都市の指定管理者としての 4 施設及び協会独自に設置している 4 施設の 8 施設を拠点として、安定した事業運営と質の向上に努めるとともに、各施設の特徴を生かし、地域住民との連携、交流を図りながら、地域福祉の推進に取り組んだ。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（地域密着型サービスの充実、単身高齢者世帯への全戸訪問等による地域の高齢者の実態把握、地域におけるネットワークの構築・支援等）
- ・ 新人事管理制度の推進（人事考課制度の試行実施、新研修体系の構築）

- a 特別養護老人ホーム（6 箇所）
- b 短期入所生活介護事業（6 箇所）
- c 通所介護事業（8 箇所）
- d 認知症対応型通所介護事業（2 箇所）
- e 小規模多機能型居宅介護事業（3 箇所）
- f 居宅介護支援（8 箇所）
- g 軽費老人ホーム（1 箇所）
- h 地域包括支援センター（6 箇所）
- i 地域介護予防推進センター（1 箇所）

(ウ) 児童館部門（4 箇所）

平成 25 年度事業計画に基づき、4 児童館では、児童館運営の基本的理念である、児童の心身ともに健やかな育成支援、子育て家庭支援、地域の児童健全育成に関する総合的な機能を有する活動拠点としての役割を果たすため、学童クラブ事業をはじめ各種事業の充実を図るとともに、地域に根差した子どもの健全育成、子育て家庭の支援のための環境づくりに取り組んだ。また、土曜日及び小学校の長期休業期間中の学童クラブ事業の開始時刻を前倒しし、保護者の就労支援と事業の充実に取り組んだ。

- a 乳幼児親子対象の活動（児童館・子育てほっと広場）
- b 学童クラブ事業
- c 障害のある児童の統合育成と居場所づくり
- d 小地域における児童福祉の拠点施設としての活動
- e 京都市地域子育て支援ステーション事業の実施（2 箇所）
- f 思春期児童を対象とした赤ちゃんとの交流事業の実施（3 箇所）
- g 京都市ファミリーサポートセンター南支部の運営（1 箇所）

## (2) 財務諸表

## 資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		予算額	決算額	備 考	
經常活動による収支	収入	介護保険収入	7,693,119	7,517,308	
		自立支援収入	979,177	1,013,390	
		私的契約利用料収入	30,559	33,404	
		事業収入	149,117	137,574	
		經常経費補助金収入	36,460	36,041	
		寄附金収入	705	6,092	
		事業外収入	27,128	30,199	
		雑収入	6,120	15,739	
		借入金利息補助金収入	3,960	3,955	
		受取利息配当金収入	1,996	8,590	
		経理区分間繰入金収入	777,733	828,581	
	經常収入計(1)	9,706,074	9,630,874		
	支出	人件費支出	7,003,681	6,757,609	
		事務費支出	1,050,731	928,908	
事業費支出		531,920	522,115		
利用者負担軽減額		5,527	4,345		
借入金利息支出		6,028	5,822		
事業外支出		15,666	14,851		
経理区分間繰入金支出		777,733	828,581		
雑損失	7,940	13,252			
經常支出計(2)	9,399,226	9,075,483			
經常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		306,848	555,391		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	3,000	4,950	
		固定資産売却収入	107,466	116,603	
	施設整備等収入計(4)		110,466	121,553	
	支出	固定資産取得支出	215,701	172,583	
		固定資産売却・廃棄支出	0	7	
施設整備等支出計(5)		215,701	172,590		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 105,235	△ 51,037		
財務活動による収支	収入	借入金収入	110,000	111,087	
		借入金元金償還補助金収入	0	1,500	
		積立預金取崩収入	75,160	44,857	
		その他の収入	158,967	204,771	
	財務収入計(7)		344,127	362,215	
	支出	借入金元金償還金支出	187,755	182,843	
		積立預金積立支出	88,443	87,470	
		その他の支出	280,424	256,250	
財務支出計(8)		556,622	526,563		
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		△ 212,495	△ 164,349		
予備費(10)		0			
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 10,882	340,005		
前期末支払資金残高(12)		3,968,413	3,968,416		
当期末支払資金残高(11) + (12)		3,957,531	4,308,421		

事業活動収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目		本年度決算額	前年度決算額	増減	
事業活動収支の部	収入	介護保険収入	7,517,308	7,433,600	83,707
		自立支援収入	1,013,390	963,653	49,737
		私的契約利用料収入	33,404	32,575	829
		事業収入	137,574	131,382	6,191
		経常経費補助金収入	36,041	86,841	△ 50,800
		寄附金収入	6,092	15,659	△ 9,566
		雑収入	15,739	17,448	△ 1,709
		借入金元金償還補助金収入	1,500	1,500	0
		引当金戻入	94,973	70,123	24,851
		国庫補助金等特別積立金取崩額	119,142	119,806	△ 664
	事業活動収入計(1)	8,975,164	8,872,587	102,576	
	支出	人件費支出	6,757,609	6,675,020	82,589
		事務費支出	928,908	913,972	14,936
		事業費支出	522,115	494,342	27,772
利用者負担軽減額		4,345	5,194	△ 849	
減価償却費		228,336	225,179	3,158	
引当金繰入		126,318	150,491	△ 24,173	
事業活動支出計(2)	8,567,631	8,464,199	103,433		
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)		407,533	408,389	△ 856	
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	3,955	5,179	△ 1,224
		受取利息配当金収入	8,590	5,495	3,095
		経理区分間繰入金収入	828,581	787,459	41,123
		その他の事業活動外収入	30,199	31,065	△ 866
	事業活動外収入計(4)	871,325	829,198	42,128	
	支出	借入金利息支出	5,822	7,253	△ 1,431
		経理区分間繰入金支出	828,581	787,459	41,123
		その他の事業活動外支出	14,851	15,160	△ 309
		雑損失	13,252	26,327	△ 13,075
	事業活動外支出計(5)	862,506	836,198	26,308	
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)		8,819	△ 7,000	15,819	
経常収支差額(7) = (3) + (6)		416,352	401,389	14,963	
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	4,950	10,480	△ 5,530
		固定資産売却益	0	7	△ 7
		国庫補助金等特別積立金取崩額	914	0	914
		その他の特別収入	34,990	46,846	△ 11,856
	特別収入計(8)	40,854	57,332	△ 16,478	
	支出	固定資産売却損・処分損	1,702	9,714	△ 8,012
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,950	9,467	△ 7,517
		その他の特別損失	36,251	48,146	△ 11,894
	特別支出計(9)	39,903	67,327	△ 27,423	
特別収支差額(10) = (8) - (9)		951	△ 9,994	10,945	
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)		417,303	391,395	25,908	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)		5,293,859	4,811,393	482,466
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)		5,711,162	5,202,787	508,375
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	基本金組入額(15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)		21,675	112,386	△ 90,710
	その他の積立金積立額(17)		64,288	21,314	42,974
	次期繰越活動収支差額(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)		5,668,549	5,293,859	374,690

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[5,264,866]	流動負債	[957,844]
現金預金	3,536,484	短期運営資金借入金	14,600
未収金	1,454,156	未払金	677,380
立替金	429	預り金	2,098
前払金	9,355	前受金	3,308
短期貸付金	14,600	仮受金	260,459
仮払金	251,241	固定負債	[1,435,303]
徴収不能引当金	△ 1,400	設備資金借入金	219,790
固定資産	[6,445,016]	長期運営資金借入金	454,167
(基本財産)	(2,904,476)	退職給与引当金	761,346
建物	2,618,795		
土地	235,681	負債の部合計	2,393,148
基本財産特定預金	50,000	純資産の部	
(その他の固定資産)	(3,540,540)	基本金	[52,071]
建物	121,515	基本金	52,071
構築物	38,697	国庫補助金等特別積立金	[1,724,069]
車輛運搬具	28,553	その他の積立金	[1,872,044]
器具及び備品	104,484	備品等購入積立金	258,891
権利	39,672	建替修繕積立金	441,058
ソフトウェア	41,075	社会福祉事業拠点整備積立金	1,172,095
投資有価証券	25,000	次期繰越活動収支差額	[5,668,549]
長期貸付金	454,167	(うち当期活動収支差額)	417,303
退職共済預け金	819,440		
備品等購入積立預金	258,891		
建替修繕積立預金	441,058		
社会福祉事業拠点整備積立預金	1,172,095		
その他の固定資産	45,893		
徴収不能引当金	△ 50,000	純資産の部合計	9,316,734
資産の部合計	11,709,881	負債及び純資産の部合計	11,709,881

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 基本方針

平成26年度は、平成25年度に策定した中期経営計画（以下「計画」という。）及び不祥事防止策「信頼回復と法人再生のために」（以下「不祥事防止策」という。）による取組の初年度に当たり、法人の再生と活性化のスタートの年となる。

協会では、法人として適正な事業運営を進めるため、全役職員が計画や不祥事防止策の趣旨を適確に踏まえ、事業計画の着実な進ちょくに向けて協会一丸となって取り組み、より高い規範意識の向上に努め、市内有数の社会福祉法人として、また京都市の外郭団体として求められ



る役割をしっかりと認識し、応えていく。

そのためにも、業務を適正に運用するための体制やプロセス（内部統制）を整備し、理事会のリーダーシップにより、満足度の高いサービスの推進、健全な財政運営を進めるとともに、これまで脆弱であったリスクマネジメント体制を強化し、コンプライアンスの徹底を図る。

平成26年度の事業運営については、新たな計画に基づき、更なる経営の健全化を図る中で、将来の介護ニーズと次期介護保険制度改正の動向を見据え、公益性の高い社会福祉法人として求められる役割を適確に果たすため、地域包括ケアを推進する観点から、24時間365日・介護と看護の一体的なサービス提供体制の確立に向けた取組や、地域密着型サービスの充実、更には、利用者にとって満足度の高いサービス提供のための人材の育成と確保等に積極的に取り組む。

#### (ア) 居宅部門

新たに策定した計画に基づき、24時間365日のサービス提供体制の確立、高度ケアへの対応など、地域包括ケアの更なる推進に向けて取り組み、次期介護保険制度改正及び報酬改定を踏まえた取組を推進する。また、リスクマネジメント体制の強化及びコンプライアンスの推進に向けて取り組み、組織体制を強化する。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（24時間365日サービス提供体制の確立、介護と看護の一体的サービス提供体制の確立）
- ・ 「事業エリア制」の構築に向けた取組（「事業エリア制」の推進、地域拠点の整備等）
- ・ ヘルパーの確保と人材育成
- ・ サービスの質の向上（専門職の確保、へき地対策等）
- ・ リスクマネジメント体制の強化とコンプライアンスの推進

- a 訪問介護（13箇所）
- b 夜間対応型訪問介護（2箇所）
- c 居宅介護支援（13箇所）
- d 訪問看護（1箇所）

#### (イ) 施設部門

京都市の指定管理者としての4施設及び協会独自に設置している4施設の8施設を拠点として、地域住民との連携、交流を図りながら多様なサービスを展開する。また、協会の理念及び各施設の基本理念に基づき、利用者に対し満足度の高いサービスの提供、職員のスキルアップと人材育成、利用者や家族、地域から信頼される施設運営を推進する。

また、計画の推進に向けて、多様化する福祉ニーズに対して質の高いサービスの提供と地域福祉に貢献し、京都市の高齢者福祉に寄与すべく取り組む。

- ・ 地域包括ケア推進のための取組（地域密着型サービス事業の充実、地域包括支援センター業務の充実等）
- ・ 新人事管理制度の推進（人事考課制度の本格実施、教育研修制度の確立）
- ・ 個別ケアの推進
- ・ リスクマネジメント体制の強化とコンプライアンスの推進

- a 特別養護老人ホーム（6箇所）
- b 短期入所生活介護事業（6箇所）
- c 通所介護事業（8箇所）
- d 認知症対応型通所介護事業（2箇所）
- e 小規模多機能型居宅介護事業（3箇所）
- f 居宅介護支援（8箇所）
- g 軽費老人ホーム（1箇所）
- h 地域包括支援センター（6箇所）
- i 地域介護予防推進センター（1箇所）

(ウ) 児童館部門（4箇所）

児童館運営の基本的理念である、心身ともに健やかな児童の育成、子育て家庭支援、地域の児童健全育成に関する総合的な機能を有する活動拠点としての役割を果たすため、子ども自身の意思を尊重し自立を支援する活動を進めるとともに、地域や施設の特徴を生かした異世代交流等の取組を推進する。また、地域における子育ての社会連帯を推進する。

さらに、組織管理体制について見直すとともに、職員の研修体系の構築、リスクマネジメントを強化する。

そのほか、指定管理者の更新時期を迎えるため、継続実施に向けた取組を進める。

- ・ 地域の世代間交流の促進
- ・ 障害のある子ども障害のない子ども共に育ち合う環境づくり
- ・ リスクマネジメント体制の強化とコンプライアンスの推進

a 乳幼児親子対象の活動（児童館・子育てほっと広場）

b 学童クラブ事業

c 障害のある児童の統合育成と居場所づくり

d 小地域における児童福祉の拠点施設としての活動

e 地域子育て支援ステーション事業の実施（2箇所）

f 思春期児童を対象とした赤ちゃんとの交流事業の実施（3箇所）

g 京都市ファミリーサポートセンターの運営（1箇所）

## (2) 予算

## 資金収支予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	備 考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	7,788,356		
		老人福祉事業収入	81,740		
		保育事業収入	123,204		
		障害福祉サービス等事業収入	1,053,407		
		医療事業収入	766		
		借入金利息補助金収入	2,748		
		経常経費寄附金収入	630		
		受取利息配当金収入	2,351		
		その他の収入	32,878		
	事業活動収入計(1)	9,086,080			
支出	人件費支出	7,269,215			
	事業費支出	546,717			
	事務費支出	991,196			
	利用者負担軽減額	4,819			
	支払利息支出	4,614			
	その他の支出	22,339			
事業活動支出計(2)	8,838,900				
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		247,180			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	30,000		
		施設整備等収入計(4)	30,000		
	支出	設備資金借入金元金償還支出	52,790		
		固定資産取得支出	141,028		
	施設整備等支出計(5)	193,818			
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		△ 163,818			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	73,513		
		その他の活動収入計(7)	73,513		
	支出	積立資産支出	258,638		
		その他の活動支出計(8)	258,638		
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		△ 185,125		
予備費(10)		0			
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 101,763			
前期末支払資金残高(12)		3,934,350			
当期末支払資金残高(11) + (12)		3,832,587			

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
事業活動収支 計算書	事業活動収入合計	8,881,090	8,872,587	8,975,164	
	経常収支差額	499,194	401,389	416,352	
	当期活動収支差額	492,688	391,395	417,303	
貸借対照表	総資産	10,794,232	11,528,733	11,709,881	
	総負債	2,057,750	2,511,196	2,393,148	
	純資産	8,736,482	9,017,538	9,316,734	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	地域包括支援センター運営 (指定管理)	76,194 (※)	100,695 (※)	99,892 (※)	105,400 (※)
	児童館運営 (指定管理)	51,047 (※)	52,908 (※)	62,136 (※)	59,580 (※)
	修徳維持管理 (指定管理)	2,505	2,505	2,505	2,578
	地域包括支援センター事業	30,507	43,667	45,139	
	児童館運営事業	21,971	22,092	22,580	
	地域介護予防推進センター事業	27,980	33,165	38,000	
	すこやか生活支援介護予防事業	5,923	3,629	4,093	
	難病患者等ホームヘルプサービス	5,990	5,345		
	訪問調査	37,867	39,703	39,937	
	配食サービス	6,859	7,703	6,898	
	育児支援等ヘルパー派遣事業	8,522	10,426	12,999	
	中高生と赤ちゃんとの交流事業	250	350	300	
	地域子育て支援ステーション事業	500	500	500	
	補助金	軽費老人ホーム事務費補助	35,254	34,435	34,342
施設整備借入金利子補給		6,403	5,179	3,955	
包括的支援事業等推進補助金			848		
その他	社会福祉法人利用者負担金 軽減助成	514	420	247	
	介護サービス山間地域協力金	185	241	218	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成25年度の事業活動収支差額は、407,533千円となっており、平成24年度に引き続き単年度黒字を確保している。また、流動比率についても549%と安定支払財源の確保も十分にできており、極めて健全な財務体質である。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>居宅部門では、増加する夜間帯のニーズに対応できるよう、夜間対応型訪問介護におけるヘルパー確保の取組を推進した結果、利用者数が増加している。</li><li>施設部門では、地域住民向けの認知症勉強会や交流会等を各事業所が開催し、地域と積極的に関わりを持つなど、居宅部門・施設部門双方において、地域包括ケア推進のための取組が進められている。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>平成25年度に発生した不祥事の再発防止の取組として、第三者委員で構成された不祥事防止総点検委員会において、リスク管理意識、組織の管理体制、事業運営体制、金銭管理方法、研修の5つの方向性で防止策が検討され、平成26年2月にまとめられた報告書を基に、組織の在り方にも踏み込んだ抜本的な不祥事防止策「信頼回復と法人再生のために」を平成26年3月に策定し、利用者・市民からの信頼回復に向けた取組を推進している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期活動収支差額において、安定して黒字を確保しており、純資産額も増加していることから、財務面で問題はない。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>安定した財務基盤の強みを生かし、公共性の高い事業に更に積極的に取り組むなど、公益還元を進める必要がある。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>内部統制や組織管理を見直し、引き続き、信頼回復に向けた取組を推進する必要がある。</li></ul>

都 市 計 画 局

# 京都市住宅供給公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 笠松恒洋

### 2 所在地

京都市上京区中町通丸太町下る駒之町 561 番地の 10

### 3 電話番号

075-223-2121

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-jkoshu.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 40 年 12 月 20 日

### 6 資本金

10,000 千円（うち本市出資額 10,000 千円，出資率 100.0%）

### 7 事業目的

住宅を必要とする勤労者に対し，住宅の分譲等の方法により居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し，もって住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

#### (1) 住宅の分譲

#### (2) 住宅の建設，賃貸，管理，譲渡等

#### (3) 宅地の造成，賃貸，管理，譲渡

#### (4) 市街地併存住宅における併存施設の建設，賃貸，管理，譲渡

#### (5) 団地に関連する学校，病院，商店等用地の造成，賃貸，管理，譲渡

#### (6) 団地内居住者の利便施設の建設，賃貸，管理，譲渡

#### (7) (1)～(6)の附帯業務

#### (8) 水面埋立事業の施行

#### (9) その他委託による住宅の建設，賃貸，管理，宅地の造成，賃貸，管理，市街地併存住宅の商店，事務所及び団地内居住者の利便施設の建設，賃貸，管理

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課（TEL075-222-3610）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

笠松恒洋

#### (2) 副理事長

黒田芳秀（都市計画局長）

#### (3) 専務理事

古川幸隆

#### (4) 理事

水田雅博（公営企業管理者上下水道局長），山添洋司（行財政局長），

岡田憲和（総合企画局長），村上圭子（産業観光局長），

松村光洋（都市計画局住宅政策担当局長），藤原正行（建設局長），杉本栄一（消防局長），

畠中一男（都市計画局住宅室担当部長）

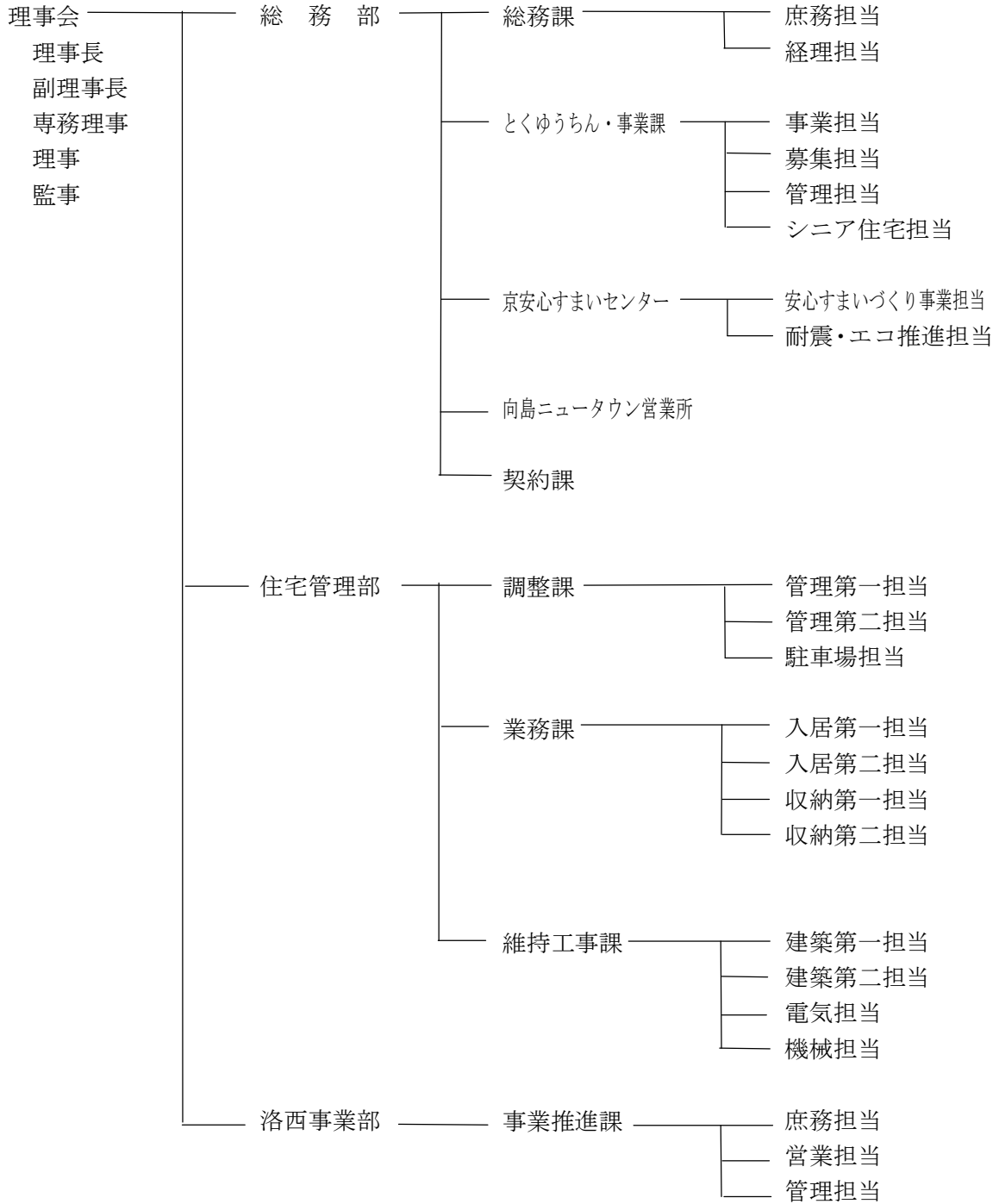
(5) 監事

近藤一郎, 平井義也 (都市計画局都市企画部長)

11 常勤職員数

239人 (うち本市派遣職員 26人)

12 組織機構





## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

中期経営計画における第四年次となる平成25年度は、賃貸管理事業で入居率の低下による収益減少が見られたものの、資産の有効活用と市営住宅管理受託業務の増加、経費削減の努力によって、公社全体で約3億1千万円の経常利益を計上し、7期連続で黒字を確保することができた。

しかし、京都市から土地区画整備事業推進として先行取得依頼により昭和59年3月に取得した二条駅周辺整備計画関係用地について、買い戻されず民間への売却等に切り替えたため、簿価の評価替えによる減損損失を生じ、また、子会社「株式会社京都すまいづくりセンター」の清算に伴う債権放棄等から、合わせて12億7千万円の特別損失を計上し、当期純損益は約9億7百万円のマイナスとなった。

なお、会計別の概況は次のとおりである。

#### ア 一般会計

経営損益は、約2億6千万円を計上しているが、公社の基幹事業であるとくゆうちん事業は、特定優良賃貸住宅制度の認定期間（20年）の満了を迎える団地が発生したことから、年間平均入居率が91.8%に落ち込んだ。一方、入居率の低下を来していたシニア住宅の入居率が69.4%と向上し、回復の兆しを見せた。向島では、向島学生センターの入居率が落ち込んだが、セミナーハウスの敷地内にコンビニエンスストアを設置したことで、地元の利便性の向上と安定的な賃料収入を得ることとなった。

新たに設立した「京（みやこ）安心すまいセンター」においては、京都市の各種住宅支援策の実施窓口の受託を拡大するなど、京都市のすまいのワンストップ総合窓口としての役割を充実させた。

#### イ 市営住宅管理会計

市営住宅・付属施設98団地23,487戸の市営住宅の維持管理を行い、家賃収納率が平成24年度の98.25%を上回る98.58%となるなど、家賃滞納の減少を実現することができた。

また、外壁改修やエレベーター更新等の計画修繕のほか、「ふろがま」約660台の修理・取替えを行い、住環境整備に取り組んだ。

#### ウ 洛西事業会計

空き店舗解消に努めたことで、センタービル及びラクセーヌ専門店の賃貸料等の増収につながった。しかし、電気料等の値上げにより、維持経費が大幅に増加したため、事業全般にわたり経費の見直しや削減を図った結果、経営損益では約4千8百万円の黒字となった。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
I 資産の部					
1 流動資産	[4,737,618]	[2,436,787]	[2,211,059]	[582,208]	[△ 492,435]
現金預金	3,991,471	1,448,028	2,199,866	343,578	
次期満期長期定期預金	110,000	110,000	0	0	
預託金	4,217	4,217	0	0	
有価証券	300,000	300,000	0	0	
未収金	229,667	403,056	10,418	26,326	△ 210,133
前払金	11,832	10,850	775	206	
その他の流動資産	296,018	366,223	0	212,098	△ 282,302
貸倒引当金	△ 205,586	△ 205,586	0	0	
2 固定資産	[15,727,885]	[12,757,199]	[0]	[3,770,686]	[△ 800,000]
賃貸事業資産	12,470,798	10,789,209	0	1,681,589	
事業用土地資産	0	0	0	0	
その他事業資産	669,759	669,759	0	0	
有形固定資産	1,075,065	1,073,022	0	2,043	
無形固定資産	25,802	25,075	0	727	
その他の固定資産	1,496,857	210,530	0	2,086,327	△ 800,000
貸倒引当金	△ 10,395	△ 10,395	0	0	
資産合計	20,465,504	15,193,986	2,211,059	4,352,894	△ 1,292,435

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
<b>II 負債の部</b>					
1 流動負債	[5,433,241]	[3,092,968]	[2,211,059]	[621,650]	[△ 492,435]
短期借入金	2,335,800	2,170,800	455	165,000	△ 455
次期返済長期借入金	111,908	244,908	0	67,000	△ 200,000
未払金	2,177,647	113,453	2,210,504	145,670	△ 291,980
前受金	51,612	23,961	0	27,652	
預り金	470,978	470,750	100	129	
その他の流動負債	285,296	69,097	0	216,199	
2 固定負債	[10,286,374]	[10,216,877]	[0]	[869,497]	[△ 800,000]
長期借入金	6,217,104	6,495,618	0	521,486	△ 800,000
預り保証金	2,234,342	1,993,542	0	240,800	
引当金	1,451,336	1,344,125	0	107,211	
その他固定負債	383,593	383,593	0	0	
負債合計	15,719,615	13,309,845	2,211,059	1,491,147	△ 1,292,435
<b>III 資本の部</b>					
1 資本金	[10,000]	[10,000]	[0]	[0]	
2 剰余金	[4,735,889]	[1,874,141]	[0]	[2,861,748]	
資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
利益剰余金	1,030,219	720,360	0	309,859	
特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
資本合計	4,745,889	1,884,141	0	2,861,748	0
負債及び資本合計	20,465,504	15,193,986	2,211,059	4,352,894	△ 1,292,435

損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引の 消去
事業収益	[9,505,172]	[3,964,363]	[4,872,399]	[669,440]	[△ 1,031]
賃貸管理事業収益	4,214,036	3,628,581	0	585,455	
管理受託住宅管理事業収益	71,622	71,622	0	0	
市営住宅事業収益	4,862,917	0	4,862,917	0	
その他の事業収益	356,597	264,161	9,482	83,985	△ 1,031
事業原価	[8,995,244]	[3,737,803]	[4,661,621]	[595,820]	
賃貸管理事業原価	4,000,409	3,483,193	0	517,216	
管理受託住宅管理事業原価	32,190	32,190	0	0	
市営住宅事業原価	4,653,170	0	4,653,170	0	
その他の事業原価	309,476	222,421	8,451	78,604	
一般管理費	[193,965]	[53,237]	[87,307]	[53,420]	
事業損益	315,963	173,323	123,471	20,200	△ 1,031
その他経常収益	[49,349]	[153,168]	[335]	[29,492]	[△ 133,645]
受取利息	13,387	1,933	268	22,057	△ 10,871
雑収入	35,963	151,235	67	7,436	△ 122,775
その他経常費用	[49,190]	[58,411]	[123,806]	[1,650]	[△ 134,677]
支払利息	27,817	37,038	0	1,650	△ 10,871
雑損失	21,373	21,373	0	0	
一般会計繰出金	0	0	123,806	0	△ 123,806
経常損益	316,122	268,080	0	48,042	
特別利益	55,805	55,805	0	0	
特別損失	1,279,658	1,279,658	0	0	
当期純利益	△ 907,731	△ 955,773	0	48,042	

剰余金計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

項目	剰余金の内訳	金額	会計別			
			一般会計	市営住宅管理会計	洛西事業会計	内部取引の消去
剰余金期首残高	資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
	利益剰余金	1,937,949	1,676,133	0	261,817	
	特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
	計	5,643,619	2,829,914	0	2,813,706	
剰余金増加高	資本剰余金	0	0	0	0	
	利益剰余金	48,042	0	0	48,042	
	特定目的積立金	0	0	0	0	
	計	48,042	0	0	48,042	
剰余金減少高	資本剰余金	0	0	0	0	
	利益剰余金	955,773	955,773	0	0	
	特定目的積立金	0	0	0	0	
	計	955,773	955,773	0	0	
剰余金期末残高	資本剰余金	2,679,320	127,431	0	2,551,889	
	利益剰余金	1,030,219	720,360	0	309,859	
	特定目的積立金	1,026,350	1,026,350	0	0	
	計	4,735,889	1,874,141	0	2,861,748	

キャッシュフロー計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛 西 事業会計	内部取引 の消去
事業活動によるキャッシュフロー	1,399,145	167,132	1,073,275	158,738	
貸付管理事業活動による収支	180,140	339,890	0	△ 159,750	
その他事業活動による収支	1,603,230	158,310	1,072,941	371,979	
一般管理活動による収支	△ 425,273	△ 347,277	0	△ 77,996	
その他の収支	41,047	16,208	335	24,505	
投資活動によるキャッシュフロー	463,870	456,935	0	6,935	
事業資産形成活動による収支	5,653	6,869	0	△ 1,216	
有価証券の取得・償還による収支	111,170	111,170	0	0	
その他の投資活動による収支	347,048	338,896	0	8,151	
財務活動によるキャッシュフロー	△ 538,690	△ 481,690	0	△ 57,000	
事業活動に係る資金の返済による支出	△ 44,290	△ 44,290	0	0	
投資活動に係る資金の借入による収入	0	0	0	0	
その他の財務活動に係る資金の収支	△ 494,400	△ 437,400	0	△ 57,000	
当期中の資金収支合計	1,324,325	142,376	1,073,275	108,673	
前期繰越金	2,777,146	1,415,651	1,126,590	234,904	
次期繰越金	4,101,471	1,558,028	2,199,866	343,578	

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 建設事業

- (ア) 高優賃建設
- (イ) 計画修繕

イ 経営事業

- (ア) 一般貸貸・施設
- (イ) 特優賃・高優賃
- (ウ) 向島貸貸施設
- (エ) 市営住宅・附属施設
- (オ) 洛西事業
- (カ) その他受託業務等

## (2) 予算

## 予定損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	合計	一般会計	市営住宅 管理会計	洛西事業 管理会計	内部取引の消去
事業収益	[9,106,654]	[3,735,496]	[4,728,801]	[642,357]	
賃貸管理事業収益	3,953,776	3,396,890	0	556,886	
管理受託住宅管理事業収益	92,695	92,695	0	0	
市営住宅事業収益	4,728,801	0	4,728,801	0	
その他の事業収益	331,382	245,911	0	85,471	
事業原価	[8,664,720]	[3,502,576]	[4,532,884]	[629,260]	
賃貸管理事業原価	3,806,037	3,260,627	0	545,410	
管理受託住宅管理事業原価	32,937	32,937	0	0	
市営住宅事業原価	4,532,884	0	4,532,884	0	
その他の事業原価	292,862	209,012	0	83,850	
一般管理費	[183,260]	[62,806]	[80,950]	[39,504]	
事業損益	258,674	170,114	114,967	△ 26,407	
その他経常収益	[54,250]	[140,109]	[280]	[37,875]	[△ 124,014]
受取利息	22,926	1,211	268	30,214	△ 8,767
雑収入	31,324	138,898	12	7,661	△ 115,247
その他経常費用	[48,895]	[56,012]	[115,247]	[1,650]	[△ 124,014]
支払利息	24,983	32,100	0	1,650	△ 8,767
雑損失	23,912	23,912	0	0	
一般会計繰出金	0	0	115,247	0	△ 115,247
経常損益	264,029	254,211	0	9,818	
特別利益	133,000	133,000	0	0	
特別損失	0	0	0	0	
当期純利益	397,029	387,211	0	9,818	

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	事業収益	8,400,007	8,377,235	9,505,172	9,106,654
	経常利益	281,885	342,897	316,122	264,029
	当期利益	297,786	△538,922	△907,731	397,029
	減価償却前利益	567,159	△287,429	△666,384	631,729
貸借対照表	総資産	22,515,180	21,160,828	20,465,504	
	総負債	16,322,639	15,507,209	15,719,615	
	資本	6,192,541	5,653,619	4,745,889	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24(決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	市営住宅管理	4,016,777	3,895,161	5,106,063	
	特・高優賃制度促進業務	52,416	52,406	48,573	
	洛西ニュータウン維持管理事業	24,042	24,166	24,211	
	洛西バスターミナル清掃・管理業務	2,394	2,394	2,394	
	洛西ニュータウン整備事業	12,527	12,229	12,651	
	耐震改修普及啓発事業	14,963	63,259	56,741	
	あんぜん住宅改善資金融資制度現場調査業務		624	630	
	介護保険の住宅改修費支給にかかる実地調査業務		178	148	
	被災者向け住宅提供事業等	44,990	21,372	17,044	
	京都市崇仁暫定広場管理業務		310	593	
	安心すまいづくり推進事業			62,043	
	伏見区役所神川出張所整備業務		71,971		
	楽只市営住宅 21 棟, 22 棟及び 23 棟にかかる空家整備業務			6,971	
	楽只市営住宅 22 棟にかかる空家整備業務			2,985	
補助金	向島学生センター運営補助	27,000	27,000	27,000	27,000
	シニア住宅建設資金利子補給	9,658	9,517	9,371	9,221
	出水団地建設資金利子補給	2,974	2,932	2,888	2,843
貸付金	向島学生センター建設資金貸付金 (累計残高)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	花園団地建設資金貸付金 (累計残高)	48,000	38,000	28,000	18,000
	賃貸住宅貸付資金(檜原, 二軒茶屋) (累計残高)	57,000	57,000	57,000	57,000
	経営安定化資金貸付金 (累計残高)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
	ラクセーヌ関連業務への貸付金 (累計残高)	470,000	430,000	390,000	350,000
その他	団体共済掛金負担金	6,172	6,398	6,506	6,446

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>減損処理に伴う特別損失により、当期純利益は赤字となったものの、経常損益は7期連続となる黒字を確保しており、経営は安定している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>基幹事業の一つである特優賃事業については、年度末時点の入居率が91.8%に落ち込んだ。</li><li>市営住宅管理業務については、家賃徴収率が平成24年度の98.25%を上回る98.58%となるなど、家賃滞納の減少を図ることができた。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>経常損益では黒字を確保している。今後とも、保有資産の売却による借入金の圧縮を進めるべきである。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>市営住宅管理業務における家賃徴収率の上昇は評価できるが、特優賃事業の入居率の改善に取り組む必要がある。</li></ul>



# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 青山吉隆

### 2 所在地

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1 京都市景観・まちづくりセンター内

### 3 電話番号

075-354-8701

### 4 ホームページアドレス

<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/> (京都市景観・まちづくりセンター)

### 5 設立年月日

平成9年10月1日

### 6 基本財産

60,000 千円 (うち本市出えん額 60,000 千円, 出えん率 100.0%)

### 7 事業目的

歴史都市・京都の美しい景観と良好な環境づくりを目指した市民, 行政, 企業, 大学等 (以下「市民等」という。) の協働によるまちづくりを広く支援, 誘導する諸活動を通じて, 京都の都市としての品格を高めるとともに, 住民主体のまちづくりの実現と都市活力の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

景観・まちづくりに関する次の事業を行う。

- (1) 各種情報の収集, 発信及び啓発
- (2) 市民等の活動に対する総合的支援
- (3) 各種の調査, 研究
- (4) 各種団体との交流及び協働活動
- (5) 歴史的建造物の保全, 再生, 活用に関する各種の支援及び普及, 啓発
- (6) 公共人材育成に関する教育及び研修
- (7) 景観整備機構に関わる業務
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- (9) 前各号に掲げる事業に関する業務の他機関からの受託

### 9 所管部局

都市計画局まち再生・創造推進室 (TEL075-222-3503)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

青山吉隆

#### (2) 専務理事

寺田敏紀

#### (3) 理事

市田ひろみ, 乾亨, 衛藤照夫, 尾池和夫, 岡野益巳, 河邊聰, 黒田芳秀 (都市計画局長), 金剛育子, 平井義久, 藤田治久, 宗田好史, 安本典夫

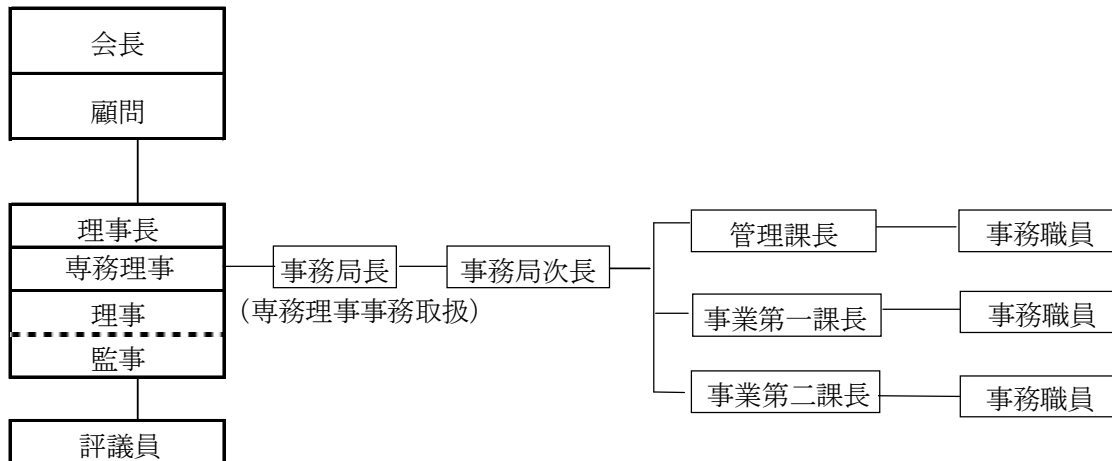
#### (4) 監事

玉山秀文, 平井義也 (都市計画局都市企画部長)

### 11 常勤職員数

13 人 (うち本市派遣職員 6 人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告の概要

ア 京都市補助事業

(ア) 景観・まちづくりシンポジウムの開催

景観・まちづくりの先進事例を紹介し、景観づくりの意義やノウハウを共有する学びの機会、他地域との関係づくりや情報の交流を通して、景観・まちづくりの持続的な活動について一緒に考えることを目的に開催

1回開催（テーマ：「これからの地域まちづくりの担い手」 出席者：165人）

(イ) まちづくり活動支援事業

a まちづくり活動相談

地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談に対応

〔実績〕相談件数 365件、センター職員対応の活動支援地区：22地区

b まちづくり専門家の派遣

地域の景観・まちづくりに関する会議等に専門家を派遣し、地域が目指す目的に対してアドバイザーとしての助言等の支援

〔実績〕専門家派遣地区（北区柘野学区、中京区龍池学区及び右京区嵐山地区）

c まちづくり活動への助成

地区計画や建築協定等の法的制度等を活用した具体的なまちづくりに向けて、継続的に取り組む地域の団体への活動費補助

〔実績〕中京区姉小路界限地区、中京区立誠地区

(ウ) 京町家再生支援事業

専門家や企業、市民活動団体等との幅広いネットワークを充実させることにより、京町家の保全・再生に向けた居住者や事業者の主体的な取組を促進

a 京町家なんでも相談等

一般相談：395件、うち専門相談：18件

b 京町家所有者・居住者等交流会

京町家の所有者や居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、維持管理等に対する共通課題の解決策を見出すことなどを目的にした交流会の開催

4回開催（出席者：計60名）

- c 京町家専門講座  
専門相談員の情報交流とスキルアップを図るための京町家専門講座を開催  
5回開催（出席者：計189名）
- (エ) 各種団体等との交流及び協働活動
  - a まちづくり専門家交流会  
各分野の専門家と交流会を開催し、相互のスキルアップを図ることを目的に、景観・まちづくり大学で「まちづくり専門家セミナー」として実施
  - b 京町家等の保全、再生を支援するネットワークの構築  
京町家をはじめとする良質な住宅ストックの継承を図ることを目的として、「(仮称)京町家等利活用促進協議会準備会」(1回)、「(仮称)京町家等利活用促進協議会準備会企画運営ワーキング」(2回)を開催
- (オ) 歴史的建造物の保全、再生及び活用に関する、各種の支援、普及及び啓発
  - a 京町家まちづくりファンド委員会運営事務  
京町家まちづくりファンドの公正かつ効果的な管理運営を行うため、諮問機関としての京町家まちづくりファンド委員会を開催
  - b 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業  
京町家まちづくりファンドの普及啓発事業を実施
- (カ) 京都市景観・まちづくりセンター管理運営
  - a 管理事務  
理事会、評議員会の運営、財産の管理及び計理事務等
  - b 賛助会員管理事務  
個人：204人、団体：28団体
  - c 団体ネットワーク事務  
公益法人関係団体、その他センター業務と関連が深い団体との交流
- イ その他事業
  - (ア) 各種情報の収集、発信及び啓発
    - a 広報活動事業
      - (a) ラジオの活用による情報発信活動
      - (b) ニュースレター「京まち工房」の発行（年4回）
    - b シンポジウム等の主催事業
  - (イ) 市民等の活動に対する総合的支援
    - a 京町家再生支援事業  
京町家データベース管理
  - (ウ) 各種団体等との交流及び協働活動
    - a 各種団体との交流、連携
    - b 海外連携プロジェクト事業
      - (a) 京町家アーティスト・イン・レジデンスの実施  
ワールド・モニュメント財団（米国）との連携による支援
  - (エ) 歴史的建造物の保全、再生及び活用に関する各種の支援、普及及び啓発等
    - a 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業  
京町家カルテの作成（カルテ作成件数：34件）
  - (オ) 景観整備機構に関わる関連業務  
文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
  - (カ) その他京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業
    - a 施設管理（京都市指定管理業務）  
「ひと・まち交流館 京都」内の京都市景観・まちづくりセンターの管理  
〔実績〕年間来場者数（ひと・まち交流館京都 地下1階部分）：72,428人

- b 景観・まちづくり大学の運営（京都市指定管理業務）
  - (a) セミナーの実施
    - 地域まちづくり活動の促進，地域と共生する土地利用の促進を図るなど，まちづくりに関心のある人々が，様々な角度から学び，考え，実践へとつなげていくことのできるセミナーを開設，運営
    - 〔実績〕 受講者：延べ1,165人
  - c 冊子等の販売
    - 景観・まちづくり関連の冊子，模型等の販売を受託（収益金は全額，自主事業又は京町家まちづくりファンド事業に充当）
- (キ) 公共人材育成に関する教育及び研修
  - a インターンシップ受入
  - b 景観エリアマネジメント講座
  - c 文化財マネージャー育成講座
- (ク) 京町家まちづくりファンド改修助成事業
  - 京町家の変容や減少を憂慮された東京在住の篤志家からの5千万円の寄附を契機に，平成17年9月に設立したファンドを活用し，京町家の外観改修に要する費用の1/2（上限500万円）を助成
  - a 平成25年度改修助成事業として4件を選定し，うち1件に対して助成金を交付
  - b 平成24年度改修助成事業として6件を選定したうち，未交付となっていた2件について，1件に助成金を交付
  - c 平成23年度改修助成事業として11件を選定したうち，未交付となっていた1件について，助成金を交付

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	50,253	38,307	11,946
未収金	1,650	4,174	△ 2,523
前払金	50	50	0
流動資産合計	51,954	42,531	9,423
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	100	100	0
投資有価証券	59,900	59,900	0
基本財産合計	60,000	60,000	0
(特定資産)			
減価償却引当資産	0	4,565	△ 4,565
基金積立資産	90,414	85,596	4,818
事業積立資産	0	5,464	△ 5,464
展示施設改修事業資産	7,000	7,000	0
20周年記念事業資産	1,000	0	1,000
特定資産合計	98,414	102,626	△ 4,212
(その他固定資産)			
什器備品	383	34	349
ソフトウェア	130	80	50
その他固定資産合計	514	114	400
固定資産合計	158,928	162,739	△ 3,812
<b>資産合計</b>	<b>210,881</b>	<b>205,270</b>	<b>5,611</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	10,190	14,510	△ 4,320
未払消費税等	438	369	69
前受金	865	100	765
預り金	908	1,103	△ 195
仮受金	32	24	8
流動負債合計	12,433	16,106	△ 3,673
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>12,433</b>	<b>16,106</b>	<b>△ 3,673</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	60,000	60,000	0
寄付金	89,376	82,232	7,144
指定正味財産合計	149,376	142,232	7,144
(うち基本財産への充当額)	(60,000)	(60,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(89,376)	(82,232)	(7,144)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	49,072	46,932	2,140
(うち特定資産への充当額)	(2,038)	(7,929)	(△ 5,892)
<b>正味財産合計</b>	<b>198,448</b>	<b>189,164</b>	<b>9,284</b>

正味財産増減計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,138	1,138	0
② 特定資産運用益	1	1	0
③ 受取会費	2,550	2,595	△ 45
④ 事業収益	46,507	49,348	△ 2,841
⑤ 受取補助金等	47,291	56,412	△ 9,121
⑥ 基金収益	4,340	10,660	△ 6,320
⑦ 雑収益	124	216	△ 92
経常収益計	101,952	120,372	△ 18,420
(2) 経常費用			
① 事業費	84,742	94,494	△ 9,751
② 管理費	15,070	16,552	△ 1,482
経常費用計	99,813	111,046	△ 11,233
当期経常増減額	2,140	9,326	△ 7,187
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,140	9,326	△ 7,187
一般正味財産期首残高	46,932	37,606	9,326
一般正味財産期末残高	49,072	46,932	2,140
II. 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	1,138	1,138	0
② 特定資産運用益	2,506	837	1,669
③ 受取寄付金計	1,734	2,228	△ 494
④ 特定資産評価益	7,245	△ 7,245	14,490
⑤ 一般正味財産への振替額	△ 5,478	△ 11,798	6,320
当期指定正味財産増減額	7,144	△ 14,840	21,984
指定正味財産期首残高	142,232	157,072	△ 14,840
指定正味財産期末残高	149,376	142,232	7,144
III. 正味財産期末残高	198,448	189,164	9,284

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 各種情報の収集、発信及び啓発

(ア) 広報活動事業

a ニュースレター「京まち工房」の発行

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況を掲載した広報誌を作成し配布

b ラジオの活用による情報発信活動

FM ラジオの番組等を活用した、センターの各種取組等の広報活動

- c 各種啓発冊子，技術資料等の発行等
  - (a) 冊子等の販売
    - 景観・まちづくり関連の冊子の販売
- (イ) 景観・まちづくり大学等
  - a セミナーの実施＜景観・まちづくり大学＞
    - (a) 京のまちづくり史セミナー
    - (b) まちづくり実践塾
    - (c) 京町家再生セミナー
    - (d) こどもまちづくりセミナー
    - (e) 各種団体等との協働セミナー等
    - (f) 研究会等の開催
  - b 景観・まちづくりシンポジウムの開催
    - 地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し，種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催
- イ 市民等の活動に対する総合的支援
  - (ア) 地域活動支援事業
    - a 景観・まちづくり相談業務
      - センター職員による，地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談を実施
    - b まちづくり活動への助成
      - 地区計画や建築協定などの法制度等を活用し，景観・まちづくりに継続的に取り組む地域を支援
    - c まちづくり専門家の派遣
      - 景観・まちづくり活動に取り組む地域に，相談内容に応じて，まちづくり専門家を派遣
  - (イ) 京町家再生支援事業
    - a 京町家なんでも相談
      - 京都の景観の基層を成す京町家の保存・再生・活用を図るため，各種の専門家，団体等の協力の下，「京町家なんでも相談」を実施
    - b 京町家データベースの管理
      - 京町家の相談履歴を，物件毎に一元的に管理する京町家データベースを運営
    - c 京町家専門講座の実施
      - 建築，不動産業等に携わる専門家を対象に，京町家に関する概論，技術，流通，制度等を学ぶための専門講座を実施
  - ウ (仮称)京町家等利活用促進事業《新規事業》
    - 土地利用や建築活動等の地域活性化に関わる主体による，「(仮称)京町家等利活用促進協議会」の設立に参加し，事務局を担いながら，京町家をはじめとする良質な住宅ストックのうち，建物の老朽化，所有者の高齢化などにより，適切な継承や利活用に課題を抱えているものの所有者に対して啓発を行うことで，会員団体が実施する相談へつなぎ，良質な住宅ストックの継承，利活用を促進する。
- エ 各種団体等との交流及び協働活動
  - 海外連携プロジェクト事業
    - (ア) 京町家アーティスト・イン・レジデンス事業
      - 京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受け入れ，京町家の活用の促進及び所有者や地域との交流を支援するアーティスト・イン・レジデンスを実施。また，アーティスト・イン・レジデンスを活かし地域まちづくりの活性化を図る。
    - (イ) WMF との連携による支援
      - 第3期の京町家再生プロジェクトを目指し，引き続きWMF との連携を継続する。

オ 歴史的建造物の保全・再生・活用に関する各種の支援及び普及，啓発

(ア) 歴史的建造物の再生，活用助成関連事業

京町家まちづくりファンド

a 京町家まちづくりファンド委員会運営

b 京町家まちづくりファンドに係る普及，啓発

(イ) 歴史的建造物の保全，再生に関する支援事業

a 京町家カルテの作成

b 京町家カルテ委員会の運営

カ 公共人材育成に関する教育及び研修

人材育成関連事業

(ア) 職員研修の充実

a 組織内研修の活用，各種講習会への参加（専門知識，現場力の向上）

b 外部研修の活用（ビジネススキル，マネジメント力の向上）

(イ) インターンシップの受入れ

当センターを実務経験の場として提供し，大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して，公共的感性を持った人材を育成することを目的に，連携大学等から短期又は中長期で履修生の受入れを実施

キ 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として，景観重要建造物候補の調査及び指定提案に関する事務

ク 京都市景観・まちづくりセンターの運営事業

(ア) 施設管理運営

(イ) 施設管理に伴う情報発信

ケ 法人の運営に関する事務（財団管理）

(ア) 管理事務

(イ) 賛助会員管理事務

コ 京町家まちづくりファンド事業

京都市の各種制度・事業や民間での京町家保全・再生の取組との連携を十分に図りながら，地域まちづくりとの関連性が深く，改修後に景観重要建造物に指定されるなど，将来にわたり維持・保全されると評価されるもの等を基本に改修助成を行う。



## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,138	1,138	0
② 特定資産運用益	3	3	0
③ 受取会費	3,000	3,000	0
④ 事業収益	48,460	46,875	1,585
⑤ 受取補助金等	49,126	53,702	△ 4,576
⑥ 寄付金収入	15,510	4,350	11,160
⑦ 雑収益	102	102	0
経常収益計	117,339	109,170	8,169
(2) 経常費用			
① 事業費	102,576	93,393	9,183
② 管理費	18,251	17,972	279
経常費用計	120,827	111,365	9,462
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,488	△ 2,195	△ 1,293
当期経常増減額	△ 3,488	△ 2,195	△ 1,293
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,488	△ 2,195	△ 1,293
当期一般正味財産増減額	△ 3,488	△ 2,195	△ 1,293
一般正味財産期首残高	46,932	46,932	0
一般正味財産期末残高	43,444	44,737	△ 1,293
II. 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	1,138	2,240	△ 1,102
② 特定資産運用益	1,327	0	1,327
③ 受取寄付金計	3,000	3,000	0
④ 一般正味財産への振替額	△ 16,648	△ 5,488	△ 11,160
当期指定正味財産増減額	△ 11,183	△ 248	△ 10,935
指定正味財産期首残高	142,232	142,232	0
指定正味財産期末残高	131,049	141,984	△ 10,935
III. 正味財産期末残高	174,493	186,721	△ 12,228

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	119,006	120,372	101,952	117,339
	当期経常増減額	2,370	9,326	2,140	△3,488
	当期正味財産増減額	△1,535	△5,514	9,284	△14,671
貸借対照表	総資産	208,822	205,270	210,881	
	総負債	14,144	16,106	12,433	
	正味財産	194,678	189,164	198,448	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	景観・まちづくりセンター施設管理運営 (指定管理)	45,758	45,300	45,000	45,360
補助金	景観・まちづくり活動支援	625	1,887	18,277	16,358
	京町家ネットワーク推進	2,850	1,542	5,916	12,886
	景観・まちづくりシンポジウム	500	499	3,868	4,699
	京都市景観・まちづくりセンター運営	43,117	42,339	8,135	
	京町家まちづくりファンド寄付促進	2,591	1,952	9,444	15,183

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、平成24年度に比べ経常費用が減少したものの、経常収益がそれ以上に減少したことにより、当期経常増減額の黒字が縮小した。</li> <li>経常収益に対する本市からの補助金割合が約45%であり、指定管理料も含めると90%近くの収益が本市から支払われたものとなっている。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページアクセス件数、メールマガジン購読者数が年々増加している。</li> <li>景観・まちづくり大学参加者数、シンポジウム参加者数の増加からも、まちづくりの担い手育成の取組が推進されていると評価できる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金等の自主財源を拡充するなど、自律的な経営を更に進める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体との連携等により、更に効果的な事業展開を行ってほしい。</li> </ul>

# 京都御池地下街株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 辻田光

### 2 所在地

京都市中京区御池通寺町東入下本能寺前町 492-1

### 3 電話番号

075-212-5000

### 4 ホームページアドレス

<http://www.zestoike.com/> (ゼスト御池)

### 5 設立年月日

昭和43年7月19日

### 6 資本金

3,495,000千円 (うち本市出資額 2,040,000千円, 出資率 58.4%)

### 7 事業目的

- (1) 公共地下道, 公共地下駐車場, 店舗等の建設, 管理及び運営
- (2) 不動産の賃貸業
- (3) 損害保険代理業
- (4) 酒類の販売
- (5) 前各号に関連する一切の業務

### 8 業務内容

- (1) 御池駐車場の経営
- (2) 御池地下街の経営
- (3) 御池公共地下道及び京都市御池駐車場の管理業務の受託
- (4) コンビニエンスストアの経営

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課 (TEL075-222-3610)

### 10 役員名等

#### (1) 代表取締役社長

辻田光

#### (2) 取締役

西村隆 (公営企業管理者交通局長), 村上圭子 (産業観光局長), 黒田芳秀 (都市計画局長), 藤原正行 (建設局長), 杉本栄一 (消防局長), 木村繁

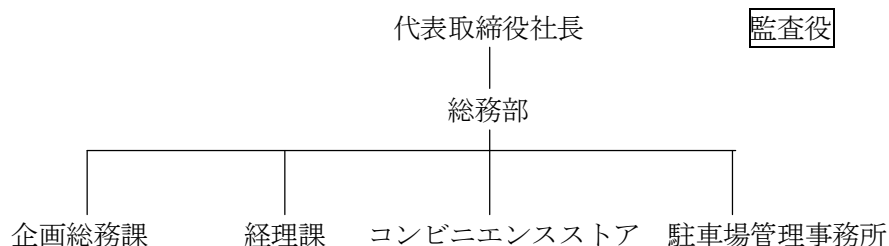
#### (3) 監査役

猪子幸男, 岡田寛子, 井村有雄

### 11 常勤職員数

13人 (うち本市派遣職員0人)

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

地下街リニューアル後の好調な売上げや経費削減の取組などにより、経常利益は、49百万円、純利益は43百万円と大幅に改善した。

なお、平成25年度の主な取組内容は、次のとおりである。

#### ア 御池地下街

認知度と回遊性を高めるため、地下街広場における各種イベントの誘致に積極的に取り組み、開催件数は、平成24年度の265回を大きく上回る350回となった。特に、「京都さくらよさこい」、「ジングル・ウィーク2014」、「京都地域力アップおうえんフェア」などにおいて、多くの来客を得た。

また、御幸町広場に隣接するトイレを全面改修するなど、施設の利便性の向上に努めた。

広告宣伝の取組として、ホームページや「ゼスト御池かわら版」による情報発信とともに、情報誌「Leaf」や京都新聞への広告掲載を実施した。

これらの効果により、来街者は、989万人を記録し、テナント全体の売上げが前期比30%増の24億円となるなど、地下街の活性化を図ることができた。

#### イ 御池駐車場

インターネットによる駐車場案内の強化、観光シーズンにおける観光地交通対策との連携などとともに、新たに1週間定期の発売を行うなど利用促進に努めた。また、カーシェアリング事業者への駐車スペースの貸与も始めた。

これらの取組により、駐車場の収入は、前期比2.1%増の337百万円となった。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[718,730]	流動負債	[926,811]
現金及び預金	606,191	一年以内返済予定の長期借入金	598,165
営業未収金	76,377	一年以内返済予定の預り保証金	121,320
商品	3,232	未払金	39,389
前払費用	873	未払費用	3,949
預け金	27,486	未払消費税等	20,531
未収金	1,571	未払法人税等	9,487
立替金	3,000	前受金	7,047
固定資産	[13,427,399]	預り金	123,243
(有形固定資産)	(10,048,651)	賞与引当金	3,680
店舗施設	4,084,911	固定負債	[10,757,178]
駐車場施設	5,344,770	長期借入金	10,353,424
建物附属設備	591,552	預り保証金	242,641
車両運搬具	0	預り敷金	153,555
器具備品	27,418	退職給付引当金	1,432
(無形固定資産)	(3,377,527)	役員退職引当金	6,125
公共通路負担金	3,376,591	負債合計	11,683,988
電話加入権	937	純資産の部	
(投資その他の資産)	(1,220)	株主資本	2,462,140
保証金・敷金	250	資本金	3,495,000
出資金	70	利益剰余金	△ 1,032,860
長期未収金	1,825	その他利益剰余金	△ 1,032,860
貸倒引当金	△ 925	繰越利益剰余金	△ 1,032,860
		純資産合計	2,462,140
資産合計	14,146,129	負債及び純資産合計	14,146,129

損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		1,118,082
テナント収入	306,620	
コンビニ収入	150,295	
駐車場収入	337,826	
委託料収入	320,261	
その他営業収入	3,080	
売上原価		108,085
売上総利益		1,009,997
販売費及び一般管理費		1,308,634
営業利益		△ 298,637
営業外収益		383,465
駐車場建設補助金	372,005	
受取利息・配当金	104	
その他	11,357	
営業外費用		35,688
支払利息	35,688	
経常利益		49,140
税引前当期純利益		49,140
法人税, 住民税及び事業税		5,273
当期純利益		43,867

株主資本等変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他利益剰余金		
		繰越利益剰余金		
前期末残高	3,495,000	△ 1,076,727	2,418,273	2,418,273
当期変動額				
当期純利益		43,867	43,867	43,867
当期変動額合計		43,867	43,867	43,867
当期末残高	3,495,000	△ 1,032,860	2,462,140	2,462,140

## 2 平成26年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

リニューアルによって、「地域密着型」の商業施設としてイメージを一新したゼスト御池地下街の更なる活性化を図るため、次の取組を実施する。

ア リーシング力を強化し、また、多岐にわたる施設管理業務を効率的に実施することにより、更なる増収と経費節減を実現するため、営業部門と施設管理部門をまとめてアウトソーシングする取組を進める。

イ 販売促進活動において、集客力のある「イベント」、シーズンごとにつながる「フェア」を展開するとともに、地域密着情報誌「ゼスト御池かわら版」の毎月発行及び地下鉄東西線沿線エリアへの号外、情報誌「シティリビング」及び「Leaf」による情報発信を行う。

ウ ゼストポイントカード会員数の拡大に向け、ポイントアップ、抽選会によりお買上特典の魅力アップなどに取り組む。

### (2) 予算

#### 予定損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,117,693
売上原価	106,863
売上総利益	1,010,830
販売費及び一般管理費	1,264,509
営業利益	△253,679
営業外収益	376,573
営業外費用	35,173
経常利益	87,721
税引前当期利益	87,721
法人税、住民税及び事業税	36,108
当期純利益	51,612

### (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	売上高	1,088,605	1,090,884	1,118,082	1,117,693
	経常利益	△18,200	11,542	49,140	87,721
	当期利益	△38,037	△6,093	43,867	51,612
	減価償却前利益	716,479	752,639	708,417	654,000
貸借対照表	総資産	15,175,569	14,584,720	14,146,129	/
	総負債	12,751,203	12,166,447	11,683,988	
	うち、本市の損失補償 契約に係る債務残高	5,676,358	5,049,857	4,483,227	
	純資産	2,424,366	2,418,273	2,462,140	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都御池駐車場管理 (指定管理)	198,833	196,865	176,554	180,434
	公共地下道維持管理	159,293	159,627	160,060	
	マルチビジョン運営保守	1,055			
補助金	駐車場建設補助金	416,144	412,379	372,005	370,496
貸付金	長期貸付金 (累計残高)	6,127,268	6,307,752	6,468,362	6,607,942

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 24 年度に実施したリニューアルの効果により、テナント収入が大幅に増加し、駐車場収入も増加に転じるなど、収益が大きく改善した。</li> <li>経費削減の努力もあり、結果的に当期純利益の黒字転換を実現した点は評価できる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアルや積極的なイベント開催などの効果により、来街者数が開業以来最多となり、テナント売上高も二番目の記録となるなど、地下街の活性化が大きく進んだ。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期利益において黒字を確保したことは評価できる。しかし、累積欠損は依然として高い水準にあることから、今後も経営改善を進める必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下街活性化のため、引き続き、積極的なイベント開催に努めてほしい。</li> </ul>



# 京都醍醐センター株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役 二木久雄

### 2 所在地

京都市伏見区醍醐高畑町30番地の1

### 3 電話番号

075-575-2550

### 4 ホームページアドレス

<http://www.paseo-daigoro.co.jp/> (パセオ・ダイゴロー)

### 5 設立年月日

平成5年4月2日

### 6 資本金

3,400,000千円 (うち本市出資額 1,000,000千円, 出資率 29.4%)

### 7 事業目的

醍醐団地総合再生事業の一環として、文化、福祉、スポーツや商業など、地域発展の中核施設となる「パセオ・ダイゴロー」を建設し、その管理運営を行うこと。

### 8 業務内容

- (1) 不動産の売買、交換、賃貸、運用管理並びに企画及び仲介斡旋
- (2) 都市開発計画、地域開発計画のコンサルティング業務
- (3) 建築工事の企画、設計、施工、監理、請負及びそれらのコンサルティング業務
- (4) 各種催事の企画、運営及びコンサルティング業務
- (5) 広告の企画、製作及び代理業
- (6) 駐車場、駐輪場、商業施設、文化・スポーツ施設の経営、管理運営及びその請負
- (7) 損害保険代理業
- (8) 商品小売業及び飲食業
- (9) 前各号に附帯する一切の事業

### 9 所管部局

都市計画局都市企画部都市総務課 (TEL075-222-3610)

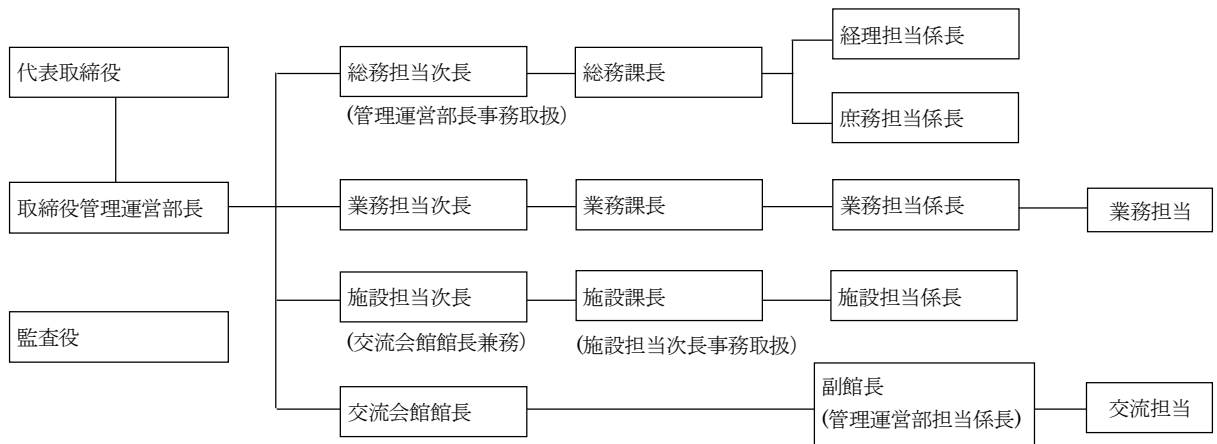
### 10 役員名等

- (1) 代表取締役  
二木久雄
- (2) 取締役  
黒田芳秀 (都市計画局長), 堀江治, 小西雅之, 梶本正人,  
平井義也 (都市計画局都市企画部長), 田中登
- (3) 監査役  
近藤一郎, 塩井実, 岡田寛子, 崎間昌一郎

### 11 常勤職員数

12人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

平成25年度は、京都醍醐センター株式会社の再生元年と位置付け、経営健全化の取組を大胆に推し進めた。

収益改善のための取組としては、テナントの入替えや物販エリアリニューアルに伴う賃料改定などにより増収を図るとともに、競争入札やプロポーザルなど、競争性のある契約手法の採用の徹底などにより経費の削減を図った。

また、平成25年度は、アセットマネジメント元年とも位置付け、5箇年計画の初年度として、スポーツ施設の設備改修、館内照明のLED化などに取り組んだ。

これらの取組の結果、平成25年度の売上高は866百万円、経常利益は102百万円となり、また、開業以来赤字が続いていた当期利益も93百万円となり、初めて単年度で黒字決算となった。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[371,882]	流動負債	[390,468]
現金預金	288,060	1年以内返済予定長期借入金	42,000
営業未収入金	46,105	未払金	69,581
貯蔵品	4,682	未払消費税等	1,788
前払費用	1,327	未払法人税等	13,770
未収入金	2,264	未払費用	6,162
立替金	27,957	預り金	69,282
その他流動資産	1,485	預り保証金	159,442
固定資産	[2,850,106]	前受収益	26,407
(有形固定資産)	(2,833,057)	賞与引当金	2,034
建物	2,746,925	固定負債	[1,687,443]
構築物	81,163	長期借入金	217,500
工具器具備品	4,968	預り保証金	1,461,372
(無形固定資産)	(3,063)	役員退職慰労引当金	3,090
電話加入権	904	退職給付引当金	5,481
ソフトウェア	2,159	負債合計	2,077,912
(投資その他資産)	(13,984)	純資産の部	
出資金	150	株主資本	1,144,076
長期前払費用	3,850	資本金	3,400,000
その他投資	9,983	利益剰余金	△ 2,255,923
		その他利益剰余金	△ 2,255,923
		繰越利益剰余金	△ 2,255,923
		純資産合計	1,144,076
資産合計	3,221,988	負債及び資本合計	3,221,988

損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		866,460
売上原価		735,215
売上総利益		131,244
販売費及び一般管理費		80,195
営業利益		51,048
営業外収益		
受取利息及び配当金	199	
雑収入	74,319	74,519
営業外費用		
支払利息	22,439	
雑損失	151	22,591
経常利益		102,975
特別損失		
固定資産売却損	164	164
税引前当期純利益		102,811
法人税, 住民税及び事業税	9,355	9,355
当期純利益		93,455

株主資本等変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	その他利益剰余金	利益剰余金合計額	株主資本合計	
		繰越利益剰余金			
前期末残高	3,400,000	△ 2,349,379	△ 2,349,379	1,050,620	1,050,620
当期変動額					
資本準備金の取崩					
当期純利益		93,455	93,455	93,455	93,455
当期変動額合計		93,455	93,455	93,455	93,455
当期末残高	3,400,000	△ 2,255,923	△ 2,255,923	1,144,076	1,144,076

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

ア 会社直営のカレー専門店の出店や仲介業者、金融機関などの情報を活用した積極的なリーシングにより、3 区画ある空区画の解消に努め、増収を図る。また、引き続き、競争入札やプロポーザルなど、競争性のある契約手法の採用の徹底などにより経費の削減を図る。

イ アセットマネジメントの5 箇年計画の2 年目として、防災センター内に設置している中央監視盤の第1 期更新工事や、醍醐駐車場の精算機の更新、館内照明の更なる LED 化を推進する。

ウ 地域の防災地域密着型の施設として、引き続き地域との連携を強化していく。具体的には、醍醐交流会館の自主事業を充実させるため、地域の団体やサークルとの積極的な連携を図るほか、地域、行政、警察、小中学校、企業等で構成する「青少年の非行防止と健全育成を推進する会」にも主体的に関わり、地域との信頼関係を高め、地域に貢献していく。

### (2) 予算

#### 予定損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	885,000
売上原価	751,000
売上総利益	134,000
販売費及び一般管理費	78,000
営業利益	56,000
営業外収支	△ 22,000
経常利益	34,000
税引前当期純利益	34,000
法人税、住民税及び事業税	4,000
当期純利益	30,000

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	売上高	853,734	845,000	866,460	885,000
	経常利益	△80,879	△57,248	102,975	34,000
	当期利益	△81,929	△58,198	93,455	30,000
	減価償却前利益	150,499	161,024	231,672	171,000
貸借対照表	総資産	3,596,564	3,340,032	3,221,988	
	総負債	2,487,745	2,289,411	2,077,912	
	純資産	1,108,819	1,050,620	1,144,076	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	醍醐駐車場管理委託 (指定管理)	44,536	43,779	41,590	43,567
	醍醐交流会館管理委託 (指定管理)	60,791	60,051	57,521	58,985
	緑道管理委託	11,600	11,600	11,600	
	パセオ・ダイゴロー西館市施 設共用部分管理委託	7,824		7,824	
	電気自動車用充電設備委託	200	200		

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、平成24年度に比べ、減価償却費が大きく減少したことに加え、平成25年度から施行した契約事務規則に基づく競争入札やプロポーザルの実施、不断の経常経費の節減に努めたことにより、経費の圧縮を実現することができた。</li> <li>一方で、店舗誘致や店舗の入替を積極的に進めたこと等により、収益が平成24年度と比べ向上した。</li> <li>その結果、財務の健全化を大いに進め、開業以来初めて単年度黒字を実現するなどの成果を挙げたことから、経営努力がうかがえると評価する。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>後継のスポーツクラブの誘致実現や空き区画へのテナントの積極的な誘致を進めることができた。</li> <li>アトリウムを活用したイベント等の実施等を進め、地域発展の中核施設として積極的な事業展開を行った。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期利益において黒字を確保したことは評価できるが、依然として累積欠損が大きく、財務改善の取組を継続することが必要である。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、テナント誘致など施設の活性化に向けて、積極的な事業展開を進めてほしい。</li> </ul>

建設局

# 一般財団法人京都市都市整備公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 山崎糸治

### 2 所在地

京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 167 番

### 3 電話番号

075-361-7431

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyotopublic.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 43 年 9 月 16 日

### 6 基本財産

11,000 千円（うち本市出えん額 11,000 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

- (1) 京都市内及びその周辺地域における駐車場の設置，管理及び運営を行うとともに，交通安全思想を普及徹底することにより，道路交通の円滑化を図り，もって都市機能の維持及び増進に寄与すること。
- (2) 都市計画区域内における土地区画整理事業の施行並びに，土地区画整理事業及び公共施設造成事業の啓発及び育成を行い，事業の促進と向上発展を図り，もって公共の福祉に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 駐車場の設置及び運営管理並びに管理の受託
- (2) 駐車場の整備拡充のための広報
- (3) 道路交通の円滑化及び道路交通環境の改善に資するための調査研究並びに関係行政機関への協力
- (4) 交通環境の改善及び地域振興に資するための助成事業
- (5) 交通安全教育及び交通安全運動の推進
- (6) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業実施の啓発及び奨励
- (7) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業施行に関する指導，調査及び研究
- (8) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業に関する事務の受託
- (9) 土地区画整理事業資金借入の斡旋
- (10) 土地区画整理事業に係る研究会及び講習会の開催
- (11) 土地区画整理事業施行者相互の連絡
- (12) その他上記の目的を達成するために必要と認められる事業

### 9 所管部局

建設局自転車政策推進室(TEL075-222-3565)

建設局都市整備部市街地整備課 (TEL075-213-3537)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

山崎糸治

#### (2) 常務理事

岡田博幸，古川衛

#### (3) 理事

岡田寛子，津田和雄，水田逸寛，岩崎清(建設局建設企画部長)



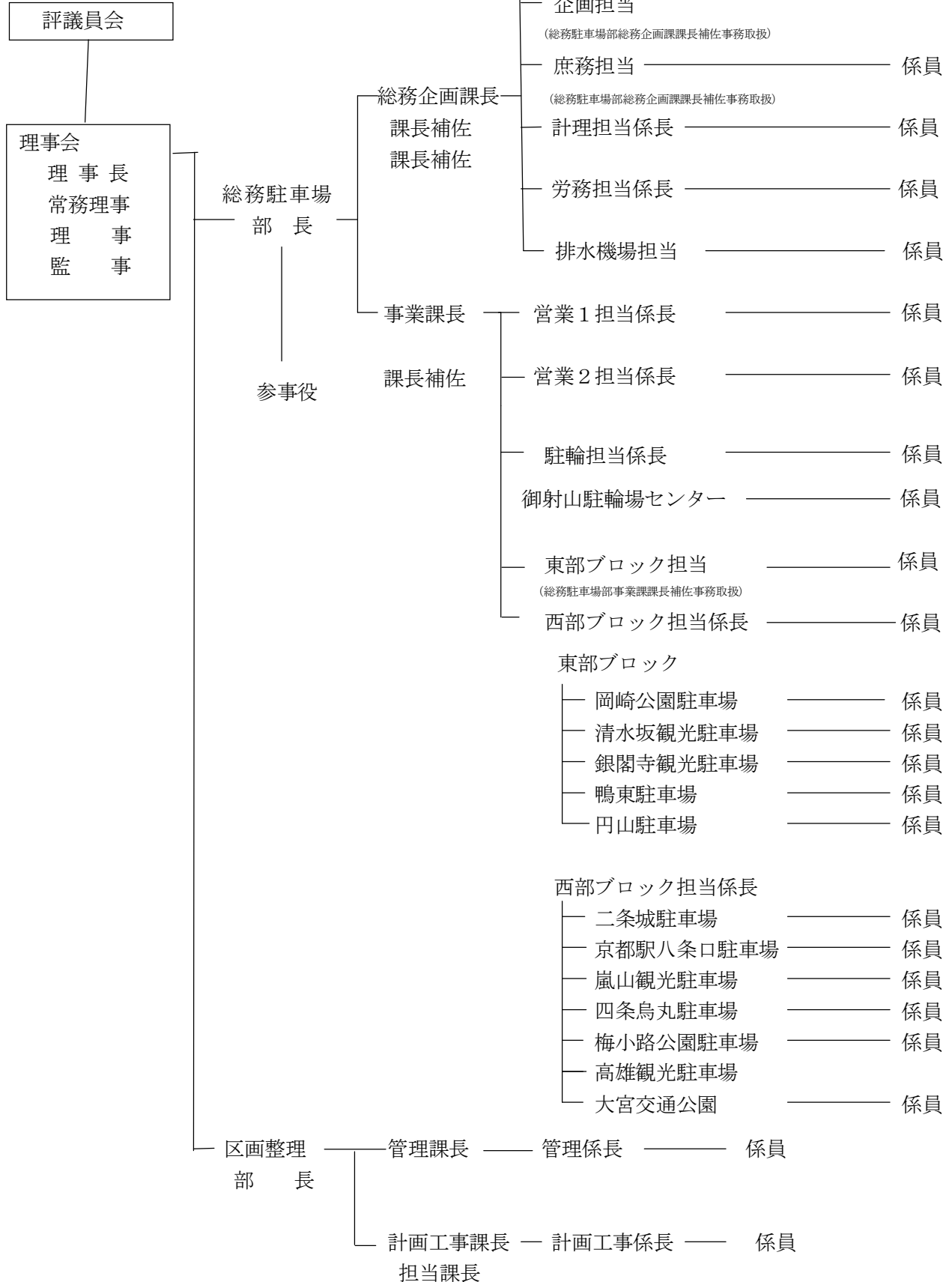
(4) 監事

近藤一郎, 奥村治男

11 常勤職員数

151人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

京都市内における駐車場の設置、管理及び運営を通じて、都市機能の維持及び増進に寄与する当社の平成25年度事業実績は、以下のとおりである。

区 分		駐車台数(台)	料金収入(千円)
直営事業	自動車駐車場	1,176,092	943,182
	自転車駐車場	1,244,830	247,485
受託事業	市営駐車場の管理業務(指定管理)	874,881	883,839
	梅小路公園おもいやり駐車場管理業務	27,774	25,409
	大宮交通公園管理業務(指定管理)(※)	40,734	16,192
	自転車駐車場管理業務(指定管理)	3,186,391	566,556

(※) 大宮交通公園管理業務の駐車台数欄は、ゴーカート乗車券の発売枚数を含む。

(平成22年4月29日から回数券発売開始)

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	30,439	41,295	△ 10,856
小口現金	65	34	31
当座預金	2,898	1,618	1,280
普通預金	649,621	318,827	330,794
定期預金	340,000	300,000	40,000
未収金	78,891	72,792	6,099
立替金	2,676	2,722	△ 45
貯蔵品	992	898	95
前払金	14,461	10,248	4,213
仮払金	0	894	△ 894
仮払税金	1,114	1,060	55
流動資産合計	[1,121,158]	[750,387]	[370,771]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	10,000	10,000	0
定期預金	1,000	1,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	358,660	449,326	△ 90,665
事業費補填引当資産	300,000	360,000	△ 60,000
特定資産合計	(658,660)	(809,326)	(△ 150,665)
(その他固定資産)			
土地	730,988	730,988	0
建物	278,296	294,673	△ 16,377
建物附属設備	20,509	24,501	△ 3,992
構築物	212,808	181,967	30,841
機械及び装置	84,598	98,634	△ 14,037
什器備品	104,046	122,047	△ 18,002
車両運搬具	120	152	△ 32
一括償却資産	930	2,356	△ 1,426
建設仮勘定	0	1,334	△ 1,334
電話加入権	2,472	2,472	0
ソフトウェア	20,024	29,215	△ 9,192
定期預金	10,000	10,000	0
投資有価証券	0	59,999	△ 59,999
保証金	21,630	18,881	2,749
その他固定資産合計	(1,486,420)	(1,577,219)	(△ 90,799)
固定資産合計	[2,156,080]	[2,397,545]	[△ 241,465]
資産合計	3,277,239	3,147,932	129,306

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	5,585	5,591	△ 5
未払退職金	84,462	55,405	29,058
未払金	538,014	338,528	199,486
未払費用	19,361	19,126	235
賞与引当金	27,984	29,392	△ 1,408
納税引当金	387	1,047	△ 660
前受金	0	6	△ 6
流動負債合計	[675,794]	[449,095]	[226,699]
2. 固定負債			
長期借入金	216,736	281,127	△ 64,391
退職給付引当金	356,702	398,115	△ 41,413
固定負債合計	[573,438]	[679,242]	[△ 105,804]
負債合計	1,249,232	1,128,336	120,895
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[11,000]	[11,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(11,000)	(11,000)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[2,017,007]	[2,008,596]	[8,411]
(うち特定資産への充当額)	(658,660)	(809,326)	(150,665)
正味財産合計	2,028,007	2,019,596	8,411
負債及び正味財産合計	3,277,239	3,147,932	129,306

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	114	114	0
② 特定資産運用益	3,942	832	3,109
③ 事業収益	2,254,417	2,089,543	164,873
④ 雑収益	17,427	25,642	△ 8,216
経常収益計	2,275,899	2,116,132	159,767
(2) 経常費用			
① 事業費	1,649,352	1,708,722	△ 59,369
② 管理費	368,051	391,738	△ 23,687
経常費用計	2,017,404	2,100,460	△ 83,056
当期経常増減額	258,495	15,672	242,823
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 退職給与引当金取崩収益	0	1,971	△ 1,971
経常外収益計	0	1,971	△ 1,971
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	84	2,819	△ 2,735
② 雑損失	0	424	△ 424
③ 寄付金支出	250,000	1,290,000	△ 1,040,000
経常外費用計	250,084	1,293,244	△ 1,043,159
当期経常外増減額	△ 250,084	△ 1,291,273	1,041,188
当期一般正味財産増減額	8,411	△ 1,275,600	1,284,011
一般正味財産期首残高	2,008,596	3,284,196	△ 1,275,600
一般正味財産期末残高	2,017,007	2,008,596	8,411
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	11,000	11,000	0
指定正味財産期末残高	11,000	11,000	0
III. 正味財産期末残高	2,028,007	2,019,596	8,411

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 事業運営方針

公社は、平成24年4月1日をもって一般財団法人へ移行し、公益目的支出計画を確実に実施していくため、経営の継続性と安定性を確保することを最大の目標にしつつ、法人自ら責任を持って自主的・自律的な経営を行うことに最大限の努力を払う。また、京都市が取り組む様々な施策の推進に引き続き積極的に協力するなど、更なる公共性・公益性を追求していく。

(ア) 駐車場事業

駐車場事業は公社の基幹自主事業であり、引き続き、その経営基盤の強化に取り組むとともに、お客様のニーズに沿った「安全・安心で利用しやすい駐車場」づくりと運営を目指す。

また、京都市の駐車場施策に積極的に協力し、路上駐車削減による円滑な道路交通の確保に寄与するとともに、電気自動車充電設備の設置拡大や、照明設備のLED化など、都市の環境負荷軽減に向けた取組を重点的に行う。

(イ) 区画整理事業

洛北第三土地区画整理組合は、平成26年3月に組合解散の認可を得たことから、今後は清算業務を着実に進め、早期の事業完了を目指す。

桃山東第二土地区画整理組合は、平成28年度に換地処分を完了し、平成30年度の組合解散を目指す。

(ウ) 公共的・公益的事業

京都市が推進する「歩くまち・京都」総合交通戦略や改訂京都市自転車総合計画に基づく事業に積極的に連携するとともに、交通安全思想の普及、地域振興に係る助成など公共的・公益的事業への取組をさらに追及していく。

(エ) 公益目的支出計画の確実な実施

公益目的支出計画は、駐車場事業に係るものはその全額を京都市に寄附し、区画整理事業に係るものは継続事業として実施していくことを基本として、その期間は、平成24年度から平成30年度の7年間としている。計画に掲げる実施事業等を確実に実施し、公社の社会的責任を果たす。

イ 事業計画

(ア) 駐車場等事業

直営駐車場では自動車駐車場80箇所、自転車駐車場13箇所の合計93箇所の駐車場の増収及び経費の節減に努め、効率的な運営を行うとともに、新規自動車駐車場及び自転車駐車場合計24場の開設を目標に、引き続き、経営基盤の強化に取り組んでいく。

指定管理者の指定を受けている、市営自動車駐車場7箇所、及び市営自転車駐車場27箇所の合計34駐車場については、応募時の提案事項を確実に実施するとともに、効率的な管理運営に努める。同じく指定を受けた大宮交通公園については、交通安全教育及び交通安全運動の推進を図る。

また、平成26年度は、京都市から排水機場の保守管理業務を受託し、西羽東師排水機場ほか9機場の保守管理業務及び、新見豆排水機場ほか1機場の水位監視及び運転監視業務に取り組む。

a 直営駐車場

(a) 自動車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備 考
岡崎公園	延べ 22,420	534	普通車 506 台, バス 28 台
二条城	5,469	246	普通車 216 台, バス 30 台
京都駅八条口	延べ 7,569	208	
梅小路公園大型バス	6,279	26	
梅小路公園おもいやり	2,049	38	
伏見今町	1,193	51	
紫明通	2,773	113	
御所東	2,267	70	
大手筋北	604	24	
山科柳辻	1,109	67	普通車 36 台・自二 (定期) 31 台
松ヶ崎	117	6	
観月橋南	923	35	定期制 23 台・時間制 12 台
十条烏丸	73	4	
伏見新町	115	4	定期制 1 台・時間制 3 台

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備 考
伏見臨時	156	22	定期制 18 台・時間制 4 台
壬生	2,776	54	定期制 48 台・時間制 6 台
京都競馬場前	218	5	
京阪淀駅前	117	5	
西大路五条	270	10	
烏丸七条	366	9	
西橋	263	14	定期制 10 台・時間制 4 台
千本七条	848	29	定期制 13 台・時間制 16 台
富永町深尾	333	13	定期制 5 台・時間制 8 台
五条堀川	30	2	
梅小路公園西	1263	54	定期 29 台・時間制 25 台
五条河原町	297	15	時間制 10 台・自二 5 台
梅小路公園前	221	8	
西大路七条第 1	99	12	
墨染西	63	5	
三条姉猪熊	191	6	
西院南	232	8	
千本三条	246	10	
御陵駅前	317	11	
東札辻町	92	6	
西大路九条	106	8	
国際会館駅前	225	8	
京都駅東	767	28	
西大路花屋町	730	31	定期制 22 台・時間制 9 台
七条御前	626	31	定期制 25 台・時間制 6 台
伊佐町	216	10	
大阪町	194	6	
竹田駅東口	295	13	定期制 7 台・時間制 6 台
新千本札辻	427	15	
西大路札辻東	77	5	
京田辺	111	9	
烏丸北大路	48	4	
東野	62	5	
上汐	154	12	
J R 志都美駅前	651	26	定期制 10 台・時間制 16 台
鞍馬口第二	227	4	
黄檗	63	5	
近鉄伏見駅前	930	26	定期制 10 台・時間制 16 台
あびこ駅西	138	5	
阪急三国駅前	212	8	
姫里	30	2	
小阪北口	127	4	
馬代一条	43	4	
西京極北庄境町	91	7	

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備 考
北大路駅前	205	7	
J R 芦原橋駅前	353	12	
山科駅前	235	10	
甲子園	270	9	
三条七本松	142	8	
長田中 4 丁目	156	10	
糸屋町 2 丁目	239	8	
宇治小倉町	119	5	
大今里 4 丁目	50	4	
喜連瓜破駅前	121	9	
毛利橋	90	7	
横大宮町	181	4	
鞍馬口	883	37	定期制専用
山端	1,117	46	〃
双ヶ丘	614	20	〃
観月橋	2,685	92	〃
淀	562	24	〃
紫明通東	806	34	〃
紫明通西	578	26	〃
竹田駅東	843	39	〃
五条高架下	1,917	60	〃
大阪町第 2	134	3	〃
合計 (80 場)	80,208	2,474	

(b) 自転車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備 考
寺町臨時	1,640	738	うち原動機付自転車等 429 台
西大路駅	1,000	1,000	うち原動機付自転車 70 台
先斗町バイク	1,154	390	バイク専用
円町駅西	303	293	定期制専用 (うち原動機付自転車 35 台)
京阪六地藏駅	834	700	うち原動機付自転車等 100 台
富小路六角	547	530	うち原動機付自転車等 66 台
先斗町	557	328	
新京極公園	264	108	
梅小路公園七条入口広場	512	216	うち原動機付自転車等 47 台
梅小路公園大宮入口広場南	183	28	
梅小路公園大宮南口	128	76	
烏丸今出川路上	57	53	
桂駅東バイク	54	13	バイク専用
合計 (13 場)	7,233	4,473	



b 指定管理者制度適用駐車場

(a) 自動車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備考
鴨東	延べ 4,264	131	普通車 101 台, ハイライフ車 30 台
四条烏丸	延べ 13,434	294	自二 210 台, 自転車 150 台
円山	延べ 4,861	134	
清水坂観光	8,039	114	普通車 59 台, バス 55 台
嵐山観光	6,947	142	普通車 105 台, バス 37 台
銀閣寺観光	2,410	52	普通車 40 台, バス 12 台
高雄観光	1,729	54	普通車 40 台, バス 14 台
合計 (7 場)	41,684	921	

(b) 自転車駐車場

駐車場名	面積 (㎡)	収容台数	備考
松ヶ崎駅	1,469	1,200	
国際会館駅	4,695	3,000	うち原動機付自転車 500 台
西大路御池駅	延べ 483	435	うち原動機付自転車 51 台
東野駅	1,144	900	
御陵駅南	279	200	
御陵駅北	231	100	うち原動機付自転車 25 台
栂辻駅	延べ 1,007	800	
小野駅	599	465	うち原動機付自転車 15 台
太秦天神川駅	2,364	1,036	うち原動機付自転車 196 台
石田駅	1,382	650	うち原動機付自転車 50 台
醍醐駅	1,450	1,000	
円町駅	1,099	761	うち原動機付自転車 71 台
二条駅南	1,116	1,060	
西大路駅北	387	200	定期制専用
桂川駅東	900	800	うち原動機付自転車 80 台
桂川駅西	1,330	1,000	うち原動機付自転車 440 台
太秦	延べ 1,123	1,021	うち原動機付自転車 74 台
嵯峨嵐山駅	646	383	
花園駅	1,082	780	うち原動機付自転車 50 台
西院	延べ 1,247	954	
西京極	1,550	780	
桂駅東口	延べ 742	500	
桂駅南	延べ 874	451	うち原動機付自転車 77 台
桂駅西口	延べ 1,998	1,721	
北山駅	665	600	
西賀茂	431	250	
御射山	延べ 1,641	1,008	
合計 (27 場)	31,934	22,055	

## (c) 大宮交通公園

所在地・面積	京都市北区大宮西脇台町・21,338 m <sup>2</sup>
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通教室（ビデオ設備，映写設備）</li> <li>・ 資料展示室</li> <li>・ 模擬交通施設（高速道路，横断歩道，交通信号機，道路標識等）</li> <li>・ ゴーカート（29台），自転車（10台），幼児用自転車（10台）</li> <li>・ 無人機械式駐車場（15台）</li> </ul>

## (d) 排水機場

保守管理業務	1 羽東師東排水機場	6 納所排水機場
	2 洛南排水機場	7 淀排水機場
	3 三栖排水機場	8 新美豆排水機場
	4 泰長老排水機場	9 新川排水機場
	5 小栗栖排水機場	10 州崎排水機場
運転監視業務	1 新美豆排水機場	2 泰長老排水機場

## (イ) 区画整理事業

- a 土地区画整理事業に関する指導援助等  
各組合に対して，組合運営，許認可申請事務等の指導援助を行う。
- b 受託事務

組 合 名	受託事務種別	適 要
洛北第三土地区 画整理組合	経常業務 清算業務	清算業務を着実に進め，早期の事業完了をめざす。 (事業施行面積 32.1ha)
桃山東第二土地 区画整理組合	経常業務 移転補償・測量業務 調査設計業務 工事設計業務	平成 26 年度には，残工事（舗装，擁壁工事等）に着手するとともに，保留地の早期完売に取り組み，平成 28 年度には換地処分を行い，平成 30 年度の組合解散を目指す。(事業施行面積 9.1ha)

- c 研究会及び講習会の参加  
職員の研修のため，土地区画整理事業に関する研究会及び講習会に参加する。

## (ウ) その他事業

- a 環境対策  
「京都市エネルギー政策推進のための戦略」を踏まえ，施策との連携を図るため，京都市太陽光発電屋根貸し制度を活用した太陽光発電設備の設置，運営を行うとともに，駐車場照明の LED 化を進めるなど環境への配慮や安全性の確保に努める。
- b 情報発信  
観光客を含めた利用者への利便向上のため，ホームページによるリアルタイムの満空情報配信，ラジオ放送による駐車状況の配信等を実施する。
- c イベント等による交通安全思想普及及び啓発事業等  
交通安全思想の普及と地域の活性化を図るため，大宮交通公園における「春のこどもまつり」を開催する。
- d 利用者へのサービス  
二条城駐車場のレンタサイクル事業，岡崎公園駐車場の自転車無料レンタル及び清水寺におとずれる観光客に対するサービス向上として音声ガイド「ナビ音」のレンタル事業を引き続き実施する。

e 地域振興に係る助成等

京の七夕事業・花灯路事業，御池通の花壇設置等に対し協賛金としての助成，祇園まつり等の地域事業に対しての助成を行う。また，京都市交通遺児新入学児童に対し就学援助金を助成する。

## (2) 予算

## 収 支 予 算 書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	26	121	△ 95
②特定資産運用収入	2,278	2,332	△ 54
③事業収入	2,266,310	2,364,537	△ 98,227
④雑収入	15,480	16,370	△ 890
事業活動収入計	2,284,094	2,383,360	△ 99,266
2 事業活動支出			
①事業費支出	1,614,629	1,610,794	3,835
②管理費支出	365,998	419,859	△ 53,861
③寄附金支出	250,000	250,000	0
④法人税等支出	520	0	520
事業活動支出計	2,231,147	2,280,653	△ 49,506
事業活動収支差額	52,947	102,707	△ 49,760
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	64,500	130,000	△ 65,500
②投資有価証券売却収入	0	60,000	△ 60,000
投資活動収入計	64,500	190,000	△ 125,500
2 投資活動支出			
①特定資産取得支出	22,500	27,300	△ 4,800
②固定資産取得支出	61,900	80,300	△ 18,400
③保証金支出	0	2,400	△ 2,400
投資活動支出計	84,400	110,000	△ 25,600
投資活動収支差額	△ 19,900	80,000	△ 99,900
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			0
①借入金返済支出	27,092	64,391	△ 37,299
財務活動支出計	27,092	64,391	△ 37,299
財務活動収支差額	△ 27,092	△ 64,391	37,299
IV 予備費の部			
1 予備費支出			
①予備費支出	60,000	60,000	0
当期収支差額	△ 54,045	58,316	△ 112,361
前期繰越収支差額	359,609	301,293	58,316
次期繰越収支差額	305,564	359,609	△ 54,045

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
収支計算書	収入合計	3,748,945	3,793,830	2,816,042	2,708,203
	支出合計	2,595,770	3,492,538	2,370,677	2,402,639
	次期繰越収支差額	1,153,175	301,293	445,365	305,564
正味財産増減計算書	経常収益	2,104,058	2,116,132	2,275,899	
	当期経常増減額	130,210	15,672	258,495	
	当期正味財産増減額	487,647	△1,275,600	8,411	
貸借対照表	総資産	4,715,659	3,147,932	3,277,239	
	総負債	1,420,462	1,128,336	1,249,232	
	正味財産	3,295,196	2,019,596	2,028,007	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	駐車場管理運営 (指定管理)	194,000	194,450	197,157	198,445
	大宮交通公園管理運営 (指定管理)	18,500 (※)	18,500 (※)	18,500 (※)	19,029 (※)
	放置自転車防止啓発業務運営	20,000			
	梅小路公園おもいやり駐車場 管理運営	637	9,106	6,000	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>&lt;一般会計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 経常収益の増加，経常費用の減少により，当期経常増減額は大きく増加し，法人全体では公益目的支出を計画どおり実施してもなお黒字である。</li></ul> <p>&lt;区画整理事業特別会計&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業収益が大幅に増加した一方で，費用は前年度と同水準となったことから，経常増減額では黒字を確保している。</li></ul>
事業面	<p>&lt;駐車場事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自転車等駐車場，自動車駐車場については，平成 24 年度に引き続き，施設の新規開設が利用者の増加と増収に結び付いた。</li></ul> <p>&lt;区画整理事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 施行中の 1 組合について，事業収束に向けた取組が引き続き推進され，換地処分を終えた 1 組合については，清算業務が推進されている。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区画整理事業特別会計の事業収束に向けて，引き続き，効率的な事業運営を行っていく必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場事業は，利用台数が増加しており，このすう勢を維持する必要がある。区画整理事業は，事業収束が円滑に進むよう努めることが重要である。</li></ul>

# 公益財団法人京都市都市緑化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 森本幸裕

### 2 所在地

京都市東山区円山町 463 番地

### 3 電話番号

075-561-1350

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-ga.jp/>

### 5 設立年月日

平成7年3月1日

### 6 基本財産

50,000千円（うち本市出えん額 50,000千円，出えん率100.0%）

### 7 事業目的

都市の緑化の保全，育成並びに創出を図るとともに，公園及び都市緑地や京都三山等が持つ優れた特色を最大限に活用することにより，緑あふれるまちづくりを推進し，自然と共生する生活文化を守り育て，市民の健やかで安全・安心な生活環境づくりに寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 都市緑化の普及啓発事業及び都市緑化事業の推進
- (2) 都市緑化を促進するリーダーの育成
- (3) 都市公園及び緑地を利用した環境学習等の実施
- (4) 都市公園及びこれに類する施設の管理運営業務の受託
- (5) 都市緑化の促進に関する情報収集及び研究
- (6) 上記(1)～(5)の事業を推進する団体の育成及び協働
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

建設局みどり政策推進室（Tel 075-741-8600）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

森本幸裕

#### (2) 専務理事

藤井俊志（建設局みどり政策推進室担当部長）

#### (3) 理事

下村孝，塚本淳之助，西阪専慶，宮前保子，村上紘一郎，吉野祐，吉田昌弘

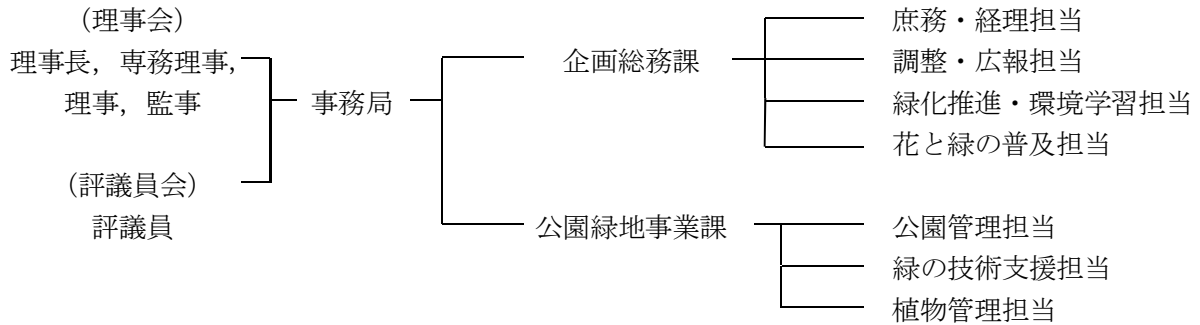
#### (4) 監事

四方宏治，岩崎清（建設局建設企画部長）

### 11 常勤職員数

17人（うち本市派遣職員 0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 25 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 都市緑化の普及啓発事業

##### (ア) 園芸・造園関係の講習会等

- a 園芸講習会（実施回数：計 9 回，受講者：計 319 人）
- b 季節を楽しむ園芸教室の開催（実施回数：計 7 回，受講者：計 149 人）
- c 出張園芸講習会等  
地域団体からの要請等を受け実施（実施回数：計 5 回，受講者：計 101 人）

##### (イ) 花壇づくり講習会

公共の花壇づくりを中心に，設計や植えつけ等のグループ作業を通じて，グループで行う緑化活動の基本をシリーズで学んだ。（実施回数：計 10 回，受講者：計 139 人）

##### (ウ) 家庭の庭づくり（ガーデニング）講習会

主に家庭などでの身近なガーデニングについて，計画の立て方や維持管理など，庭での楽しみ方まで講師との対話形式で学んだ。（実施回数：計 12 回，受講者：計 143 人）

##### (エ) 緑の散策ツアーの開催

広報誌「京のみどり」に掲載している特集記事との連動企画として，市内各地のまちなかの緑のスポットを訪ね歩き，緑の文化や快適な生活環境づくりの取組を考える機会を提供した。（実施回数：計 3 回（伏見区淀，右京区嵯峨水尾，大徳寺本坊）参加者：計 75 人）

##### イ 自然環境に関する講習会・体験活動

##### (ア) 梅小路公園自然観察会の実施

- a 月例等定期の観察会（実施回数：計 14 回，受講者：計 228 人）
- b 子ども緑の学校～梅小路公園子ども自然観察会～  
いのちの森周辺の季節の移り変わり等の観察等を通して，子どもたちが自然に親しむ機会をつくった。（実施回数：計 5 回，受講者：計 76 人）
- c 団体向け観察会（実施回数：計 2 回，受講者：計 75 人）

##### (イ) 宝が池公園自然あそび教室

自然環境を生かし，子どもたちが遊びながら学べるよう，自然素材のクラフト，自然の仕組を学ぶ遊び，古くから自然と共生してきた地域の生活文化を学ぶ教室等を開催した。

（実施回数：計 28 回，のべ参加人数：552 人）

##### (ウ) 環境学習養成講座

体験型の環境学習の活動を支える人材（リーダー）の養成を，学習会や子ども向けプログラムの実践を通じて行った。（実施回数：1 回，受講者：14 人）

##### (エ) 公園・庭園の樹木と対話する教室

梅小路公園内を歩きながら，公園・庭園や樹木等の成り立ちについて解説する教室を開催した。（実施回数：計 12 回，受講者：計 140 人）



## ウ 緑の相談所運営

### (ア) 相談業務

#### a みどりの相談

平成 10 年度以降、緑に関する無料の相談業務を行っている。相談所は、本部事務所とともに円山公園内に移転したが、面談による相談者が大幅に減少したため、平成 24 年度は週 1 日を梅小路公園「緑の館」で行い、平成 25 年度は 2 日とも緑の館で行った。(相談日：毎週 2 日及びイベント等での出張相談、実績：相談日数 99 日、相談件数：879 件)

#### b 相談所データベースの導入とホームページでの発信

相談記録を電子データ化し、記録の検索や集計等ができる相談所データベースの運用を平成 23 年 1 月から運用し、一部はホームページで公開している。

### (イ) 希少植物の保全・普及

稀少な在来種を含む和花等の展示のため、原種フジバカマ等希少種の育成・繁殖に取り組んだ。平成 25 年度は、(公財)国際花と緑の博覧会記念協会の平成 25 年度助成金を受け、ネットワークづくりや冊子作りなどに取り組んだ。

## エ 緑のイベントの開催及び支援

### (ア) みどりの月間、都市緑化月間等のイベントの開催、協力

#### a 梅小路公園グリーンフェア 2013 春／秋

公園の心地よさ、安らぎ、にぎわいを感じていただくため、春と秋の 2 回実施  
(春(5月 3～4 日)：計 46,000 人、秋(10月 5～6 日)：計 68,000 人)

#### b 春・秋の和の花展

自然保護団体や園芸家の協力により、梅小路公園朱雀の庭に、絶滅危惧種を含む山野草、古典園芸植物等を屋外展示するとともに、イベントを行い、身近な自然環境を守る大切さを訴えた。

(a) 春の和の花展(第 4 回)(期間：4 月 20 日～5 月 6 日、入場者数：1,558 人)

(b) 藤袴と和の花展(第 5 回)

京都府から絶滅寸前種(絶滅危惧種)とされている原種フジバカマ 220 鉢をはじめ、山野草、水草等を展示した。(期間：9 月 27 日～10 月 6 日、入場者数：2,120 人)

#### c 桜まつり in 梅小路(期間：4 月 6 日～4 月 7 日)

梅小路公園をメイン会場に開催された「第 9 回京都さくらよさこい」及び梅小路公園手づくり市との同時開催で、桜並木に紅白幕を張るなど、花見気分を演出した。

#### d 梅まつり in 梅小路(期間：3 月 1 日～3 月 9 日)

梅小路公園内にある梅林を PR するため、下京区役所と協力し開催した。期間中は床机を置くなどし、ゆっくりと鑑賞していただけるよう工夫した。

#### e 京都まちとみどり写真コンクール

緑あふれるまちづくりを推進する第 29 回「京都まちとみどり写真コンクール」を共催  
(主催：京都府都市計画協会、共催：京都府、京都市、(財)京都府公園公社、(公財)京都市都市緑化協会、(社)京都府造園建設業協会)

#### f 宝が池シンポジウム～宝が池の森の今・未来を考える～

京都府立大学との共催で、宝が池周辺の山を題材に森の在り方を考え、意見交換を行う場としてシンポジウムを開催した。(参加者数：80 人)

#### g 地域イベントへの参加

市民団体と共同で出展又は出展を支援し、園芸体験コーナーの設置等の活動を行った。  
(堀川・桜まつり、中京区民ふれあいまつり、下京区ふれ愛ひろば)

### (イ) 「みどり」に関連した多彩な教室の開催

a 草木染めを使ったパッチワーク教室(実施回数：計 30 回(3 期)、参加者数：計 616 人)

b 木登り体験会(実施回数：計 10 回、参加者数：計 111 人)

c 梅の実採り体験(於：梅小路公園、参加者数：200 人)

(ウ) プレイパーク事業

a 梅小路公園プレイパーク（第2・第4土曜日）

(a) 「あそびのリーダー」となる大学生等のボランティアを組織し、活動を実施。

(b) 実施回数（定例活動，特別企画等での実施）：計25回

(c) 参加者数（子ども・保護者）：計4,390人，あそびのリーダー数：計269人

b 梅小路公園ミニ・プレイパーク（原則火曜日午前または金曜日放課後）

幼児と保護者，又は小学生を対象に，公園を「居場所」とし，自然に親しむ活動を行った。（実施回数：計16回，参加者数：計600人）

c 宝が池公園子どもの楽園プレイパーク（日曜・祝日）

平成23年度から自主事業として実施。季節にちなんだ遊びも実施（通常プレイパーク  
実施回数：計42回，参加者数：計8,291人，特別イベント実施回数：計3回，参加者数：  
計5,160人）

d けむんぱクラブ（宝が池ミニプレイパーク）の新設

幼児と保護者を対象に，森の散歩やものづくりを通じて，親子や参加者同士のつながりを深めるプログラムを開始した。（実施回数：計22回，参加者数：計330人）

e おむすびミーティング

7月7日，門川市長がプレイパークゾーンを訪問し，スタッフや保護者の方々とともに，子どもたちが自然と関わることの大切さ等について，熱心に意見交換を行った。

オ まちなか（市街地）緑化事業

緑視率の向上と町並み修景を図るため，和花等の在来種を主体とする京都らしいコンテナを街路沿いの狭いスペースに設置し，施設・地域住民に管理していただく「まちなみ緑化支援モデル事業」を平成23年度から実施している。

カ 緑の団体支援事業

(ア) 「京都みどりのサポーター協議会」の運営

各地で緑化を担う緑の活動団体（5団体）と本協会が，協働で緑化を進めるための組織「京都みどりのサポーター協議会」を運営した。

a 御池通スポンサー花壇の沿道「サポーター」への支援

水やり等日常の手入れを担う沿道「サポーター」の支援，巡回管理補助を行う業務を協議会が受託し，協会は巡回管理，ニュース発行等の支援・協力を行った。

b 地域イベントへの出展

(イ) 緑の活動団体登録制度（ボランティアセンター）の準備

ボランティアベースの緑の活動団体（各種ボランティア団体，町内会・自治会，企業，学校等）の人材，ニーズに関する情報交換を行い，技術支援や協働の取組を推進するための拠点「緑のボランティアセンター」は，梅小路公園休憩所を改装し設置する計画であったが平成25年度の公園再整備の区域内となったため，場所を再検討することとなった。情報収集は引き続き行い，試行的に相談や余剰資材提供等を行った。

(ウ) 緑の学校の運営と緑化リーダーの認定

前項(イ)の団体登録と合わせ，協働の取組や支援の効果を高めるため，「緑の学校」のカリキュラムを2年以内に修了した人等を緑化リーダーとして認定する。平成25年度中のリーダー資格修了者は2名である。

キ 公園緑地の利用促進及び多目的な機能の向上に寄与する事業

(ア) 梅小路公園指定管理業務等の受託

京都水族館開業（平成24年3月），新広場等の再整備（平成26年3月）及び平成28年春に予定される京都鉄道博物館の開業への対応として，関係団体等と協議し，利用者の利便向上，安全確保，清掃活動の強化に努めた。

- (イ) 宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の受託  
多様な事業の充実に努めた結果、駐車場利用は平成 24 年度比 2.9%増となった。  
また、親水施設の清掃、ナラ枯れ被害木の監視など、子どもや家族連れが安心・安全に過ごせるよう管理を行った。
  - (ウ) 公園の活性化の取組
    - a 各種展示会、イベントの誘致開催
    - b 「紅葉まつり」(朱雀の庭のライトアップ、無料開放、期間：11 月 22 日～24 日、入場者数：2,078 人)
  - (エ) 公園ボランティアの運営、連携、支援
    - a ボランティア組織「梅小路公園・花と緑のサポーターの会」の運営  
平成 19 年に発足。週 2 回の定例作業日に園内の花壇等の手入れを行い、講習会の運営補助、公園内外のイベント等での普及啓発活動を行っている。  
(会員数：51 人、活動回数：計 132 回、参加人数：計 1,310 人)
    - b 梅小路公園内「花と緑のセラピーガーデン」活動(第 2・第 4 木曜日)  
バリアフリーに配慮した花壇等を設置しているコーナーで手入れを行っている。  
(実施回数：計 22 回、参加人数：計 153 人)
    - c 社会体験活動の受入れ  
市立白川総合支援学校の生徒の社会体験活動を受け入れた。
  - (オ) 青空健康づくりプログラム(ウォーキング教室)  
誰もが気軽に取り組める運動を中心とする健康増進プログラムとして、梅小路公園でウォーキング教室を開催した。(実施回数：計 23 回、参加者数：計 1,027 人)
  - (カ) 円山公園巡回・案内業務
- ク 広報・出版
- (ア) 広報誌 京のみどり(季刊)の発行  
市内各地の緑に親しんでいただくためのウォーキングマップや、緑を守り育てる取組を紹介する特集を掲載している。このほか、園芸知識、協会事業、京都市の施策等を紹介している。(4 号発行、部数：各 7,000 部(市案内所、区役所・支所、市立図書館等で配布))
  - (イ) ホームページによる情報発信とスマートフォンサイトの運営  
協会ホームページは、タイムリーなイベントや京都の緑の文化の情報提供等に努めているが、梅小路公園利用者向けスマートフォンサイト(平成 25 年 3 月開設)の運営に加え、特に梅小路公園の新広場オープンに関するニーズの高さから、平成 25 年度の年間アクセス数は過去最高となった。(アクセス(visit)数 559,820 件)
  - (ウ) 公園樹管理士認定研修への協力  
公園樹管理の技術・技能の向上を目的として、(一社)京都府造園建設業協会が平成 24 年度に創設した「公園樹管理士制度」による認定研修会について、都市公園を事例とした演習の講師派遣等の協力を行った。
- ケ 調査・情報収集
- (ア) 植生調査等  
適切な管理及び情報発信の基礎資料とするため、梅小路公園いのちの森モニタリングへの協力、子どもの楽園周辺のナラ枯れ木調査を行った。
  - (イ) 間伐材利用方策の調査・情報収集  
ナラ枯れ材やスギ・ヒノキ等の間伐材を利用した各種製品(活性炭、土木資材等)の普及を進め、その収益を森林保全・再生につなげる仕組(緑のプラットフォーム)づくりのため、造園業界への PR や意向聞き取りを行った。
- コ 庭園管理運営・研修・情報発信
- (ア) 梅小路公園「朱雀の庭」の維持管理業務  
「朱雀の庭」の維持管理を行い、様々なイベントにより新たな庭園文化の発信を行った。

(イ) 庭園情報の収集・発信

京都の優れた庭園の情報を収集し、ホームページ・広報誌「京のみどり」等において、実際に訪れていただくための発信を行っている。

(ウ) 庭園文化講座等

a 庭園文化講座

日本庭園に関連する「緑の文化」と伝統的技術について理解を深めていただくことを目的に、庭園デザインのほか関連分野の建築・茶道等の講義を含む庭園文化を学ぶ講座を実施した。(実施回数：6回，受講者：計76人)

b ガイドボランティア講座

(エ) 日本庭園の伝統的技術・技能研修

若手造園技術者を対象に、京都府造園協同組合青年部との共催により、講義、実習、見学会からなる伝統的技術・技能の研修を行った。

(オ) 青島世界園芸博覧会への技術支援及び情報発信

京都市のパートナーシティである中国山東省青島市で、平成26年4月から10月まで開催される、「2014 青島世界園芸博覧会」のテーマ区「国際園」に、京都市は「日本京都園」を造園3団体及び当協会との協力で出展する。施工を行う青島市当局を技術的に支援するため、京都市及び関係団体と「2014 青島世界園芸博覧会技術支援委員会」を設置し、造園技術者の派遣や材料調達等を行った。

サ 公園収益事業

(ア) 自動販売機飲料販売事業

(イ) 梅小路公園収益事業

(ウ) 宝が池子どもの楽園駐車場運営事業

(エ) 国立京都迎賓館庭園の維持管理業務

京都迎賓館庭園の維持管理業務を引き続き受託したほか、造園系大学学生のボランティア作業や造園技術者の技能研修作業を受け入れ、池流れの清掃、樹木の剪定等を実施した。

シ 法人業務

(ア) 新たな会計・税務対応

公益目的事業の収支相償の原則、公益目的事業比率の確保等を遵守し、税制優遇措置を生かしながら各事業を執行するとともに、京都市補助金に過度に依存しない自立的な法人を目指して、公益認定法人としての会計・税務対応に努めた。

(イ) 事務所体制の変更及び効率的な業務の遂行

平成23年度に、本部事務所の移転と新たな指定管理業務の受託により、3事務所体制となったが、効率性の確保のため、各事務所の自立的な運営を行うとともに、所属長会等の開催による情報共有や事務所間の応援体制の構築を推進した。

(ウ) コンプライアンスの推進

全職員へのヒアリングを通じてコンプライアンスの徹底を図るとともに、幅広い市民、公園利用者のための事業を行う公益法人として、職員が確認すべきコンプライアンス推進の内容を示すことを目的として、従来の職員倫理の保持に関する規程、懲戒処分に関する指針等を総合し、職員コンプライアンス推進指針を平成26年3月に策定した。

(エ) 計画的な教育及び研修の実施による職員の資質と能力の向上(派遣回数：計8回，派遣人数：13人)

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,676	55,644	△ 15,968
未払金	37,604	33,925	3,679
前払金	206	31	175
立替金	1,005	415	590
流動資産合計	[78,491]	[90,014]	[△ 11,524]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,004	20,004	0
定額郵便貯金	10,000	10,000	0
投資有価証券	19,996	19,996	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	25,028	21,945	3,082
事業推進積立資産	21,000	21,000	0
特定資産合計	(46,028)	(42,945)	(3,082)
(その他固定資産)			
建物	4,657	0	4,657
車両運搬具	53	67	△ 14
什器備品	4,259	7,010	△ 2,751
その他固定資産合計	(8,969)	(7,077)	(1,892)
固定資産合計	[104,996]	[100,022]	[4,974]
資産合計	183,487	190,037	△ 6,549
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	64,215	68,201	△ 3,987
預り金	355	1,295	△ 939
賞与引当金	3,239	2,777	462
未払法人税等	0	5,288	△ 5,288
流動負債合計	[67,809]	[77,561]	[△ 9,752]
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,028	21,945	3,082
固定負債合計	[25,028]	[21,945]	[3,082]
負債合計	92,836	99,506	△ 6,670
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[40,651]	[40,530]	[121]
(うち特定資産への充当額)	(21,000)	(21,000)	(0)
正味財産合計	[90,651]	[90,530]	[121]
負債及び正味財産合計	183,487	190,037	△ 6,549

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	91	91	0
②特定資産運用益	11	73	△62
③事業収益	54,807	58,935	△4,128
④受取補助金等	202,211	219,519	△17,308
⑤受取寄付金	371	40	330
⑥雑収益	4,546	4,913	△366
経常収益計	262,037	283,571	△21,534
(2) 経常費用			
①事業費	252,532	256,223	△3,691
②管理費	8,290	14,740	△6,450
経常費用計	260,822	270,963	△10,142
当期経常増減額	1,215	12,608	△11,393
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	1,095	93	1,002
当期経常外増減額	△1,095	△93	△1,002
税引前当期一般正味財産増減額	121	12,515	△12,394
法人税、住民税及び事業税	0	5,288	△5,288
当期一般正味財産増減額	121	7,227	△7,106
一般正味財産期首残高	40,530	33,303	7,227
一般正味財産期末残高	40,651	40,530	121
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	90,651	90,530	121

2 平成26年度事業計画

(1) 平成26年度事業

ア 都市緑化の普及啓発，緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりに寄与する事業

京都の都市緑化の普及啓発，緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりを目的として，管理運営する公園等を拠点として，各地域において，講習会，イベント，広報その他様々な事業を行う。

(イ) 緑の学校の開設と人材育成

園芸・造園などに関する座学や実習を行う様々な講習会をカリキュラムとする「緑の学校」を運営する。特に地域で緑化活動を担う人材を育成する。

a 園芸・造園関係の講習会等

b 花壇づくり講習会

公共の花壇づくりを中心に、グループで行う緑化活動の基本をシリーズで学ぶ。にぎわいを見せる梅小路公園を生きた教材として、宿根草・多年草の活用、コンテナ花壇の作り方など効果的で管理しやすい方法に重点を置く。

- c 家庭の庭づくり（ガーデニング）講座  
家庭でのガーデニングについて、計画、造成、植栽、維持管理、庭での楽しみ方まで学ぶ。
- d 庭園ボランティアガイド講座  
日本庭園とそれに関連する「緑の文化」について理解を深めて頂くための連続講座の受講者を対象に、ガイド養成講座を行う。
- e 緑の散策ツアー  
まちなかの緑のスポットを訪ね歩き、緑にかかわる歴史文化や快適な生活環境づくりの取組を考える機会を提供する。平成 26 年度は庭園見学に絞ったツアーも造園家等の協力により開催する。
- (イ) 自然環境に関する講習会・体験活動
  - a 体験型講習会，自然観察会等
  - b 環境学習養成講座  
体験型の環境学習活動を支える人材の養成を学習会や子ども向けプログラムを通じて行う。
  - c 公園・庭園の樹木と対話する教室  
梅小路公園内を歩きながら、公園・庭園の樹木等の植物を紹介するほか、造園のコンセプトに基づいて景の見方等の解説を行い、植物や緑の文化に親しんでいただく。
- (ウ) 緑の相談所運営
  - a 相談業務  
平成 26 年度は、梅小路公園内に設置された市電車両(総合案内所)での相談も試行する。
  - b 京都ゆかりの希少植物の保全・普及
  - c KES 生物多様性プログラムへの参画  
KES（京都環境マネジメントシステム・スタンダード）の認証団体が、平成 26 年度中に新たに生物多様性プログラムを導入する予定であり、希少植物の保全・栽培に関し、プログラムの企画、実施に参画する。
- (エ) 緑のイベントの開催及び支援
  - a 月間行事等
    - (a) 「守ろう！古都の自然」キャンペーン、「みどりの月間」、「都市緑化月間」におけるイベントの主催・協力をを行い、希少種の保全、緑の文化や公園緑地の大切さについて理解を促す。
    - (b) 地域イベントへの出展等を通じて、協会活動の PR、募金活動等を行う。
  - b 「みどり」に関連した多彩な教室の開催
- (オ) まちなか（市街地）緑化事業  
緑視率の向上及び街並み修景を図るため、和花等を生かした京都らしい鉢物・プランターを、施設、街路沿いの住宅の軒下等に連続して設置し、管理していただく団体への技術支援も行う。
- (カ) 緑の団体支援事業
  - a 「京都みどりのサポーター協議会」の運営
  - b 緑の活動団体登録制度の発足  
各地の緑の活動団体の人材、ニーズに関する情報を集め、技術支援や協働の取組を進めるため、緑のボランティアセンターを梅小路公園内に設置し、団体の登録制度を設ける。
  - c 緑の学校の運営と緑化リーダーの認定

「緑の学校」のカリキュラムで、所定の単位数を2年度以内に取得した人を緑化リーダーとして認定し、団体の登録制度と合わせ、協働の取組や支援の効果を高める。

- (キ) 公園緑地の利用促進及び多目的な機能の向上に寄与する事業
  - a 梅小路公園指定管理業務の受託
  - b 宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の受託
  - c プレイパーク事業
  - d 公園ボランティアの運営、連携、支援
  - e 青空健康づくりプログラム
  - f 円山公園巡回・案内業務
- (ク) 広報・出版
  - a 広報誌・パンフレット等の発行
  - b ホームページによる発信
- (ケ) 調査・情報収集
  - a 森林バイオマス利用の調査・情報収集（緑のプラットフォーム事業）
  - b 植生調査等
- イ 京都の庭園の保全管理、庭園文化・技術の継承及び発展に寄与する事業
  - (ア) 梅小路公園「朱雀の庭」の良好な維持管理と運営
  - (イ) 庭園情報の収集・発信
  - (ウ) 庭園文化講座
  - (エ) 日本庭園の伝統的技術・技能研修
- ウ 公園収益事業  
自動販売機飲料販売事業、梅小路公園収益事業、宝が池公園子どもの楽園駐車場運営事業、  
国立京都迎賓館庭園維持管理事業
- エ 法人業務
  - (ア) 公益認定の継続
  - (イ) 新たな会計・税務対応
  - (ウ) 効率的な業務の遂行
  - (エ) 計画的な教育及び研修の実施による職員の資質と能力の向上



## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	100	100	0
② 特定資産運用益	10	100	△90
③ 事業収益	55,027	52,535	2,492
④ 受取補助金等	204,632	199,339	5,293
⑤ 受取寄付金	100	1	99
⑥ 雑収益	1,894	2,761	△867
経常収益計	261,763	254,836	6,927
(2) 経常費用			
① 事業費	255,736	240,672	15,064
② 管理費	6,027	14,164	△8,137
経常費用計	261,763	254,836	6,927
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	33,763	33,763	0
一般正味財産期末残高	33,763	33,763	0
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	83,763	83,763	0

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	256,691	283,571	262,037	261,763
	当期経常増減額	5,067	12,608	1,215	0
	当期正味財産増減額	826	7,227	121	0
貸借対照表	総資産	169,805	190,037	183,487	
	総負債	86,502	99,506	92,836	
	正味財産	83,303	90,530	90,651	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市梅小路公園管理業務委託 (指定管理)	94,800 (※)	94,800 (※)	94,800 (※)	97,509 (※)
	宝が池公園子どもの楽園管理業務委託 (指定管理)	11,000 (※)	11,000 (※)	11,000 (※)	11,314 (※)
	梅小路公園指定管理区域外管理業務	30,834	27,827	22,554	
	円山公園巡回等業務	1,817	1,865	1,865	
補助金	運営補助	29,394			
	グリーンフェアその他事業補助	5,072	36,901	27,084	26,334

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度は、市補助金の減額のほか、梅小路公園の再整備により新しい広場がオープンしたことに伴い経費が増加した。しかし、広報や自主事業の充実により、利用料金収入が増加したほか、人件費等の縮減に努めた結果、わずかながら黒字を確保できた。</li><li>「和の花」普及のネットワークづくりなど、公益的な都市緑化推進事業を一層充実強化するためにも、安定的な財務基盤の確立を図る必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>公益的な自主事業や他団体と連携した共催事業等を積極的に実施するとともに、プレイパーク活動や自然遊び教室、特別イベント等を開催し、公園活性化と利用者満足度の向上に努めており、自主事業、指定管理業務ともに評価できる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期正味財産増減額において黒字を確保したことは評価できる。引き続き、自律的経営の確立に向けて、自主財源の確保に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、他団体との連携を進めるなど、幅広く事業展開を行う必要がある。</li></ul>

# 京都シティ開発株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 浅野義孝

### 2 所在地

(本社) 京都市山科区上野御所ノ内町 16-10

(ラクトB事務室) 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町 91

### 3 電話番号

075-501-2702

### 4 ホームページアドレス

<http://www.racto.jp/> (専門店街ラクト)

<http://www.racto.jp/sportsplaza/> (ラクトスポーツプラザ)

### 5 設立年月日

平成3年9月2日

### 6 資本金

561,000千円 (うち本市出資額 279,900千円, 出資率 49.9%)

### 7 事業目的

京都市施行の京都駅南口地区第一種市街地再開発事業及び山科駅前地区第一種市街地再開発事業によって整備された施設等の管理や商業施設の運営を通じて、当該事業地区及び周辺地域の振興、発展に寄与するとともに、二条駅地区文化施設整備・運営事業において、市有地の転貸借業務や事業のモニタリング業務を行うことを目的とする。

### 8 業務内容

- (1) 都市再開発事業に係る調査, 企画, 設計及びコンサルティングの請負
- (2) 建築, 設備工事に係る企画, 設計, 施工, 監理及びコンサルティングの請負
- (3) 不動産の管理, 売買, 賃貸借, 仲介, 斡旋及び管理運営の請負
- (4) 道路, 公園等公共施設の維持管理の請負
- (5) 商業施設, 駐車場, 駐輪場, スポーツ施設, 貸し会場の運営及び管理運営の請負
- (6) 商業施設の運営に係る人材派遣及びテナントリーシングの請負
- (7) 店舗経営に係る経営指導, 販売促進及び店舗計画の請負
- (8) 広告の企画, 制作及び代理業
- (9) 商品小売及び飲食業
- (10) 損害保険, 銀行, 証券仲介等代理店業務
- (11) 公衆電話, 飲料水等自動販売機の管理受託
- (12) 前各号に付帯する一切の業務

### 9 所管部局

建設局都市整備部市街地整備課 (TEL075-213-3537)

### 10 役員名等

#### (1) 代表取締役社長

浅野義孝

#### (2) 常務取締役

江島謙次

#### (3) 取締役

藤原正行 (建設局長), 村上圭子 (産業観光局長), 黒田芳秀 (都市計画局長), 中野淑夫, 三浦達也, 大同一生, 布垣豊

(4) 常勤監査役

近藤一郎

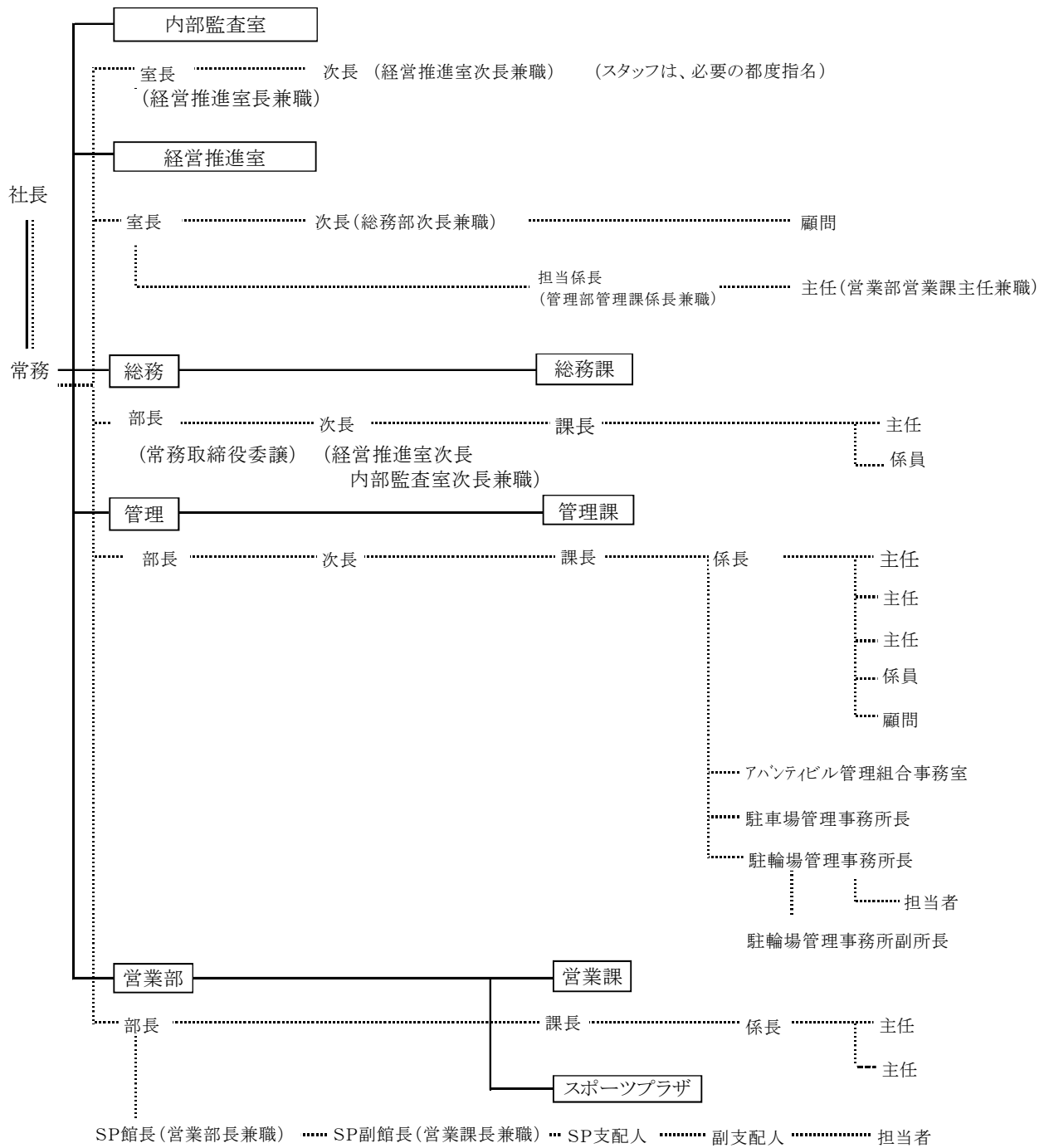
(5) 監査役

小林達生, 小西雅之, 山元康裕

11 常勤職員数

27人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



SP館長(営業部長兼職) ..... SP副館長(営業課長兼職) ... SP支配人 ..... 副支配人 ..... 担当者

(注) ——— は、組織 - - - - - は、命令系統

## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

平成25年度における当社の業績は、電気及び水道の使用料に係るテナントへの課金単価の引き上げや、京都市の指定管理者施設であるラクト健康・文化館の施設利用料収入などの増加により、当期売上高は3年ぶりに20億円を上回った。また、第4期中期経営計画において、重要な課題と位置付けていたラクトB商業施設の共有床に係る支払賃料については、「ラクトB共有者会総会」においてその引下げが承認され、当期において5千6百万円の費用の軽減を図ることができた。

一方で、電気料金の引上げをはじめとする水光熱費の高騰などによる費用の増加もあったが、当期の経常利益及び税引前当期純利益は1億6百万円となり、前期比で4千9百万円と大幅に改善した。その結果、当期純利益は約6千5百万円となり、第4期中期経営計画における最大の目標であった繰越損失の解消を達成した。

なお、平成25年度の事業の主な実施内容は、次のとおりである。

#### ア ラクトB商業施設の運営事業

ラクトB商業施設においては、キーテナントの大丸と専門店街を合わせた施設全体の売上高は、テナントに対するサポート体制や販促活動の強化を行った結果、前期比で微増ながら約97億円となった。また、当社のテナントからの賃料収入が増加し、権利者への支払賃料の引き下げも大きく貢献した結果、当事業部門における経常利益は約5千5百万円改善した。

#### イ 受託事業

京都市から、八条通地下横断歩道、山科駅前地下道・中交通広場等の公共施設維持管理業務を受託したほか、ラクトA、B、C棟各管理組合及びアバンティビル管理組合からの管理業務を受託し、ほぼ前期と同様の結果となった。

#### ウ 指定管理者事業

平成23年度から4年間にわたる京都市の指定管理者として、ラクト健康・文化館（ラクトスポーツプラザ）、山科駅前駐車場及び山科駅自転車等駐車場の運営に取り組んだ。利用料金制のラクトスポーツプラザは、スイミングスクール事業及び定期券販売の拡大等により、施設利用売上が増加し、平成23年度から3期連続での黒字を達成した。駐車場及び駐輪場についても、入庫台数、利用台数及び売上高が増加し、売上増に伴う京都市からのインセンティブによる収入もあり、黒字を達成した。

#### エ 不動産賃貸事業

イズミヤ株式会社に一括賃貸しているアバンティビル当社所有区画は、同社が自らの所有区画とを合わせて「京都アバンティ」として株式会社OPAに運営を委託し、ファッションを核とした施設の活性化を図った。当期においては、テナントの入替え等による活性化策が展開されたが、変化する顧客需要への対応や近隣商業施設との競合等が課題となっている。

また、「二条駅地区の文化施設（B i V i 二条）における市有地」の転貸借及び同施設のモニタリング業務については、ほぼ前期と同様の結果となった。

#### オ その他の事業

その他直営事業として、山科駅西駐輪場・駐車場の経営、地下道広告枠運営業務などの事業を実施した。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[252,768]	流動負債	[436,100]
現金預金	172,145	一年内返済長期借入金	60,000
商品	944	一年内返還保証金	153,574
貯蔵品	557	預り敷金	2,823
未収入金	63,706	未払金	81,624
前払費用	5,555	前受金	5,427
繰延税金資産	5,754	営業預り金	77,516
その他流動資産	4,103	未払法人税等	31,928
		未払消費税等	8,894
		賞与引当金	7,489
		リース債務	4,735
固定資産	[3,195,446]	その他流動負債	2,088
(有形固定資産)	(3,076,920)	固定負債	[2,391,506]
建物	1,776,047	長期借入金	180,000
構築物	280	預り敷金	1,131,744
器具備品	7,691	預り保証金	860,222
土地	1,281,331	長期未払金	2,200
リース資産	11,569	退職給付引当金	51,855
(無形固定資産)	(7,356)	リース債務	7,413
電話加入権	3,356	繰延税金負債	158,071
ソフトウェア	3,999	負債合計	2,827,606
(投資その他の資産)	(111,169)	純資産の部	
出資金	110	株主資本	[620,607]
修繕積立金	1,183	資本金	561,000
敷金保証金	9,444	利益剰余金	59,607
長期前払費用	100,431	その他利益剰余金	59,607
		繰越利益剰余金	59,607
		純資産合計	620,607
資産合計	3,448,214	負債及び純資産合計	3,448,214

損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		2,003,986
売上原価		1,795,178
売上総利益		208,807
販売費及び一般管理費		98,927
営業利益		109,879
営業外収益		
受取利息・配当金	10	
雑収入	3,269	3,280
営業外費用		
支払利息	6,252	
雑損失	115	6,367
経常利益		106,792
税引前当期純利益		106,792
法人税，住民税及び事業税	42,891	
法人税等調整額	△ 631	42,260
当期純利益		64,531

株主資本等変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

	株主資本			株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金			その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	561,000	△ 4,923	△ 4,923	556,076	456	456	556,532
当期変動額							
当期純利益		64,531	64,531	64,531			64,531
株主資本以外の項目の当期変動額)					△ 456	△ 456	△ 456
当期変動額合計		64,531	64,531	64,531	△ 456	△ 456	64,075
当期末残高	561,000	59,607	59,607	620,607	-	-	620,607



## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

平成 25 年度に策定した、平成 26 年度を初年度とする 3 ヶ年の「第 5 期中期経営計画」に基づき、「利益及び資金の確保を第一とした財務体質の改善」及び「中長期的展望に立った企業経営の研究」を最重要課題と位置付け、安定した収益構造の確保と将来的な事業展開のための取組を進めていく。

また、主要な課題として次の項目に取り組む。

#### ア ラクト B 商業施設の運営事業

平成 25 年 6 月から実施された共有者への支払賃料の減額により、部門損益は大きく改善したものの、依然として営業利益はマイナスであった。平成 26 年度から通年で削減効果が寄与することにより、黒字化を目指す。

さらに、テナント賃貸区画や店舗レイアウトの見直しにより、顧客ニーズにあった新規テナントを誘致するとともに、不採算テナントの入替え促進などにより賃料収入等の拡大に努める。

#### イ 受託事業

委託者である京都市及び各管理組合の期待にこたえ、誠実な業務執行に当たる。

#### ウ 指定管理者事業

平成 23 年度から 4 年間にわたり指定管理者の指定を受けてきた事業の最終年度として、京都市との協定書に基づき、各種施策を着実に実行する。

さらに、次期においても指定を受けるため、全社を挙げて獲得に取り組む。

#### エ 不動産賃貸事業

アバンティビルについては、引き続きイズミヤ株式会社と協力し、商業施設の活性化と適切な維持に努める。

#### オ その他の事業

山科駅西駐輪場・駐車場の利用者の拡大に努める。

### (2) 予算

#### 予定損益計算書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,955,000
売上原価	1,800,000
売上総利益	155,000
販売費及び一般管理費	95,000
営業利益	60,000
営業外収益	
受取利息・配当金	1,000
営業外費用	
支払利息	6,000
経常利益	55,000
税引前当期純利益	55,000
法人税及び住民税	20,000
法人税等調整額	-
当期純利益	35,000

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	売上高	1,980,792	1,955,307	2,003,986	1,955,000
	経常利益	43,890	57,052	106,792	55,000
	当期利益	46,076	34,116	64,531	35,000
	減価償却前利益	234,277	196,870	226,903	200,000
貸借対照表	総資産	3,825,287	3,690,350	3,448,214	
	総負債	3,303,146	3,133,817	2,827,606	
	純資産	522,140	556,532	620,607	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	京都市山科駅前駐車場の管理業務 (指定管理)	78,758	79,223	81,250	80,324
	京都市ラクト健康・文化館の管理業務 (指定管理)	15,000 (※)	10,000 (※)	10,000 (※)	10,285 (※)
	京都市ラクト健康・文化館の修繕に関する年度協定 (指定管理)	16,885	14,999	8,669	15,000
	京都市山科駅自転車等駐車場の駐車料金の徴収業務 (指定管理)	48,565	47,036	47,967	48,379
	京都駅新幹線下自由通路及び八条通地下横断歩道の維持管理業務	11,350	10,201	10,237	
	山科駅前地区公共施設維持管理業務	58,664	49,248	49,581	

(※) 一部利用料金制

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>ラクトB商業施設共有床の支払賃料の値下げやラクト健康・文化館の施設利用料増収などにより、平成25年度は総売上げが20億円を超え、当期純利益が前年比約3千万円増の約6千5百万円となり、繰越損失の解消を達成している。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>ラクトB商業施設においては、テナントに対するサポート体制や販促活動の強化により、キーテナントの大丸と専門店街を合わせた施設全体の売上高は微増している。</li><li>指定管理者事業においても、ラクト健康・文化館で3期連続黒字を達成しており、駐車場及び駐輪場についても、入庫台数、利用台数及び売上高が増加している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>累積欠損を解消したことは評価できる。引き続き、財務内容の健全化に努めてほしい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、不採算テナントの入替えなど、施設の活性化に取り組む必要がある。</li></ul>

消 防 局

# 一般財団法人京都市防災協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 川中長治

### 2 所在地

京都市南区西九条菅田町7番地 京都市市民防災センター内

### 3 電話番号

075-662-1849

### 4 ホームページアドレス

[http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bousai\\_s/outline/index.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bousai_s/outline/index.html)

### 5 設立年月日

平成6年10月1日

### 6 基本財産

10,000千円（うち本市出えん額10,000千円，出えん率100%）

### 7 事業目的

防災思想及び防災知識の普及並びに防災に関する技能向上のための教育指導その他地域防災体制の確立に資する事業を推進し，もって地域社会の安全と福祉の増進に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 防災思想の普及及び高揚に資する事業
- (2) 事業所等に対する防災の教育指導に資する事業
- (3) 各種防災関係講習
- (4) 防災に関する調査及び研究
- (5) 防災設備等の普及指導
- (6) 市民防災センターの管理運営の受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

消防局安全救急部市民安全課（Tel075-212-6692）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

川中長治

#### (2) 常務理事

三浦孝一

#### (3) 理事

森澤正一，尾池和夫，木下麻奈子，古川隆三，貴志吉延，三宅真輔，山添洋司（行財政局長），杉本栄一（消防局長），下遠秀樹（消防局次長）

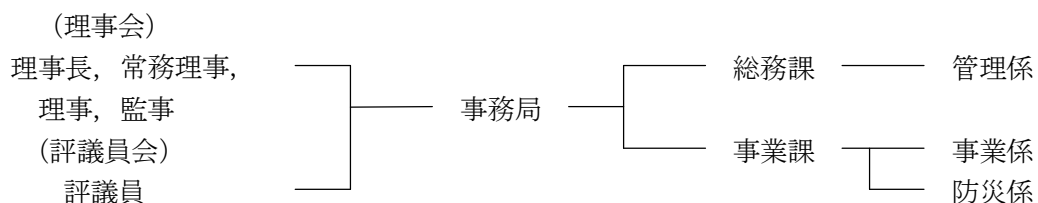
#### (4) 監事

白崎幸男，西川幸夫（消防局安全救急部長）

### 11 職員数

15人（うち本市派遣職員4人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 市民防災センターの管理運営

各種防災体験を通じて、来館者に対して防災に関する知識や技術の普及向上及び防災意識の高揚に努めた。

平成25年度の来館者数は88,374人、自主防災組織、事業所、学校等の団体の来館は963団体であった。

##### イ 防火防災に係る各種イベントの開催

防災週間や学校の休暇期間中に、次の各種イベントを市民防災センターで開催し、来館者に対して防火防災思想の普及に努めた。

- (ア) ゴールデンウィーク防災フェスタ2013
- (イ) BOSA I サマーフェスタ2013
- (ウ) 防災展/救急展
- (エ) BOSA I オータムフェスタ2013
- (オ) 園児の描く消防の図画展示会
- (カ) 冬休み子ども防災アニメ大会
- (キ) 防災フェア2014(防災とボランティア週間)
- (ク) 3.11きずな・京都一大震災を教訓にー
- (ケ) BOSA I スプリングフェスタ2014

##### ウ 防災講演会の開催

異常気象、風水害、東日本大震災をテーマとして、次の防災講演会を市民防災センターで開催し、市民に対して防災情報の提供を行った。

- (ア) 災害に強いまちづくり講座(Ⅰ)「異常気象による水災害から身を守る正しい知識」をテーマとして2回開催
- (イ) 災害に強いまちづくり講座(Ⅱ)「歴史災害から学ぶ」をテーマとして1回開催
- (ウ) 災害に強いまちづくり講座(Ⅲ)「東日本大震災から考える」をテーマとして2回開催
- (エ) 特別防災講演会「大震災を教訓に」をテーマとして開催

##### エ 防火防災講習の開催

京都市(消防局)と連携を図り、次の講習を開催し、事業所の防火防災体制の強化及び市民の応急手当能力の普及啓発を図った。

講習の種別	実施回数(回)	受講者数(人)
応急手当普及員講習(本講習)	12	131
応急手当普及員講習(再講習)	12	143
防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習	1	4
甲種防火管理講習(新規講習)	21	2,552
甲種防火管理講習(再講習)	2	157
乙種防火管理講習	3	209
防災管理講習(新規講習)	3	203
防火・防災管理新規講習(併催)	5	659
防火対象物点検資格者講習(本講習)	1	40
防火対象物点検資格者講習(再講習)	5	432
防災管理点検資格者講習(新規講習)	1	21
自衛消防業務講習(新規講習)	29	869
自衛消防業務講習(追加講習)	4	42

オ 防災教養誌の発行

京都市消防職員、消防団員、事業所及び市民向けの防災教養誌として、機関誌「京都消防」の発行と販売を行った。

カ 広報広聴活動の実施

(ア) 市民防災センターの利用 PR

a 自主防災会、事業所、各種団体、小学校、幼稚園及び各消防署等に対し、市民防災センターの来館勧奨案内チラシを配布し、利用 PR に努めた。

(a) 来館勧奨案内チラシ（開館日カレンダー入り）：75,000 部

(b) 来館勧奨案内チラシ：10,000 部

(c) 市内団体予約受付時期変更案内チラシ：25,000 部

(d) 事業所研修案内チラシ：10,000 部

b 各種イベント開催時に案内ビラ等を活用し、自主防災会等に対して直接又は市内の各消防署を通じて来館勧奨を行った。

(a) 各種イベントの開催案内チラシ：198,500 部

(b) 各種イベントの開催周知ポスター：3,350 部

(イ) 広報媒体による情報提供

a 市民防災センターの来館者用として広報媒体を作成し、来館者に対して防災情報の提供を行った。

(a) 応急手当関連啓発媒体 1 種類：5,000 部

(b) 風水害関連啓発媒体 2 種類：3,000 部

(c) 職場のハンドブック：3,000 部

(d) 災害関連啓発媒体 2 種類：3,500 部

b 防災情報の発信を目的として広報媒体（冊子）を作成し、自主防災会等に対して配付した。

(a) 災害に強いまちづくり講座（前期）：1,000 部

(b) 災害に強いまちづくり講座（中期）：1,000 部

(c) 災害に強いまちづくり講座（後期）：1,000 部

(d) 災害に強いまちづくり講座（前・中・後期の合本版）：11,000 部

c その他

平成 25 年度版一般財団法人京都市防災協会「事業概要」：400 部

(ウ) インターネットによる情報提供

インターネットのホームページにより、防災知識や防災情報の普及を図るとともに、各種イベントや講習会の予定等の情報を提供し、市民防災センターの利用促進に努めた。

アクセス件数：177,097 件

(エ) 報道機関等への情報提供

テレビ、ラジオ、新聞の報道機関や情報誌などに対し、積極的に防災体験や各種イベント、防火防災情報等の提供を行い、市民防災センターの来館者増に努めた。

a テレビ、ラジオ放送回数：7 回

b 新聞等掲載回数：11 回

c 雑誌等掲載回数：20 回

d インターネット掲載回数：4 回

(オ) 広聴活動

インターネット E メール、来館者アンケート（窓口サービス評価）等による広聴活動を行った。このうち、来館者アンケート（窓口サービス評価）は、平成 25 年 9 月 3 日（火）から 9 月 23 日（月）までの間に来館された中学生以上の来館者にアンケート用紙を配布し、813 名から回答を得た。

平成 25 年度 窓口サービス評価結果

対応の仕方	身だしなみ	接遇の態度	説明の仕方	窓口の印象	5 項目の平均
・あいさつ ・言葉づかい	・清潔感 ・ふさわしい服装	・笑顔・表情 ・姿勢, 誠実感	・親切, 丁寧 ・わかりやすさ	・整頓整理 ・案内表示	
4.70	4.72	4.71	4.70	4.62	4.69

注：大変よかった=5点，よかった=4点，普通=3点，あまりよくなかった=2点，よくなかった=1点

キ 各種防火防災講習等に係る図書等の販売

- (ア) 応急手当講習テキスト：149 冊
- (イ) 応急手当指導者標準テキスト：136 冊
- (ウ) 消防用設備等運用基準：117 冊

ク 防災用品の普及啓発及び販売

市民防災センターの来館者に対して，防災体験を通じて防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに，防災用品の販売（斡旋）を行った。

※1 年間で販売した主な防災用品

非常持出品セット	222 セット
非常持出袋	414 個
乾パン	1,177 個
アルファ化米	464 食
キューマスク	153 個
三角巾	285 枚

ケ 防火防災啓発器材等の貸出し

市民や各種団体等に対して，防火防災啓発器材，防災ビデオ等の貸出しを行った。

(ア) 防火防災啓発器材の貸出し

地震，水害に関する災害写真パネルや，消防自動車写真パネル，非常持出品等の防火防災用品等の消防署への貸出しを行った。

貸出件数：33 件

(イ) 防災ビデオの貸出し

防火防災に関するビデオを購入し，ビデオライブラリーの充実を図るとともに，市民，事業所，各種団体等に対してビデオの貸出しを行った。

貸出件数：422 件

貸出本数：988 本

(ウ) 子ども用救助服，救急服の貸出し

市民防災センター及び消防局，各消防署における各種イベント行事に活用できるよう子ども用救助服，救急服各 15 着の貸出しを行った。

貸出件数：192 件

コ 他団体との連携

京都市（消防局）が実施する事業と連携し，市民の防災意識の高揚を図った。

(ア) 京都市総合防災訓練

a 日時 平成 25 年 8 月 31 日（土）

b 会場 京都市役所前広場及び同広場周辺

(イ) 救急フェスタ 2013

a 日時 平成 25 年 9 月 12 日（木）

b 会場 市民防災センター

(ウ) 京都市消防出初式

a 日時 平成 26 年 1 月 12 日（日）

b 会場 京都会館東側岡崎公園内



## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	220	236	△ 16
預金	55,076	92,535	△ 37,459
未収金	711	824	△ 113
立替金	8	6	2
前払金	1,129	1,726	△ 598
棚卸資産	1,805	2,326	△ 521
流動資産合計	[58,950]	[97,654]	[△ 38,704]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	10,000	50,000	△ 40,000
基本財産合計	(10,000)	(50,000)	(△ 40,000)
(特定資産)			
経営安定化基金	8,600	8,400	200
特定事業積立金	2,100	1,800	300
特定資産合計	(10,700)	(10,200)	(500)
(その他固定資産)			
その他固定資産合計	( 0)	( 0)	0
固定資産合計	[20,700]	[60,200]	[△ 39,500]
資産合計	79,650	157,854	△ 78,204
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,899	26,807	△ 909
預り金	193	615	△ 422
前受金	697	763	△ 66
流動負債合計	[26,789]	[28,186]	[△ 1,397]
2. 固定負債			
固定負債合計	[0]	[0]	[0]
負債合計	26,789	28,186	△ 1,397
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000	50,000	△ 40,000
指定正味財産合計	[10,000]	[50,000]	[△ 40,000]
(うち基本財産への充当額)	(10,000)	(50,000)	(△ 40,000)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[42,861]	[79,668]	[△ 36,807]
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(10,700)	(10,200)	(500)
正味財産合計	[52,861]	[129,668]	[△ 76,807]
負債及び正味財産合計	79,650	157,854	△ 78,204

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	5	15	△ 10
② 特定資産運用益	2	3	△ 1
③ 受取会費	1,300	1,200	100
④ 事業収益	195,913	192,964	2,949
⑤ 雑収益	297	209	88
経常収益計	197,517	194,391	3,126
(2) 経常費用			
① 事業費	178,253	180,188	△ 1,935
② 管理費	6,071	6,271	△ 200
経常費用計	184,325	186,459	△ 2,134
当期経常増減額	13,193	7,933	5,260
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	40,000	0	40,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	90,000	0	90,000
当期経常外増減額	△ 50,000	0	△ 50,000
当期一般正味財産増減額	△ 36,807	7,933	△ 44,739
一般正味財産期首残高	79,668	71,735	7,933
一般正味財産期末残高	42,861	79,668	△ 36,807
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 40,000	0	△ 40,000
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	10,000	50,000	△ 40,000
III. 正味財産期末残高	52,861	129,668	△ 76,807

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 市民防災センターの管理運営

市民防災センターの指定管理者として、地震体験、強風体験、避難体験、消火体験、応急手当体験、消防ヘリフライトシミュレーターや、新たに整備された都市型水害体験、防災行動体験など各種防災体験を通じて、防災に関する知識や技術の普及向上並びに防災意識の高揚を図り、「災害に強い人づくり」に寄与する施設運営を行う。

イ 防火防災に係る各種イベントの開催

9月の防災週間、1月の防災とボランティア週間、3月の東日本大震災に関連した防災啓発の期間並びに学校の夏休み、冬休み及び春休み期間中等の機会に、防火防災思想の普及を図るために、災害発生時の行動要領が身に着くよう展示方法などを工夫し、次の各種イベントを市民防災センターで開催する。

イベント名 (仮称)	開催時期	内 容
B O S A I スプリングフェスタ 2014	4月上旬	春休み期間中に、親子で参加できる防火防災に関するクイズ大会などを行い、防災意識の啓発を図る。
ゴールデンウィーク防災フェスタ 2014	4月下旬～5月上旬	身近な防災関連をテーマに、ゴールデンウィーク期間中に、親子を対象とした家庭でできる救出・救護法などを行い、防災意識の啓発を図る。
B O S A I サマーフェスタ 2014	8月上旬～8月中旬	夏休み期間中に、親子を対象に火災予防（子どもの火遊び防止）のスクールなどを開催する。
防災展	8月下旬～9月上旬	防災週間中に、家庭や地域における地震防災をテーマとした展示会などを開催する。
救急展	9月上旬～9月中旬	救急医療週間中に、応急手当の重要性を訴える展示やAEDの取扱体験などを開催する。
園児の描く消防の図画展示会	11月下旬～2月上旬 (土・日開催)	京都市（消防局）主催の消防図画募集に応募があった作品の展示を行い、紙芝居による防災教室を開催するなど、来場者に対して、防災意識の啓発を図る。
冬休み子ども防災アニメ大会	12月下旬～1月上旬	冬休み期間中に、子どもを対象に防災ビデオを通じて防災思想の普及を図る。
防災フェア 2015	1月中旬	防災とボランティア週間中に、防災関連物品及び震災パネルの展示や、幼稚園、保育園児を対象とした防災教室などを開催する。
3.11 きずな・京都一大震災を教訓に	3月上旬	震災関連をテーマに、家庭や地域で身近に役立つ救出・救護法などを行い、防災意識の啓発を図る。
B O S A I スプリングフェスタ 2015	3月下旬	春休み期間中に、親子で参加できる防火防災に関するクイズ大会などを行い、防災意識の啓発を図る。

#### ウ 防災講演会の開催

地震や台風をはじめとする自然災害をテーマとして、次の防災講演会を市民防災センターで開催する。

事業名 (仮称)	開催時期	内 容
災害に強いまちづくり講座Ⅰ	6月下旬・7月上旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を2回開催する。
災害に強いまちづくり講座Ⅱ	9月中旬・9月下旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を1回開催する。
災害に強いまちづくり講座Ⅲ	10月下旬・11月上旬	家庭や地域における自然災害に関する内容をテーマとした講演会を2回開催する。
経営者防災セミナー	3月中旬	京都市（消防局）との共催事業

#### エ 防火防災講習の開催

事業所の防火防災体制の強化及び市民の応急手当能力の普及啓発を図るため、京都市（消防局）と連携を図り、次の講習を市民防災センターで実施する。

##### (7) 防火・防災講習

###### a 自衛消防業務講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
新規講習(2日間)	22回	36人	792人
再講習(1日)	20回	50人	1,000人

b 防火対象物点検資格者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
新規講習(4日間)	1回	80人	80人
再講習(1日)	3回	80人	240人

c 防災管理点検資格者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防災管理点検資格者講習(2日間)	1回	80人	80人
防災管理点検資格者再講習(1日)	1回	80人	80人

d 防火管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
甲種防火管理講習新規講習(2日間)	19回	150人	2,850人
甲種防火管理講習再講習(半日)	2回	150人	300人
乙種防火管理講習(1日)	3回	150人	450人

e 防災管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防災管理新規講習(1日)	2回	150人	300人
防災管理再講習(半日)	2回	150人	300人

f 防火・防災管理講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防火・防災管理新規講習(2日間)	5回	150人	750人
防火・防災管理再講習(半日)	2回	150人	300人

g 防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習(3日間)	1回	36人	36人

(イ) 救命講習

応急手当普及員講習

	実施回数	1回当たり受講定員	延べ受講定員
本講習(3日間)	12回	30人	360人
再講習(3時間)	12回	30人	360人

オ 防災教養誌の発行

京都市消防局の職員、消防団員、事業所及び市民向けの防災教養誌として、機関誌「京都消防」を発行する。

カ 広報広聴活動の実施

(ア) 市民防災センターへの来館勧奨

a 市民防災センター来館勧奨用パンフレット(開館日カレンダー入り)を作成するとともに、市内のすべての自主防災会、各種団体、事業所、幼稚園、保育園、小・中学校、児童館、学童保育所等に対し、直接又は消防署を通じて来館を呼び掛ける。

b 市内各消防署、京都市内博物館施設、ひと・まち交流館京都、京都市国際交流会館等に

対し、市民防災センター来館勸奨用パンフレットの配布を依頼し、市民防災センターの利用勸奨に努める。

c 各種イベントを開催する際には、ポスター、パンフレット、リーフレットなどの広報媒体を活用し、市内の自主防災会、幼稚園、保育園等に対し、直接又は消防署を通じて効果的にイベント情報の提供を図るとともに、新聞掲載によるPRの強化を図る。

(イ) 広報媒体による情報提供

市民防災センターへの来館者、市内の自主防災会、事業所等に対して、災害に強いまちづくり講座講演録（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・合本版）を発行し、防災情報の提供を図る。

(ウ) インターネットによる情報提供

インターネットのホームページの更新内容を充実し、防災知識の普及を図るとともに、各種講習会、イベント予定等の情報を提供して、市民防災センターの利用を呼び掛ける。

また、京都市消防局と連携し、フェイスブックやツイッターなどを活用したタイムリーな情報発信に努める。

(エ) 報道機関等への情報提供及び取材対応

新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関をはじめ、情報誌などに対し、積極的に防災情報や、イベント情報等の提供を行い、市民防災センターへの来館者の増加につなげる。

(オ) 広聴活動

インターネットEメール、来館者アンケート等による直接的な広聴活動を行うとともに、防災体験案内時にいただいた意見など市民ニーズの把握に努め、防災研修等の充実に努める。

キ 防災用品の普及啓発及び販売

市民防災センターの来館者に対して、防災用品の備えの必要性について普及啓発を図るとともに、来館者、インターネット及び電話等による防災用品の問い合わせへの対応や、防災用品の販売を行う。

ク 防災啓発ビデオ、防火防災啓発器材等の整備及び貸出し

防火防災啓発器材や防災ビデオ等を購入し、内容の充実を図るとともに、市民や各種団体等に貸出しを行う。

ケ 他団体との連携

「経営者防災セミナー」、「救急フェア」等の事業を京都市（消防局）との共催事業として実施するほか、京都大学防災研究所等の団体とも連携を図り、他団体が行うイベントで協会の事業目的に沿う事業について積極的に参画していく。

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3	12	△ 9
② 特定資産運用益	3	3	0
③ 受取会費	1,300	1,200	100
④ 事業収益	211,408	198,363	13,045
⑤ 雑収益	209	202	7
経常収益計	212,923	199,780	13,143
(2) 経常費用			
① 事業費	194,942	185,656	9,286
② 管理費	7,733	7,667	66
経常費用計	202,675	193,323	9,352
当期経常増減額	10,248	6,457	3,791
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	40,000	△ 40,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	10,000	90,000	△ 80,000
当期経常外増減額	△ 10,000	△ 50,000	40,000
当期一般正味財産増減額	248	△ 43,543	43,791
一般正味財産期首残高	42,668	78,119	△ 35,451
一般正味財産期末残高	42,916	34,576	8,340
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	0	40,000	△ 40,000
当期指定正味財産増減額	0	△ 40,000	40,000
指定正味財産期首残高	10,000	50,000	△ 40,000
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	0
III. 正味財産期末残高	52,916	44,576	8,340

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	196,762	194,391	197,517	212,923
	当期経常増減額	8,646	7,933	13,193	10,248
	当期正味財産増減額	8,646	7,933	△76,807	248
貸借対照表	総資産	152,735	157,854	79,650	/
	総負債	31,000	28,186	26,789	
	正味財産	121,735	129,668	52,861	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	市民防災センターの管理運営事業 (指定管理)	133,801	135,625	136,721	140,671
	機関誌「京都消防」発行事業	8,880	8,880	8,658	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>正味財産が大きく減少しているが、一般財団法人への移行に伴う公益目的支出計画によるものであり、当期経常増減額は平成24年度に比べて増加し、黒字を維持していることから、特段問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度と比較し、リニューアル工事に伴う一部施設の休止の影響もあり、来館者は減少したが、リニューアル完成に伴い、今後は来館者の増加が期待できる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期経常増減額は黒字を確保しており、財務面で問題はない。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、様々な災害が多発しており、防災意識を高めるための市民啓発が非常に重要である。</li> </ul>

交 通 局



# 京都地下鉄整備株式会社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 寺田隆志

### 2 所在地

京都市山科区安朱中小路町 15 番地の 4

### 3 電話番号

075-502-9001

### 4 ホームページアドレス

<http://kyoto-ss.co.jp/>

### 5 設立年月日

昭和 56 年 4 月 20 日

### 6 資本金

40,000 千円（うち本市出資額 22,000 千円，出資率 55.0%）

### 7 事業目的

- (1) 鉄道車両の整備
- (2) 鉄道施設の整備
- (3) 自動車車両の整備
- (4) 電気設備の整備
- (5) 不動産の運営及び管理

### 8 業務内容

- (1) 高速鉄道電力・電気設備点検の監理
- (2) 高速鉄道建築・機械設備等の監理
- (3) 高速鉄道車両の検査・整備等の監理
- (4) 排水処理装置の保守
- (5) 営業所等の出張・連絡業務
- (6) 高速鉄道の駅電気設備の監理
- (7) 北大路バスターミナル等の電気・機械設備等の監理

### 9 所管部局

交通局高速鉄道部営業課（TEL 075-863-5213）

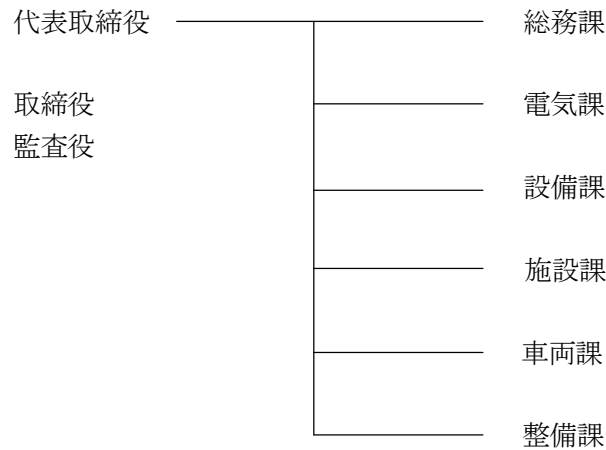
### 10 役員名等

- (1) 代表取締役社長  
寺田隆志
- (2) 取締役  
山本登志一（交通局理事），鈴木知史（交通局企画総務部長）
- (3) 監査役  
四方宏治

### 11 常勤職員数

47 人（うち本市派遣職員 0 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成 25 年度決算

(1) 事業報告

当社は、昭和 56 年 5 月に開業した京都市高速鉄道烏丸線の電力設備及び車両関係の保守管理が多岐にわたり、整備を担当する業者や現場作業が輻輳することから、交通局に代わって総合的な工程管理と現場作業の管理を行うことを目的として、昭和 56 年 4 月 20 日に設立されたものである。

当期は、高速鉄道の電力関係では烏丸線の国際会館・竹田間 13.7 キロメートル 15 駅と東西線の六地藏・太秦天神川間 17.5 キロメートル 17 駅、全線 31.2 キロメートル 32 駅の電気室、変電所、電車線路、電力線路等について、整備・点検に係る監理業務や修繕業務を行った。

高速鉄道の車両関係では、烏丸線車両 120 両、東西線車両 102 両を対象に、所定の定期検査等の作業に係る監理業務を行った。

高速鉄道の駅施設関係では、建築・機械・昇降機・駅電気設備等の定期検査に係る監理業務や修繕業務を行った。

市バス営業所等の整備関係では、市内各所のバス営業所や整備工場間等の連絡業務や排水処理装置の整備・点検業務を行った。

梅小路公園内にある元北野N電 27 号の復元車両の運行に係る、軌道、電車線路、車両等の整備・点検業務については、梅小路公園の再整備に伴い上半期のみ行った。

自動車整備工場の排水処理装置の更新業務等を受託したことにより、当期の売上高は、前期と比較し 6.8%増の 2 億 7 千 4 百万円となったが、受託業務に係る外注費の増加等により売上原価が増加したため、税引後の当期純利益は 8 百万円の赤字となった。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[155,962]	流動負債	[25,601]
現金預金	50,224	未払金	13,401
前払金	3,947	未払法人税等	200
未収金	101,702	未払消費税等	2,398
未収還付税金	89	前受金	18
		預り金	971
		賞与引当金	8,613
固定資産	[91,198]	固定負債	[452]
(有形固定資産)	(550)	退職給与引当金	452
建物付属設備	53	負債合計	26,053
車両運搬具	453	純資産の部	
工具器具備品	45	株主資本	[221,107]
(無形固定資産)	(625)	資本金	[40,000]
電話加入権	419	利益剰余金	[181,107]
ソフトウェア	206	利益準備金	10,000
(投資その他の資産)	(90,024)	その他利益剰余金	(171,107)
投資有価証券	89,982	事業積立金	100,000
預託金	42	別途積立金	50,000
		繰越利益剰余金	21,107
		純資産合計	221,107
資産合計	247,160	負債及び純資産合計	247,160

## 損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
売上高	274,558
売上原価	250,675
売上総利益	23,883
販売費及び一般管理費	33,785
営業利益	△ 9,902
営業外収益	
受取利息	442
雑収入	1,443
営業外費用	
固定資産除却損等	78
経常利益	△ 8,096
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期純利益	△ 8,096
法人税, 住民税及び事業税	△ 200
当期純利益	△ 8,296

株主資本等変動計算書  
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	変動事由	金 額
<b>【 株主資本 】</b>		
資本金	当期首残高	40,000
	当期末残高	40,000
利益剰余金	当期首残高	10,000
	当期末残高	10,000
利益準備金	当期首残高	100,000
	当期末残高	100,000
その他利益剰余金	当期首残高	50,000
	当期末残高	50,000
事業積立金	当期首残高	29,403
	当期末残高	21,107
別途積立金	当期首残高	△ 8,296
	当期末残高	21,107
繰越利益剰余金	当期首残高	189,403
	当期末残高	181,107
利益剰余金合計	当期首残高	189,403
	当期末残高	181,107
株主資本合計	当期首残高	229,403
	当期末残高	221,107
純資産の部合計	当期首残高	229,403
	当期末残高	221,107

2 平成26年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 高速鉄道の電力設備監理業務

(ア) 烏丸線：変電所（4箇所）、駅電気室等（19箇所）、電車線路等（13.7キロメートル）

(イ) 東西線：変電所（5箇所）、駅電気室等（21箇所）、電車線路等（17.5キロメートル）

イ 高速鉄道の電気室・変電所日常点検業務

(ア) 烏丸線：変電所（4箇所）、駅電気室等（19箇所）

(イ) 東西線：変電所（5箇所）、駅電気室等（21箇所）

ウ 昇降機設備監理業務

(ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅駅舎等設置昇降機設備の保守業務の  
(イ) 東西線 17 駅 } 調整・監理等を行う。

エ 高速鉄道の駅電気設備監理業務

(ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅消防設備保守点検監理業務及び  
(イ) 東西線 17 駅 } 駅務機器保守点検監理業務等

- オ 高速鉄道の建築・機械設備等監理業務  
 (ア) 烏丸線 15 駅 } 各駅 高速鉄道施設の建物・機械設備等の統括監理  
 (イ) 東西線 17 駅 }
- カ 車両基地排水処理装置保守管理業務  
 竹田車両基地, 醍醐車庫
- キ 高速車両保守及び作業監理業務  
 (ア) 烏丸線 : 20 編成 (120 両)  
 (イ) 東西線 : 17 編成 (102 両)
- ク 自動車営業所等の出張連絡業務  
 営業所, 自動車整備工場, 本庁間等の出張連絡業務及び車両検査証更新業務
- ケ 自動車営業所, 高速鉄道車庫等における排水処理装置の保守管理業務  
 自動車営業所, 整備工場, 高速鉄道車庫等の排水処理装置の保守管理

(2) 予算

予定損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>【経常損益の部】</b>	
(営業損益の部)	
売上高	251,700
売上原価	226,500
売上総利益	25,200
販売費及び一般管理費	36,000
営業利益	△ 10,800
(営業外損益の部)	
営業外収益	400
経常利益	△ 10,400
税引前当期純利益	△ 10,400
法人税, 住民税及び事業税	180
当期純利益	△ 10,580

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
損益計算書	売上高	217,547	256,986	274,558	251,700
	経常利益	4,038	△2,690	△8,096	△10,400
	当期利益	3,464	△2,540	△8,296	△10,580
	減価償却前利益	6,036	△930	△7,272	
貸借対照表	総資産	250,566	251,735	247,160	
	総負債	18,624	22,332	26,053	
	純資産	231,943	229,403	221,107	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	高速鉄道等の施設, 車両の点検整備等の監理	226, 534	266, 661	270, 108	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 売上高は増加しているが、経費や人件費の増加によって赤字となっている。引き続き、経費や人件費の節減に努める必要がある。
事業面	・ 高速鉄道の保守に係る業務を行っており、業務遂行には専門的な知識や技術が必要不可欠であることから、豊富な経験を有する人材を確保していく必要がある。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 売上高が増加し、減価償却費が減少しているにもかかわらず、経常損失が増加している。経費や人件費について見直しが必要である。
事業面	・ 専門的な知識や技術を有する人材を確保しつつ、効率的な経営を継続することが必要である。

上下水道局

# 一般財団法人京都市上下水道サービス協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 太田達也

### 2 所在地

京都市右京区梅津糺原町16番地

### 3 電話番号

075-871-8300

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-wssa.or.jp/>

### 5 設立年月日

昭和48年3月28日

### 6 基本財産

16,000千円（うち本市出えん額4,000千円，出えん率25.0%）

### 7 事業目的

京都市内の円滑な給水の確保，生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため，京都市の実施する上下水道事業の運営に協力し，もって市民福祉の向上に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関すること。
- (2) 上下水道施設の設置に係る調査，設計及び工事並びに維持管理に関すること。
- (3) 漏水修繕及び漏水調査に関すること。
- (4) 水道メーターの点検，取替及び井水検針に関すること。
- (5) 水道料金及び下水道使用料等の徴収に関すること。
- (6) 災害その他緊急を要する上下水道に係る工事に関すること。
- (7) 排水設備（水洗便所を含む。）の整備に関すること。
- (8) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

上下水道局総務部経営企画課（TEL075-672-7709）

### 10 役員名等

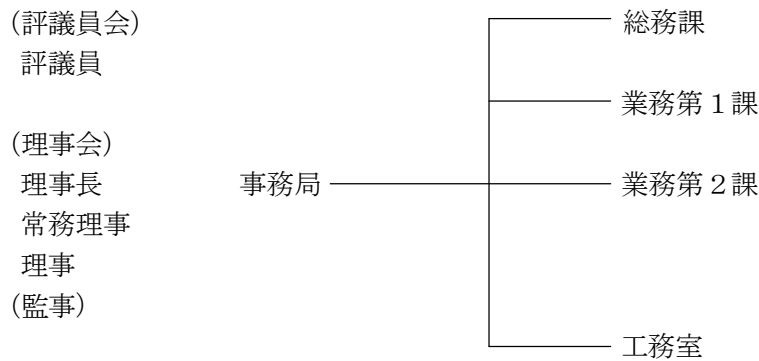
- (1) 理事長  
太田達也
- (2) 常務理事  
佐藤守
- (3) 理事  
日下部徹（上下水道局総務部経営・防災担当部長），中西耕三
- (4) 監事  
廣瀬孝幸（上下水道局総務部経理課長），松波英彦

### 11 常勤職員数

119人（うち本市派遣職員0人）



## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成25年度決算

#### (1) 事業報告

平成25年度は、漏水修繕事業収入が減少し、また、汚泥処理施設の集約化に伴う施設運転管理の一元化により、鳥羽水環境保全センター汚泥処理運転管理事業収入が減少した一方で、国の基準労務単価改正に伴う受託単価の改正による増収があったため、経常収益額では、9億3,600万円を確保し、平成24年度と比べて1億7,800万円の減少にとどまった。

経常費用については、特定寄附金8,720万円を公益目的支出計画どおり支出したが、鳥羽水環境保全センター汚泥処理運転管理事業関連の人員削減、役員報酬及び職員給与の追加削減等によって人件費が減少したほか、漏水修繕事業の減少に伴う関連費用が減少したため、平成24年度と比べて8,300万円減少の10億3,700万円となった。

この結果、税引き後の当期正味財産増減額は、約1億円の赤字となり、公益目的支出計画に係る収支を除いた事業運営収支は、800万円の赤字となった。

実施事業の概要は次のとおりである。

#### ア 自主事業

上下水道施設の一般公開等において配布する啓発物品等の作製

#### イ 京都市からの受託業務の内容

- (ア) 漏水修繕事業
- (イ) 設備補修事業
- (ウ) 検定期満了メーター及び故障・難読メーター等取替事業
- (エ) 配水幹線用仕切弁、空気弁、同弁室の点検及び整備事業
- (オ) 弁栓類等位置確認調査及び点検事業
- (カ) 水圧測定事業
- (キ) リークゾーンテスターによる漏水調査事業
- (ク) 漏水調査事業
- (ケ) 水道料金及び下水道使用料未納整理事業
- (コ) 下水道関連市民啓発事業
- (サ) 排水設備の接続ます位置設定事業
- (シ) 下水道接続及び未水洗家屋勸奨事業
- (ス) 排水設備工事確認申請書審査及びしゅん工検査業務
- (セ) 井水等使用量認定事業
- (ソ) 償還金の未納徴収事業
- (タ) 排水設備設置状況調査等業務
- (チ) 貯水槽水道管理状況調査及び貯水槽の適正管理の指導事業

#### ウ その他

- (ア) 排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新講習事業
- (イ) 京都市下水道排水設備指針販売事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	68	95	△ 27
普通預金	106,259	178,984	△ 72,725
定期預金	0	30,000	△ 30,000
未収金	154,296	177,651	△ 23,355
貸倒引当金	0	△ 1,190	1,190
原材料	20,646	16,477	4,169
商品	44	62	△ 18
仮払金	117	126	△ 8
流動資産合計	[281,430]	[402,205]	[△ 120,775]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	16,000	16,000	0
基本財産合計	(16,000)	(16,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付積立準備預金	121,698	121,860	△ 162
引継退職資産	21,361	21,361	0
特定資産合計	(143,059)	(143,221)	(△ 162)
(その他固定資産)			
建物	83,357	87,461	△ 4,104
建物付属設備	13,442	15,883	△ 2,441
構築物	3,490	4,069	△ 579
造作	4,057	4,218	△ 161
車両運搬具	14,290	19,938	△ 5,648
機械装置	2,038	3,377	△ 1,339
工具	436	606	△ 169
器具備品	1,199	2,209	△ 1,011
ソフトウェア開発金	11,534	10,346	1,188
保証金	50	50	0
投資有価証券	149,967	153,967	△ 4,000
その他固定資産合計	(283,860)	(302,124)	(△ 18,266)
固定資産合計	[442,918]	[461,346]	[△ 18,427]
資産合計	724,348	863,550	△ 139,202
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	50,214	73,416	△ 23,202
預り金	2,939	8,336	△ 5,397
未払法人税等	170	2,433	△ 2,263
未払消費税等	3,031	10,506	△ 7,475
流動負債合計	[56,354]	[94,691]	[△ 38,336]
2. 固定負債			
退職給付引当金	121,698	121,860	△ 162
引継未払退職債務	21,361	21,361	0
固定負債合計	[143,059]	[143,221]	[△ 162]
負債合計	199,414	237,912	△ 38,498
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	4,000	4,000	0
指定正味財産合計	[4,000]	[4,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(4,000)	(4,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[520,934]	[621,639]	[△ 100,704]
(うち基本財産への充当額)	(12,000)	(12,000)	(0)
正味財産合計	[524,934]	[625,639]	[△ 100,704]
負債及び正味財産合計	724,348	863,550	△ 139,202

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	101	202	△ 101
② 事業収益	931,704	1,110,163	△ 178,459
③ 雑収益	4,838	4,458	380
経常収益計	936,642	1,114,822	△ 178,180
(2) 経常費用			
① 事業費	1,035,989	1,119,193	△ 83,204
② 管理費	1,187	1,362	△ 175
経常費用計	1,037,176	1,120,556	△ 83,379
当期経常増減額	△ 100,534	△ 5,733	△ 94,801
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 100,534	△ 5,733	△ 94,801
法人税・住民税・事業税等	170	2,433	△ 2,263
当期一般正味財産増減額	△ 100,704	△ 8,166	△ 92,538
一般正味財産期首残高	621,639	629,805	△ 8,166
一般正味財産期末残高	520,934	621,639	△ 100,704
II. 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	0
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	0
III. 正味財産期末残高	524,934	625,639	△ 100,704

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

経常収益のうち受託事業収益については、国の基準労務単価改正に伴う増加が見込まれるものの、路面漏水箇所の減少に伴う受託収入の減少によって、平成 25 年度と比べて 1,800 万円減少の 9 億 3,900 万円とし、雑収益等を合わせた経常収益総額では、9 億 5,000 万円を見込んでいる。

一方、経常費用の事業費は、役員報酬及び職員給与の減額の継続をはじめ、退職手当の減額に伴う費用の削減や、その他物件費の削減を実施することによって、平成 25 年度と比べて、3,700 万円の削減を見込んだ 9 億 5,100 万円とし、これに特定寄付金 2,700 万円と管理費 100 万円を加算した経常費用総額では、9 億 7,900 万円を見込んでいる。

この結果、平成 26 年度における当期正味財産増減額の見通しは、2,900 万円の赤字となる計画としている。

今後、公益目的支出計画を安定的かつ確実に実施していくための財源確保など厳しい状況が続くが、引き続き、経費削減と効率的な事業運営に努めるとともに、市民福祉の向上に寄与するため、更なる経営体質の強化に努め、本市上下水道事業の運営に協力していく。

事業計画の概要は次のとおりである。

#### ア 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関する業務

- (ア) 上下水道局が開催する事業への参画，普及啓発
- (イ) 鳥羽水環境保全センター普及啓発

#### イ 上下水道施設の調査に関する業務

- (ア) 水圧測定
- (イ) 排水設備の接続ます位置設定
- (ウ) 未水洗家屋勧奨
- (エ) 排水設備設置状況調査
- (オ) 排水設備工事確認申請受付及びしゅん工検査
- (カ) その他下水道管調査

#### ウ 上下水道施設の維持管理に関する業務

- (ア) 配水幹線用仕切弁・空気弁・同弁室の点検清掃及び整備
- (イ) 弁栓類等位置確認調査及び点検
- (ウ) 設備補修

#### エ 漏水修繕及び漏水調査に関する業務

- (ア) 漏水修繕
- (イ) リークゾーンテスターによる漏水調査
- (ウ) 漏水調査

#### オ 水道メーターの取替及び井水認定並びに水道料金及び下水道使用料等の徴収等に関する業務

- (ア) 検定期限満了メーター取替，故障・難読メーター取替及び休日開閉栓業務
- (イ) 未納整理事務等
- (ウ) 井水等認定
- (エ) 償還金の未納徴収

#### カ その他当協会の目的を達成するために必要な事業

- (ア) 排水設備工事責任技術者試験，登録及び更新講習業務
- (イ) 京都市下水道史委託販売
- (ウ) 京都市下水道排水設備指針販売

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	10	200	△ 190
② 事業収益	938,860	956,700	△ 17,840
③ 雑収益	11,790	4,200	7,590
経常収益計	950,660	961,100	△ 10,440
(2) 経常費用			
① 事業費	978,500	1,076,170	△ 97,670
② 管理費	1,110	1,130	△ 20
経常費用計	979,610	1,077,300	△ 97,690
当期経常増減額	△ 28,950	△ 116,200	87,250
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 28,950	△ 116,200	87,250
一般正味財産期首残高	505,439	621,639	△ 116,200
一般正味財産期末残高	476,489	505,439	△ 28,950
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	0
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	0
III. 正味財産期末残高	480,489	509,439	△ 28,950

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,104,517	1,114,822	936,642	950,660
	当期経常増減額	△6,663	△5,733	△100,534	△28,950
	当期正味財産増減額	△8,436	△8,166	△100,704	△28,950
貸借対照表	総資産	835,884	863,550	724,348	
	総負債	202,079	237,912	199,414	
	正味財産	633,805	625,639	524,934	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	漏水修繕事業	440,485	476,519	398,694	
	設備補修事業	30,779	22,721	23,198	
	検定期限満了メーター及び故障・難読メーター等取替事業	170,139	177,525	196,727	
	配水幹線用仕切弁, 空気弁, 同弁室の点検清掃及び整備事業	9,221	9,446	9,929	
	弁栓類等位置確認調査及び点検事業	26,998	27,907	28,132	
	水圧測定事業	38,327	38,586	38,616	
	リークゾーンテスターによる漏水調査事業	29,002	29,717	31,010	
	漏水調査事業	41,865	49,580	51,803	
	水道料金及び下水道使用料未納整理事業	66,036	64,180	63,017	
	貯水槽水道管理状況調査及び貯水槽の適正管理の指導事業			1,211	
	下水道関連市民啓発事業	17,067	17,264	20,831	
	排水設備の接続ます位置設定事業	129	164	165	
	下水道接続及び未水洗家屋勧奨事業	13,278	12,165	15,427	
	京北地区未水洗家屋調査勧奨業務	1,865	1,583	1,873	
	排水設備設置状況調査等業務	6,600	7,284	8,261	
	排水設備工事確認申請書審査及びしゅん工検査業務	38,010	40,185	38,966	
	井水等使用量認定事業	48,489	43,415	43,415	
	償還金の未納徴収事業	369	376	251	
	鳥羽水環境保全センター汚泥処理運転管理事業	134,866	134,866		
	マンホールポンプ場等整備点検業務	22,383	1,075		
下水道施設等更新入力用資料作成事業	3,906	4,336			
公共下水道不明管調査業務	2,520				

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 25 年度の当期正味財産増減額は約 1 億円の赤字となっているが、その大部分は一般財団法人移行に伴う公益目的支出計画に係る特定寄附によるものである。</li><li>平成 21 年度から実施している給与の減額に加え、平成 25 年 9 月からの追加減額や退職手当の見直しなど、人件費の削減に取り組んでいる。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>漏水事故に伴う市民生活等への影響を最小限にとどめるため、24 時間対応緊急体制をはじめとする京都市からの受託業務を、迅速かつ効率的に実施することにより、上下水道事業の基本である「水」の安定供給や良質な水環境の保全に貢献している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>公益目的支出計画に係る特定寄附を除いても、当期正味財産増減額は赤字である。引き続き、収入の確保や経費削減に努める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>財務面の安定化を図るため、効率的な事業実施が望まれる。</li></ul>

# 教育委員会



# 公益財団法人京都市生涯学習振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 上田正昭

### 2 所在地

京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

### 3 電話番号

075-802-3141

### 4 ホームページアドレス

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asnyl/top.html>

### 5 設立年月日

昭和56年3月16日

### 6 基本財産

80,000千円（うち本市出えん額80,000千円，出えん率100.0%）

### 7 事業目的

京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習事業を推進し，生涯学習の振興を図るとともに，京都市における教育と文化の発展に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 講座，講演会及びその他の催しの開催
- (2) 体験活動事業等の実施
- (3) 生涯学習情報の収集及び提供等
- (4) 博物館等における展示事業の実施
- (5) 生涯学習施設における貸館事業
- (6) 生涯学習のための図書及び資料等の購入・収集・貸出・返却，参考業務及び読書推進事業の実施
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

教育委員会生涯学習部施設運営担当（TEL075-801-8822）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

上田正昭

#### (2) 副理事長

武田道子

#### (3) 専務理事

藪田昇（教育委員会事務局理事）

#### (4) 理事

伊藤克彦，上野佐太郎，岡田寛子，榊原吉郎，染川香澄，富田順一，仲田雅博，永田萌，久田浩司，藤井順一，森本智子，生田義久（教育長）

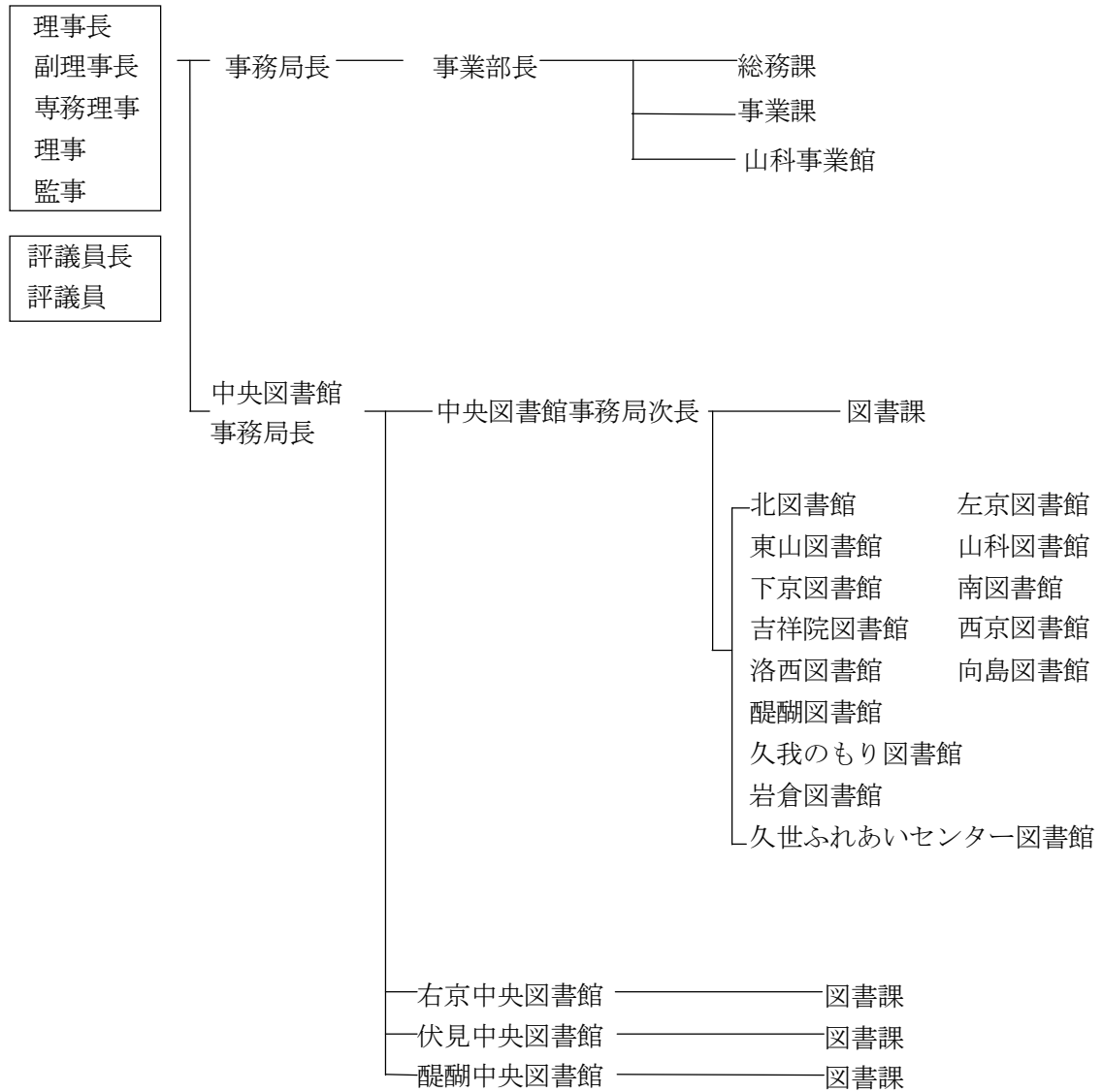
#### (5) 監事

坂本一馬，新谷久利

### 11 常勤職員数

219人（うち本市派遣職員30人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成25年度決算

(1) 事業報告

ア 財団事業

(ア) 生涯学習総合センター（京都アスニー）

a 講座，講演会及びその他の催し

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
アスニーセミナー	59	147	8,167
アスニーアトリエ	60	922	13,104
アスニーコース	8	350	17,165
アスニーコンサート	12	12	3,408
アスニー「京都学」講座	29	29	3,145
市民ビデオ編集講座	2	6	33
アスニー文化祭	1	1	3,252
合計	171	1,467	48,274

- b 文化誌等の発行及び友の会の運営
- (a) 「創造する市民」の発行（第101号1,600部、第102号1,600部発行）
- (b) 生涯学習講座案内「まなびすと」の発行
- (c) 友の会「京都まなびすと」の運営（会員573人）

(イ) 生涯学習総合センター山科（アスニー山科）

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
アスニー・アトリエやましな (多彩な実技の体験教室)	22	179	2,515
アスニー・アトリエやましな (京都の伝統工芸などの創作教室)	14	73	477
アスニー・アトリエやましな (パソコンなどの技能習得を目指す講座)	33	173	799
コーラス	3	119	5,972
アスニーシネマ山科	1	6	395
アスニー山科文化祭	1	2	1,023
合計	74	552	11,181

イ 受託事業

生涯学習総合センター（京都アスニー）、生涯学習総合センター山科（アスニー山科）、

図書館

(ア) 講座、講演会等

事業名	講座数	事業日数	延べ受講者数
生涯学習総合センター(京都アスニー)			
古典の祭典2013	1	1	595
ゴールデン・エイジ・アカデミー	47	47	25,538
視聴覚センター事業	49	64	10,952
クールスポット事業夏休み子ども映画会	6	6	301
小計	103	118	37,386
生涯学習総合センター山科(アスニー山科)			
学びのフォーラム山科	44	44	9,408
ゴールデン・エイジ・アカデミー同時中継	48	48	3,221
アスニー・ジュニア・アトリエやましな	1	1	16
クールスポット	3	3	149
小計	96	96	12,794
図書館(※)	176	871	27,019
合計	375	1,085	77,199

(※) 深草図書館、こどもみらい館子育て図書館分は含まない。

(イ) 生涯学習情報発信事業の取組（京都アスニー）

a 生涯学習情報コーナー

b インターネットのホームページによる情報発信

(ウ) 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営

入館者数:63,591人

ウ 共催事業（公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所等との共催）

(ア) 文化財講演会「平安時代の暮らしと文字」（京都市、埋文研）

- (イ) 古典の日記念 京都市平安京創生館企画展示 発掘調査成果写真展  
「発掘調査成果写真展 2013」(京都市, 埋文研)

エ 施設の利用状況

- (ア) 生涯学習総合センター, 生涯学習総合センター山科

	利用回数
京都アスニー研修室等	5,141
視聴覚センター	1,078
アスニー山科研修室等	3,755
合 計	9,974

- (イ) 図書館

	利用回数(貸出人数, 回数)	貸出冊数
個人貸出し(※)	2,335,778	7,355,460
団体貸出し(※)	6,516	50,427
移動図書館・個人貸出し	13,324	51,165
移動図書館・団体貸出し	81	1,697
在宅貸出し	2,053	4,739
対面朗読	78	-
テープ図書貸出し	53	176

(※) 移動図書館分含む。

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産	[201, 252]	[231, 381]	[△ 30, 129]
小口現金	52	100	△ 48
普通預金	197, 035	213, 702	△ 16, 667
未収金	349	1, 141	△ 792
棚卸資産	2, 133	14, 018	△ 11, 885
商品券	2	2	0
仮払金	550	408	142
前払金	516	366	150
繰延税金資産 (流動)	616	1, 645	△ 1, 029
2. 固定資産	[647, 239]	[669, 216]	[△ 21, 977]
(基本財産)	(80, 000)	(80, 000)	( 0)
定期預金	40, 000	40, 000	0
投資有価証券	40, 000	40, 000	0
(特定資産)	(539, 840)	(571, 713)	(△ 31, 873)
退職給付引当資産	471, 083	504, 107	△ 33, 024
退職給付引当投資有価証券	24, 980	10, 000	14, 980
減価償却引当資産	6, 605	6, 605	0
駐車場積立資産	12, 465	25, 800	△ 13, 335
久我の杜生涯学習プラザ 運営基金引当預金	24, 707	25, 201	△ 494
(その他固定資産)	(27, 399)	(17, 503)	(9, 895)
建物附属設備	5, 170	5, 373	△ 203
構築物	2, 162	264	1, 898
什器備品	13, 455	5, 878	7, 577
電話加入権	5, 812	5, 812	0
商標権	126	176	△ 50
繰延税金資産 (固定)	673	0	673
資産合計	848, 491	900, 598	△ 52, 107
II. 負債の部			
1. 流動負債	[205, 161]	[239, 645]	[△ 34, 484]
未払金	126, 811	148, 218	△ 21, 407
未払法人税等	520	1, 679	△ 1, 159
未払消費税等	8, 460	16, 384	△ 7, 924
前受金	1, 496	1, 628	△ 131
仮受金	6	0	6
預り金	8, 319	8, 600	△ 280
賞与引当金	59, 548	63, 137	△ 3, 589
2. 固定負債	[496, 063]	[514, 107]	[△ 18, 044]
退職給付引当金	496, 063	514, 107	△ 18, 044
負債合計	701, 224	753, 752	△ 52, 528
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	[80, 000]	[80, 000]	[0]
京都市出資金	30, 000	30, 000	0
京都市寄付金	50, 000	50, 000	0
(うち基本財産への充当額)	(80, 000)	(80, 000)	( 0)
2. 一般正味財産	[67, 268]	[66, 846]	[422]
(うち特定資産への充当額)	(43, 777)	(57, 606)	△ 13, 829
正味財産合計	147, 268	146, 846	422
負債及び正味財産合計	848, 491	900, 598	△ 52, 107

正味財産増減計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	335	502	△ 167
②特定資産運用益	120	120	0
③事業収益	70,890	70,710	180
④受取補助金等	1,466,098	1,512,318	△ 46,220
⑤雑収益	781	656	126
経常収益計	1,538,225	1,584,307	△ 46,082
(2) 経常費用			
①振興事業費	46,334	48,049	△ 1,714
②受託事業費	1,455,038	1,513,526	△ 58,488
③サービス事業費	22,827	18,249	4,578
④生涯学習施設基金交付金	500	500	0
⑤管理費	865	941	△ 75
経常費用計	1,525,564	1,581,263	△ 55,699
当期経常増減額	12,660	3,043	9,617
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①什器備品除却損	21	70	△ 49
②棚卸資産廃棄損	11,342	0	11,342
経常外費用計	11,362	70	11,293
当期経常外増減額	△ 11,362	△ 70	△ 11,293
税引前当期一般正味財産増減額	1,298	2,973	△ 1,676
法人税、住民税及び事業税	520	1,679	△ 1,159
法人税等調整額	356	△ 475	831
当期一般正味財産増減額	422	1,771	△ 1,349
一般正味財産期首残高	66,846	65,075	1,771
一般正味財産期末残高	67,268	66,846	422
II. 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	335	502	△ 167
②一般正味財産への振替額	△ 335	△ 502	167
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	0
III. 正味財産期末残高	147,268	146,846	422

## 2 平成 26 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 京都市生涯学習総合センター事業の実施

##### (ア) 財団事業

- a アスニー文化祭～学びとふれあいの広場～の実施
- b アスニー山科文化祭の実施
- c アスニーセミナー
- d アスニーアトリエ
- e アスニーコーラス
- f アスニーコンサート
- g アスニー京都学講座
- h 京都通の文化誌「創造する市民」の発行
- i その他

##### (イ) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

- a 古典の祭典 2014 の開催
- b 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営
- c ゴールデン・エイジ・アカデミー
- d 学びのフォーラム山科
- e 視聴覚センター事業
- f 土曜こどものつどいーアスニー・キッズ・シネマー
- g アスニーシネマ
- h アスニー日曜シネマ
- i その他

##### (ウ) 貸館事業

##### (エ) 情報発信

#### イ 図書館事業の実施

##### (ア) 図書の貸出

- a 開館日・開館時間の拡充を踏まえた利用増の取組
- b 京都市図書館情報網「京・ライブラリーネット」の充実
- c 京都大百科辞典的図書館機能の充実
- d 移動図書館
- e 図書館利用に障害のある方へのサービス
- f 郵便による図書等の予約申込み受付サービス

##### (イ) 読書活動推進事業

- a 「第3次京都市子ども読書活動推進計画」関連事業
- b 子ども読書活動推進事業
- c 地域全体の読書活動推進事業

##### (ウ) 情報誌の発行

図書館情報誌「京図ものがたり」の発行

##### (エ) その他

- a 図書館ボランティアの養成・導入
- b 他機関との連携

#### ウ その他の事業

駐車場の運営ほか

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	329	391	△ 62
② 特定資産運用益	186	120	66
③ 事業収益	74,416	68,915	5,501
④ 受取補助金等	1,479,944	1,497,229	△ 17,285
⑤ 雑収益	1,900	1,300	600
経常収益計	1,556,775	1,567,955	△ 11,180
(2) 経常費用			
① 振興事業費	48,440	47,702	738
② 受託事業費	1,512,800	1,533,895	△ 21,095
③ サービス事業費	19,654	24,949	△ 5,295
④ 生涯学習施設基金交付金	1,001	1,001	0
⑤ 管理費	1,090	1,210	△ 120
経常費用計	1,582,985	1,608,757	△ 25,772
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,210	△ 40,802	14,592
当期経常増減額	△ 26,210	△ 40,802	14,592
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	2,000	2,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 28,210	△ 42,802	14,592
一般正味財産期首残高	66,846	62,979	3,867
一般正味財産期末残高	38,636	20,177	18,459
II. 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	329	391	△ 62
② 一般正味財産への振替額	△ 329	△ 391	62
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	0
III. 正味財産期末残高	118,636	100,177	18,459



(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,548,094	1,584,307	1,538,225	1,556,775
	当期経常増減額	21,098	3,043	12,660	△26,210
	当期正味財産増減額	18,366	1,771	422	△28,210
貸借対照表	総資産	777,160	900,598	848,491	
	総負債	632,085	753,752	701,224	
	正味財産	145,075	146,846	147,268	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)
委託料	生涯学習事業の実施	1,469,916	1,509,432	1,463,212	
補助金	各種講座・講演会等事業補助	2,885	2,886	2,886	2,887

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に比べ、当期経常増減額は増加しており、棚卸資産の廃棄損を計上したが、当期正味財産増減額で黒字を確保した。公益財団法人の収支相償基準にも適合しており、今後も同様に安定した財務状況が望まれる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館では、インターネットによるレファレンスサービスや携帯電話による予約申込みサービスの充実など、利用者サービスの向上に取り組んでいる。</li> <li>アスニーでは、利用者の声を聞きながらアスニー文化祭を開催するなど、学びの輪を広げる取組を実施している。また、利用者ニーズに応じた講座を実施するなど、事業内容の充実が図られている。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期正味財産増減額は黒字を確保している。今後とも、安定した財務状況を維持してほしい。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き利用者ニーズの把握に努め、事業内容の充実を図ってほしい。</li> </ul>

この書類は、9月19日（金）から市情報公開コーナーにおいて公開するとともに、「外郭団体の指導調整」のホームページにも掲載します。

・「外郭団体の指導調整」のホームページ

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-22-0-0-0-0-0-0-0.html>

作成 行財政局財政部経営改革課

TEL 075-222-3293